

昭和59年

# 感染症サーベイランス事業年報

昭和61年3月

厚生省保健医療局感染症対策室

## 序

昭和 56 年より、国の事業として発足した感染症サーベイランス事業も 5 年目を迎え、この間、関係各位のご協力により順調に進展してまいりました。

本事業の目的とする、感染症発生状況及び病原体情報の早期、かつ、的確な収集とその還元は、社会環境の変化にともなう疾病構造の動向に的確に対応する、地域プライマリー・ケアに大きな役割を担うものであり、きたるべき 21 世紀にむけて、益々、重要性を増すものと確信するものであります。

当事業の各データーは、これまで疾病流行の予防活動に、又、これをもとにした学術的報告等、各方面に高く評価されているところであります。このたび昭和 59 年感染症サーベイランス事業年報を刊行する運びとなりましたが、この貴重な成果が地域における疾病予防、治療活動並びに衛生教育等に幅広く積極的に活用されますことを希望するものであります。

事業の推進に当たり、献身的ご協力を賜わっている定点医療機関の方々をはじめ、関係各位の皆様に対し、深く感謝の意を表するとともに、今後、一層のご協力を、お願いする次第であります。

昭和 61 年 3 月

厚生省保健医療局感染症対策室

熊 谷 富 士 雄

## 序

感染症サーベイランス事業は発足以来4年半の歳月を経て順調に発展を続け、ここに昭和59年事業年報を公表する運びとなった。昨年はまた検査情報英語版第1号も刊行され、国際的サーベイランスに対する協力に第1歩を踏出したのは一段の進歩である。

感染症は環境条件や生活様式の変化および住民の免疫度などの要因により絶えず変貌している。痘瘡のように消えていく病気もあるが、一方では薬剤耐性菌や変異株による疾患が増加し、あるいはAIDSやウイルス性出血熱などのように、地球の一隅に起こった危険な病気がたちまち全世界の問題になるという現状である。かくて、近年わが国では常在しなかった輸入感染症が次々と侵入し、土着する傾向がみられ、寸時も警戒の手を緩めることはできない。サーベイランス事業は、変貌する感染症に迅速適切に対応するためには平常時防疫が必須であるという考え方から、医療・試験研究機関および行政組織を動員して、全国的な感染症監視組織としてスタートしたものである。

この事業の特徴は、患者発生状況と病原体検査情報の両面から感染症をとらえて、総合的に解析し、治療・予防に必要な情報を速やかに全国的に還元するという点にある。対象疾患は既存の法令との関係もあり、現在は18疾患に限られているが、毎週発行されるサーベイランス情報には対象外の主要感染症情報も掲載されている。一方病原体検査については、本事業本来の目的に鑑み、上記疾患にとらわれることなく、環境微生物も含めて、主要病原体の動態を把握しようとする努力が続けられている。地方衛生研究所、検疫所、伝染病院および予研などの献身的努力と協力により、予算規模を遥かに上回る情報が収集され、病原体検出情報として毎月刊行されている。この月報は単なる検査成績集ではなく、患者情報と併せ解析した解説や内外の感染症情報を広く収載するなど、その時々の感染症の動きを総合的に紹介し、医療に、行政に多大な貢献をしてきた。

現在、対象疾患の再検討や病原体検査を支えるレファレンス体制の整備計

画も進められており、これらの構想が実現すれば、本事業も一層強化充実されると思われる。今後検査対象の拡充、あるいは関連事業との調整など重要な問題が残されているが、創成以来幾多の障壁を乗り越えて、本事業が確実に定着し伸長して来たのは関係者一同の喜びとするところである。これは偏に本事業を支えてきた医療機関や研究所あるいは衛生行政担当者などの献身的な御尽力の賜で、ここに衷心より謝意を捧げるとともに、さらに大きな目標－全感染症を包括する総合的感染症対策樹立に向かって前進されるよう祈って止まない。また、本報告および英文報告の編集に当られた各位に深甚なる謝意を表する。

昭和 61 年 3 月

中央感染症情報対策委員会

村田 良介

### 参考資料3 中央感染症情報対策委員会名簿

(アイウエオ順)

氏 名	所 属
井 上 裕 正	愛知県衛生研究所長
今 川 八 東	東京都立墨東病院感染症科部長
内 田 幸 男	東京女子医科大学教授
大 橋 誠	東京都衛生研究所微生物部長
大 谷 明	国立予防衛生研究所ウイルスリケッチャ部長
加 藤 貞 治	東京都世田谷区衛生部長
川 名 林 治	岩手医科大学医学部教授
木 村 三生夫	東海大学医学部教授
木 村 亮太郎	神奈川県衛生部長
小 酒 井 望	順天堂大学医学部附属浦安病院長
重 松 逸 造	(財) 放射線影響研究所理事長
宍 戸 亮	前国立予防衛生研究所長
平 山 宗 宏	東京大学医学部教授
村 瀬 敏 郎	(社) 日本医師会常任理事
○村 田 良 介	元国立予防衛生研究所長

### 中央感染症情報対策委員会 解析評価小委員会名簿

(アイウエオ順)

氏 名	所 属
今 川 八 東	東京都立墨東病院感染症科部長
大 橋 誠	東京都衛生研究所微生物部長
大 谷 明	国立予防衛生研究所ウイルスリケッチャ部長
金 井 興 美	国立予防衛生研究所副所長
○木 村 三生夫	東海大学医学部教授
平 山 宗 宏	東京大学医学部教授
宮 村 紀久子	国立予防衛生研究所ウイルス中央検査部 血清情報管理室長

○印は委員長

## 目 次

第 1	各疾病的動向	1
	<概 要>	1
1.	麻しん様疾患	6
2.	風しん	10
3.	水 痘	13
4.	流行性耳下腺炎	16
5.	百日せき様疾患	19
6.	溶連菌感染症	23
7.	異型肺炎	27
8.	乳児嘔吐下痢症	30
9.	その他の感染性下痢症	36
10.	手足口病	41
11.	伝染性紅斑	45
12.	突発性発しん	49
13.	ヘルパンギーナ	53
14.	咽頭結膜熱	57
15.	流行性角結膜炎	62
16.	急性出血性結膜炎	66
17.	細菌性髄膜炎	70
18.	無菌性髄膜炎	73
19.	脳炎・脊髄炎	78
第 2	病原体情報について	83
1.	情報収集システム	83
2.	集計の概要	85
	(1) 細 菌	85
	(2) ウィルス(リケッチア、マイコプラズマを含む)	89
第 3	患者情報集計	97
1.	全国・週別・疾病別報告数	97
2.	都道府県別・疾病別年間報告数	100
3.	ブロック別・疾病別年間報告数	106
第 4	病原細菌検出成績	109
1.	病原細菌検出状況総括、由来ヒト、1983年	109

2.	病原細菌検出数の月別集計、由来ヒト、1983年	111
2 - 1	地研。保健所	111
2 - 2	医療機関	113
2 - 3	検疫所	115
2 - 4	都市立伝染病院	116
3.	病原細菌検出数の報告機関別集計、由来ヒト、1983年	118
3 - 1	地研。保健所	118
3 - 2	医療機関	123
3 - 3	検疫所	125
4.	検出サルモネラの菌型分布、1983年	126
4 - 1	全国集計(地研。保健所)	126
4 - 2	全国集計(医療機関)	130
4 - 3	報告機関別集計、由来ヒト(地研。保健所)	131
4 - 4	報告機関別集計、由来ヒト(医療機関)	143
4 - 5	報告機関別集計、由来動物(地研。保健所)	147
4 - 6	報告機関別集計、由来食品(地研。保健所)	148
4 - 7	報告機関別集計、由来環境(地研。保健所)	150
5.	検出チフス菌、パラチフスA。B菌のファージ型分布、由来ヒト、1983年	157
5 - 1	検出チフス菌の月別ファージ型分布	157
5 - 2	検出パラチフス菌の月別ファージ型分布	157
5 - 3	検出チフス菌の都道府県別ファージ型分布	158
5 - 4	検出パラチフス菌の都道府県別ファージ型分布	159
6.	検出A群レンサ球菌の菌型分布、由来ヒト、1983年	160
6 - 1	月別全国集計(地研。保健所)	160
6 - 2	月別全国集計(医療機関)	160
6 - 3	報告機関別集計(地研。保健所)	161
6 - 4	報告機関別集計(医療機関)	162
第5	ウイルス検出成績	163
1.	検出月別、由来ヒト、1983年	163
2.	感染年齢、由来ヒト、1983年	164
3.	検体の種類、由来ヒト、1983年	166
4.	臨床症状、由来ヒト、1983年	167
5.	検出方法、由来ヒト、1983年	168
6.	検体採取の理由、由来ヒト、1983年	169

	7. 検体提供者の住所(県・政令市)、由来ヒト、1983年	170
第 6	感染症サーベイランス事業の実施について……局長通知	173
	(感染症サーベイランス事業実施要綱)	174
第 7	感染症サーベイランス事業検査指針	187
第 8	感染症サーベイランス事業の実施について……課長通知	191
	(感染症サーベイランス事業対象疾病解説書)	193

## 第 1 各 疾 病 の 動 向

## 第1 各疾病の動向

### 概 要

感染症サーベイランス事業開始以来3年半を経過し、年間集計も3年分をまとめられるようになった。昭和59年の本報告は、59年1月1日から59年12月29日までの52週間に各定点医療機関からの報告集計である。この期間に、患者定点からは週平均2,098機関より、眼科定点は240機関、病院定点は413機関より報告が寄せられた。この定点数は患者定点、病院定点は前年よりやゝ増加、眼科定点はやゝ減少しているが、全体としては大きくは変っていない。図1に昭和57、58、59年の3年間の平均定点数、各疾病の年間報告数および、1定点当り年間報告数を示す。

59年の主な動向は、ワクチン開始以来減少していた麻しんが全国的な流行を起こしたこと、異型肺炎が予想通り4年目の流行をみたことおよび、7月にヘルパンギーナが例年になく大流行をしたことがあげられる。眼科疾患ではアデノウイルス感染症として咽頭結膜熱および流行性角結膜炎が、前年をかなり上回る発生となり、また、急性出血性結膜炎も7月に大きなピークを作った。これに対して、風しんは57年の大流行の後、次第に減少傾向をみせ、百日せきも改良ワクチンの普及を反映して前年の約半数に減少した。また、最近は毎年のように流行する手足口病も59年は小流行に留まった。

麻しんは、昭和53年に定期予防接種が開始されて以来、次第に減少していくが、58年末の増加傾向に続いて、59年は4、5月まで急激な増加を続け、第19週（5月第2週）をピークとする（北海道を除く）全国流行を來した。その年間報告数は約12万、一定点当り58人と、57、58年の約2倍の発生となった。この流行の要因は、麻しんワクチンの接種率がまだ70%程度であるため、感受性者が次第に蓄積していく結果と考えられ、さらに接種の向上を図ることが望まれた。

風しんは57年の大流行の後、58年、59年と減少をみたが、一部の地域で多発をみたところもある。とくに九州南部、沖縄に多く、これは、流行の山が全国流行よりも遅れ、58、または59年におこったことと関連している。北海道では、57年に流行をみなかったが、59年末には札幌市で増加傾向が明らかで、次年度での流行が注意された。

水痘は定期的な動きを示し、秋には最低で、年末に向けて急上昇し、1月から7月までは高いレベルの発生が続くというパターンをとる。1年おきにその発生数は増減し、58年は多い年であったが、59年は少ない方の年に当たっている。一定点当り年間発生数でみると58年の127人に対して59年は、109人で、前年より約16%少ない程度である。

流行性再下腺炎は57年に流行の山をみたが、その後、徐々に低下し、59年はじめには最低となった。その後、東北、関東甲信越では夏に向ってやゝ増加傾向があり、秋に一辺低下したが、年末までさらに増加傾向が続き、翌年の流行が予測された。

百日せきは昭和50年にワクチンの一時中止があり、54年をピークとする全国流行があったが、その後は減少傾向をみせている。57、58年はいくつかの県でかなりの多発をみたところもあったが、59年には少なくなり、一定点当り報告数も59年は5.5人と、57,58年に比べて半減した。これは、56年秋から改良DPTワクチンが導入され、接種率が上昇したことが、効果を現わしてきたものとみることが

できる。

溶連菌感染症も全国平均では定型的なパターンを示し、4月頃にやゝ減少するが、7月まで中等度の発生が続き、8月に最低となった後、9月から上昇に転じ、12月に最高の発生を示す。このパターンは59年もほぼ同様にみられた。

異型肺炎は59年は大きな流行を起こし、一定点当たり報告数も57年の6人、58年の10人にくらべて59年は28人と3-4倍の発生となった。この流行は後半からはじまり、10月から増加傾向が著明になり、59年に入ってからは第31週(8月第1週)のピークにまで急増した。このピーク時の報告数は一定点当たり0.88人と、57年の週当たり平均0.12人の約8倍の発生である。その後発生はやゝ低下をみたが高い発生率は年末まで持続した。

乳児嘔吐下痢症、その他の感染性下痢症は12月-1月に急峻なピークを作る定型的なパターンをとつており、59年も同様の発生がみられた。一定点当たり年間報告数でみると乳児嘔吐下痢症は58年63人、59年62人と変わらないが、その他の医学性下痢症は、58年の127人に対して59年は140人と幾分増加している。

手足口病は少ない年であった。定点当たり年間報告数も57年の73人、58年40人に対して59年は27人であったが、7月のピークの後、秋に低下はしたもの、少數の発生が年末まで持続した。患者からのウイルスはコクサッキーA群16型および10型が多数分離されている。

伝染性紅斑は56年に全国的な流行をみた後57年前半までは余波が残っていたが、58、59年は定点当たり年間報告数も、それぞれ5人、4人と少ない発生であった。その発生は、年末に増えはじめ、春から夏までそれが続き8月から10月まで最低となるパターンを示している。

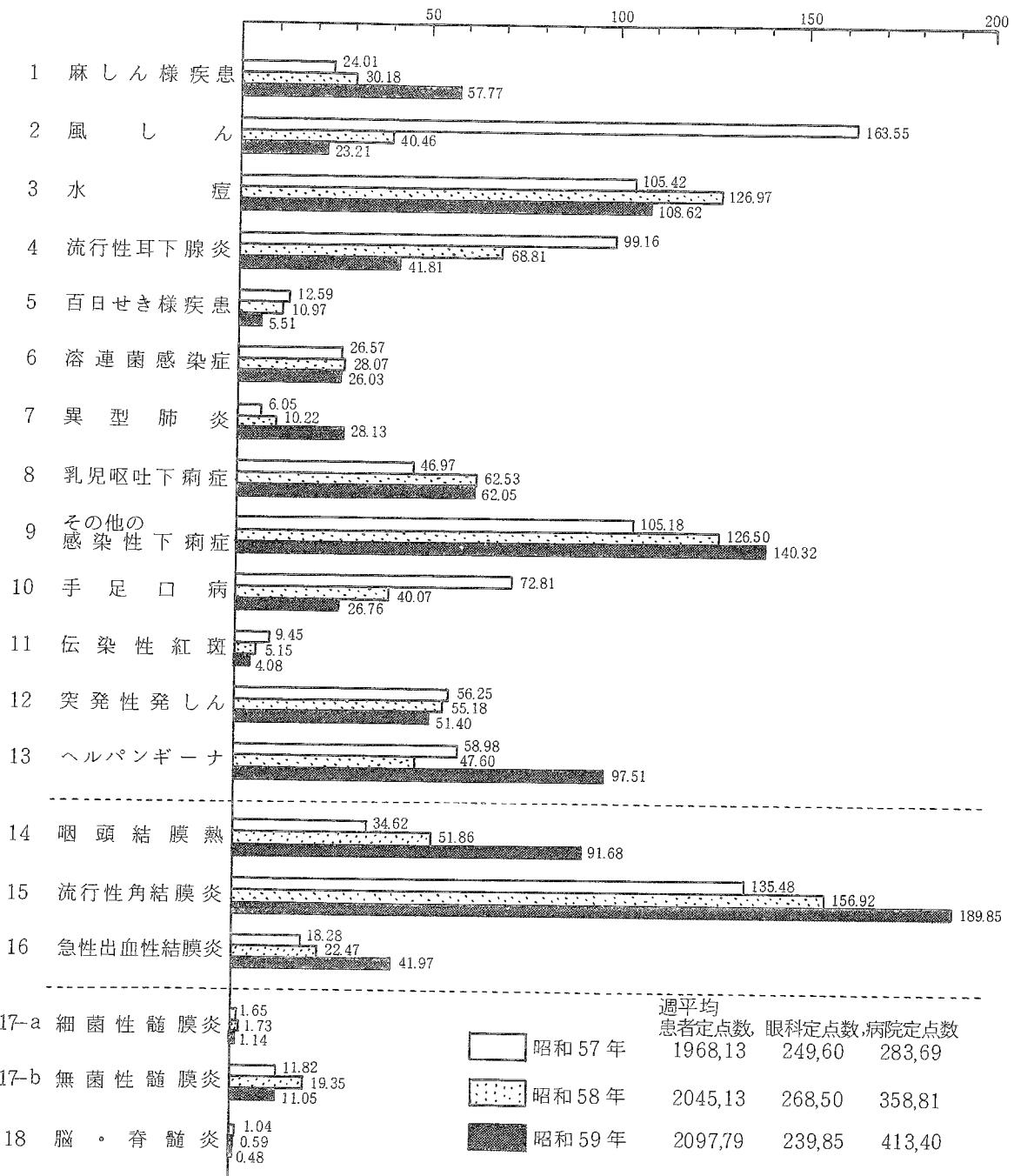
突発性発疹も定型的なパターンをとり、冬にやゝ少なく、夏にやゝ多い傾向を示すものの大きな変りはなく、年間を通じてみられる。定点当たり発生数も57年56人、58年55人、59年51人とほとんど変わらない。

ヘルパンギーナは毎年5月から増えはじめ7月をピークとする発生をみるが、59年には著るしく高いピークを作り、定点当たり年間報告数も98人と、57、58年の約2倍の発生をみた。ピーク時の第27週(7月第1週)は定点当たり12.3人で、57年4.6人、58年3.6人の約3倍の発生であった。この患者からのウイルスはコクサッキーA群10型が優位に分離された。

眼科疾患のうち、咽頭結膜熱と流行性角結膜炎は4月頃から次第に増加し、8月にピークとなるパターンをとるが、59年の発生は多かった。咽頭結膜熱は、定点当たり年間報告数は59年92人と、57、58年の約2倍近い発生で、流行性角膜炎も59年は190人と前年の約20%増であった。これはアデノウイルス3型は昨年なみであったが、4型と8型が増えたことと関連するものであろう。

急性出血性結膜炎は、29週をピークとする大きな流行が宮崎、鹿児島でみられ、10月以降も長崎、沖縄で流行があり、その結果定点当たり報告数も59年は42人と、57、58年の約2倍を示した。

病院定点からの報告では細菌性髄膜炎は、一病院当たり年間1.14人と57、58年のそれぞれ1.65人、1.73人より幾分少ない。無菌性髄膜炎は、58年は一病院当たり19人と多かったが、59年は11人と57年なみの発生であった。脳脊髄炎も一病院当たり0.48人と昨年なみの少ない報告であった。



感染症サーベイランス事業(昭和59年)における各疾病的患者発生状況(一定点医療機関当たりの発生数)

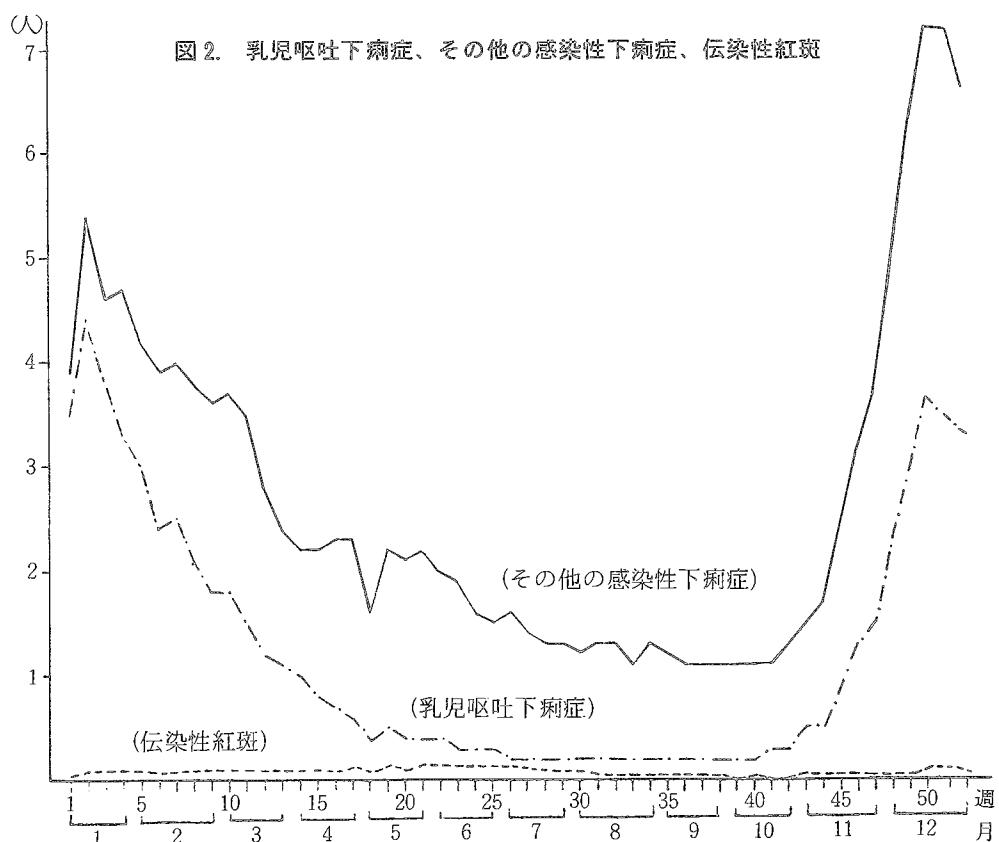
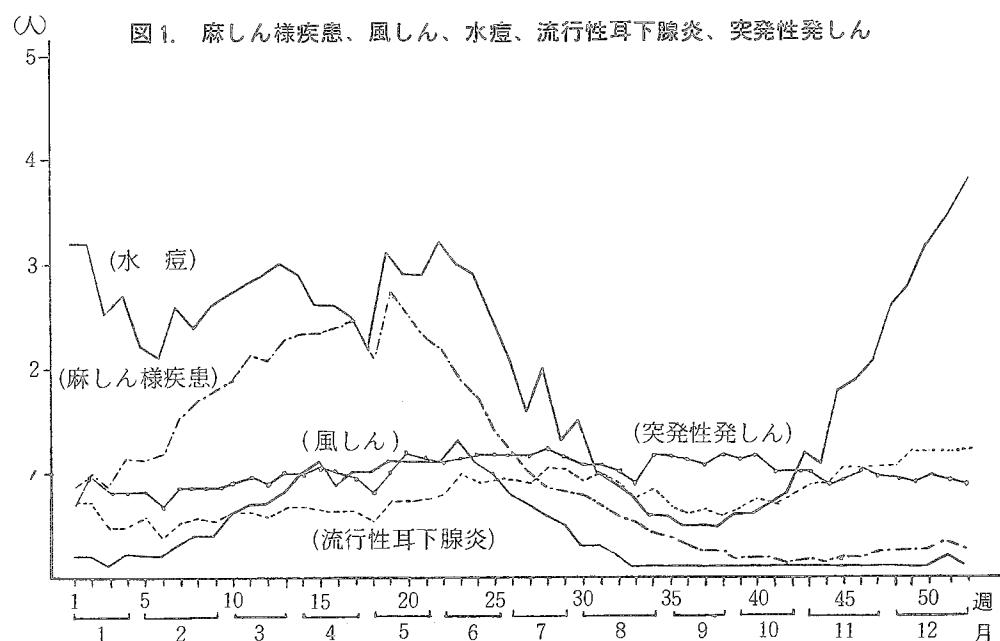


図3. 手足口病、ヘルパンギーナ、咽頭結膜炎、流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎

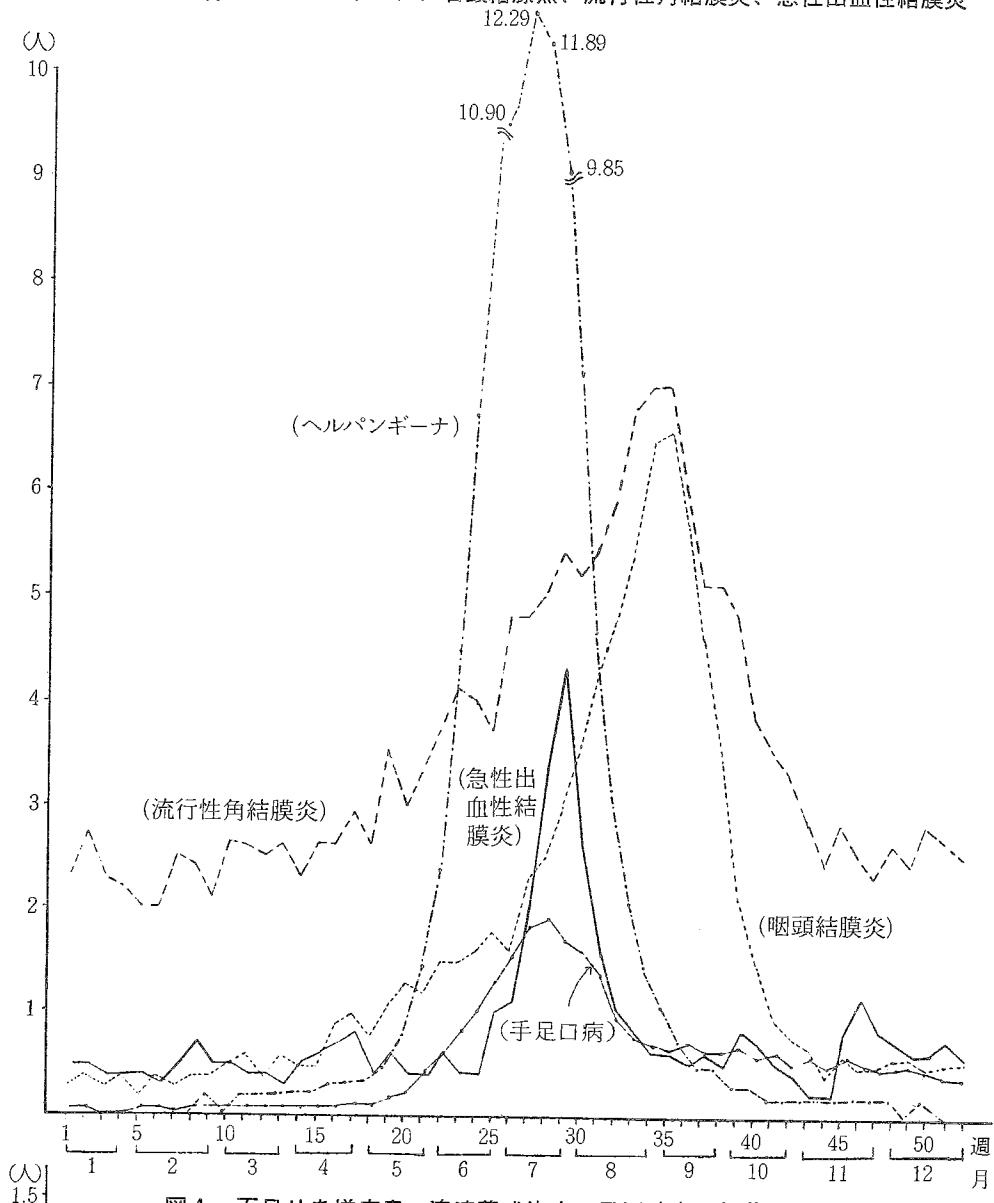
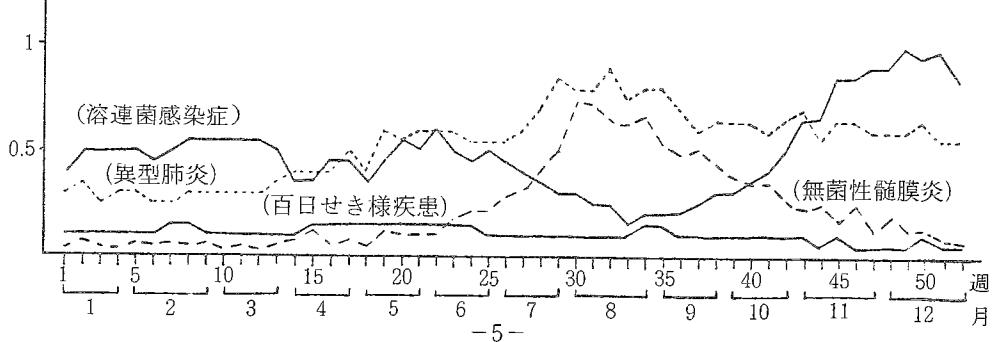


図4. 百日せき様疾患、溶連菌感染症、異型肺炎、無菌性髄膜炎



## 1 麻しん様疾患

麻しん様疾患は、ウイルス学的確定診断を欠いても、臨床診断のみで麻しんと考えてよい現状である。昭和59年の全国的発生状況は図1-1に示すごとくであった。すなわち、昭和57年、58年の2年間は春先の多発時期でも1定点当たり各週の患者数が1.0によく達した程度の発生状況であったのに、58年12月初旬から増加の兆しをみせはじめた患者数は59年に入ってから第4週には1を越えて増加を続け、4月から5月にかけてピークに達して2.5を越える流行となってしまった。

(第18週の低下と19週の増加はゴールデンウィークの影響と考えられる。) この流行は7月に入つて1を下廻り、8月には終焉した。58年には一定点当たり年間患者数約30であったのに対し、59年には約58であり、前年比約2倍の流行であった。患者発生状況をブロック別にみると図1-3のごとくで、北海道を除いて各地に流行があり、流行の山は南・西が早く、九州、沖縄、中国、四国では2月から流行がはじまって3月にはピークに達しており、東北は5月～6月にピークに至っていた。

都道府県別に、一定点当たりの年間平均患者数をみると図1-4のごとくで、58年の同様の図と比較すると、58年に60人以上の多発をみた県のうち、北海道と愛媛県では59年に流行を認めず、青森、宮城、滋賀、高知、大分、熊本、宮崎では2年連続して多発していた。59年に多発しなかったのは上記北海道、愛媛のほか、新潟、石川、長野の各県のみでこの年の麻しんは全国的流行であったといえる。

59年の麻しん患者を年齢階級別にみると、図1-2のごとくで、下表にまとめたように小中学生年代で前年までに比し多発の傾向がみられた。

年齢階級		昭和57年	58年	59年
5～9歳	例数 (%)	8,687 (18.4)	11,494 (18.6)	25,115 (20.7)
10～14歳	例数 (%)	988 (2.1)	1,437 (2.3)	4,718 (3.9)

麻しん予防接種が昭和53年以降定期接種になっているにもかかわらず、59年にかなりの規模の流行をみた理由は、次のとく考えられる。

- ① 定期接種開始前に3歳をこえてしまっていた小児には予防接種を受ける機会がなかった者も多く、しかも最近麻しんの大きな流行がなかったため感染の機会も少なく、このような感受性者が小、中学生の中に蓄積されていた。今回の流行はこれら小、中学生の間から流行がはじまり、地域内の乳幼児に及んだと考えられる状況が各地から報告されている。
- ② 麻しん予防接種率は70%前後にとどまっているが、麻しんのごとく伝染力が強く、不顕性感染のない疾患では、少くとも90%の接種率が保たれないと流行は止められないとされる。すなわち現状の接種率は不十分である。麻しん接種率が70%程度に低迷している理由は、現行の1歳～2歳は熱性痙攣の好発年齢であることもあって、禁忌者が多いこと、流行がはじまると接種前に罹患者が多くなってしまうこと、そして市町村によっては経費の一部を自己負担としているが比較的高額であること、などがあげられよう。今後接種率向上のための工夫をして、再度の流行を予防していきたい。

図1-1 全国一定点医療機関当り患者発生数の推移

Weekly reported cases of measles per reporting clinic, Japan, 1982-1984.

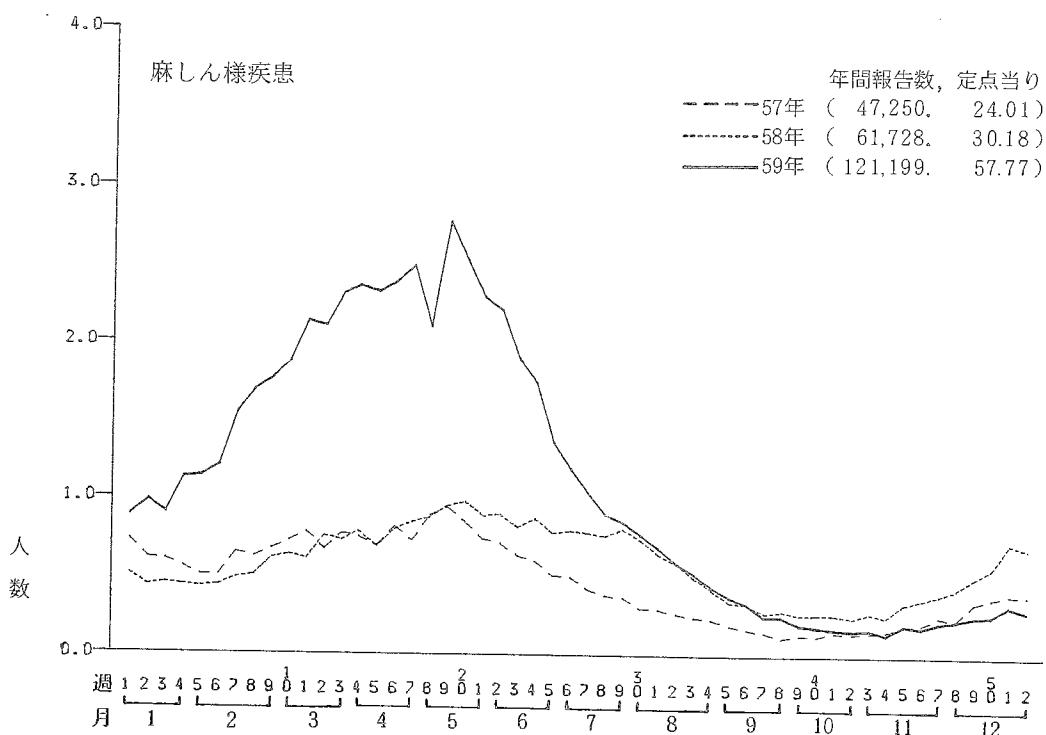


図1-2 年令区分別患者発生状況

Age distribution of reported cases of measles, Japan, 1984.

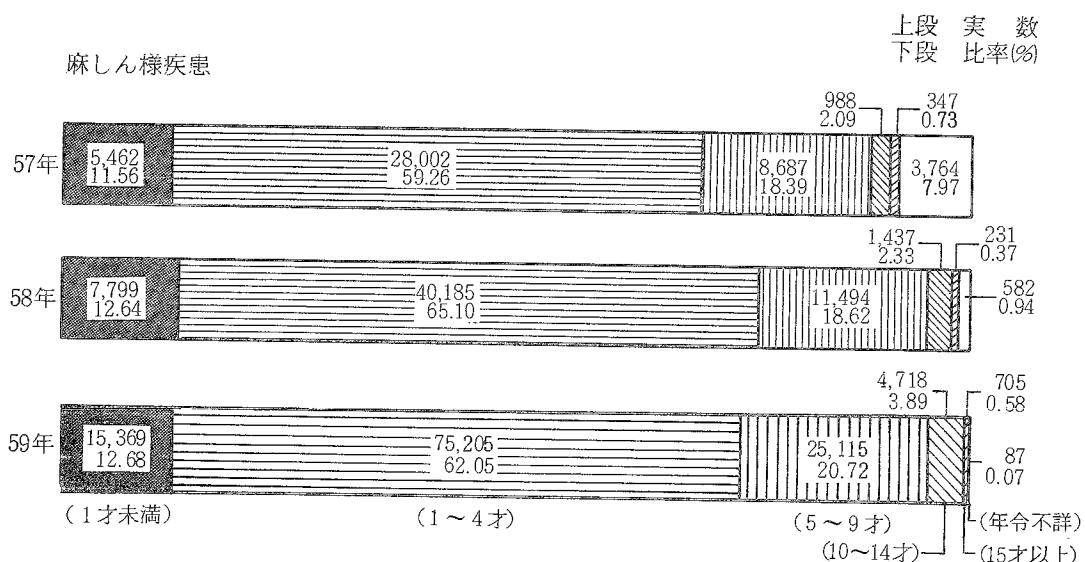


図1-3 ブロック別一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Weekly reported cases of measles per reporting clinic, by geographical area, 1984.

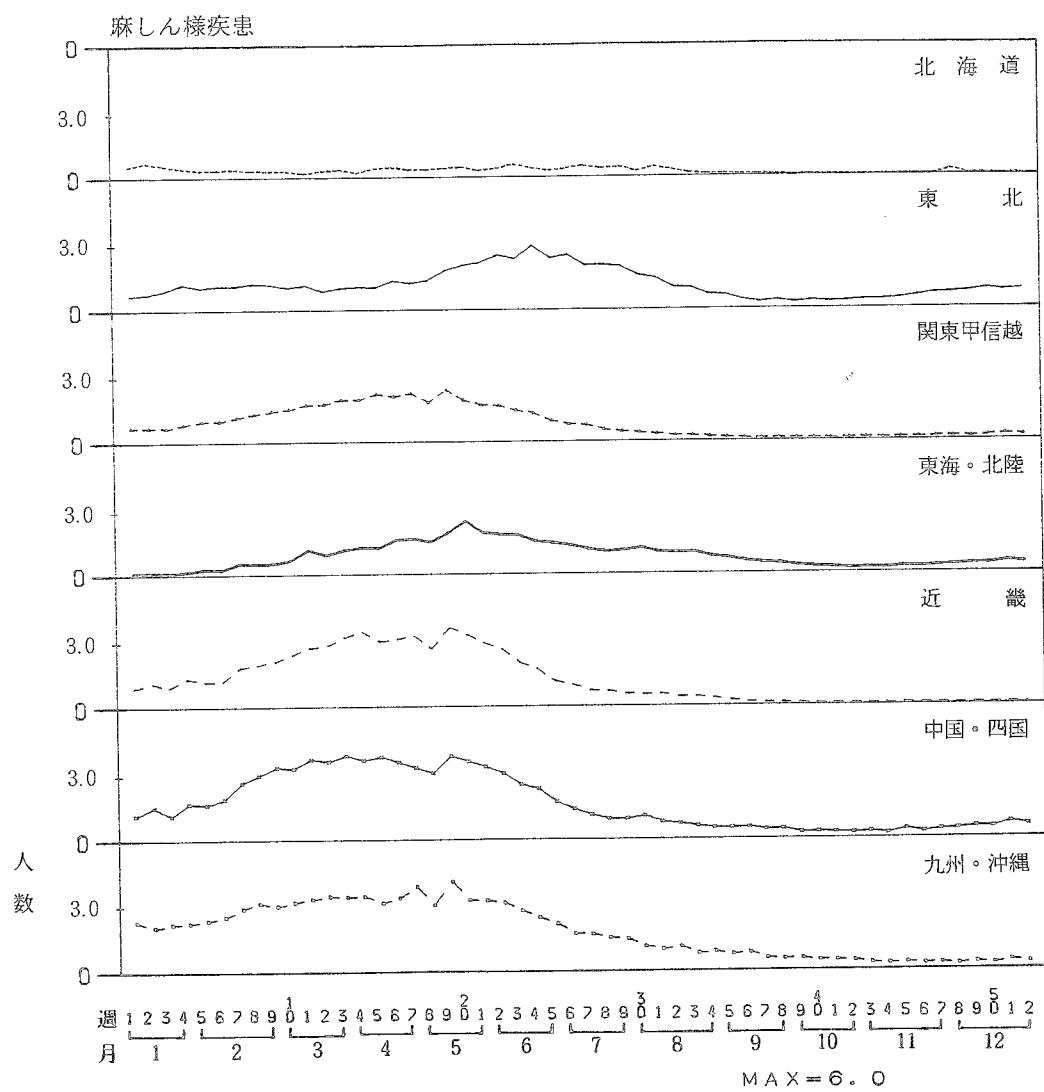
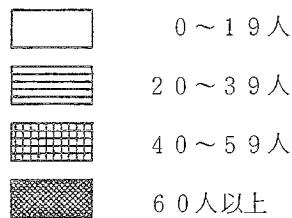


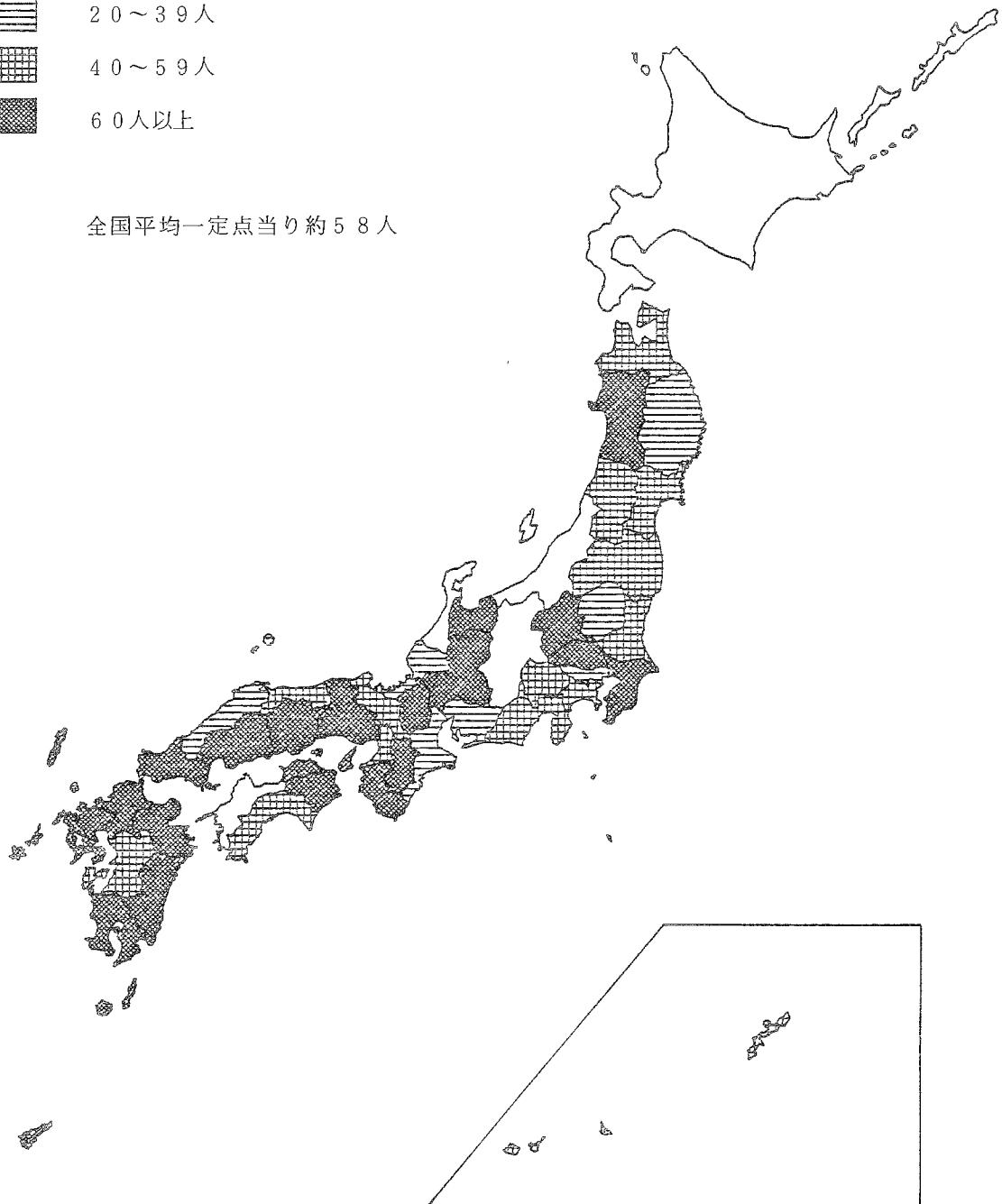
図1-4 地域別一定点医療機関当たりの年間平均患者発生状況

Incidence of measles per reporting clinic, by prefecture, 1984.

麻しん様疾患



全国平均一定点当たり約58人



## 2 風しん

昭和57年に全国的な流行があって、定点当たり年間報告数164人、ピーク時の第19週には定点当たり9.3人の報告があったが、58年には、それぞれ40人、26人、59年には23人、1.3人と減少した。しかし、地域的にはかなりのちがいがある。ブロック別にみると、東北、関東甲信越、東海北陸および中国四国では、上記の全国平均と同様に57年のピークから次第に減少するパターンを示しているが、近畿では57年の定点当たり年間報告数は64人と低く、58、59年もそれぞれ17、19人に留まっている。北海道では57年に流行がなく、58年にも認められなかったが、59年は11月～12月にかけて札幌市で増加がみられ、60年の流行を予測させた。九州沖縄ブロックの59年定点当たり年間報告数は64人と、全国平均の3倍近い発生がみられたが、これは宮崎県、鹿児島県、沖縄県の動きが大きく関係している。宮崎県、鹿児島県では、定点当たり年間報告数は58年にピークがあって、それぞれ227人、160人を示し、その翌年ということで、59年もそれぞれ158人、111人と多数の患者が発生した。沖縄県では定点当たり年間報告数は57年70人、58年60人であったが、59年に141人と流行のピークが全国平均よりずれている。都道府県別には、図のごとく、前述の県以外に青森、茨城、群馬、がやや多く、静岡、島根、愛媛、大分で全国平均の2倍以上の発生がみられた。

最近の風しんの流行は、北海道、沖縄では、明らかに本州と異なる動きを示し、宮崎、鹿児島では流行のピークが1年遅れ、近畿では県により相違があるが、ばらばらの小流行がみられているほかその他の一斉に流行を起こした地域でも、散発的小流行を認めている。このことは、以前に考えられていたほどには、流行期、間歇期の区別が明確なものではないことを示すものであり、風しん対策にあたっては、風しんはいつでも起こりうるという観点から対処すべきであろう。

罹患年令は、5～9才が40.36%、1～4才が36.14%とこれに次ぎ、10～14才が12.31%と、この分布は58年とほぼ同様であるが、57年の流行期にくらべると5～9才が幾分減り、その分だけ1～4才が増えたようである。何れの年でも15才以上が6～7%に認められていることは風しん対策上留意すべきである。

図2-1 全国一定点医療機関当たり患者発生数の推移  
Weekly reported cases of rubella per reporting clinic, Japan, 1982-1984.

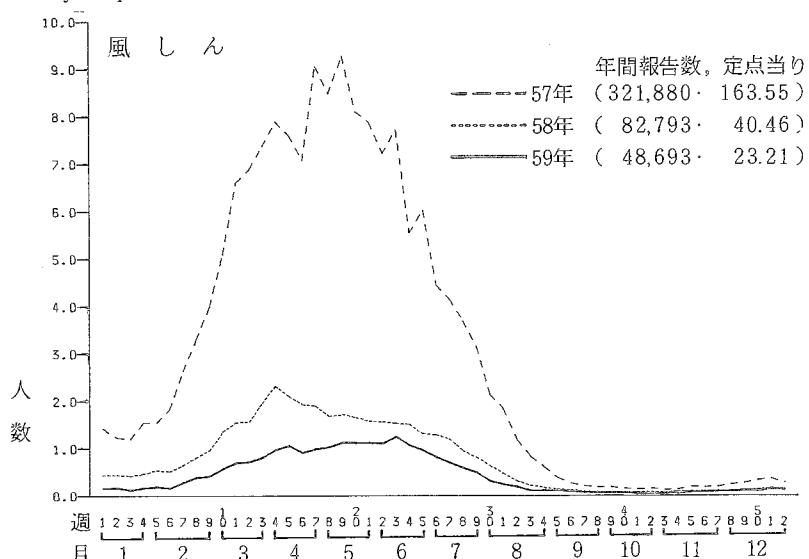


図2-2 年令区分別患者発生状況

Age distribution of reported cases of rubella Japan, 1984.

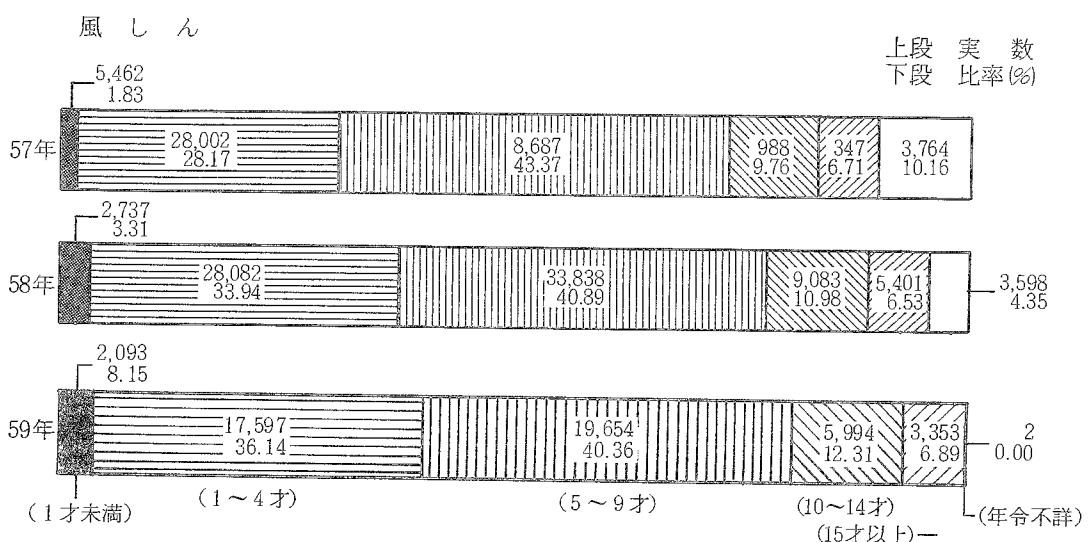


図2-3 ブロック別一定点医療機関当り患者発生数の推移

Weekly reported cases of rubella per reporting clinic, by geographical area, 1984.

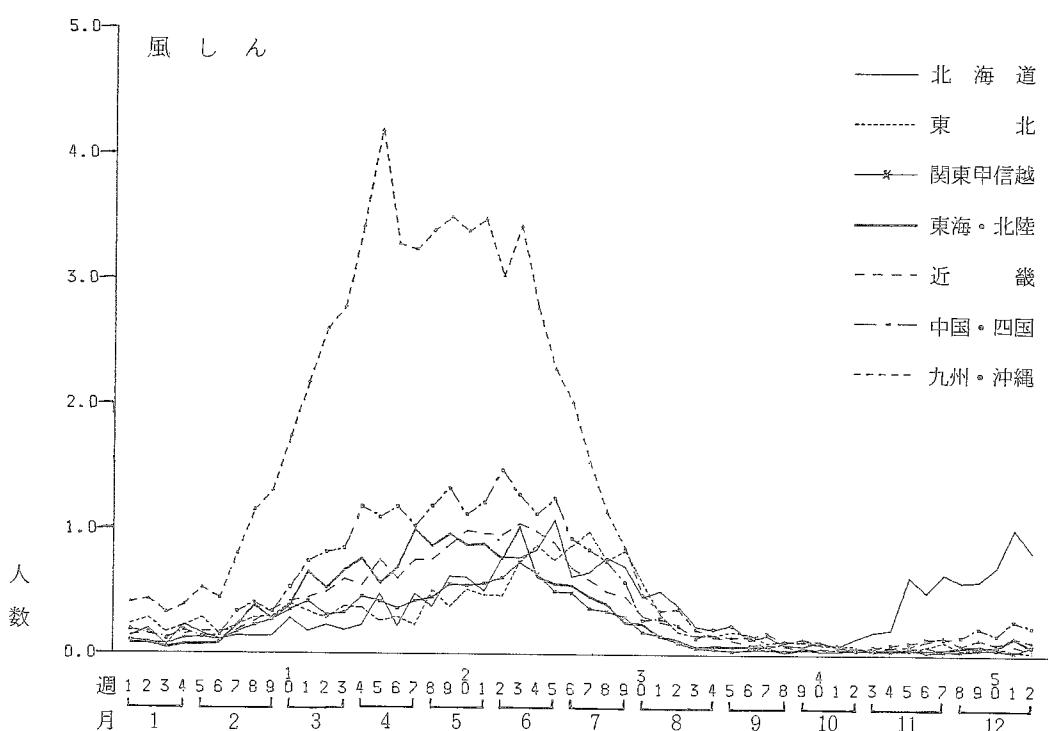
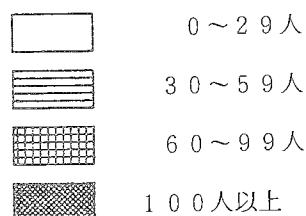


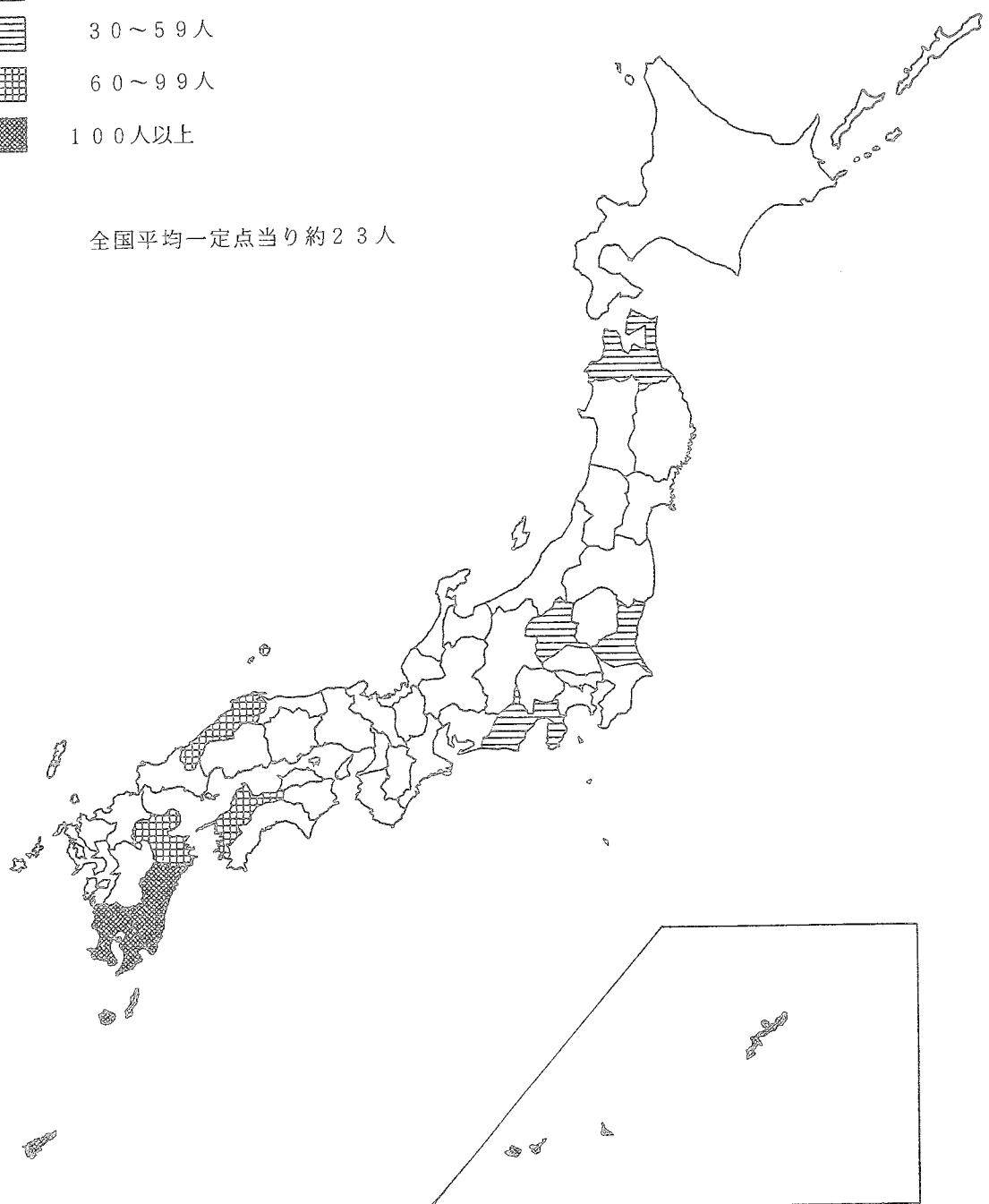
図2-4 地域別一定点医療機関当たりの年間平均患者発生状況

Incidence of rubella per reporting clinic, by prefecture, 1984.

風しん



全国平均一定点当たり約23人



### 3 水 痘

水痘はかねてから注目されているように、伝染力が強く、不顕性感染が少ない小児伝染病のうちで、予防接種が実用されておらず、自然の流行のパターンを維持していると考えられる。昭和59年も57年、58年と同様に、前年の11月ごろから増加しはじめ、6月ごろまで流行し、夏休みのはじまる7月末ごろから減少し9月に最低となる状況をくりかえしている。図3-1に示すごとく、59年は57年と58年の中間の発生状況で、年間の1定点当たり症例数は58年の約127よりやや少ない109ほどであった。ただし年末の発生は多く、60年の流行状況が懸念される。

ブロック別には図3-3のごとく、流行のおさまる時期が西。南日本でやや早い傾向をみるもの、地域による差は少ない。都道府県別には59年は、北海道、岩手が少なく、東京、名古屋、阪神という大都会周辺も少なかったこと、前年に引きつづき新潟、石川、岐阜、岡山、奈良の各県が少なかったことが目立つが、特定の流行の傾向は認め難かった。

年齢階級別には、57、58年と大差なく、1~4歳が過半数をしめた。なお他の疾患にも共通することだが、年齢不明の症例の減少してきているのは、医療機関の協力の賜であって有難いことである。

図3-1 全国一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Weekly reported cases of chickenpox per reporting clinic, Japan, 1982-1984.

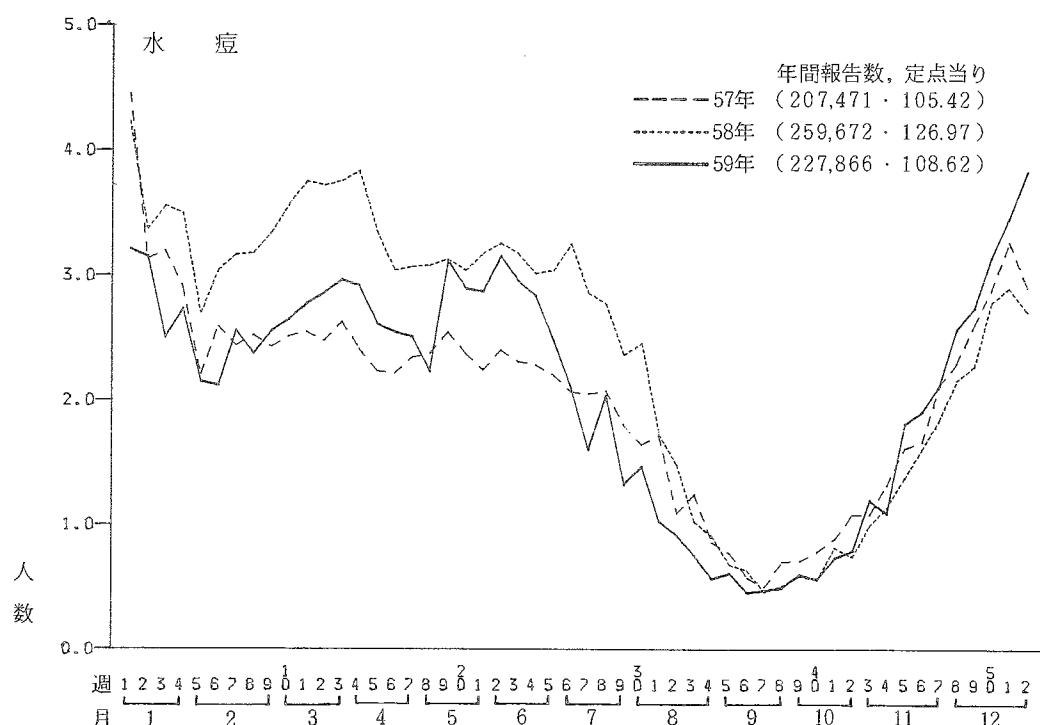


図3-2 年令区分別患者発生状況

Age distribution of reported cases of chickenpox, Japan, 1984

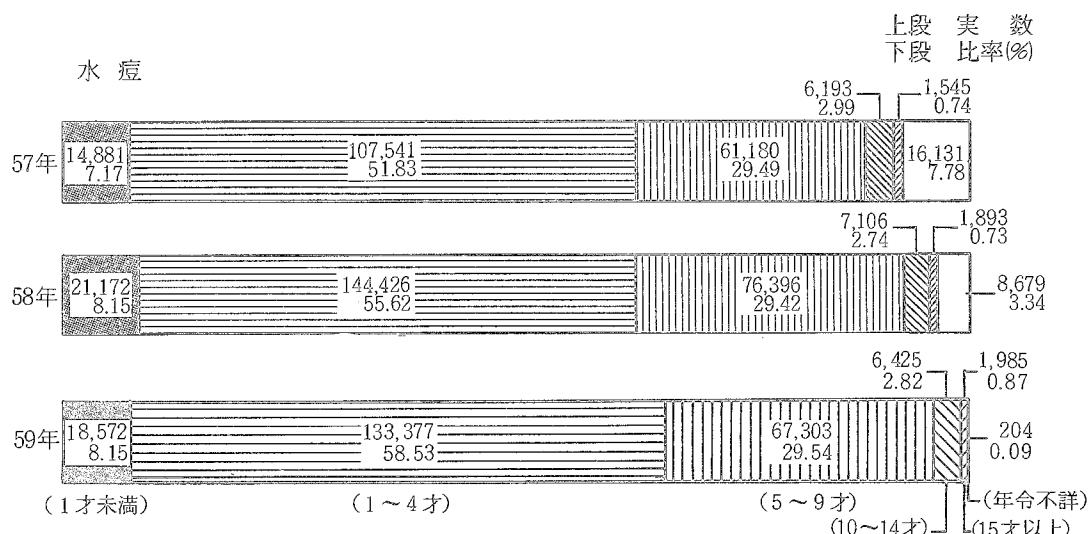


図3-3 ブロック別一定点医療機関当り患者発生数の推移

Weekly reported cases of chickenpox per reporting clinic, by geographical area, 1984.

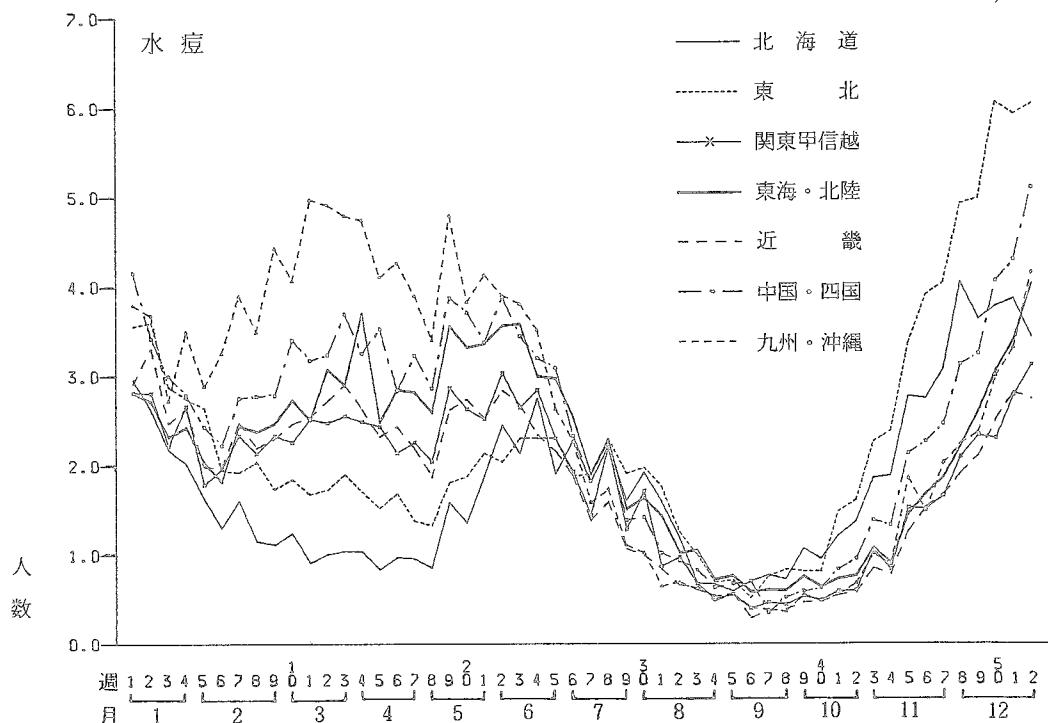


図3-4 地域別一定点医療機関当たりの年間平均患者発生状況  
Incidence of chickenpox per reporting clinic, by prefecture, 1984.

水痘



0 ~ 99人

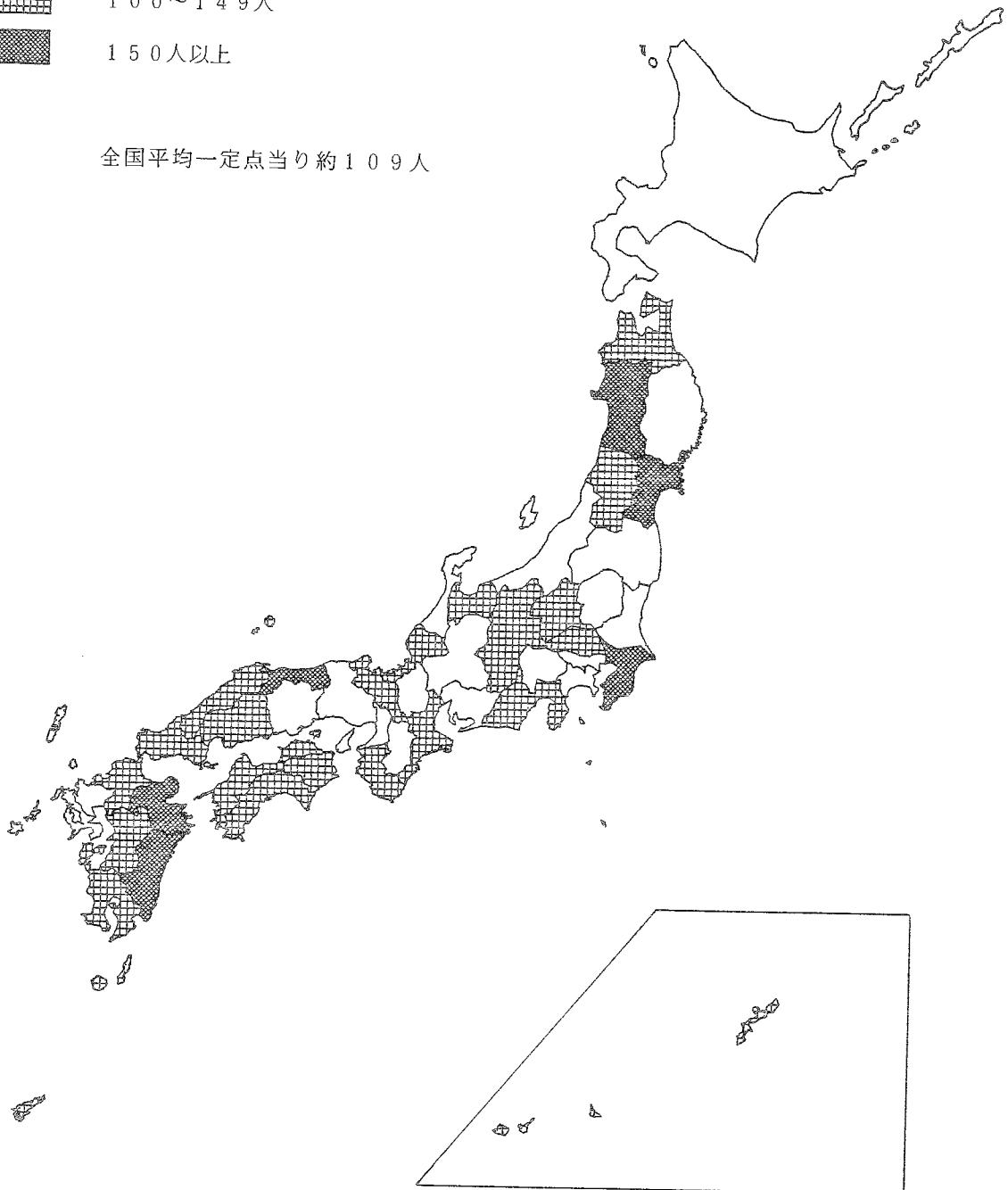


100 ~ 149人



150人以上

全国平均一定点当たり約109人



#### 4. 流行性耳下腺炎

流行性耳下腺炎は2.5～3年あるいはそれ以上の間隔で流行がみられるという。本サーベイランスでは56年から57年にかけて増え、以後減少した様子がみられている。定点当り年間報告数では57年99人に対して、58年は68人、59年は42人で、週別報告数では、59年のはじめ頃が最低で、次第に増加に転じ、9月に幾分低下したものの年末にむけて増加の傾向が続き60年の流行を予測させている。

ブロック別にみると、東北、関東甲信越のみが初夏から増えはじめ、9月にやや下ったが、10月から12月にかけて急増を見せ、定点当り年間報告数も全国平均の42人に対してそれぞれ63人、50人と他のブロックの約2倍の発生であった。その他のブロックでは、年間を通じてほぼ同じレベルの低い発生であった。

都道府県別には、図のごとく東北、関東甲信越に発生の多い県が多く、その他、東海北陸の富山、長野、静岡に多く、その他では和歌山、島根のみが患者発生が多かった。

罹患年令は1～4才48.93%、5～9才43.77%で、1～9才が90%以上を占め、1才未満は、0.97%と非常に少ない。この状況は57、58年ともほぼ同じである。

図4-1 全国一定点医療機関当り患者発生数の推移

Weekly reported cases of mumps per reporting clinic, Japan, 1982-1984.

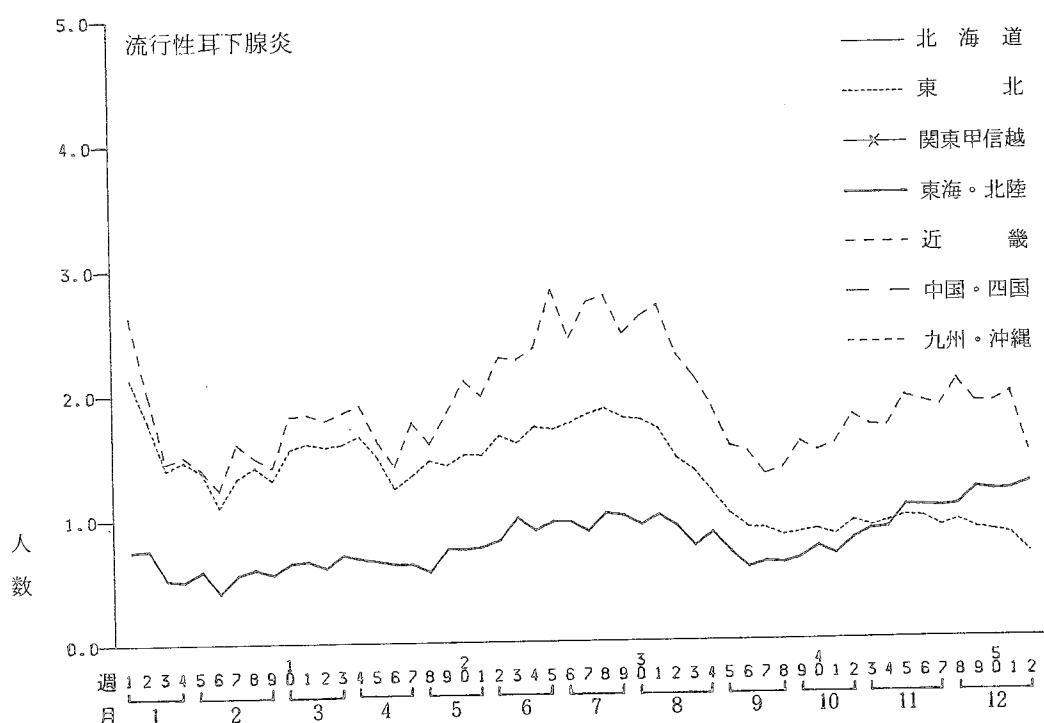


図4-2 年令区分別患者発生状況

Age distribution of reported cases of mumps Japan, 1984.

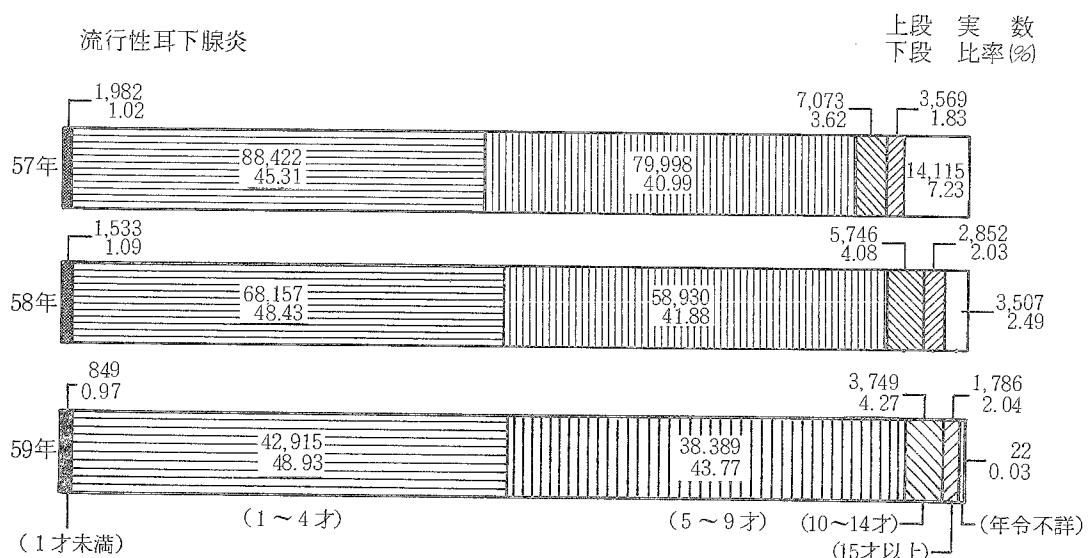


図4-3 ブロック別一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Weekly reported cases of mumps per reporting clinic, by geographical area, 1984.

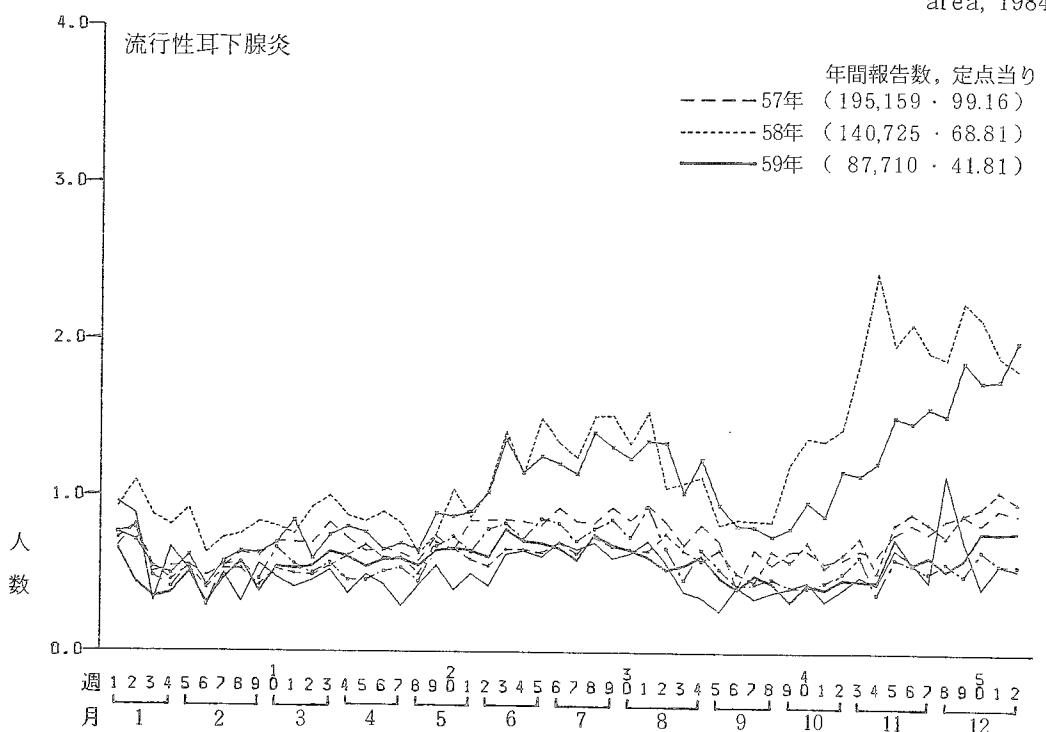
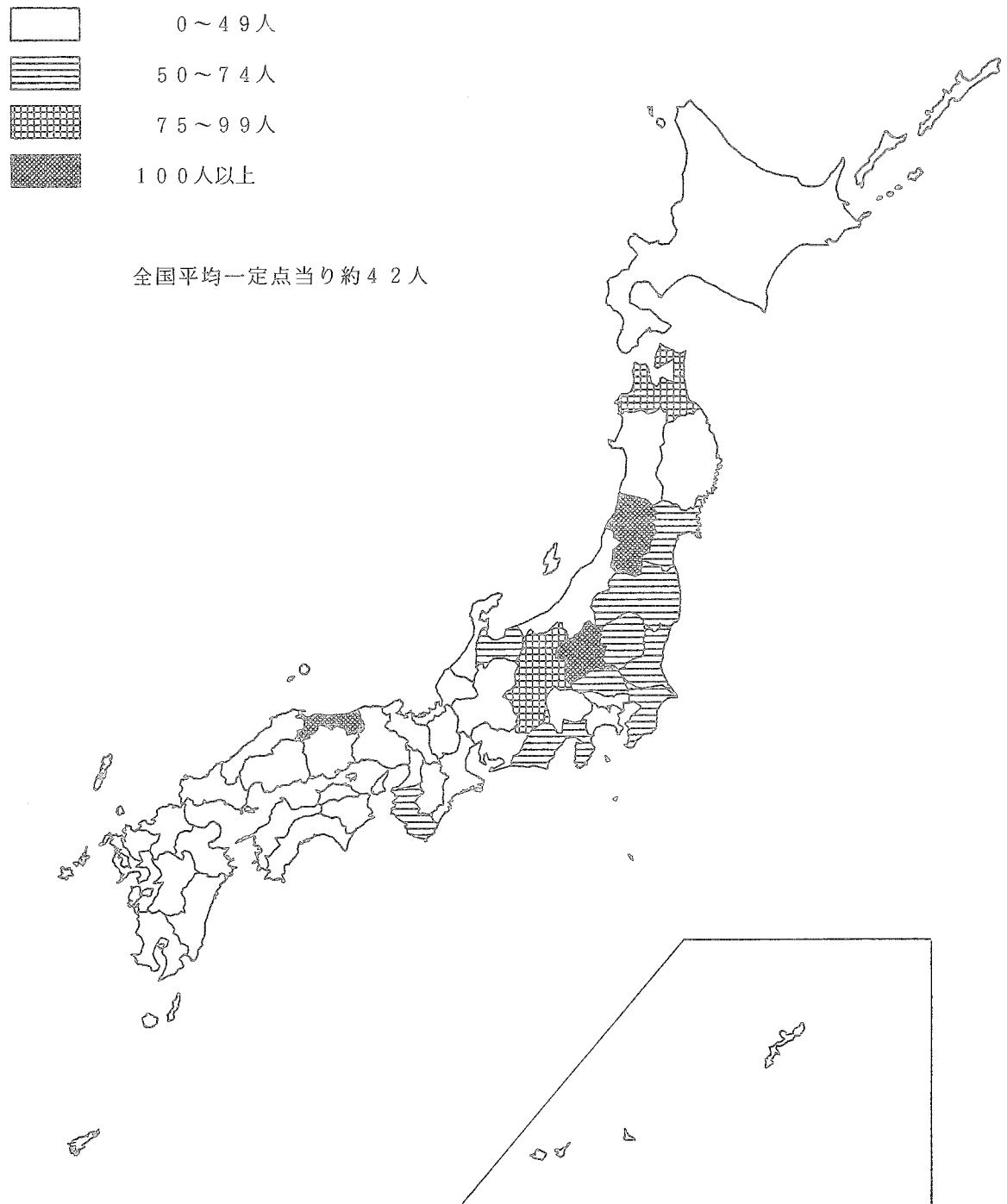


図4-4 地域別一定点医療機関当りの年間平均患者発生状況  
Incidence of mumps per reporting clinic, by prefecture, 1984.

流行性耳下腺炎



## 5. 百日せき

百日せきは、昭和59年は全国平均で、定点当り年間報告数は5.5人となり、57年の12.6人、58年の11.0人に比べ半減した。ピーク時の発生も59年は第16週の0.17人で、57年0.36人、58年0.33人の約 $\frac{1}{2}$ である。

百日せきは、昭和50年のワクチン一時中止、接種開始年令の2才以降への引上げ、DPT三混の替りにDT二混を使用した地域も多かったこと等から急増し、54年をピークとする全国的な流行をみた。その後DTを使用していたところも次第にDPTに切りかえ、56年秋からは改良DPTが導入され、接種率も向上していった。昭和50年からの予防接種の動きから、2才未満の小児は免疫はなく、DTのみの接種を行っていた地域では、2才以上の年令の小児も感受性のまま残され、流行の素地を作った。なかには、56年の改良ワクチン導入までDTの接種を続けたところもあり、これらの地域では56年から2才児に改良DPTを開始したものの、それ以上の年令の小児は感受性のまま残されたのである。これらの影響は58年頃まで続き、患者の多発した地域も多かったのであるが、改良DPTへの切替え、接種率の向上の効果が次第に現われ、ようやく、59年に至って患者報告数の明らかな減少をみるようになったと考えられる。

ブロック別にみると、59年は九州沖縄ブロックが定点当り年間報告数11.8人で、その他のブロックが3～6人であるのにくらべて2～3倍多い。九州は長崎が9.5人の他はすべての県が10人以上の発生で、宮崎は20.5人を示した。福岡は県が10.3人、北九州市は10.6人であるが、福岡市のみが7.0人である。九州沖縄ブロックは57年の発生も25人と多かった。58年は13人に減少したが58年から59年にかけてあまり減っていない。

その他の地域では、定点当り年間報告数が10人を超えたのは静岡県の12.5人のみで、それ以外では青森8.9人、愛知9.7人、岡山9.4人、徳島8.6人、高知8.9人が目立った。

罹患年令は、1才未満が29.7%で1～4才が53.5%、5～9才13.9%で、57～58年と比べると1才未満の増加、5～9才の減少傾向がみられる。最近の別の報告では、罹患年令は2才未満が約 $\frac{2}{3}$ を占めているといわれており、このことは、0才、1才への免疫附与が望まれることを示している。

図5-1 全国一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Weekly reported cases of pertussis per reporting clinic, Japan, 1982-1984.

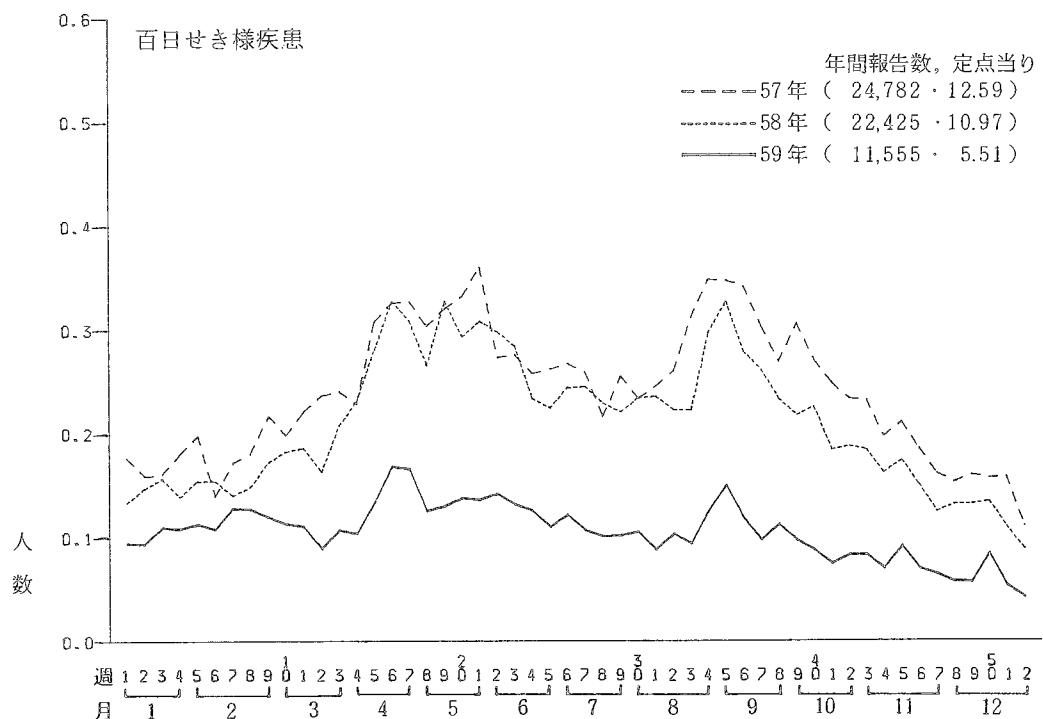


図5-2 年令区分別患者発生状況

Age distribution of reported cases of pertussis, Japan, 1984.

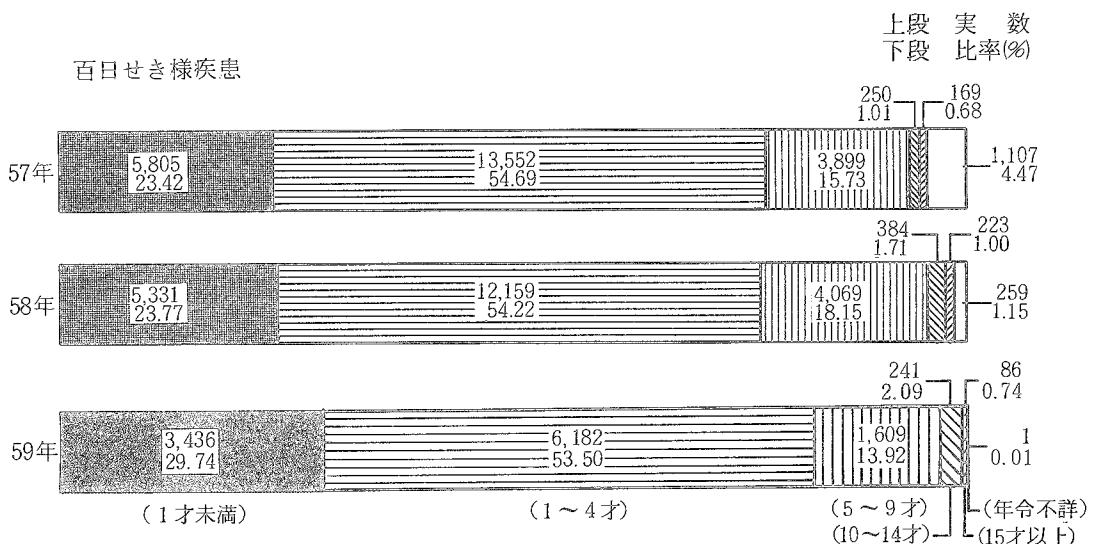


図5-3 ブロック別一定点医療機関当たり患者発生数の推移  
 Weekly reported cases of pertussis per reporting clinic, by geographical area, 1984.

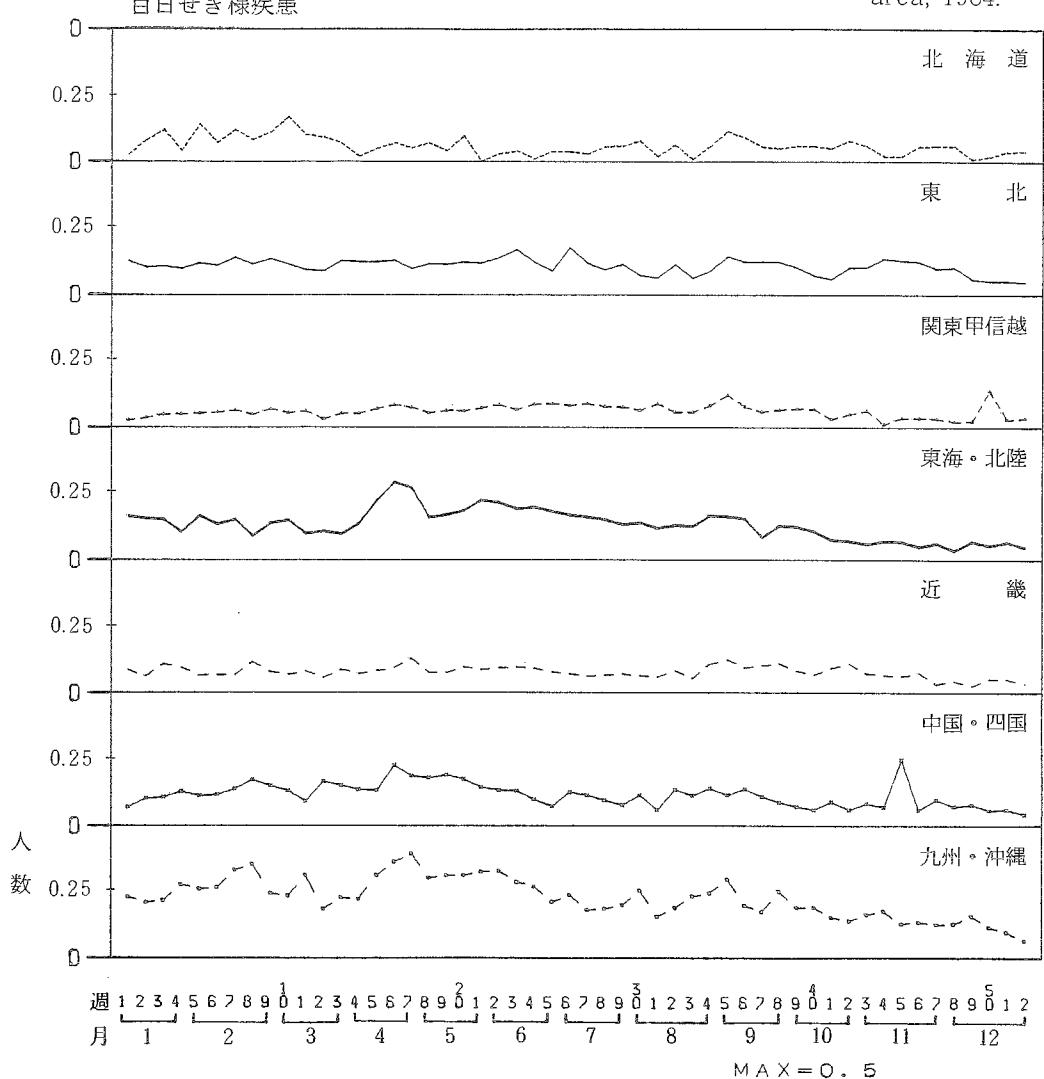


図5-4 地域別一定点医療機関当たり年間平均患者発生状況  
Incidence of pertussis per reporting clinic, by prefecture, 1984.

百日せき様疾患



0 ~ 9人

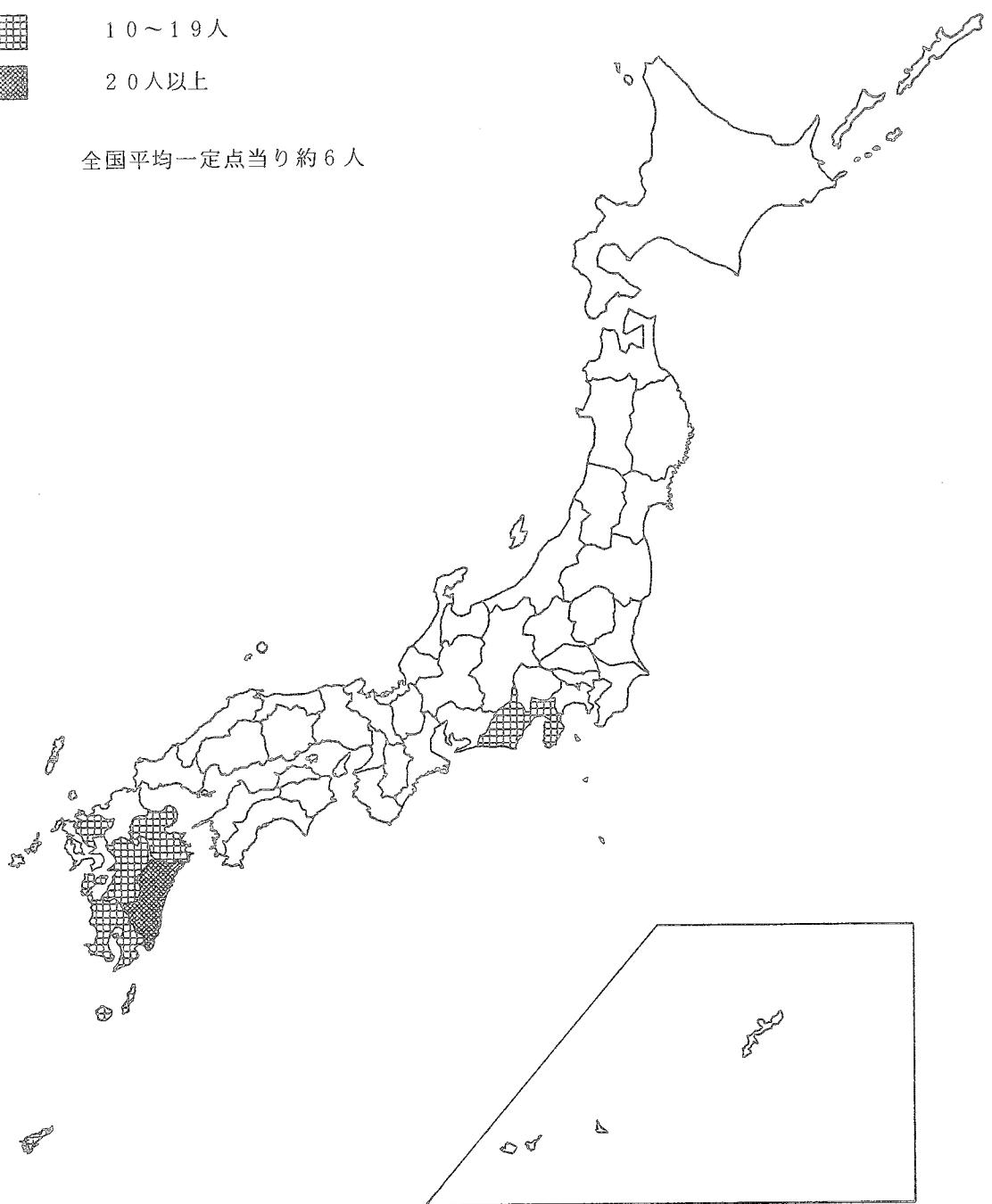


10 ~ 19人



20人以上

全国平均一定点当たり約6人



## 6. 溶連菌感染症

溶連菌感染症の季節的変動は毎年ほとんど同じで、8月に最低で、9月から上昇しはじめ12月に最高になり、1月以降はやや低いレベルで、4月に多少低下傾向があるが、7月まで持続するパターンである。定点当たり年間報告数も57年26人、58年28人、59年26人と変わらない。

プロック別にも同様なパターンであるが、59年は、関東甲信越の冬期の山が低い傾向であった。罹患年令は、5～9才が51.25%を占め、次いで1～4才が37.27%、10～14才7.79%の順であり、57,58年と変らない。

最近のA群溶連菌の流行菌型について病原微生物検出情報から、58、59年の地研、保健所集計をみると、(図のごとく)T 12型がもっと多く、次いでT 4型で、この二者が半数近くを占めている。T 3型は、58年にくらべ59年に増加した。

図 6-1 全国一定点医療機関当たり患者発生数の推移  
 Weekly reported cases of streptococcal infection per reporting clinic,  
 Japan, 1982-1984.

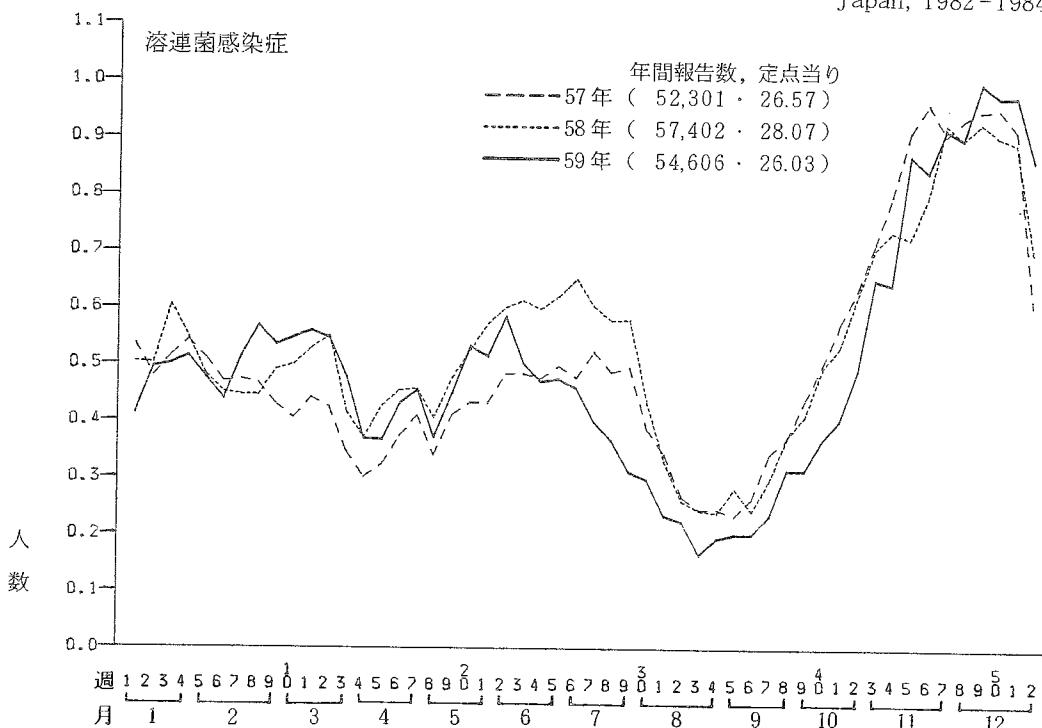


図6-2 年令区分別患者発生状況

Age distribution of reported cases of streptococcal infection, Japan, 1984.

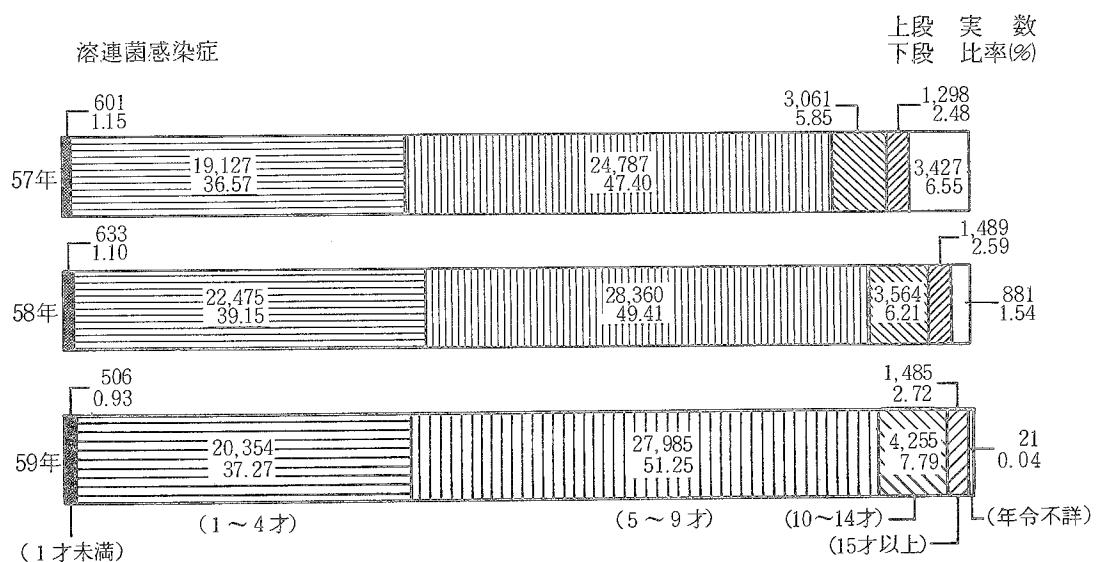


図6-3 ブロック別一定点医療機関当り患者発生数の推移

Weekly reported cases of streptococcal infection per reporting clinic, by geographical area, 1984.

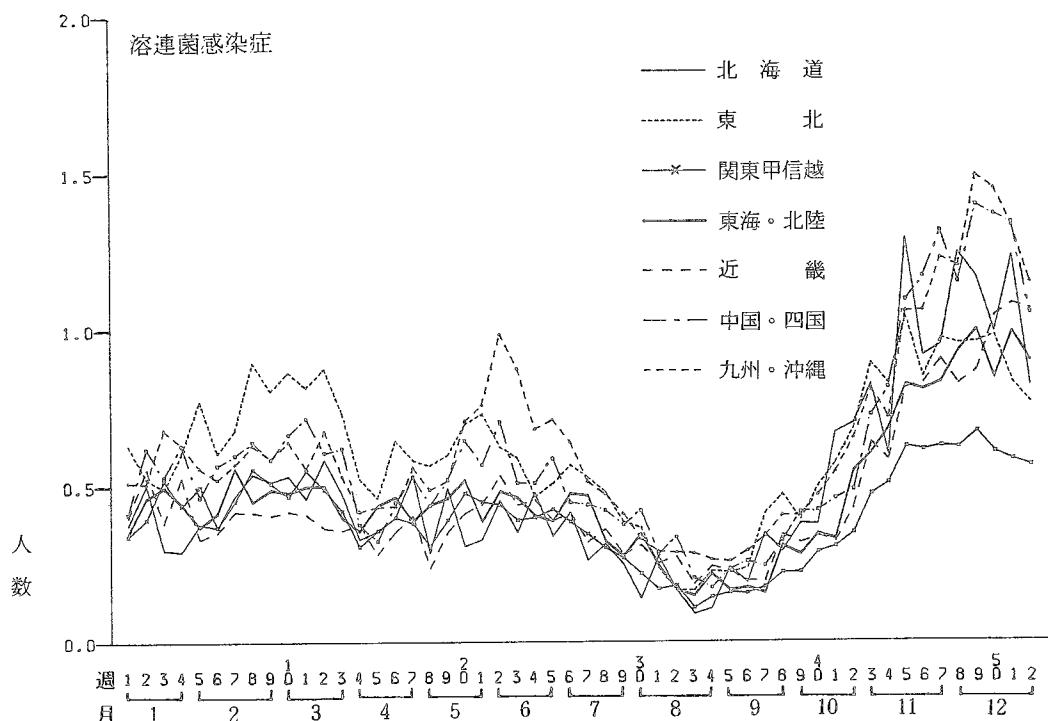


図6-4 地域別一定点医療機関当りの年間平均患者発生状況

Incidence of streptococcal infection per reporting clinic, by prefecture, 1984.

溶連菌感染症

□ 0～19人

▨ 20～29人

▨ 30～39人

▨ 40人以上

全国平均一定点当たり約26人

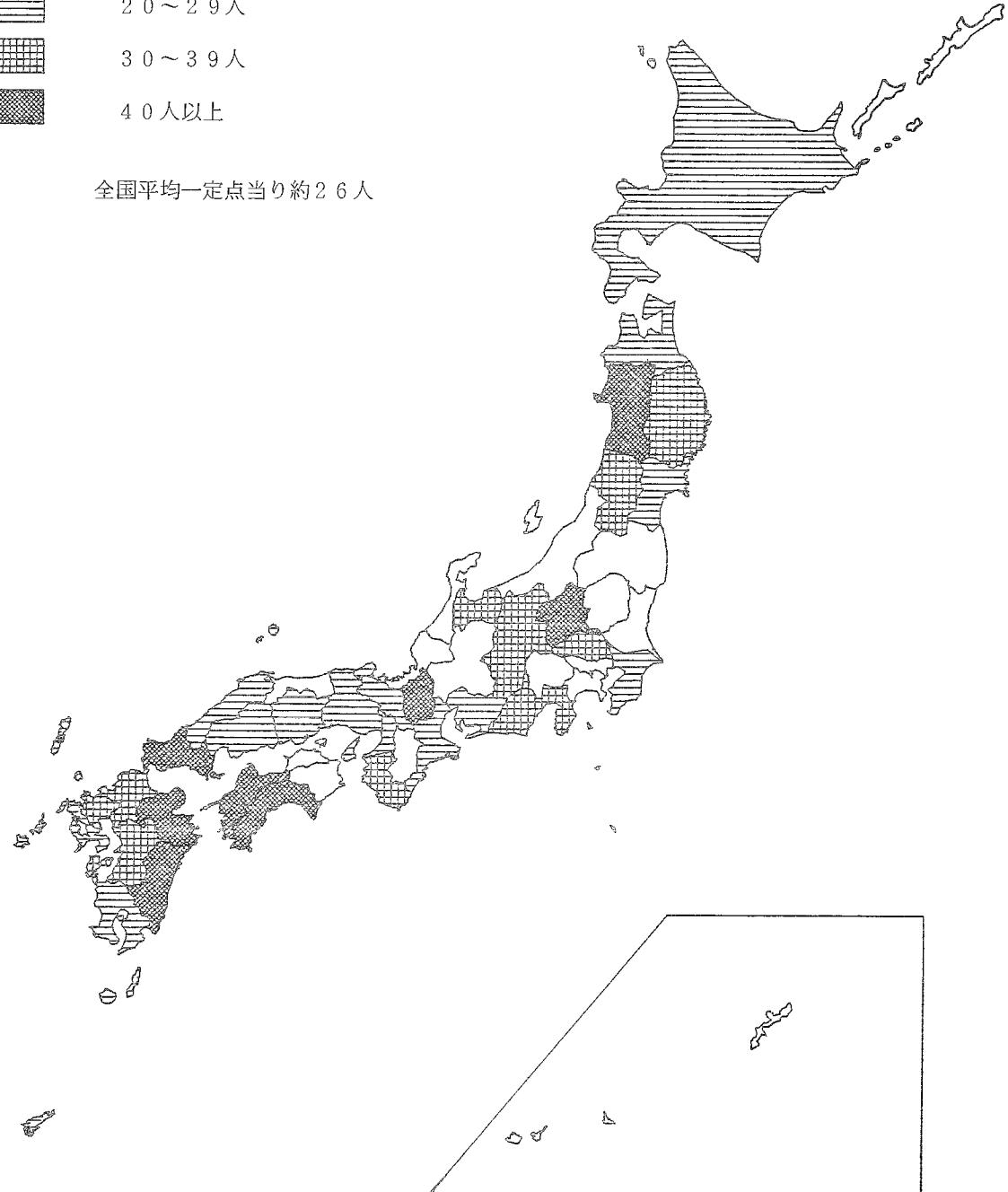
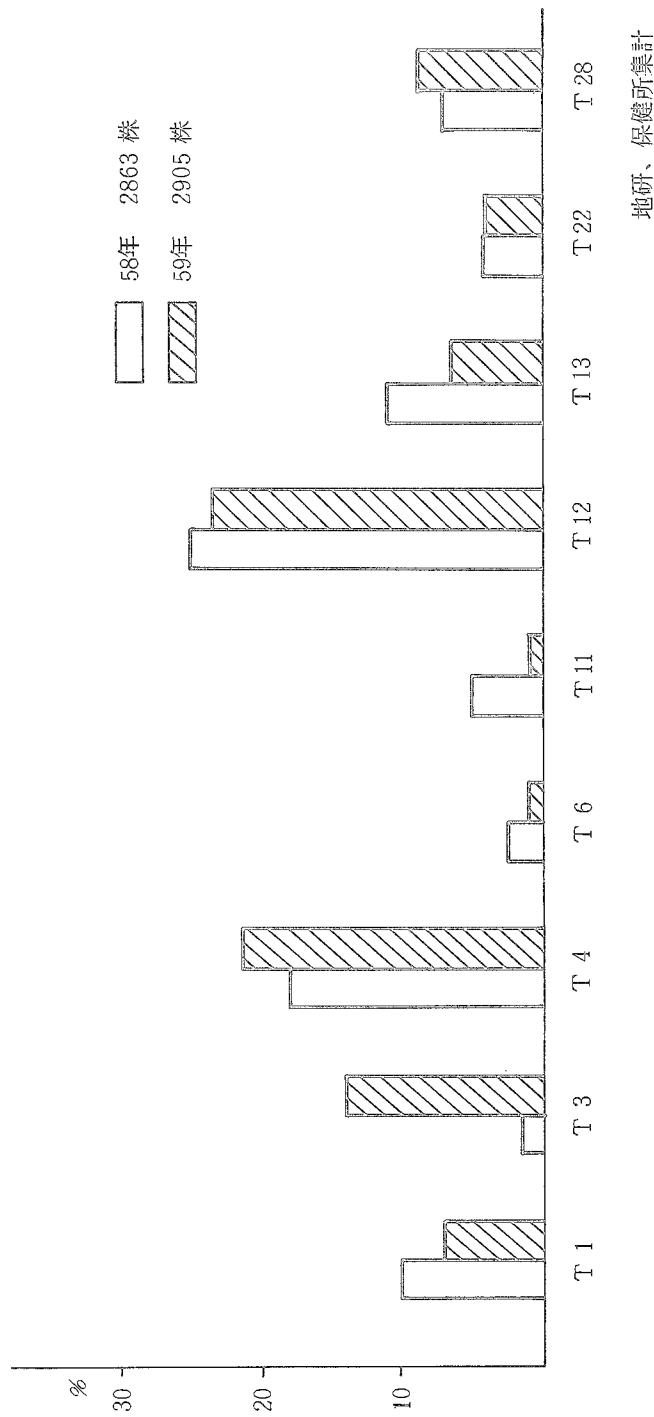


図6-5 A群レンサ球菌後出状況 昭和58—59年



## 7 異型肺炎

異型肺炎はさほど例数の多い疾患ではなく、昭和57年から58年9月頃までは1定点各週当たりの患者数は0.1～0.2程度であったが、図7-1のごとく58年10月以降増加の傾向があらわれ、59年に入ってからも0.3～0.4のレベルが続いた後、5月頃よりさらに多発、7月、8月には0.8に達する流行状態となった。秋に入ってやや下火となつたが、年末まで0.5程度のレベルが続きサーベイランス開始後はじめての流行年といえる。ブロック別には、図7-3のごとく、夏季の流行の目立ったのは、東海・北陸、中国・四国であり、東北、北海道ではややおくれて秋口から多発の傾向がみられている。

年齢区分別には、図7-2のごとく、5～9歳がもっとも多く48.8%をしめ、ついで1～4歳30.6%であったが、この罹患状態は昭和58年と同様である。

本年のごとく本症の流行のみられる場合、その情報が早くわかっていることは実地医家にとって、診断上きわめて有効であったと考えられる。

病原体検出状況としては、昭和59年にはマイコプラズマが下気道炎、肺炎から132株分離されており、本年の異型肺炎多発の影響をよく示している。

図7-1 全国一定点医療機関当り患者発生数の推移

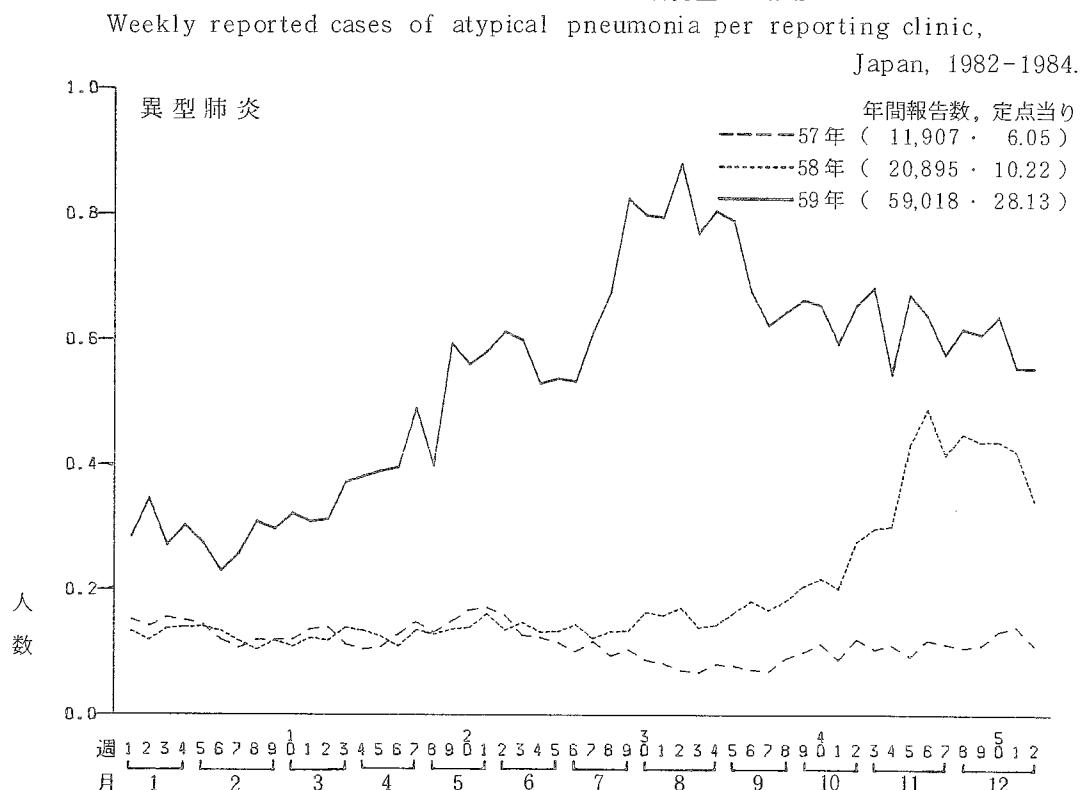


図7-2 年令区分別患者発生状況

Age distribution of reported cases of atypical pneumonia, Japan, 1984.

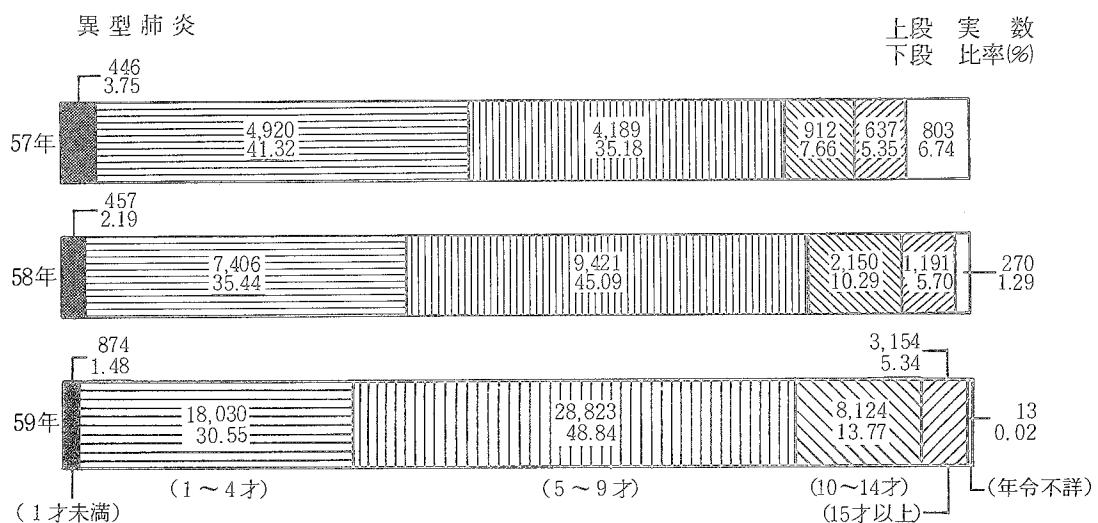


図7-3 ブロック別一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Weekly reported cases of atypical pneumonia per reporting clinic, by geographical area, 1984.

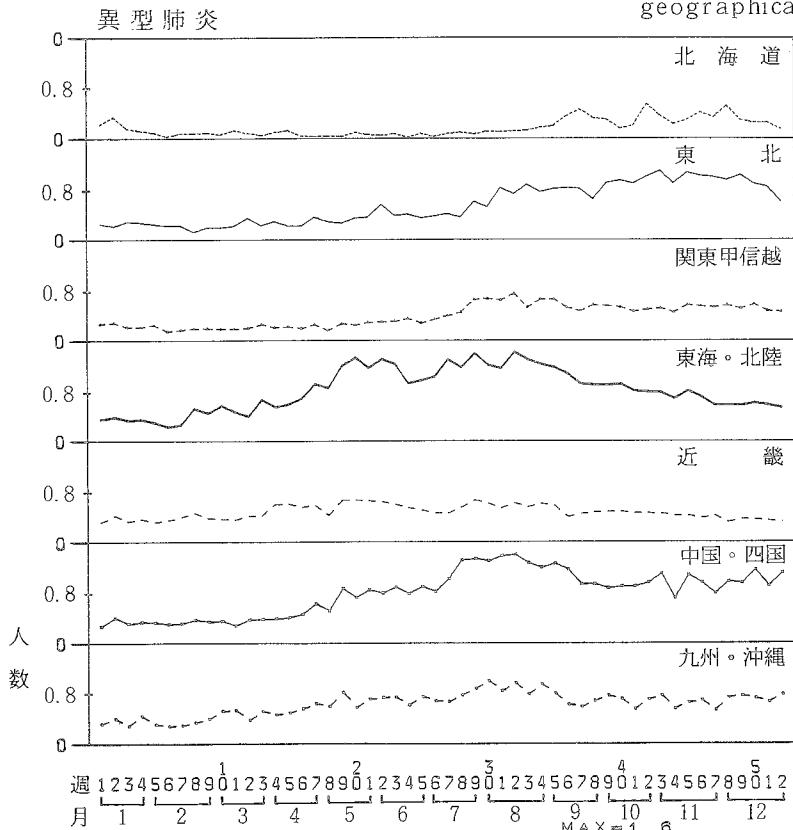


図7-4 地域別一定点医療機関当たりの年間平均患者発生状況

異型肺炎



## 8. 乳児嘔吐下痢症

昭和59年の総報告数は130,178人一定点当たり62.05人で、前年に比べ総数では2,291人増加したが一定点当たりでは0.45人減少した。

一定点当たりの患者発生数の推移をみると（図8-1）、晩秋から早春にかけて多発し夏期に減少するという流行のパターンは毎年同様であり、59年のピークは4.36人（2週）で、最低は0.16人（37週）であった。

地域別に発生状況をみると（図8-3、4）九州と四国に多く、北海道と本州の一部に少ない県がみられ、北海道、関東甲信越及び近畿の各ブロックでは冬期流行の山もあり目立たなかった。

年令区分別にみると（図8-2）、0才が53.55%と過半数を占め、4才以下で95.35%を占めたが、この傾向も3年間ほぼ同様であった。

本症の主な起因ウイルスはロタウイルスと目されるが、胃腸炎症状のあった者の便からのウイルス分離状況について病原微生物検査情報からみると（図8-5）、ロタウイルスの分離は12～4月にかけて多く、とくに1～2月は、分離数及びその占める割合も圧倒的で、患者発生のパターンとよく並行する。

図8-6は胃腸炎症状のあった者から、ふん便に限らず上気道からの分泌物等も含めて分離された各種ウイルスについて年令区分別に示したものである。

分離された各種ウイルスの総数1,869株のうち年令のわかった1,848例について0～2才からの分離が1,200株で64.9%を占めた。ロタウイルスについてみると胃腸炎があった者からの分離数の49.2%に当たる920株が分離されている。またその年令分布は、10才未満からの検出が98.5%を占め、とくに2才未満でその占める割合は88.0%と高かった。

これらは、ロタウイルスが冬期、乳児に多くみられる嘔吐下痢症の主因を占めることを物語るものと解されよう。

図8-1 全国一定点医療機関当り患者発生数の推移  
 Weekly reported cases of infantile vomiting and diarrhea per reporting clinic, Japan, 1982-1984.

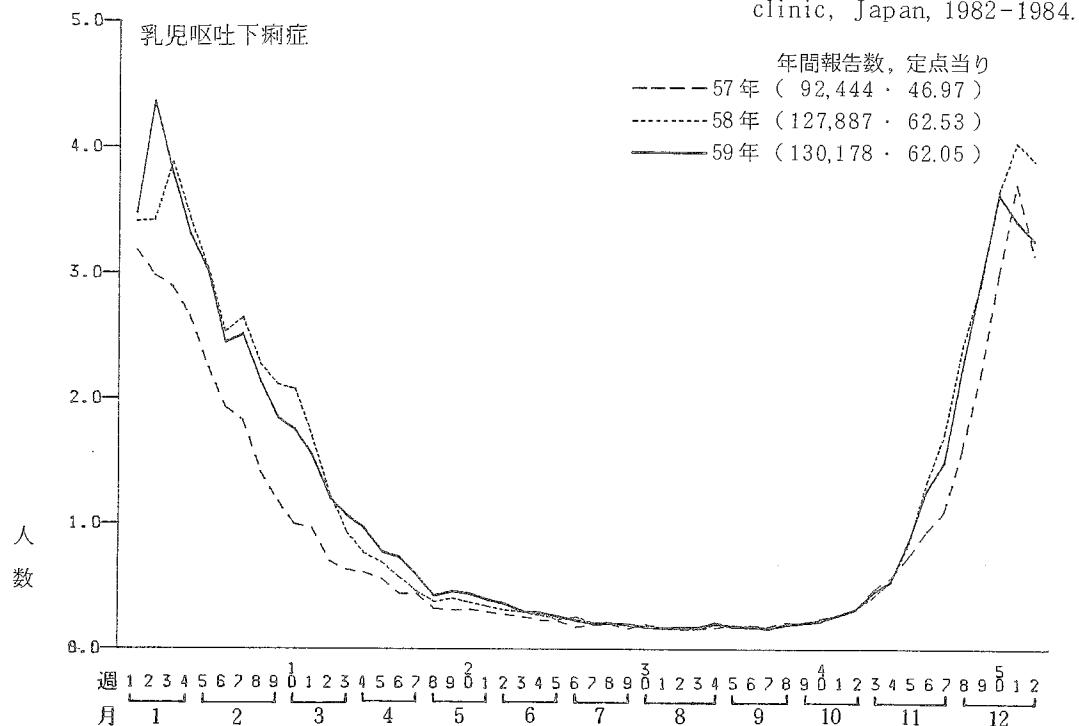


図8-2 年令区分別患者発生状況  
 Age distribution of reported cases of infantile vomiting and diarrhea, Japan, 1984.

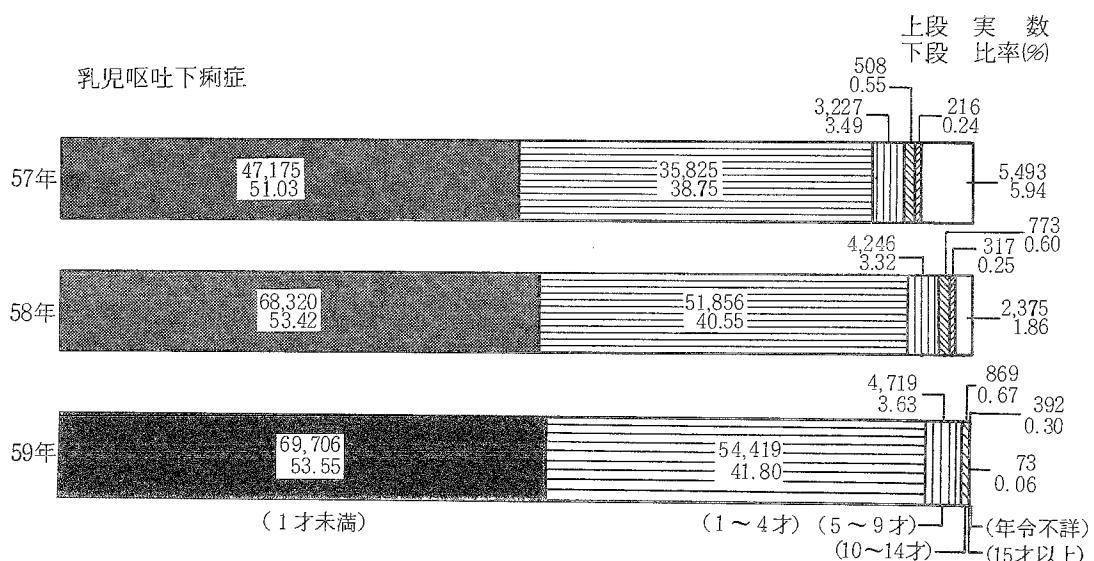


図8-3 ブロック別一定点医療機関当り患者発生数の推移  
 Weekly reported cases of infantile vomiting and diarrhea per reporting clinic, by geographical area, 1984.

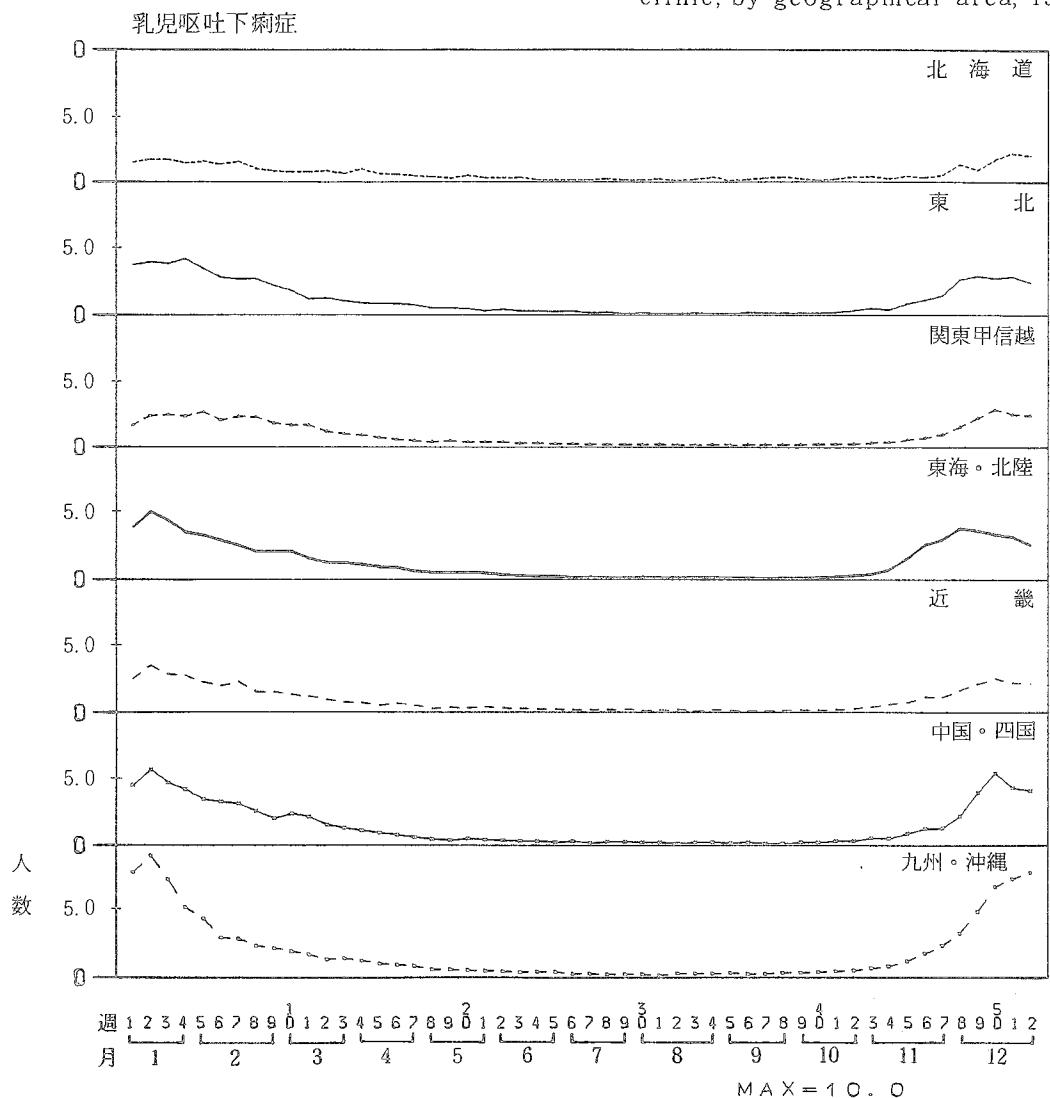
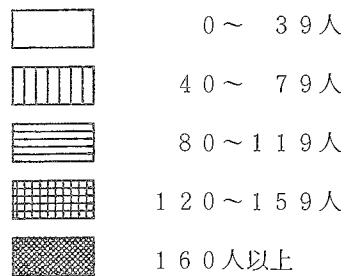


図8-4 地域別一定点医療機関当たりの年間平均患者発生状況  
Incidence of infantile vomiting and diarrhea per reporting clinic, by prefecture, 1984.  
乳児嘔吐下痢症



全国平均一定点当たり約62人

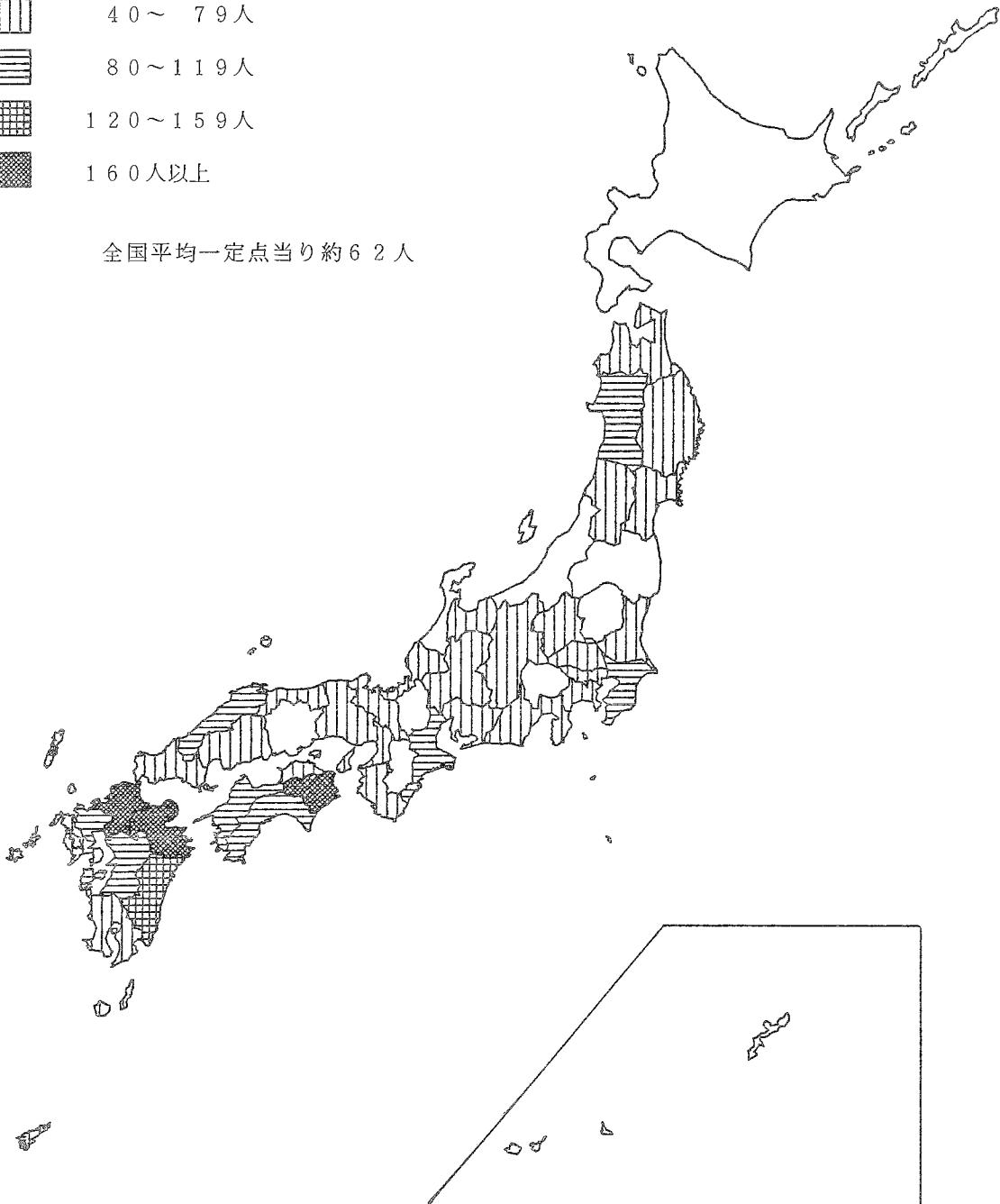


図8-5 胃腸炎のあったものの便からの月別ウイルス検出状況  
 Monthly reported isolations of viruses associated with gastroenteritis,  
 Japan, 1984.

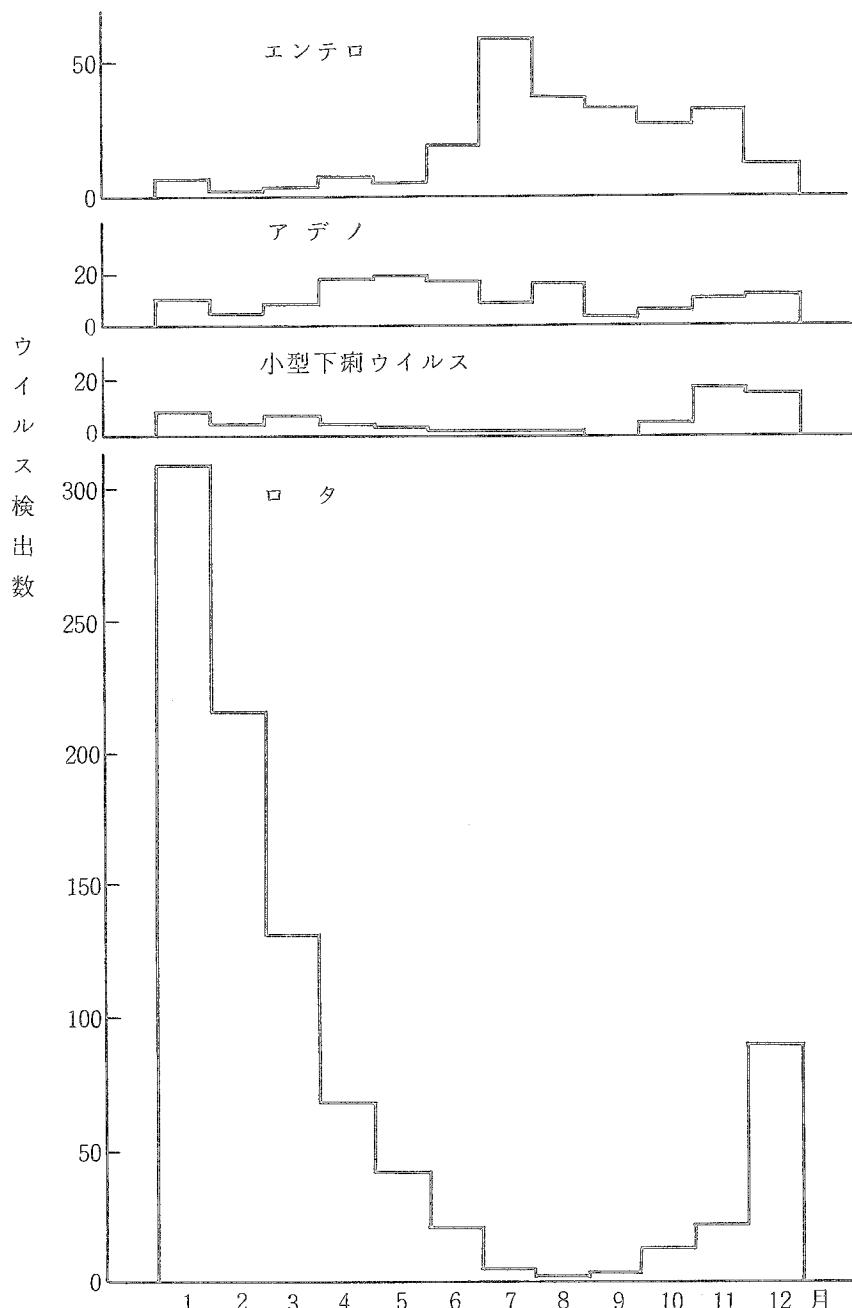
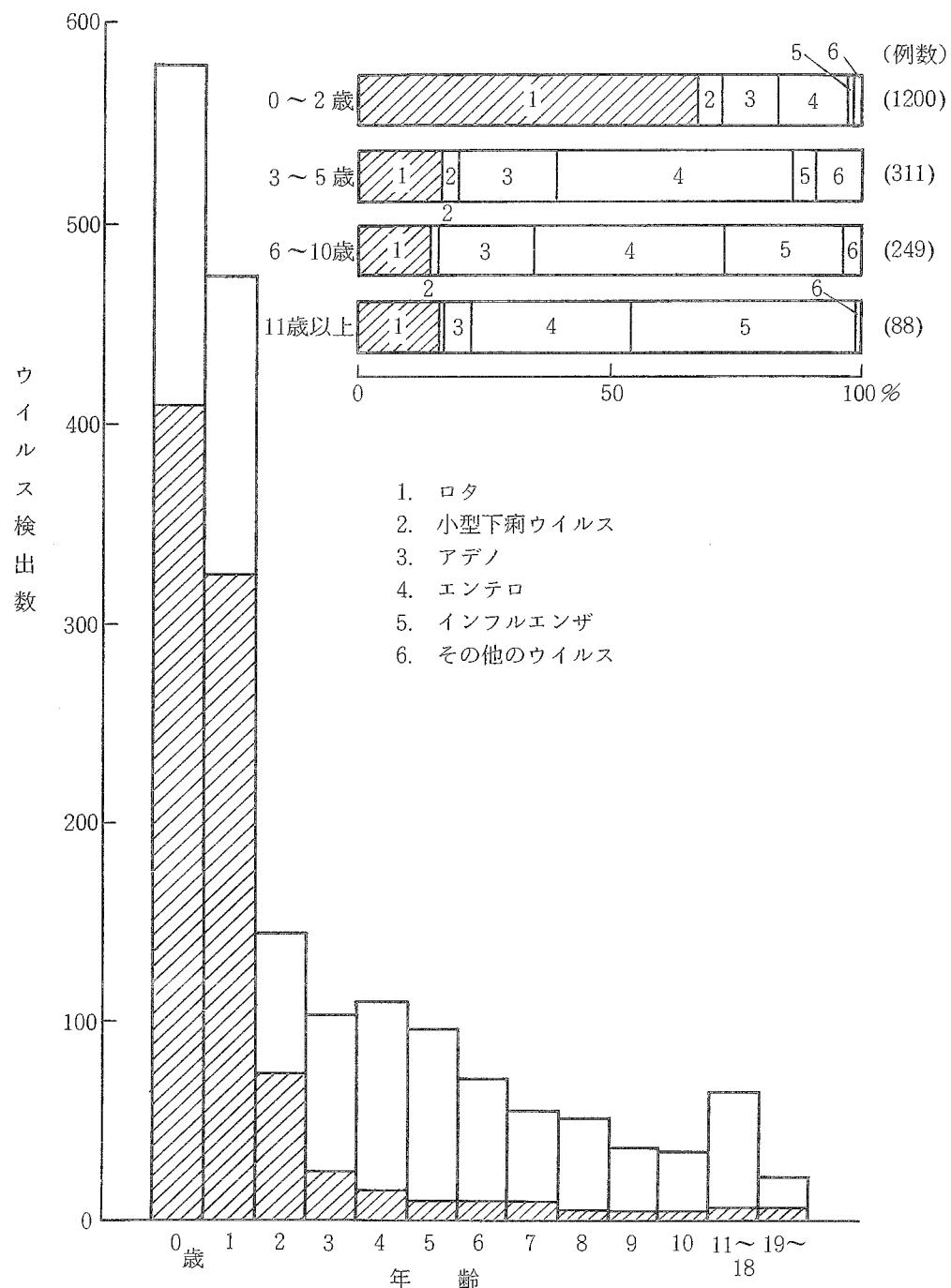


図8-6 胃腸炎のあったものの年齢別ウイルス検出状況、1984年

Reported isolations of viruses associated with gastroenteritis, by age, Japan, 1984.



## 9. その他の感染性下痢症

59年の総報告数は294,352人、一定点当たり140.32人で前年に比べ総数で35,635人、一定点当たり13.82人増加し、もっとも報告数の多い疾病であった。

一定点当たりの週別発生数の推移をみると（図9-1）、58年12月下旬（52週）のピーク（6.56人）後減少し始め、3月下旬（13週）には2.82人となり、9月初め（36週）には最低の1.07人となつた。その後は微増し、11月初め（45週）2.51人となってからは急速に増加し、12月下旬（51週）には7.30人のピークとなつた。この流行パターンは3年間ほぼ同様であり、また乳児呕吐下痢症のパターンとも良く相似する。

地域別に発生状況をみると（図9-3、4、）、乳児呕吐下痢症のそれに類似するが、同症が少なく本症の多い県（岡山）やその逆の県（宮崎）もあった。また北海道は患者も少なく冬期の山も目立たなかつた。

年令区分別にみると（図9-2）0才が8%、1～4才が44%、5～9才が29%で10才未満が82%を占め、3年間同様の傾向を示した。

その他の感染性下痢症とは、前述の乳児呕吐下痢症及び法定伝染症であるコレラと赤痢を除いた下痢症を対象するが、病原学的には種々のウイルス及び細菌が原因となる。前記図8-5は、すべての下痢患者についてふん便からのウイルス検出状況を病原微生物情報より示したものである、ロタ以外の小型下痢ウイルスは冬から春に、アデノ及びエンテロウイルスは夏を中心で検出されている。

胃腸炎症状を呈した者からの年令区分別ウイルス分離状況をみると（図8-6、材料はふん便及び上気道分泌物等）、インフルエンザウイルスは、11才以上、エンテロは3才以上に多く、アデノは全年令から、小型下痢ウイルスは2才以下にやや多い。総検出1,869株中に占める比率は、インフルエンザ6.6%、エンテロ23.9%、アデノ13.5%、小型下痢ウイルス3.9%、その他3.0%であった。

また図9-5は下痢患者から分離された便中の細菌のうち、病原大腸菌、腸炎ビブリオ、サルモネラ、カンピロバクターについて、他研・保健所及び医療機関からの報告数を月別に示したものである。地研・保健所からのものには集団発生例も含まれている。

病原大腸菌の検出は地研・保健所報告では7月にピークがみられたが、医療機関では、初夏以降次第に増加した。腸炎ビブリオは6～11月にはほぼ限られ、そのピークは7～9月であり、サルモネラは8～9月をピークに幅広い山を示した。カンピロバクターは、地研・保健所の報告数よりも医療機関からの報告数がめだって多く、ピークはいずれも6月である。

図9-1 全国一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Weekly reported cases of other infectious diarrhea per reporting clinic,  
Japan, 1982-1984.

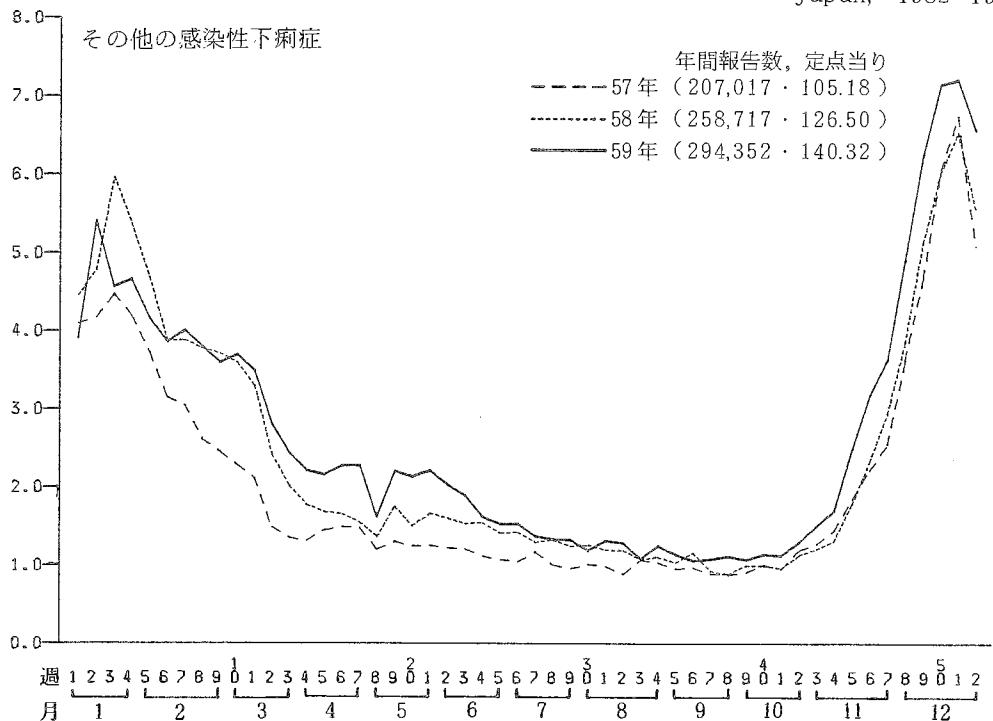


図9-2 年令区分別患者発生状況

Age distribution of reported cases of other infectious diarrhea, Japan, 1984.

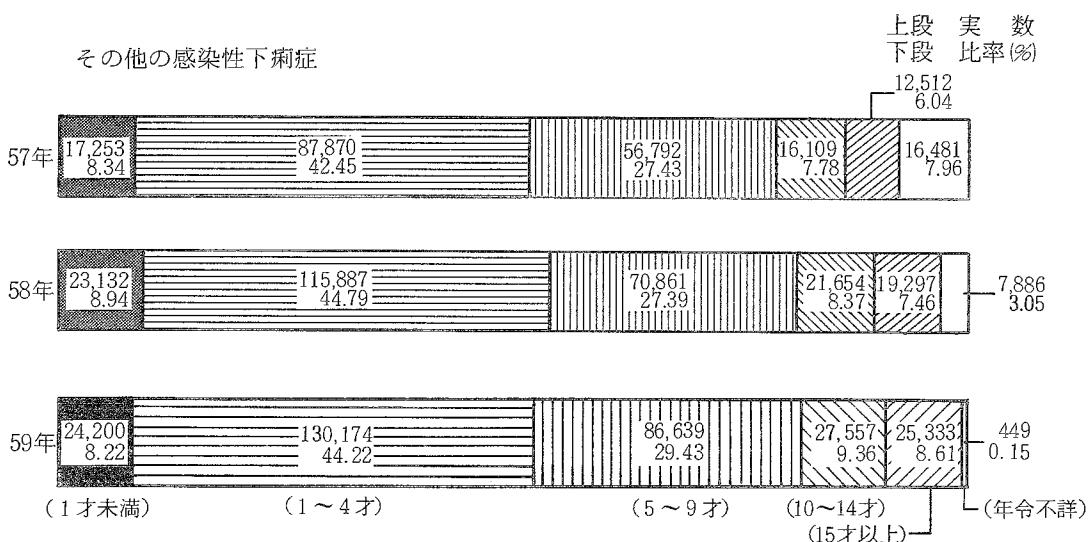


図9-3 ブロック別一定点医療機関当り患者発生数の推移

Weekly reported cases of other infectious diarrhea per reporting clinic, by geographical area, 1984.

その他の感染性下痢症

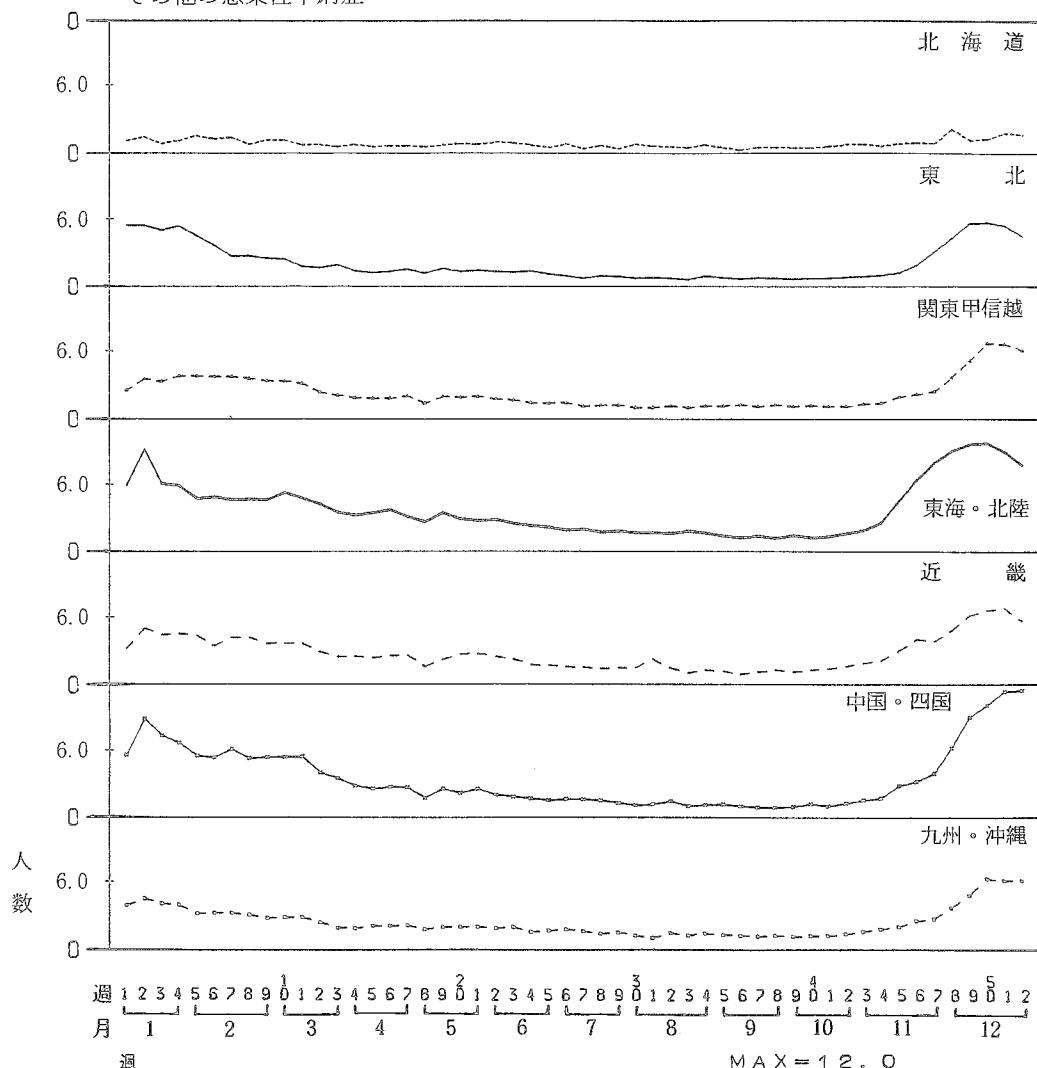


図9-4 地域別一定点医療機関当りの年間平均患者発生状況

Incidence of other infectious diarrhea per reporting clinic, by prefecture, 1984.

その他の感染性下痢症

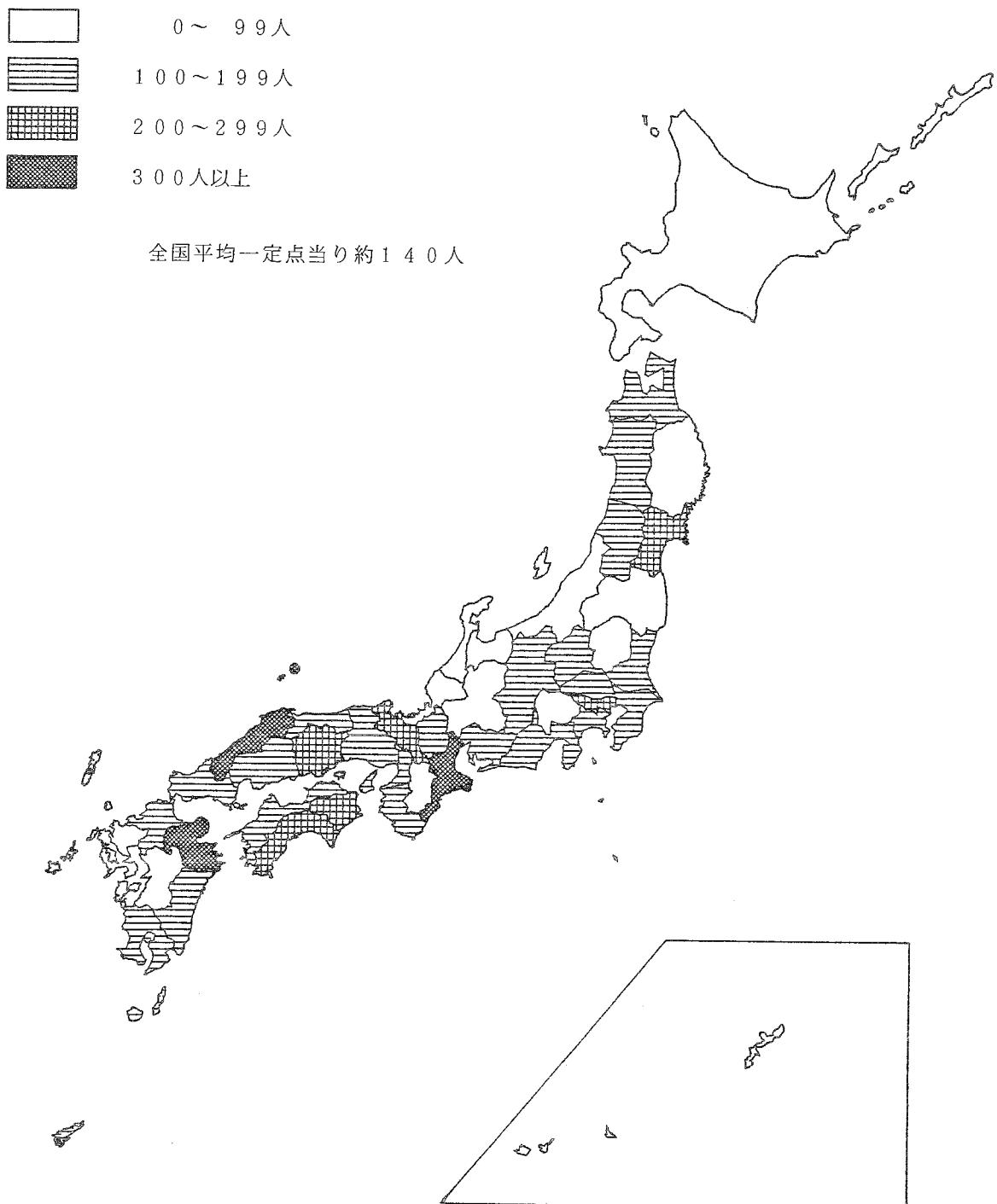
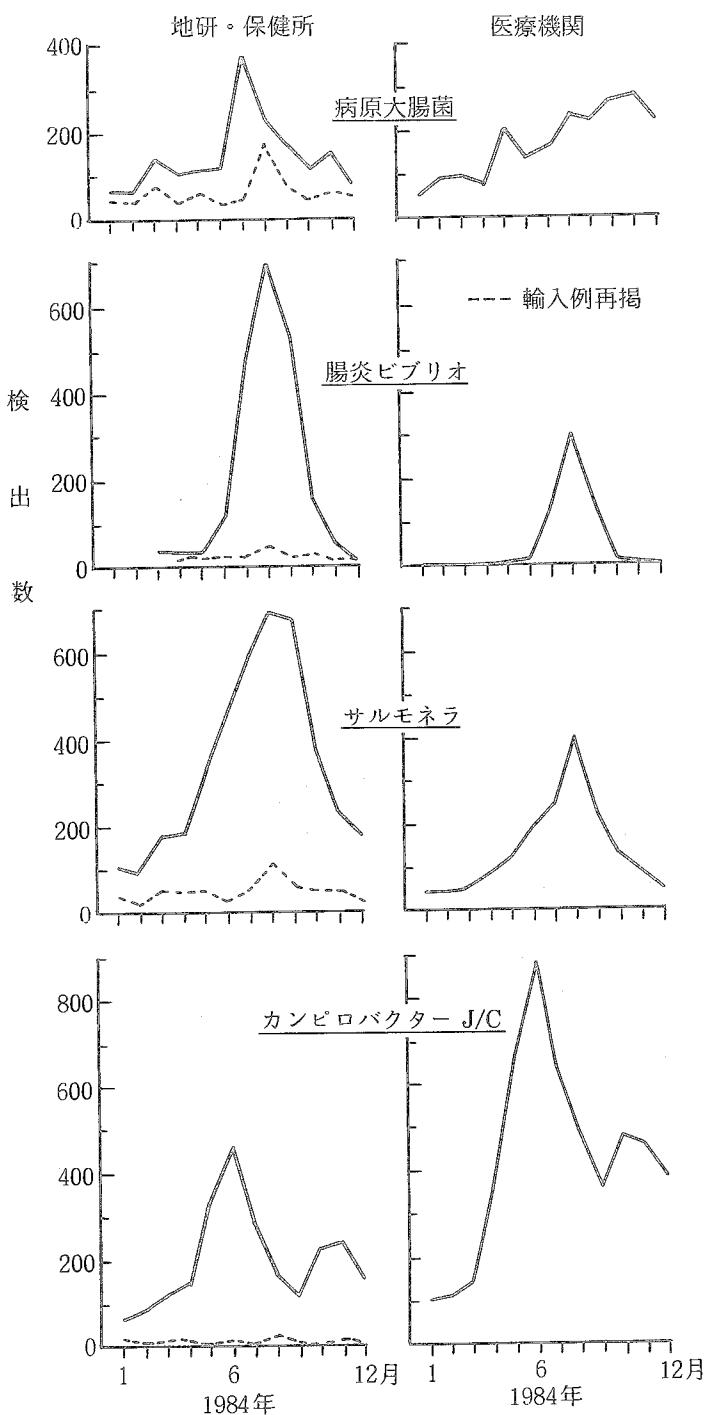


図9-5 月別病原菌分離状況

Monthly reported isolations of major enteropathogenic bacteria, Japan, 1984.



## 10. 手足口病

手足口病の昭和59年の報告数は56,143人であり58年の81,954人に比して減少している。しかし図10-1に示すように7~8月にピークを示す明瞭な夏季流行であった点は、前年までと変りはない。これをブロック別にみると、本年は58年に発生の少なかった東北で1定点1週当たり7を越える流行のあったことが目立つ。多発時期は本年も西南日本がやや早く北へいくほどおくれていること、北海道では11月ごろまでダラダラした流行のみられたことが図10-3よりわかる。

都道府県別には図10-4のごとく、岩手を除いて東北地方に多く、とくに秋田、宮城に多い。山口、宮崎などは前年に引き続いている多く群馬、鳥取、島根、宮崎などは前年の流行に比し59年は発生が少なかった。

年齢区分別には1~4歳が72.4%をしめており、分布状況は57年、58年と変わりはない。(図10-2)

病原体検出成績をみると、57年がコクサツキーA16、58年がエンテロ71が主体であったのに対し、59年は図10-5に示すように、患者発生の少なかったのに伴ってウイルス検出数もやや少ないが、コクサツキーA10型ウイルスとA16型ウイルスとが同程度分離されており、エンテロウイルス71型は検出数がごくわずかであった。このように病原ウイルスが年によって交代することは興味ある結果であるとともに、今後の防疫対策を考えてゆく上で重要な所見である。

図10-1 全国一定点医療機関当り患者発生数の推移

Weekly reported cases of hand-foot-and-mouth disease per reporting clinic, Japan, 1982-1984.

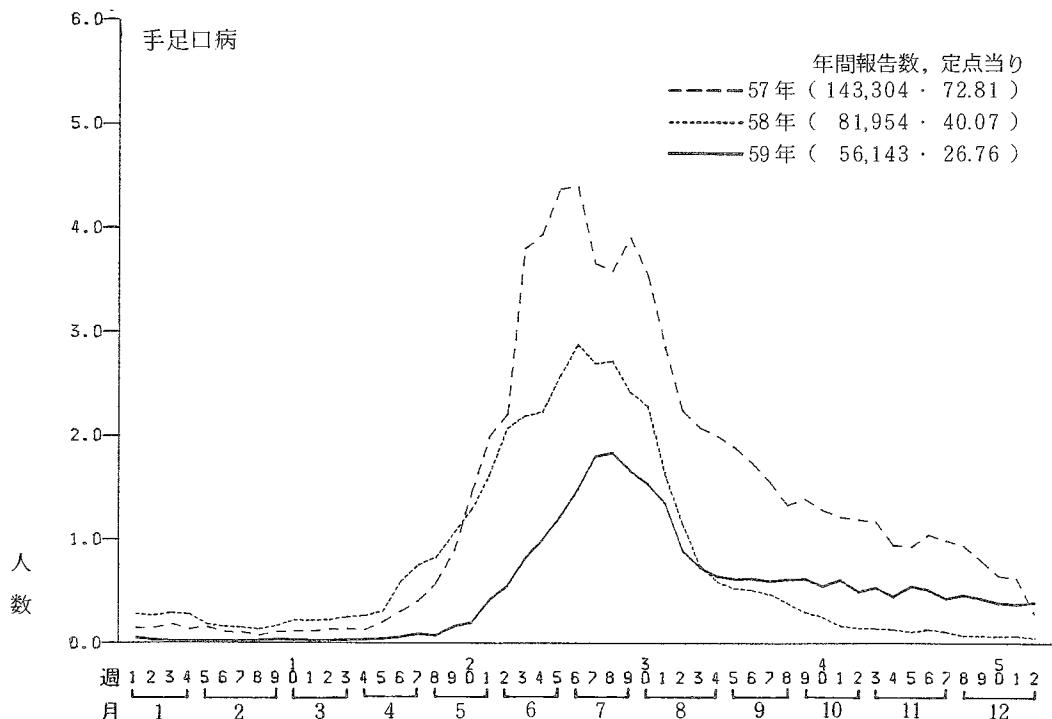


図10-2 年令区分別患者発生状況  
Age distribution of reported cases hand-foot-and-mouth disease, Japan, 1984.

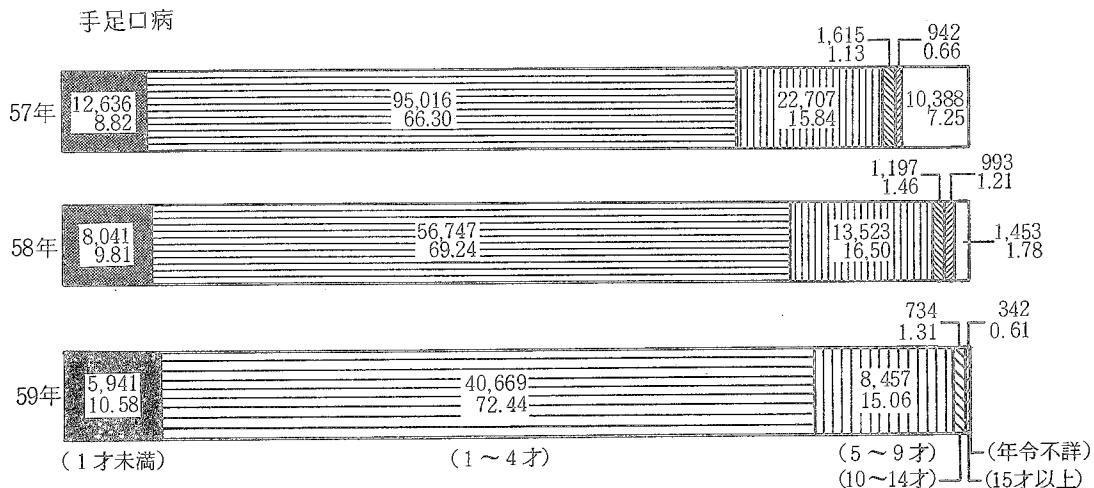


図10-3 ブロック別一定点医療機関当たり患者発生数の推移  
Weekly reported cases of hand-foot-and-mouth disease per reporting clinic,  
by geographical area, 1984.

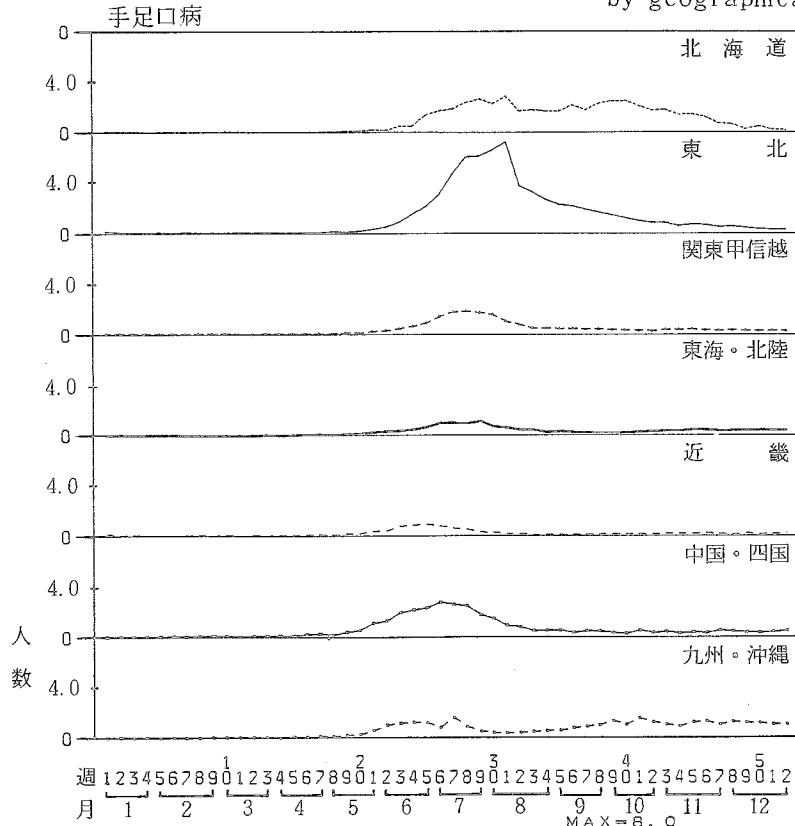


図10-4 地域別一定点医療機関当りの年間平均患者発生状況

Incidence of hand-foot-and-mouth disease per reporting clinic, by prefecture, 1984.

手 足 口 病



0 ~ 29人



30 ~ 49人



50 ~ 79人



80人以上

全国平均一定点当たり約27人

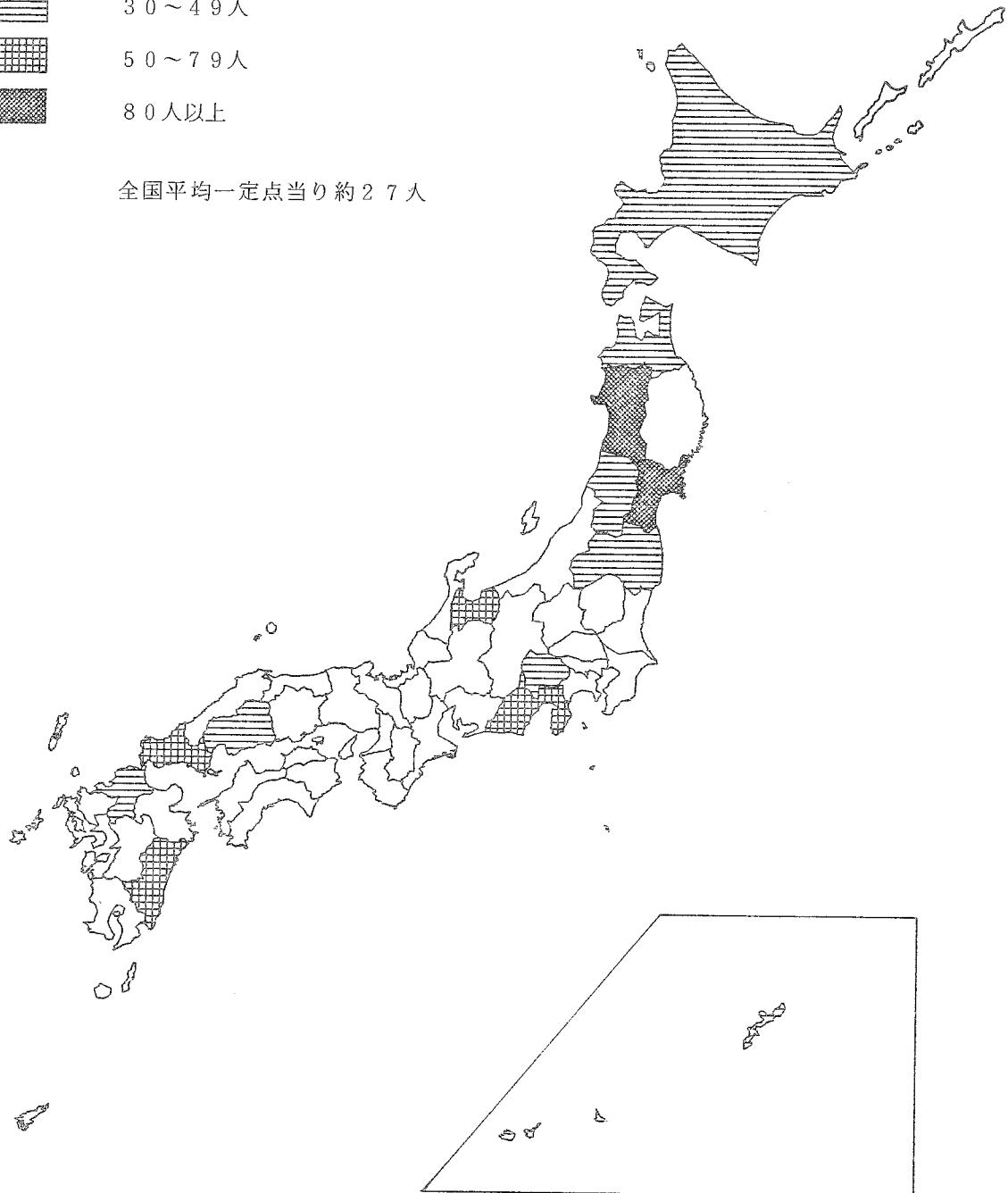
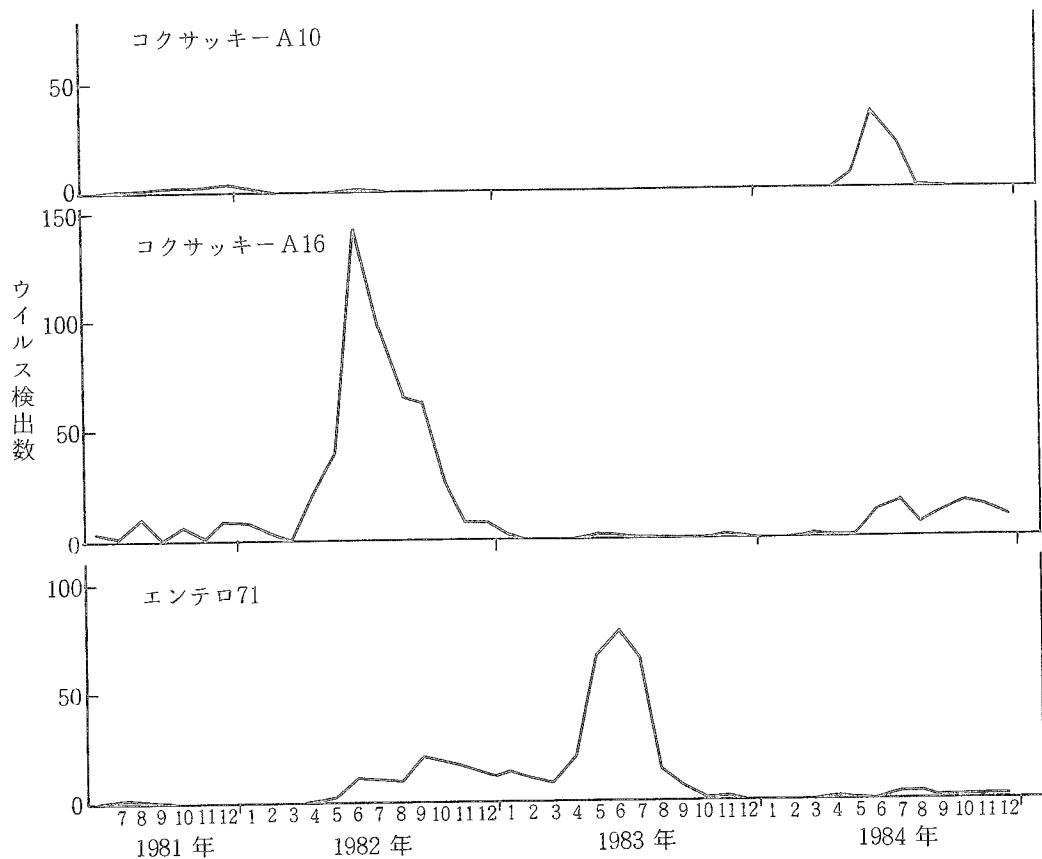


図 10-5 手足口病の症状のあったものからの月別ウイルス検出状況

1981. 7 ~ 1984. 12 (病原微生物検出情報)

Monthly reported isolations of viruses associated with hand-foot-and-mouth disease, Japan, 1984.



## 11. 伝染性紅斑

伝染性紅斑は昭和52～54年頃全国的流行をみたのであるが、その後減少を続け、図11-1のごとく、57年初めに以前の流行の名残りがみられた以後、一定点当たり一週当たり0.2をこえる発生はみられなくなっている。しかしブロック別にみると図11-3のごとく、東北で1月から8月にかけて、0.3前後とやや多く、北海道では11～12月に増加の気配がみえている。

都道府県別には図11-4のごとくで、青森、宮城、和歌山の各県に多く、北海道と東北、関東甲信越の一部にやや多い県がみられる程度の発生状況にとどまっている。

年齢区分別には図11-2のごとくで、9歳までが90%をしめる状況は57、58年と同様であった。

図11-1 全国一定点医療機関当り患者発生数の推移

Weekly reported cases of erythema infectiosum per reporting clinic, Japan, 1982-1984.

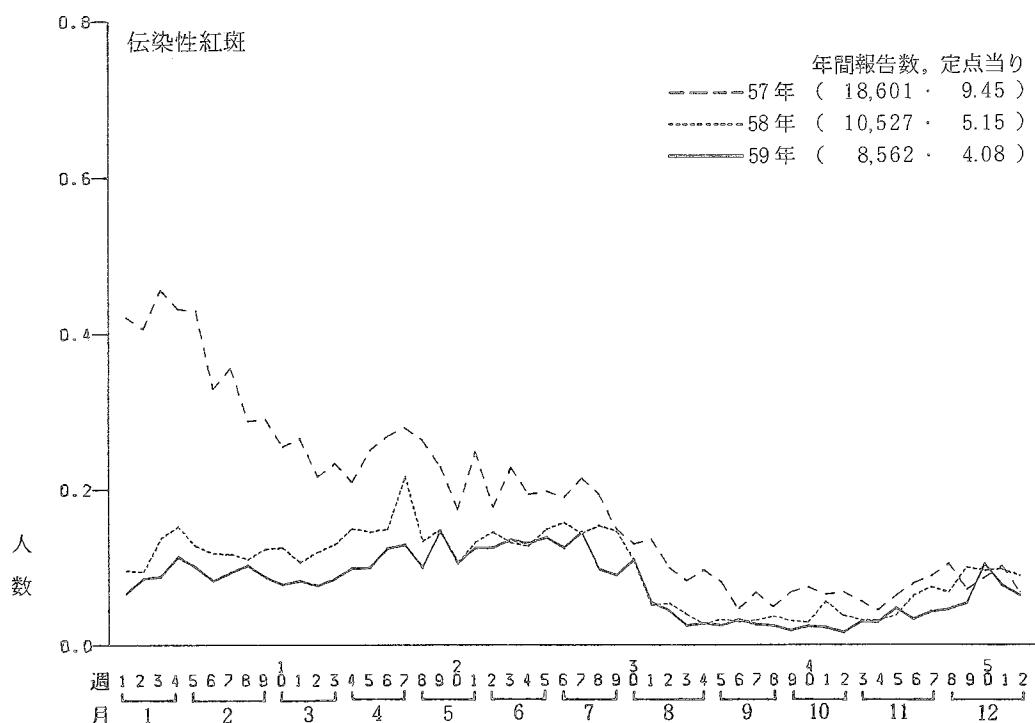


図11-2 年令区分別患者発生状況

Age distribution of reported cases of erythema infectiosum, Japan, 1984.

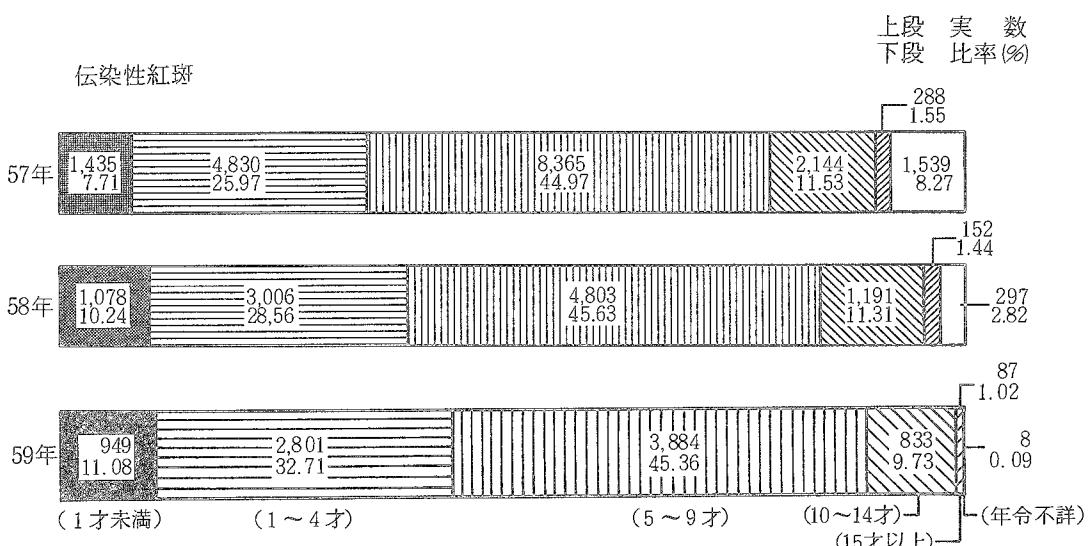


図11-3 ブロック別一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Weekly reported cases of erythema infectiosum per reporting clinic,  
by geographical area, 1984.

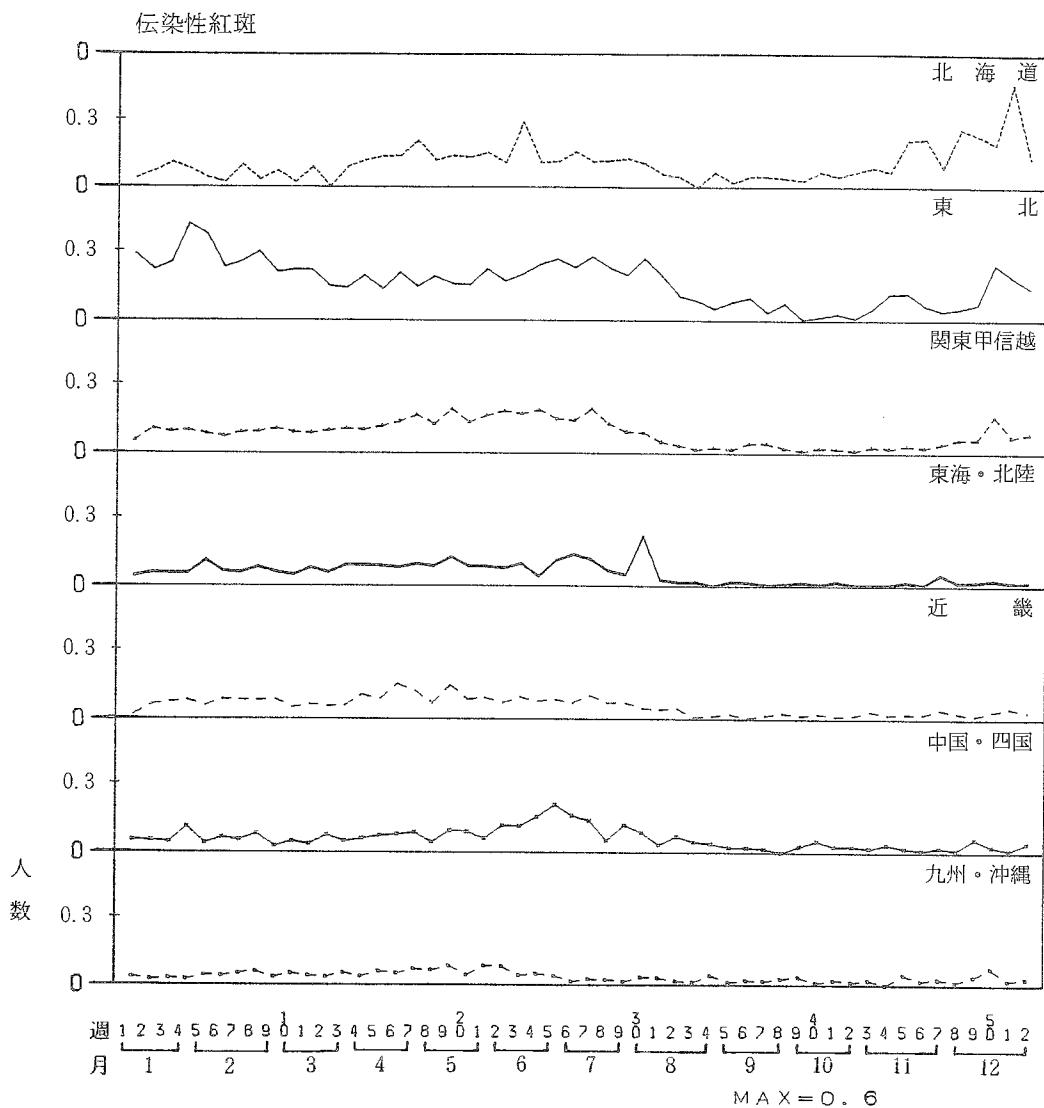


図11-4 地域別一定点医療機関当りの年間平均患者発生状況

Incidence of erythema infectiosum per reporting clinic, by prefecture, 1984.

伝染性紅斑



0 ~ 4人

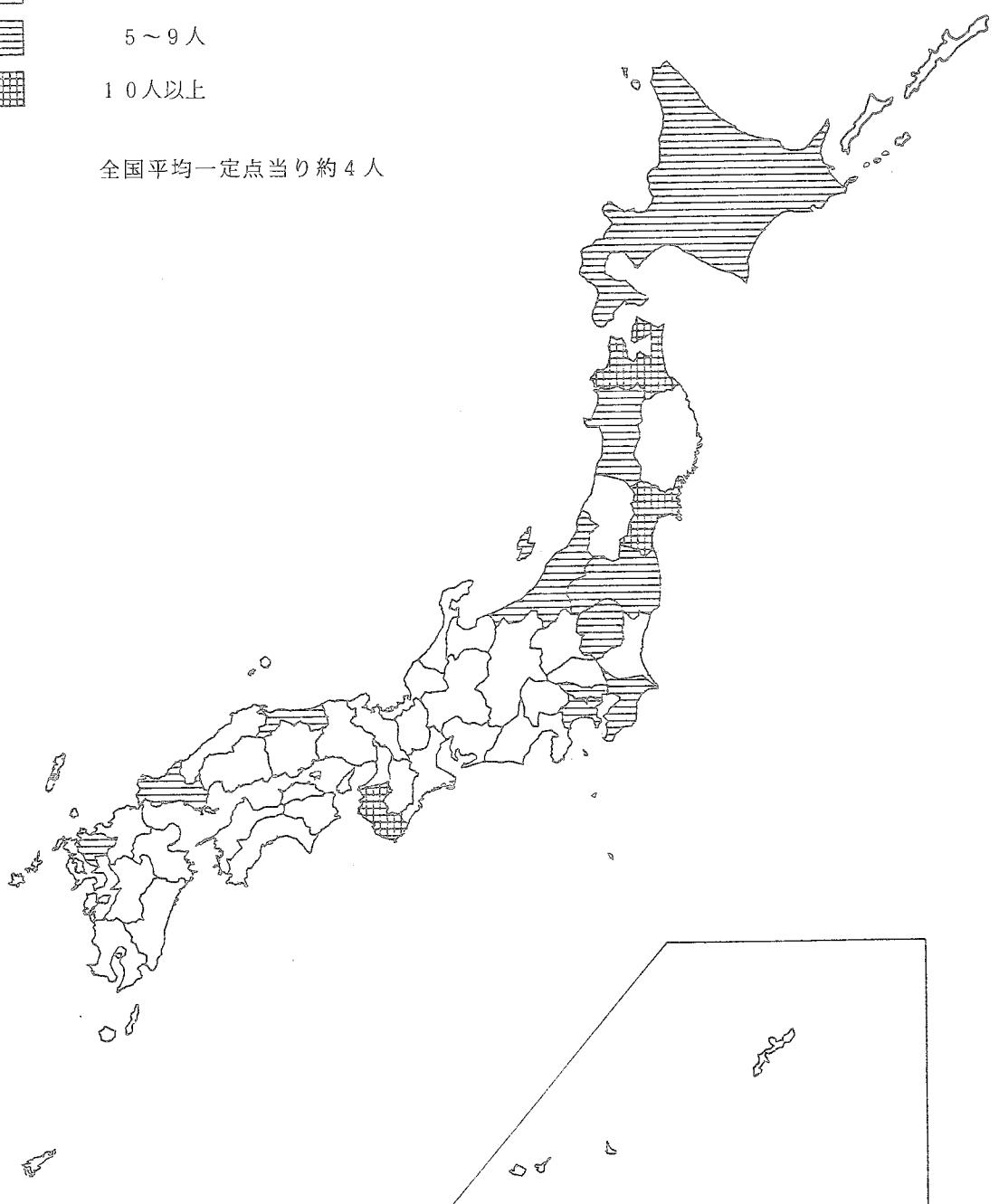


5 ~ 9人



10人以上

全国平均一定点当たり約4人



## 12 突発性発しん

突発性発しんは図12-1に示したように、57年、58年と同様に、年初と年末にやや少ない傾向はあるものの、年間を通じ、また年による差もほとんどない状態での発生がみられている。一定点当たり一週当たり患者数は1前後である。ブロック別には、図12-3のごとく北海道がやや低いほかは地域差はほとんどなく、都道府県別には図12-4のごとくで、東北、九州と太平洋岸の県の一部にやや多発をみるもの、特定の傾向はみとめられない。

年齢区分別には、本症の特徴として当然のことながら0歳児に93%の集積がみられ、これも57、58年と同様である。

本症は病原ウイルス不明であるものの、年や季節による発生状況の差がほとんどなく、また乳児が非常に高率に罹患する疾患であるので、病因検索の研究の必要性とは別に、本サーベイランス事業における地域別患者把握率の検討などにも利用できると考えられる。

図12-1 全国一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Weekly reported cases of exanthem subitum per reporting clinic, Japan, 1982-1984

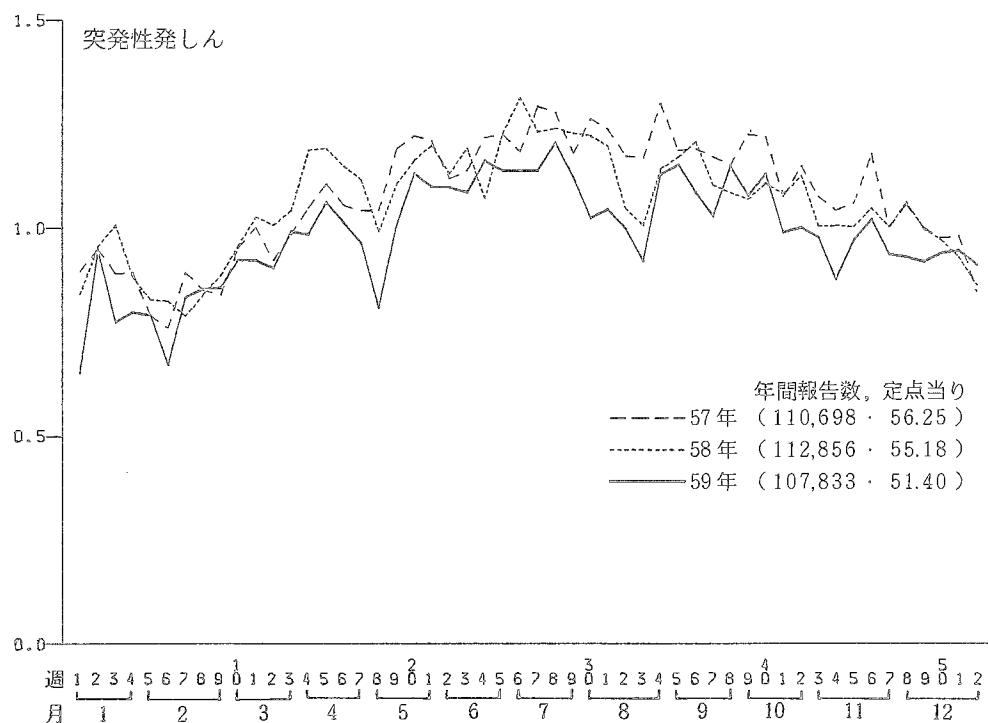


図12-2 年令区分別患者発生状況

Age distribution of reported cases of exanthem subitum, Japan, 1984.

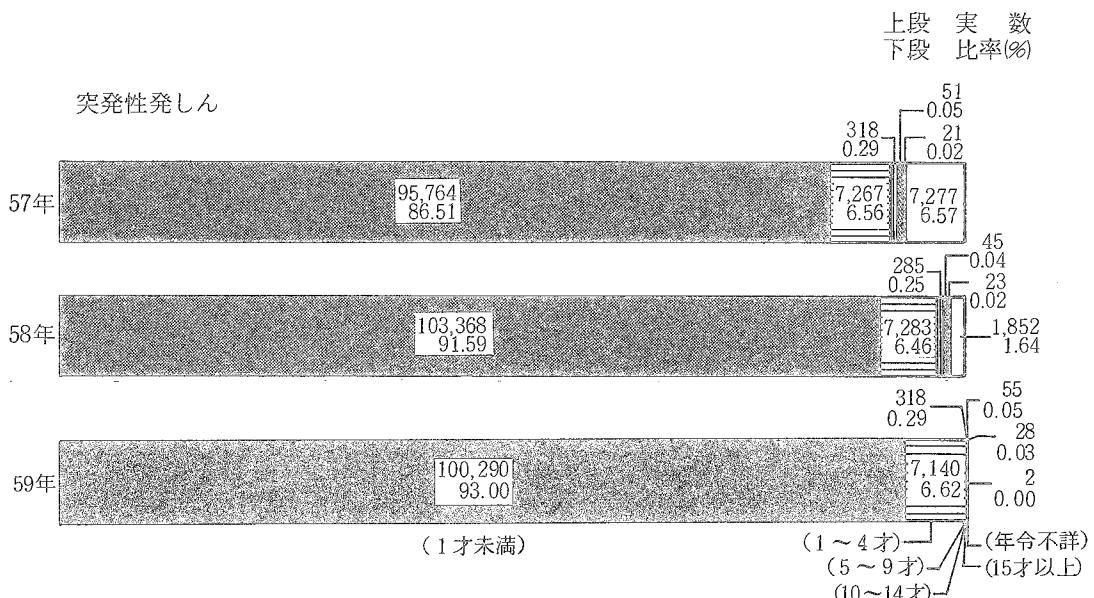


図12-3 ブロック別一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Weekly reported cases of exanthem subitum per reporting clinic, by geographical area, 1984.

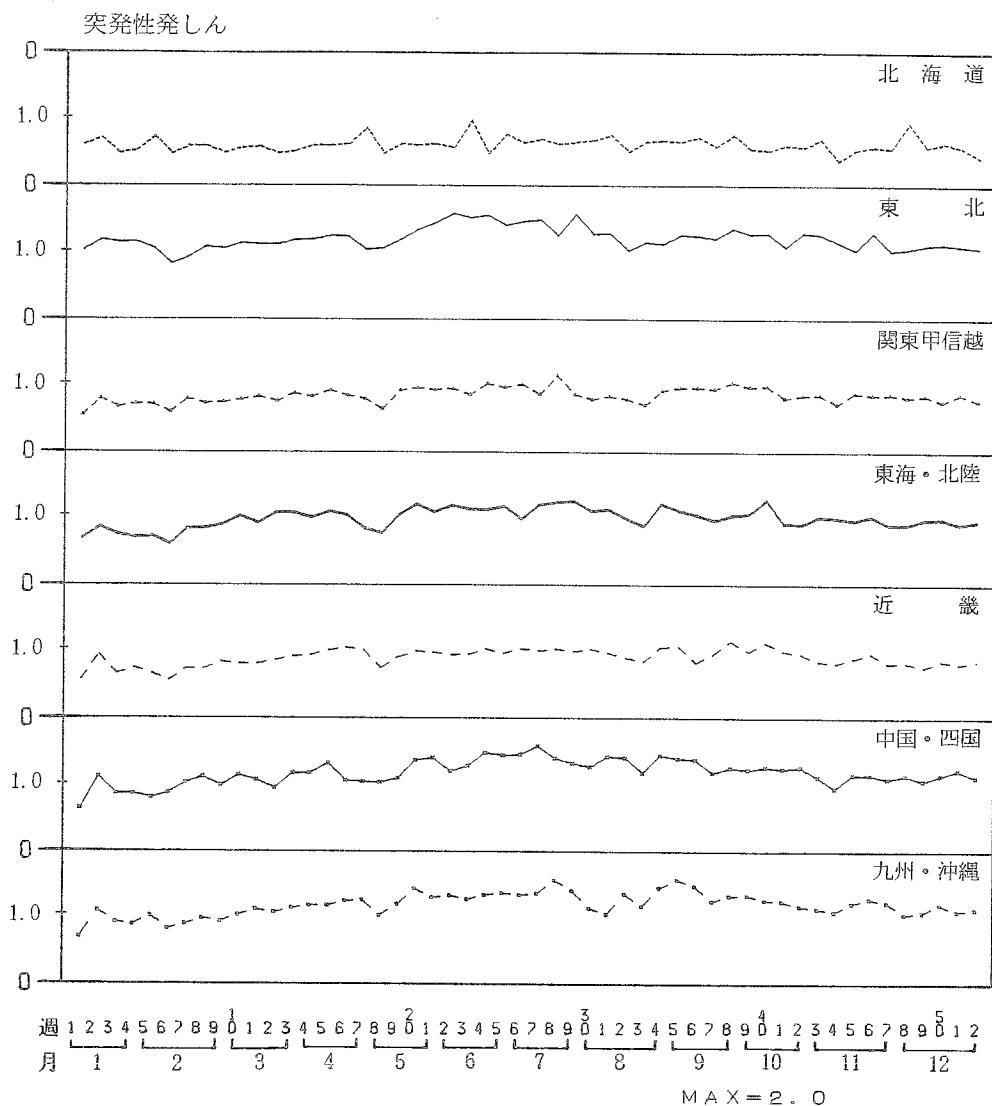


図12-4 地域別一定点医療機関当たりの年間平均患者発生状況

Incidence of exanthem subitum per reporting clinic, by prefecture, 1984.

突発性発しん



0 ~ 39人



40 ~ 69人

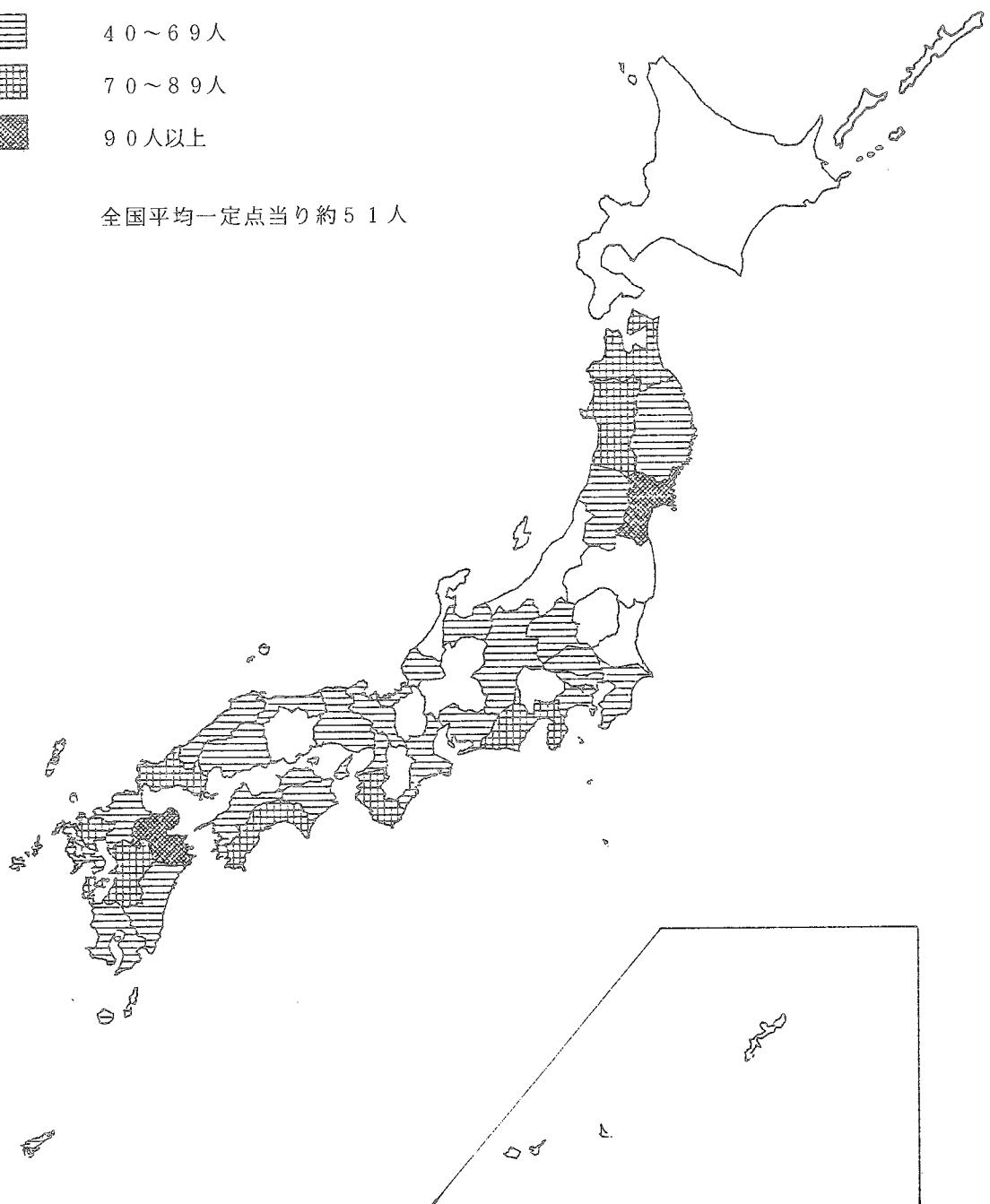


70 ~ 89人



90人以上

全国平均一定点当たり約51人



### 13 ヘルパンギーナ

ヘルパンギーナは、夏季に明らかな一峯性の流行をみる疾患であるが、図13-1にみると、59年には57、58年をはるかにこえる大流行となっている。報告患者数で204,555、全国平均一定点当たり数は約98で、58年の2倍以上であった。本年の流行をブロック別にみると、図13-3のごとくすべてのブロックでみられ、とくに中国・四国は一定点当たり一週当たり患者数が18をこえる流行であった。都道府県別にも図13-4のごとく山梨、石川両県をのぞき全国的に流行がみとめられている。

年齢区分別には図13-2のごとくで、1~4歳の幼児が67.2%をしめる点は57、58年と同様であった。

病原ウイルスとしては、図13-5にみると、流行の大きさに伴ってウイルス検出数も多く、826株に上ったこと、コクサツキーA10型ウイルスが過半数をしめたことが注目される。昭和56年以来の成績をみると、毎年主たるウイルスが2~3種類にわたっているとともに交代しているが、59年のように1種のウイルスが過半数をしめたのははじめてである。一方、手足口病の項で述べたように、59年の手足口病の病原としてコクサツキーA10型が登場したこととの関連も注目される。手足口病の場合の検査材料としては手足の水痘内容が多く使われるので、ヘルパンギーナとの臨床診断上の混乱があったと考えるよりも、A10型ウイルスが2つの病像を呈したと考えるのが妥当であろう。今後継続的なサーベイランスが重要であり、無菌性髄膜炎等の合併症の有無を含めて注意しなければならない。

図13-1 全国一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Weekly reported cases of herpangina per reporting clinic, Japan, 1982-1984.

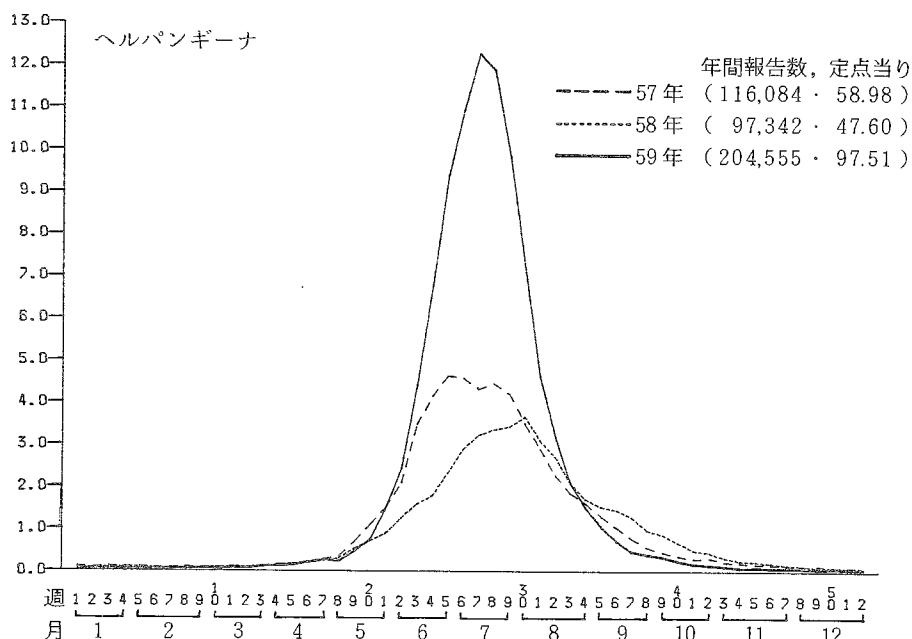


図13-2 年令区分別患者発生状況

Age distribution of reported cases of herpangina, Japan, 1984.

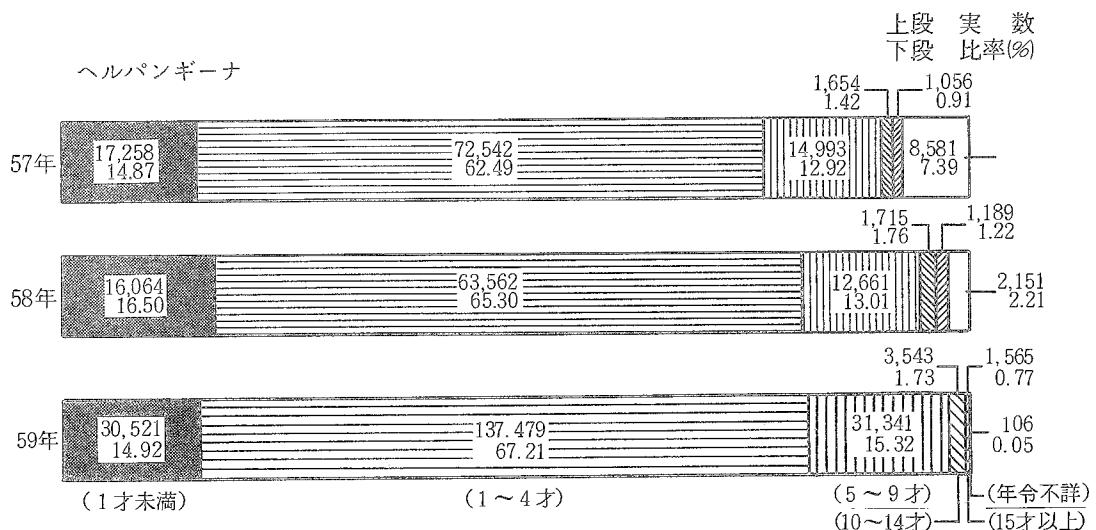


図13-3 ブロック別一定点医療機関当り患者発生数の推移

Weekly reported cases of herpangina per reporting clinic, by geographical area, 1984.

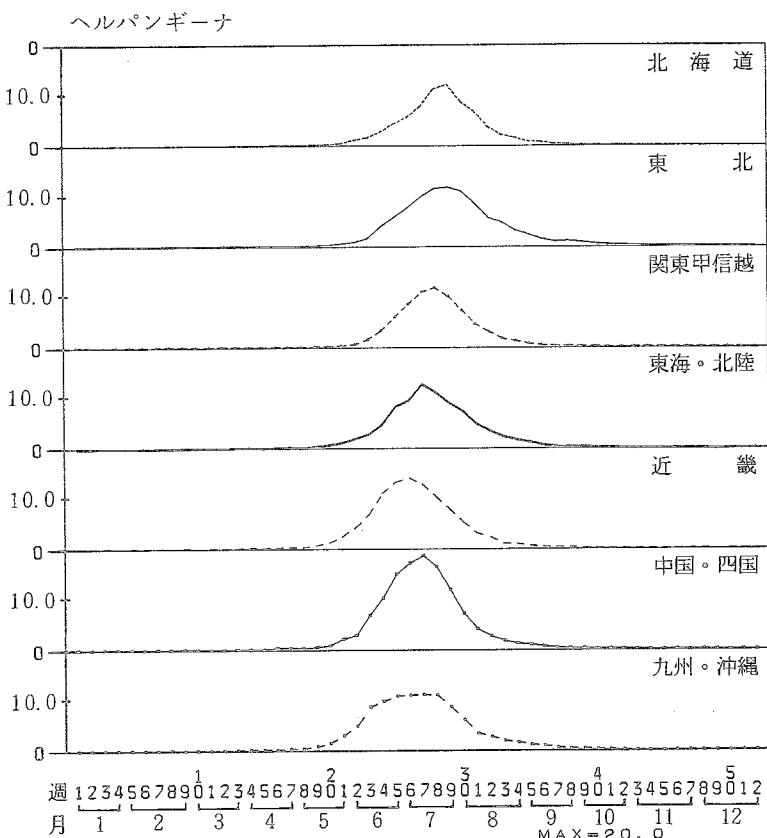


図13-4 地域別一定点医療機関当りの年間平均患者発生状況

Incidence of herpangina per reporting clinic, by prefecture, 1984.

ヘルパンギーナ



0~39人



40~59人



60~99人



100人以上

全国平均一定点当り約98人

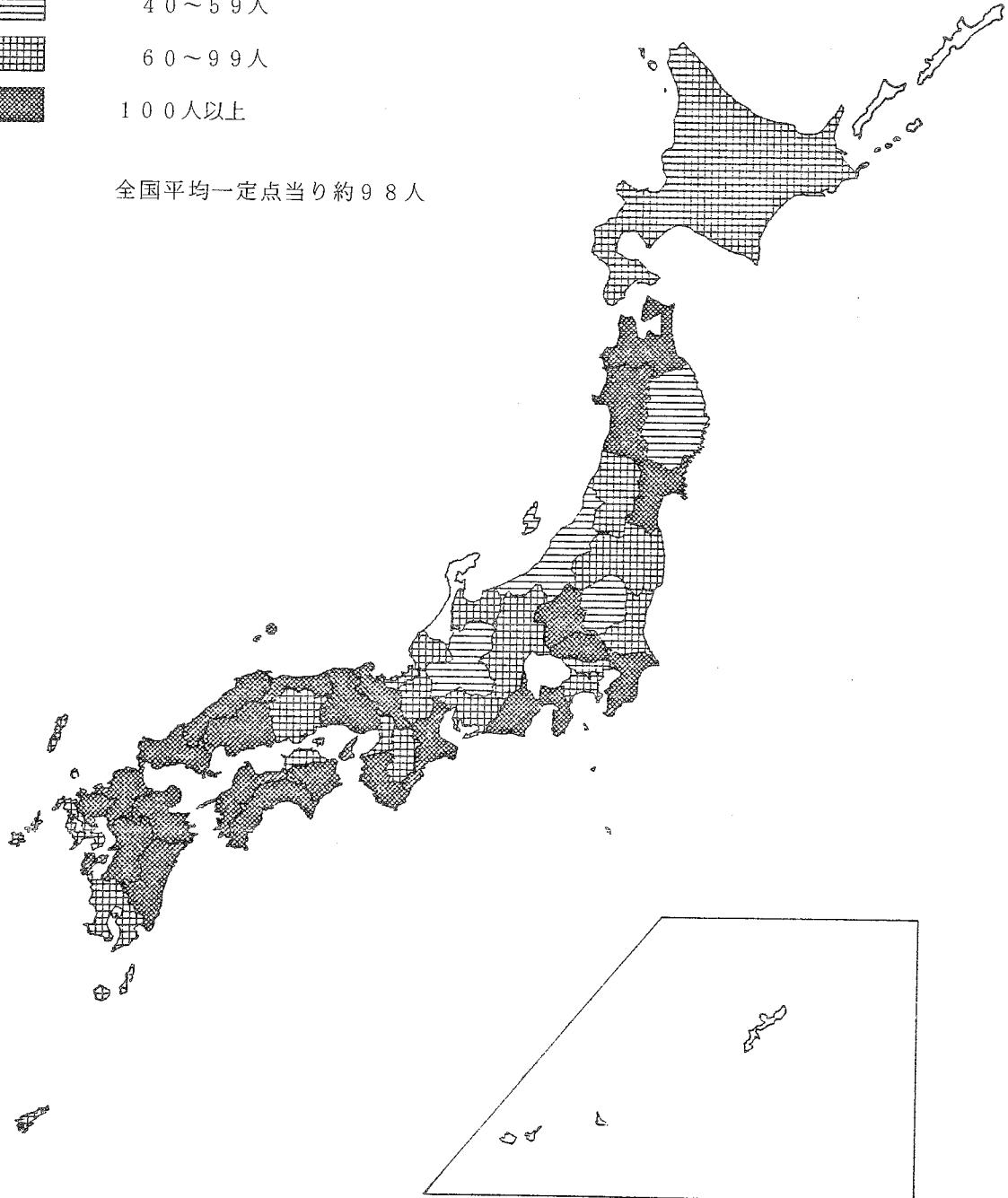
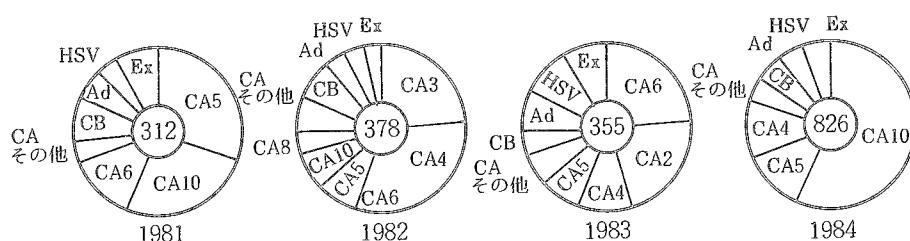


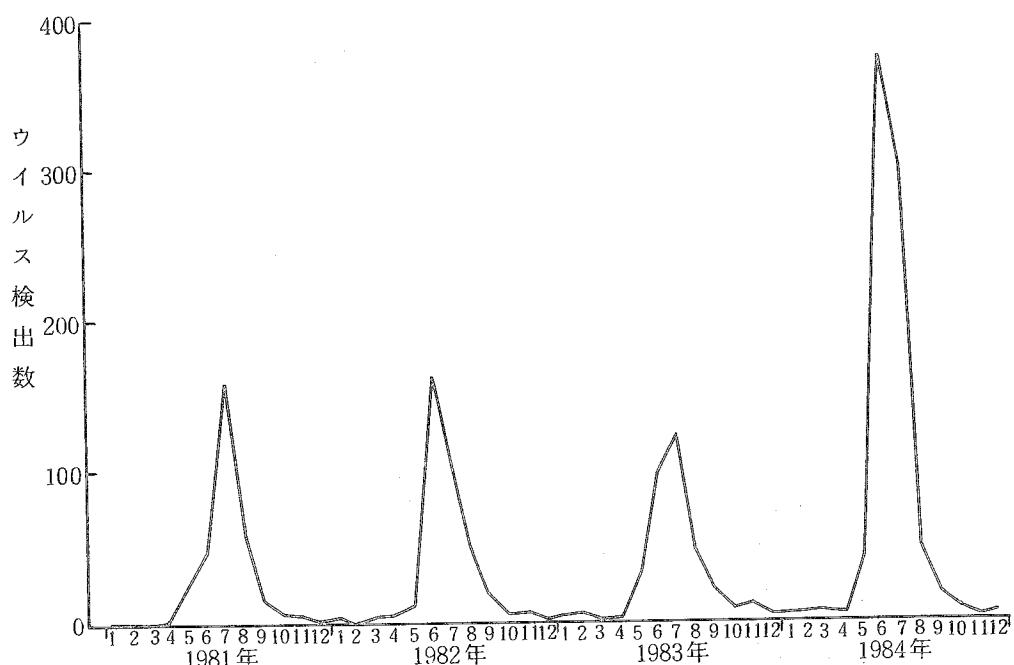
図13-5 ヘルパンギーナの症状のあったものからの月別ウイルス検出状況

1981～1984年（病原微生物検出情報）

Monthly reported isolations of viruses associated with herpangina, Japan, 1984.



(CA : コクサッキーA、CB : コクサッキーB、Ad : アデノ、  
HSV : 単純ヘルペス、Ex : その他のウイルス)



#### 14. 咽頭結膜熱

咽頭結膜熱は小児科患者定点からの報告も多い疾病であるが、集計では、眼科定点当たり報告数によった。流行性角結膜炎と同じくアデノウイルスの流行型の変化により、年によって流行規模が変わる。59年は4月頃から次第に増加しはじめ、7月に入って急増し、8月末（第35週）にピークとなり（眼科定点当たり6.6人）57、58年よりも高くなり、9月に急減した。ピークの時期は、エンテロウイルス感染症のピークが7月であるのにくらべて、1～2か月遅れるのが普通である。59年の定点当たり年間報告数は59年は92人と57年35人、58年52人を上回った。

ブロック別には、東海北陸が定点当たり年間報告数161人ともっとも多く、中国・四国も110人と他ブロックに比べて多かった。東北も54人と少ないが遅れて8月に入って急増している。これに対して北海道は11人と著しく少ない。九州沖縄ブロックは93人であったが、ここでは、58年のほうが125人と多かった。

地域別には関東以西、太平洋側に多いが、県別には定点当たり年間報告数が静岡446人、長野218人、名古屋市244人、香川204人がとくに多かった。

罹患年令は1～4才が42.19%、5～9才が36.37%と約80%を占め、次いで10～14才8.70%、15才以上7.00%である。59年の患者増加に伴い、5～9才の割合がやや増えたようである。

アデノウイルスの流行型についてみると、アデノ3型が多いのは例年のごとくであるが、4型、8型が増加したことが、咽頭結膜熱、流行性角結膜炎の多発に関連したのであろう。

図14-1 全国一定点医療機関当り患者発生数の推移

Weekly reported cases of pharyngo-conjunctival fever per reporting clinic,  
Japan, 1982-1984.

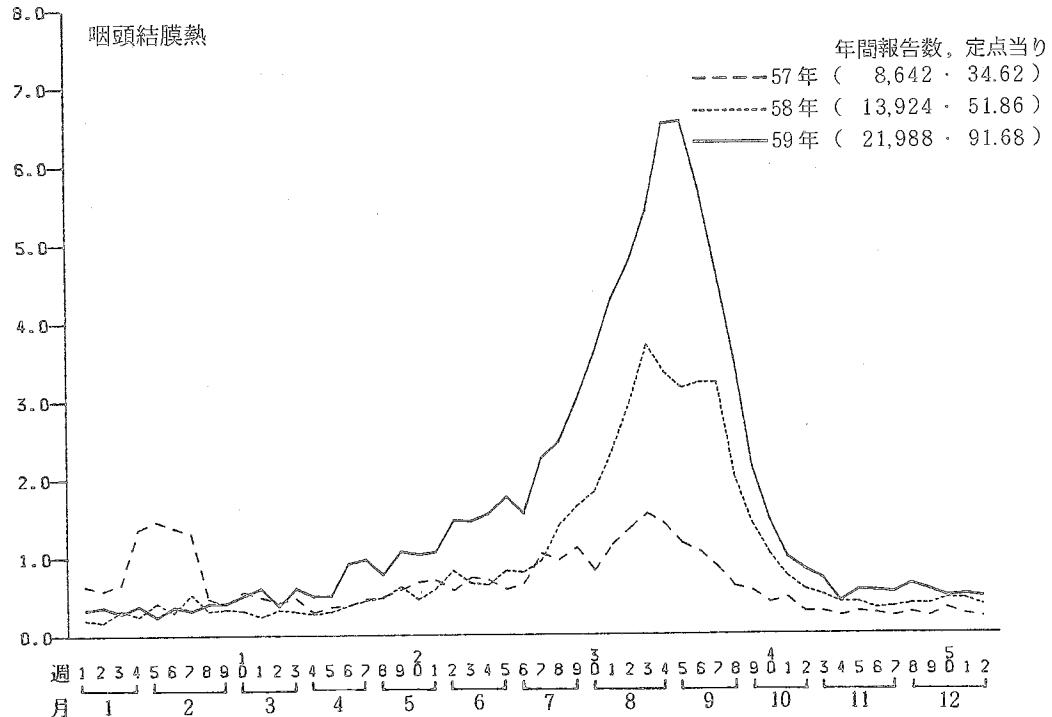


図14-2 年令区別患者発生状況

Age distribution of reported cases of pharyngo-conjunctival fever, Japan, 1984.

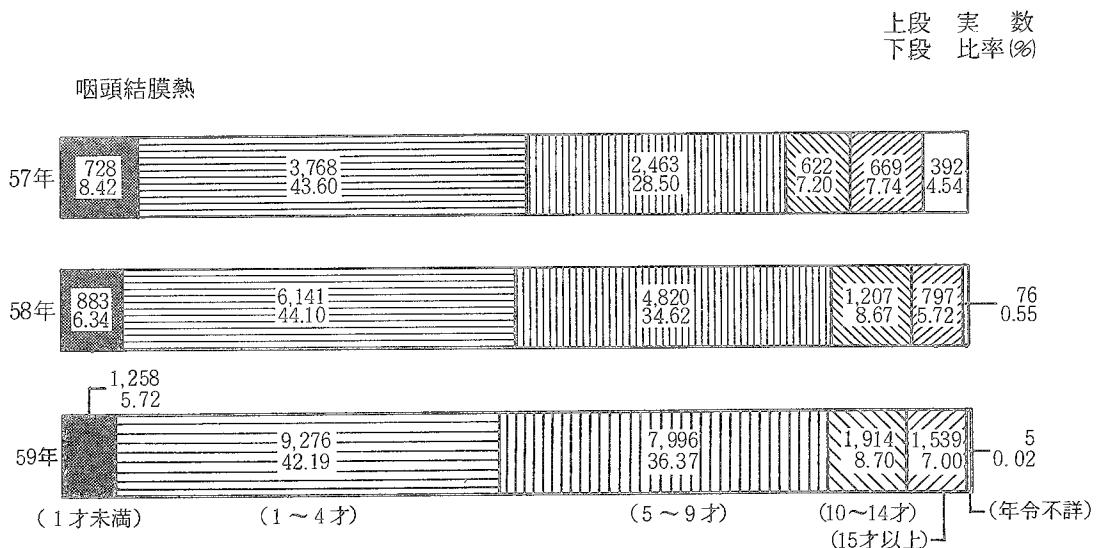


図14-3 ブロック別一定点医療機関当り患者発生数の推移

Weekly reported cases of pharyngo-conjunctival fever per reporting clinic,  
by geographical area, 1984.

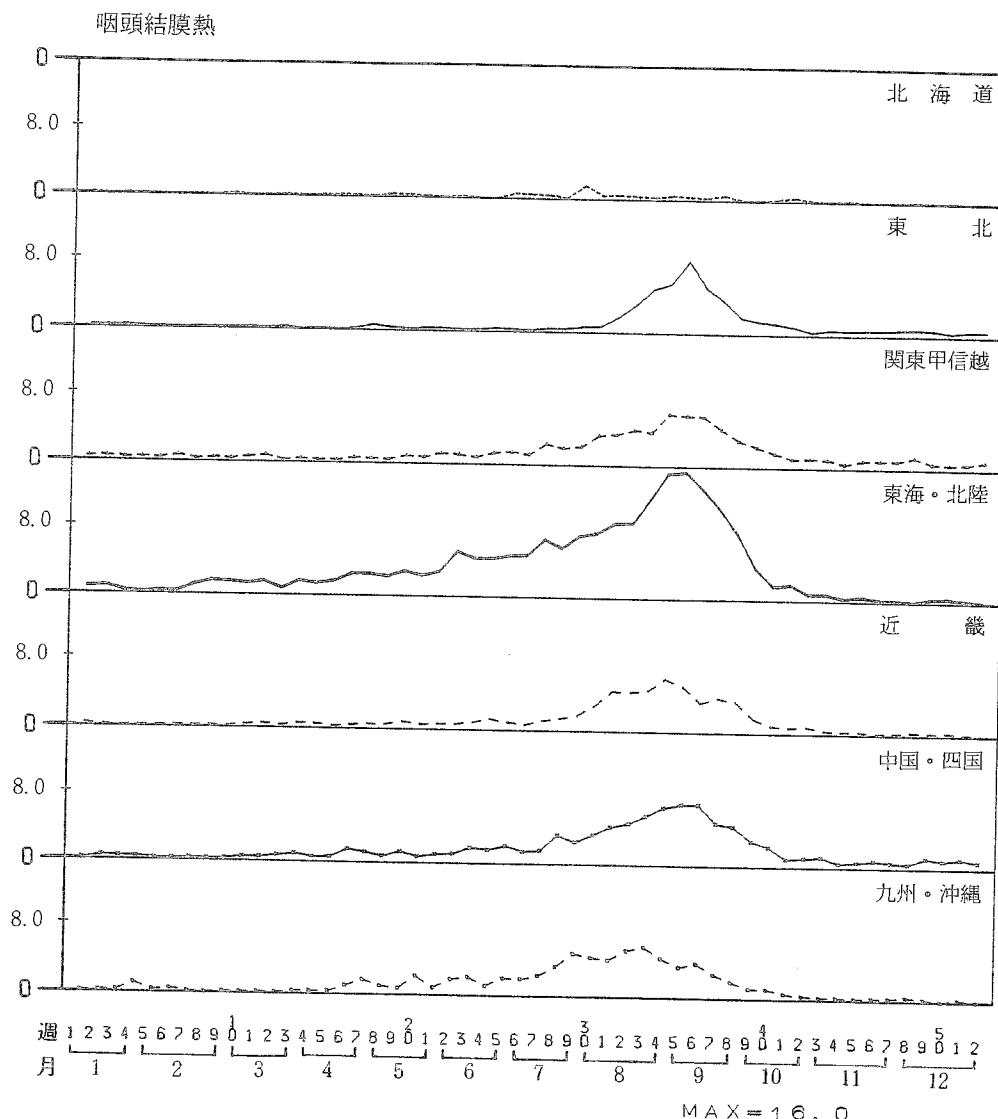


図14-4 地域別一定点医療機関当りの年間平均患者発生状況

Incidence of pharyngo-conjunctival fever per reporting clinic, by prefecture, 1984.

咽頭結膜熱



0～39人



40～69人



70～99人



100人以上

全国平均一定点当たり約92人

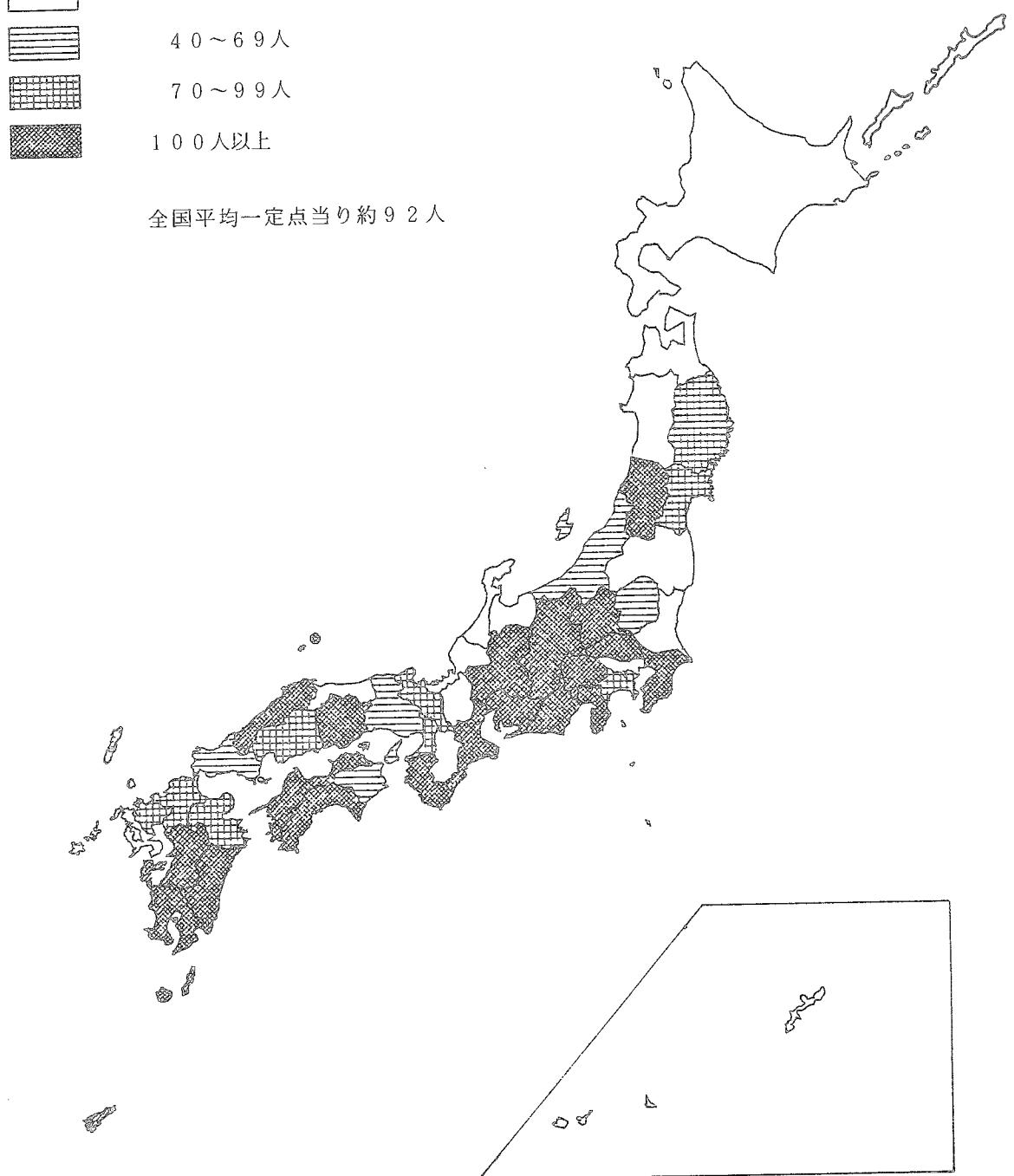
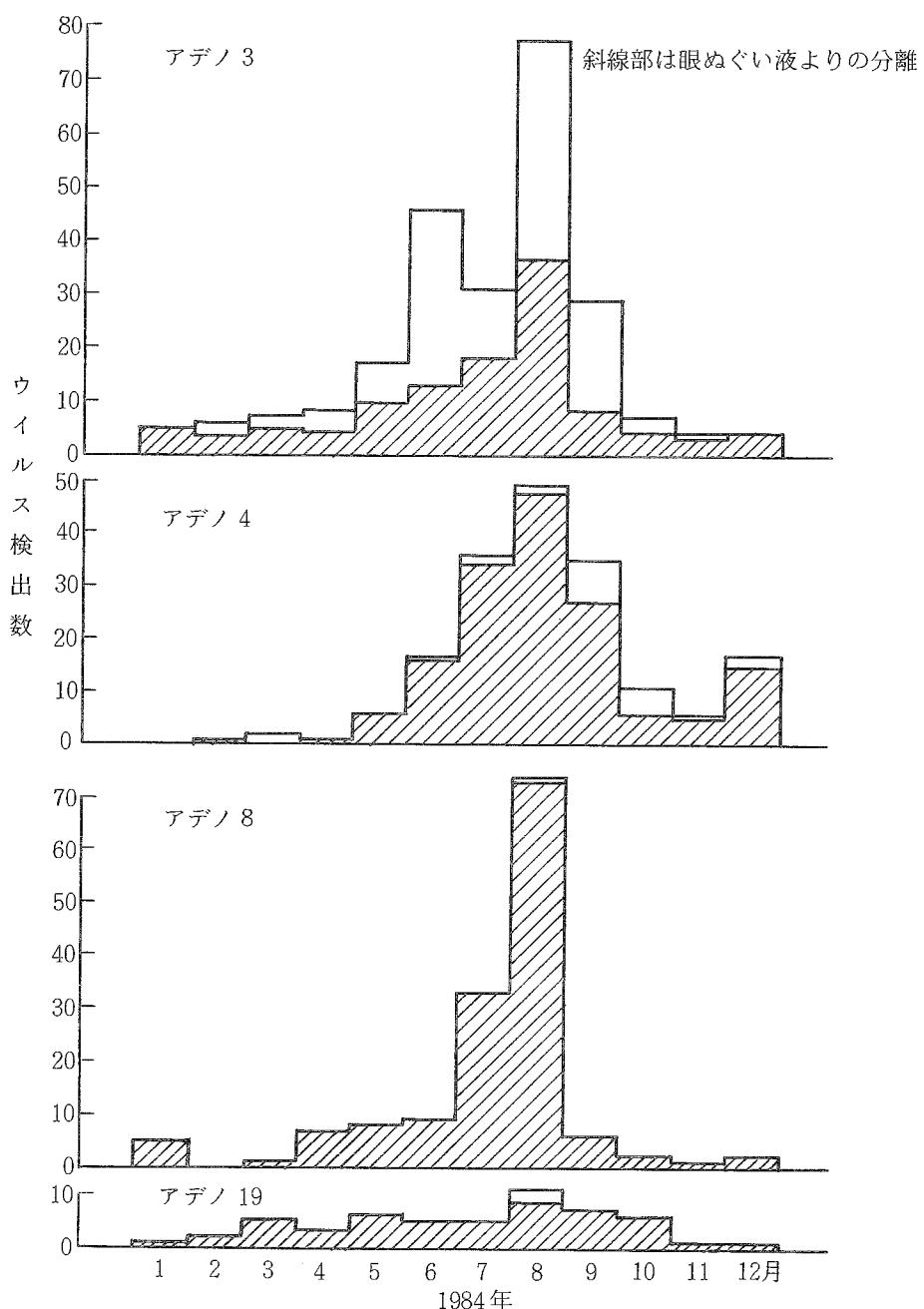


図14-5 角膜炎・結膜炎の症状のあったものからのアデノウイルス

3.4.8.19型の月別検出状況

Monthly reported isolations of adenoviruses associated with eye disease, Japan, 1984.



## 15. 流行性角結膜炎

流行性角結膜炎も咽頭結膜熱と同様に4月から増えはじめ、8月終り（第34週）にピーク（眼科定点当り6.97人）を示し、57、58年の発生を上回った。眼科定点当り年間報告数は、59年は、190人で、57年135人、58年157人よりも多かった。

ブロック毎の発生カーブは咽頭結膜熱のような一定のパターンはとっていない。眼科定点当り年間報告数では九州沖縄が336人と特に多く、北海道が105人と最低であるが、その他のブロックは全国平均に近い。東海北陸のカーブが8月から9月にかけて突出しているが、これは岐阜県における流行を反映したものである。

地域別には茨城県が、眼科定点当り年間報告数496人、岐阜県542人、福岡県510人（北九州市、福岡市は少ない）、鹿児島県731人、沖縄県866人と多い点が目立った。

罹患年令は、15才以上が62.92%と多く、小児では5～9才12.19%、10～14才10.88%、1～4才10.93%でこの割合は57、58年と変わらない。

図15-1 全国一定点医療機関当り患者発生数の推移

Weekly reported cases of epidemic keratoconjunctivitis per reporting clinic, Japan, 1982-1984.

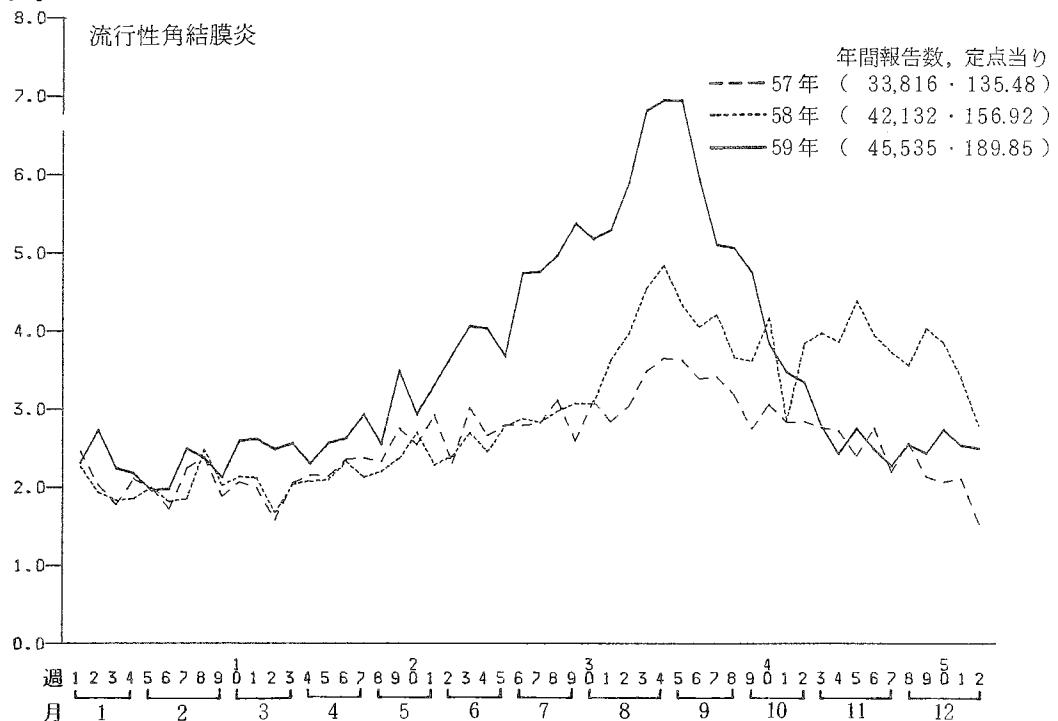


図15-2 年令区分別患者発生状況

Age distribution of reported cases of epidemic keratoconjunctivitis, Japan, 1984.

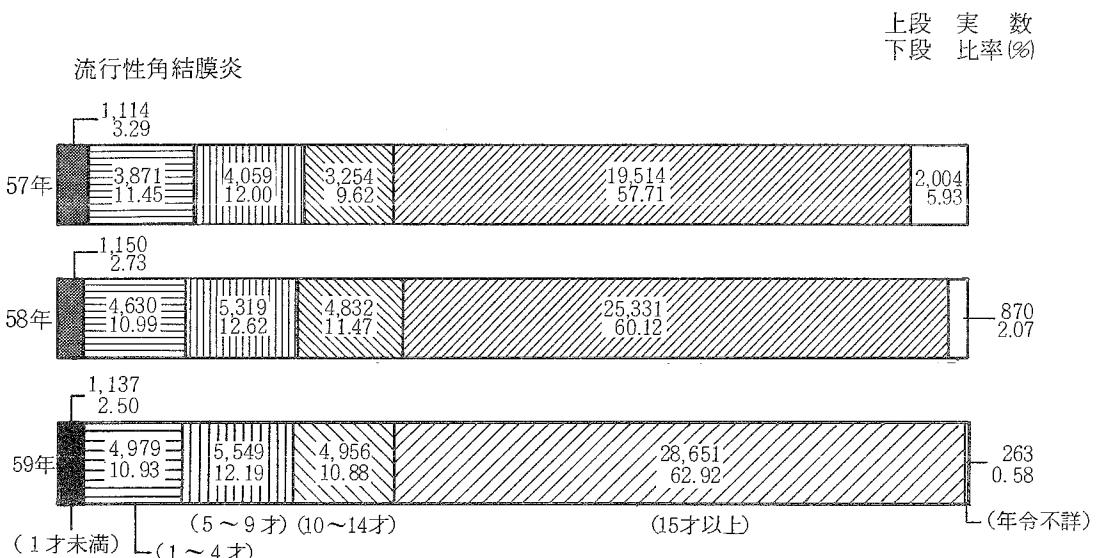


図15-3 ブロック別一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Weekly reported cases of epidemic keratoconjunctivitis per reporting clinic,  
by geographical area, 1984.

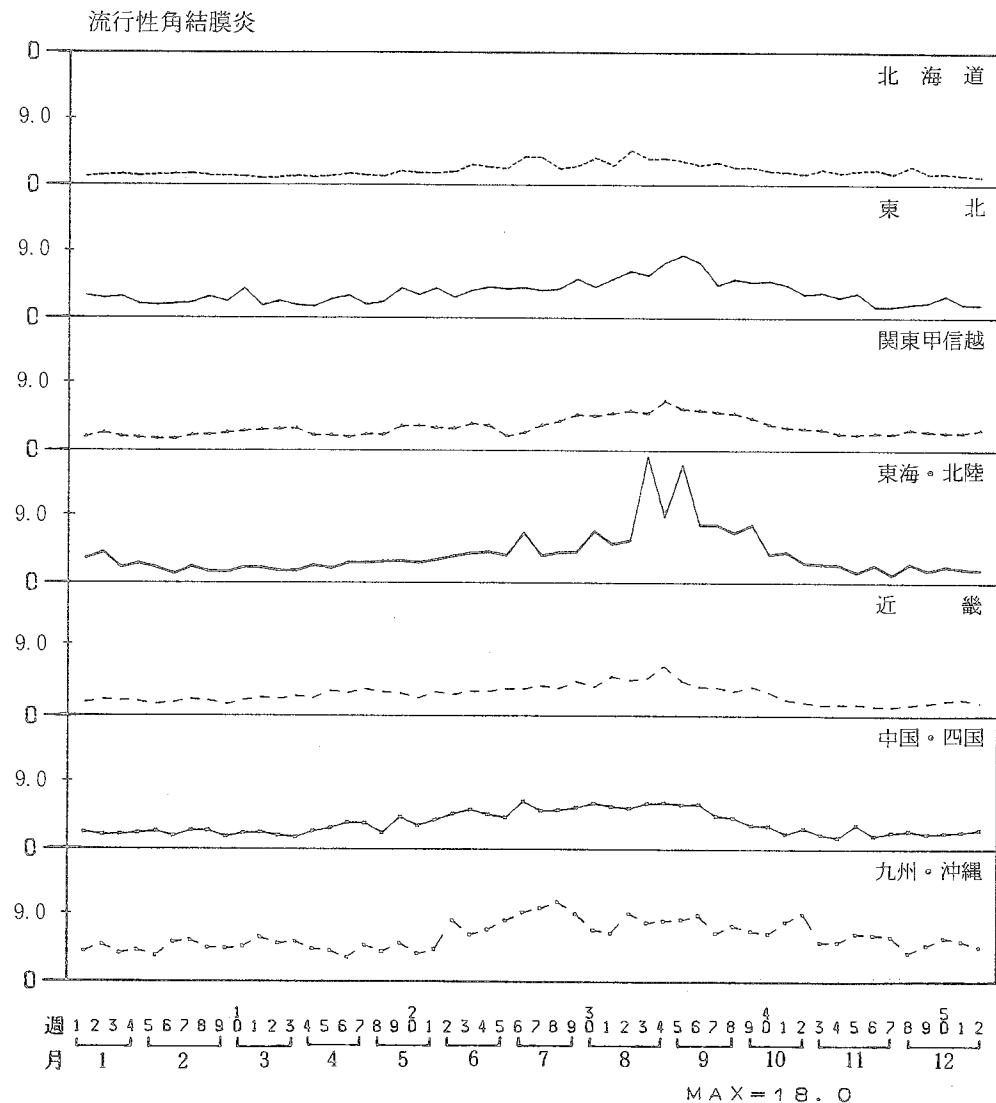
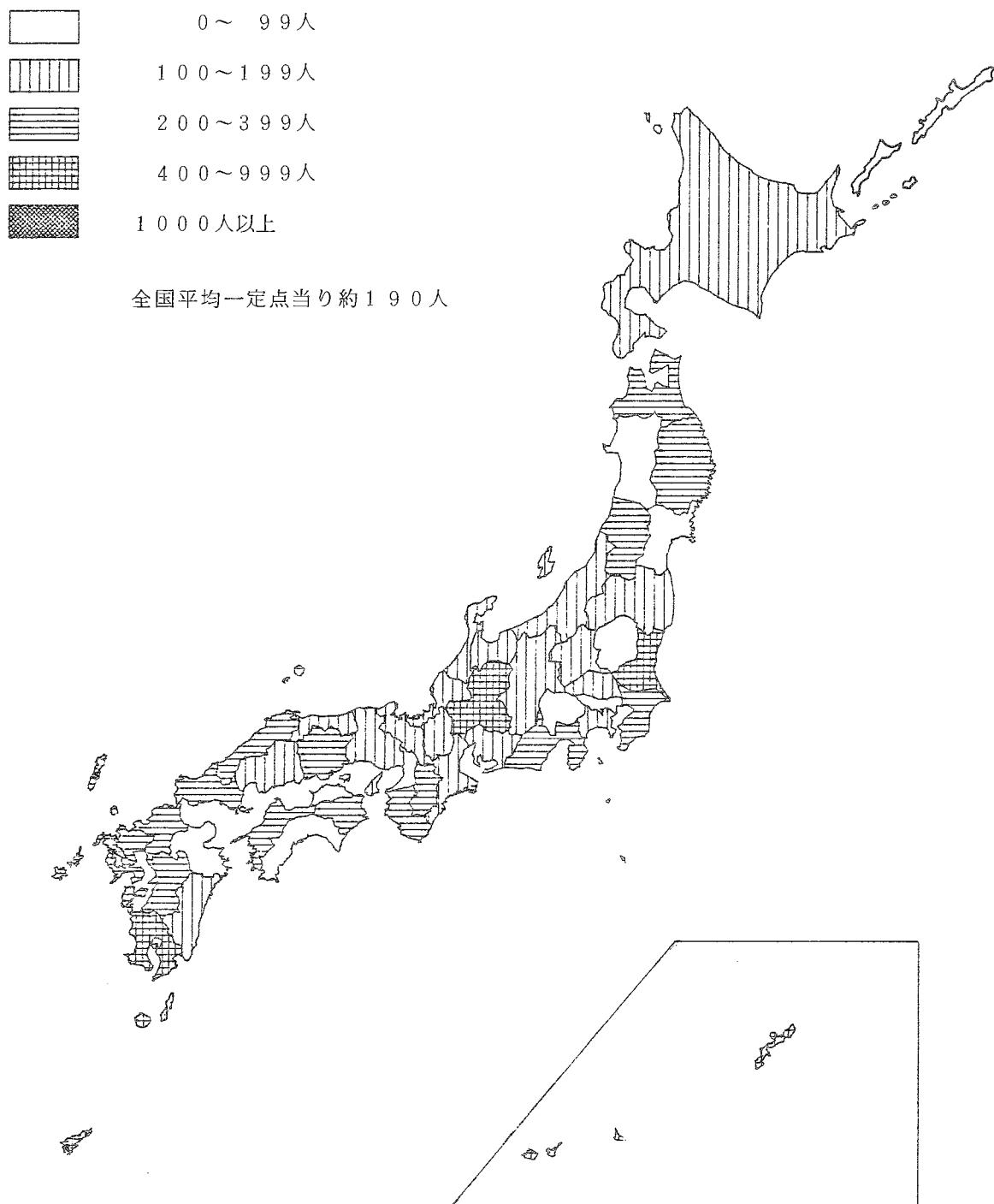


図15-4 地域別一定点医療機関当たりの年間平均患者発生状況

Incidence of epidemic keratoconjunctivitis per reporting clinic, by prefecture, 1984.

流行性角結膜炎



## 16. 急性出血性結膜炎

昭和59年の全国平均の動きをみると、7月第29週をピークとする大きな急峻な山があり、その他に幾つかの小さな山がみられるが、これはブロック別の動きでみられるように、大部分は九州。沖縄ブロックにおける流行の影響で、その他は山梨県での春の流行によるものが主体をなしている。眼科定点当たり年間報告数は、59年は42人と57年18人、58年22人の2倍の発生であった。ブロック別には九州。沖縄が211人と特に多く、他のブロックはいづれも30人以下である。

九州。沖縄ブロックで特に流行の激しかったのは鹿児島県の眼科定点当たり年間報告数616人、長崎県435人、宮崎県389人で7月の大きな山は鹿児島、宮崎の二県の流行によるものである。長崎県の発生は、10月以降で、11月にピークを作っている。同ブロックの他県の状況は沖縄が175人、大分141人、熊本91人と多かった。福岡県は65人とやや多かったが、福岡市、北九州市は少なく、佐賀県はほとんど発生をみなかった。山梨県では、1月から8月まで患者が多く、定点当たり年間報告数は222人となった。

罹患年令は15才以上が72.45%を占め、次いで10~14才14.46%、5~9才7.87%、1~4才4.20%で57、58年と同様である。

図16-1 全国一定点医療機関当り患者発生数の推移

Weekly reported cases of acute hemorrhagic conjunctivitis, per reporting clinic, Japan, 1982-1984.

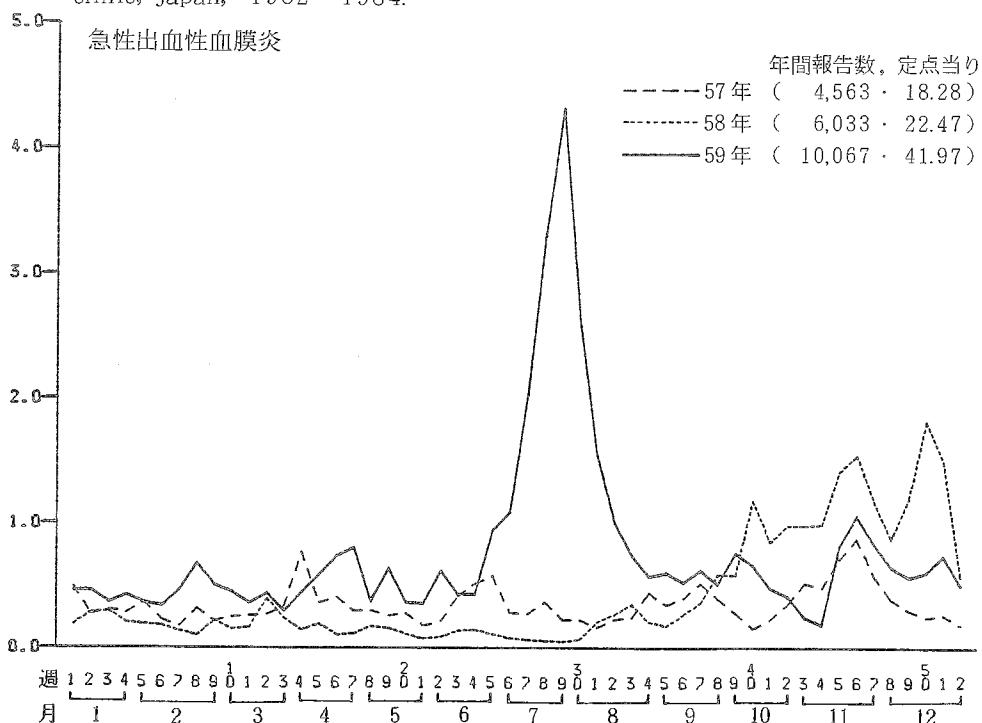


図16-2 年令区分別患者発生状況

Age distribution of reported cases of acute hemorrhagic conjunctivitis, Japan, 1984.

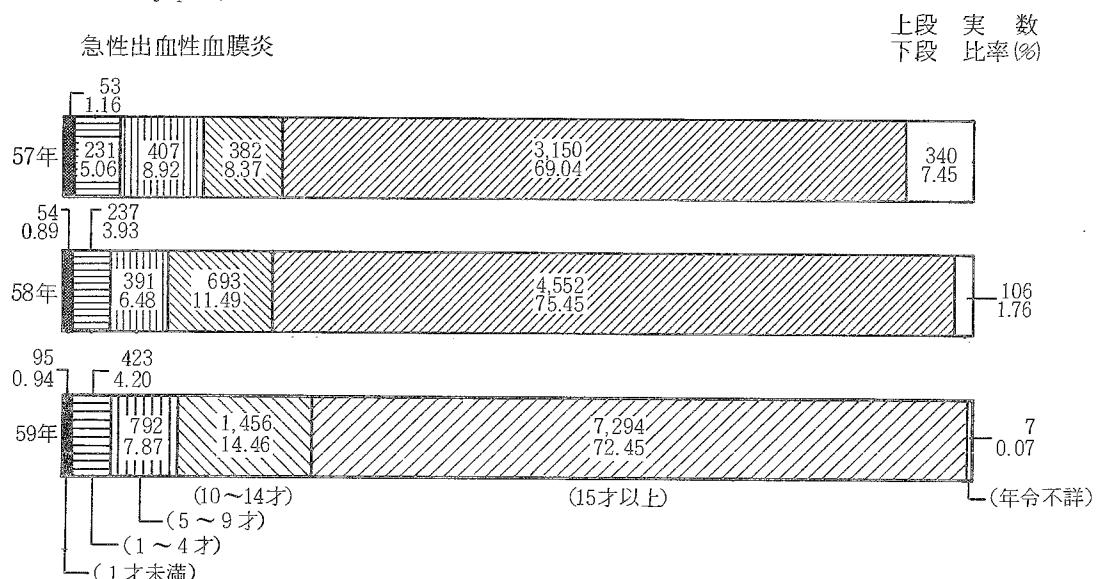


図16-3 ブロック別一定点医療機関当り患者発生数の推移

Weekly reported cases of acute hemorrhagic conjunctivitis per reporting clinics, by geographical area, 1984.

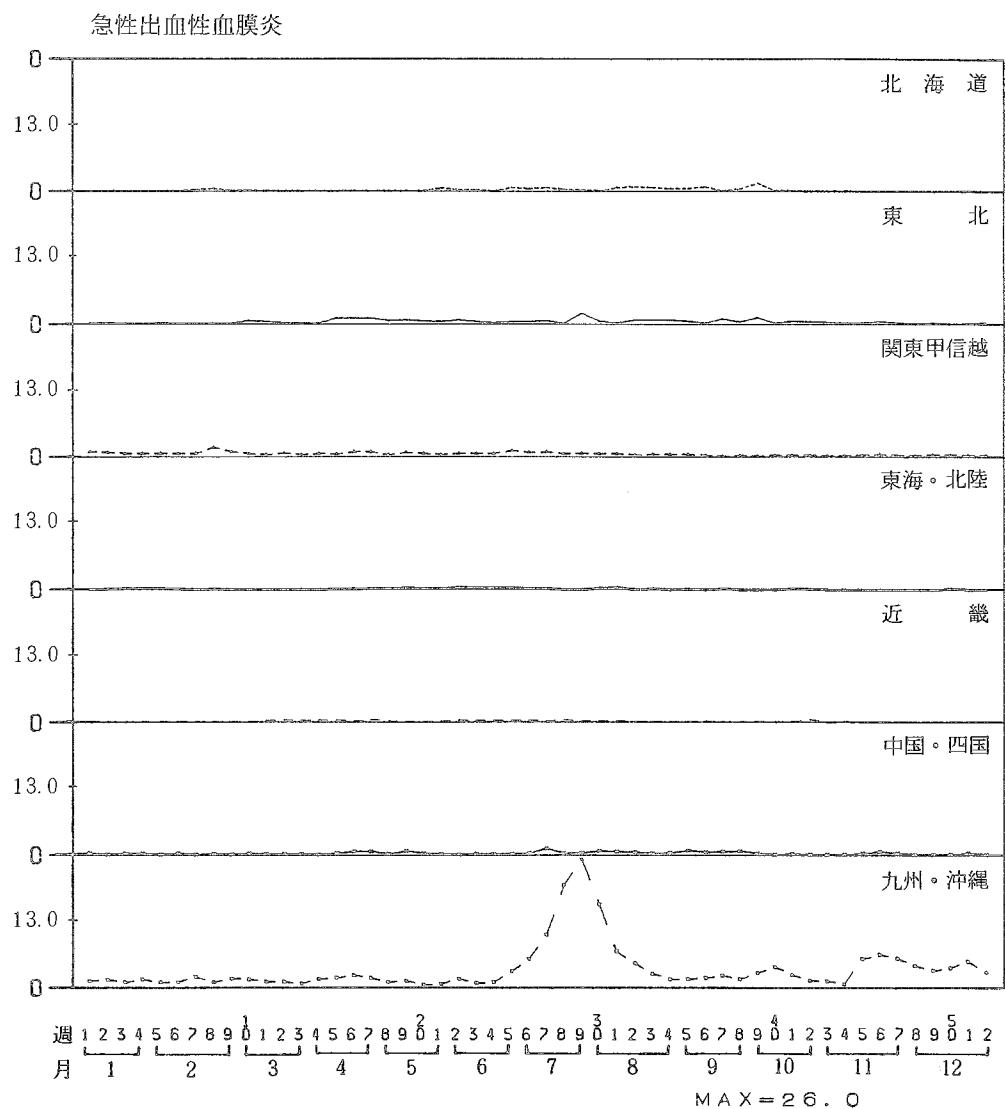
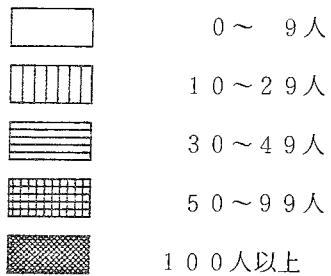
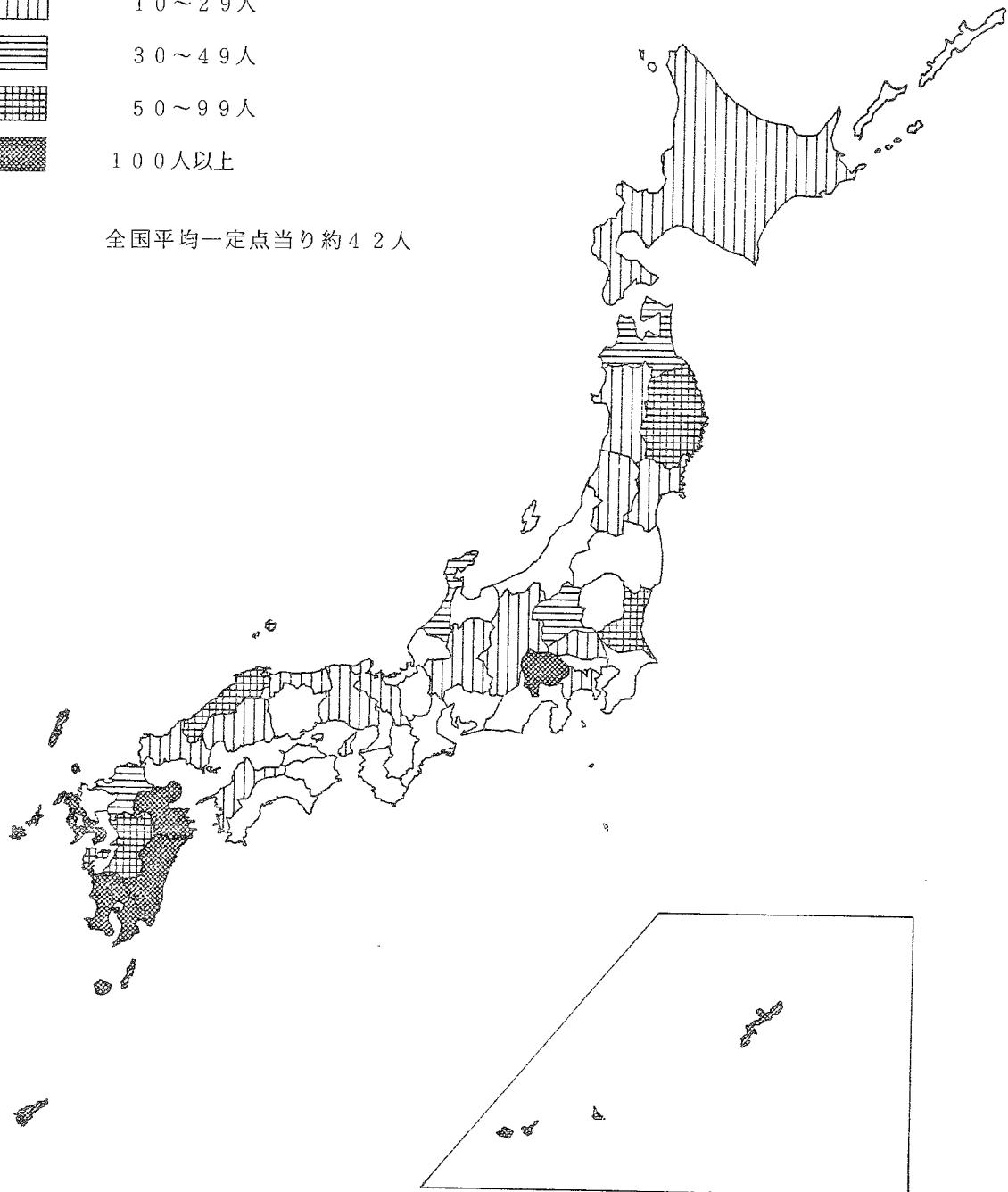


図16-4 地域別一定点医療機関当りの年間平均患者発生状況  
Incidence of acute hemorrhagic conjunctivitis per reporting clinic,  
by prefecture, 1984.  
急性出血性結膜炎



全国平均一定点当たり約42人



## 17 細菌性髄膜炎

59年の報告数は472人、一定点当り1.14人で、前年に比べ報告数で150人、一定点当りで0.59人減少した。過別に発生数をみても(図17-1)0.00~0.05人で、変動も少なかった。

ブロック別にみると(図17-3)一定点当り最低北海道の0.06人から最高東海・北陸の2.28人までばらつきがみられた。季節的変動では9月下旬(39週)新潟の3.00人が目立つ程度であった。

年令区分別では(図17-2)、0才39%、1~4才28%、5~9才20%で前年と大差はなかった。

細菌性髄膜炎の病原学的診断は塗抹鏡見によってもある程度までは可能であり、主な起因菌として世界的に流行性髄膜炎菌、肺炎レンサ球菌及びインフルエンザ菌があげられる。わが国では流行性髄膜炎菌によるものは法定伝染病として扱われるが、現在は臨床診断のみで診定されることはまず無いであろう。

前年同様、起因菌の報告されたものは非常に少ないことは、報告形式に一考を要するものと考えられる。

図17-1 全国一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Weekly reported cases of bacterial meningitis per reporting clinic, Japan, 1982-1984.

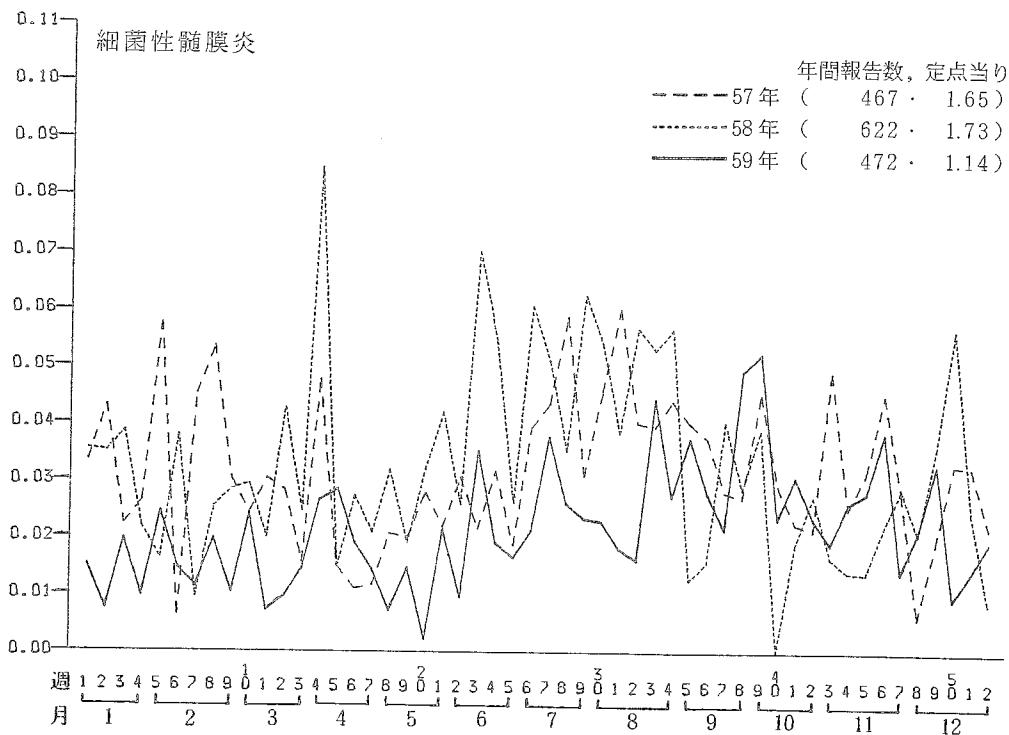


図17-2 年令区分患者発生状況

Age distribution of reported cases of bacterial meningitis, Japan, 1984.

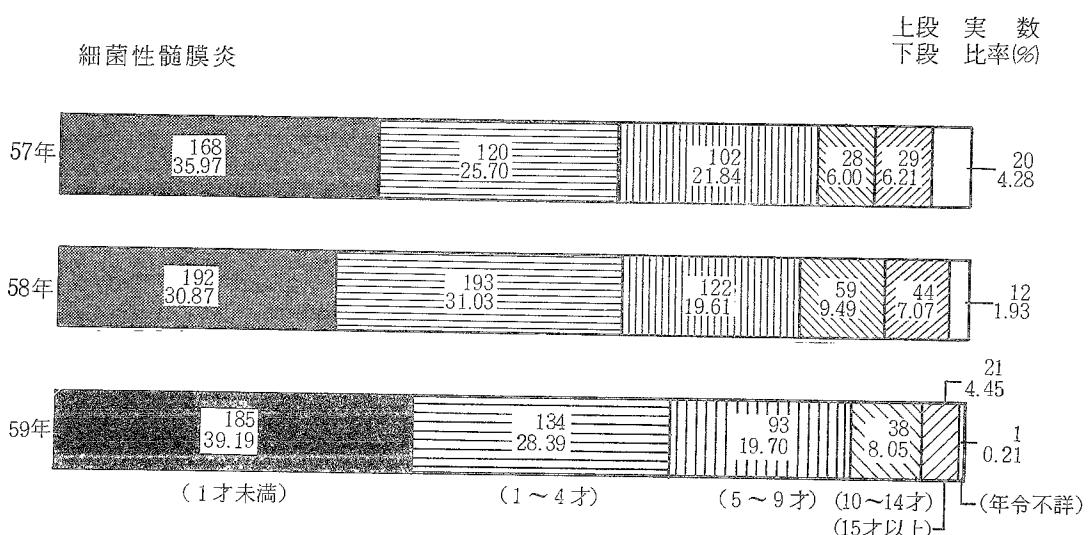
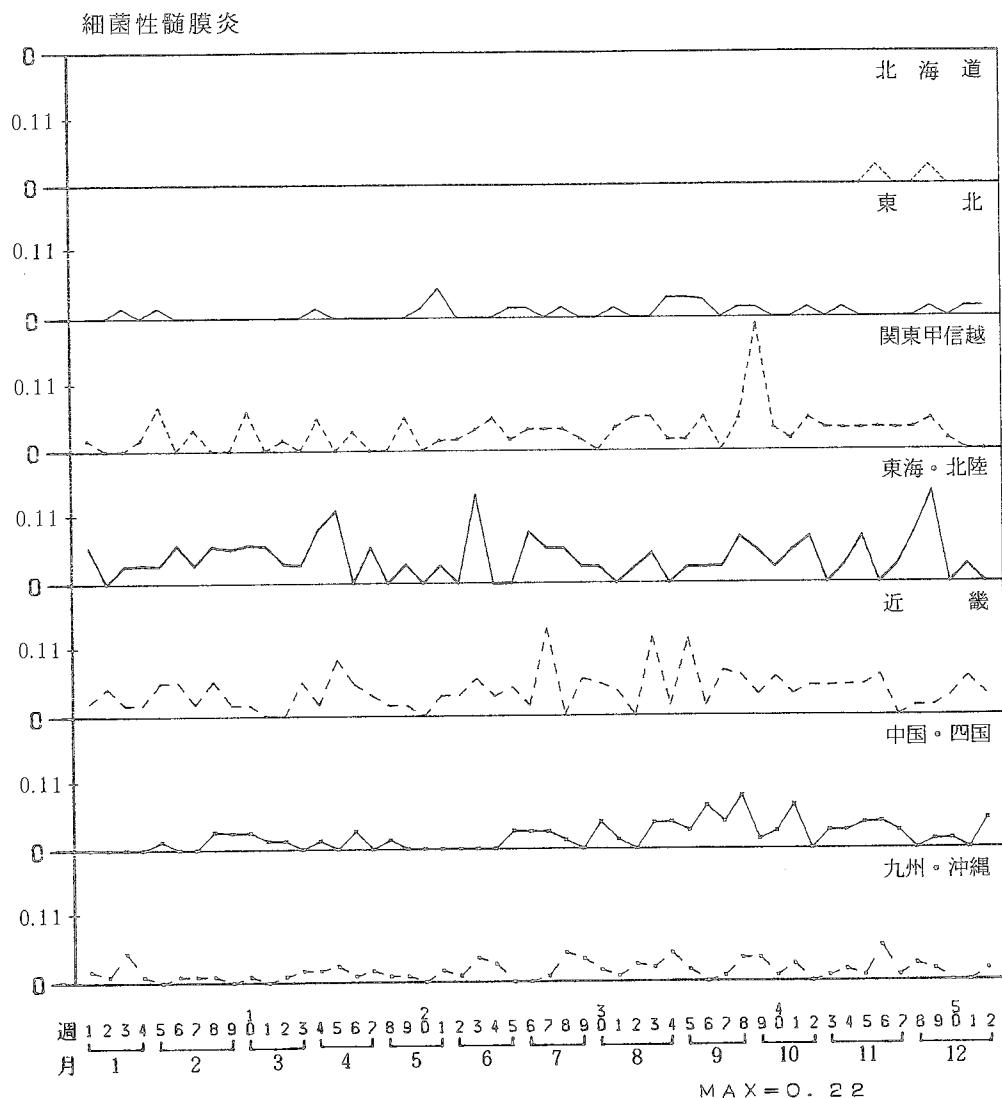


図17-3 ブロック別一定点医療機関当り患者発生数の推移

Weekly reported cases of bacterial meningitis per reporting clinic,  
by geographical area, 1984.



## 18 無菌性髄膜炎

59年の報告数は4,568人、一定点当り11.05人で、前年に比べ報告数で2,375人、一定点当りで8.3人の減少をみた。

一定点当りの週別発生件数の推移をみると（図18-1）6月中旬より増加し始め7月下旬（30、31週）にピークとなり0.67人10月下旬に減少する一峰性の山を形成し、前年とほぼ同様の傾向を示した。

地域別にみると（図18-4）、愛媛県の一定点当り107人を最高に、50人以上は佐賀85人、三重67人、兵庫55人、愛知54人の各県であった。また9人以下は北海道を始め20道府県であった。

同様ブロック別にみると（図18-3）、東海・北陸、近畿、中国・四国ブロックでは多発の山が明らかに認められた。

年令区分別では0才8%、1～4才34%、5～9才45%で前年に比べ4才以下が多かった。

患者からのウイルス分離状況を病原微生物検査情報からみると、1984年中に髄膜炎患者から検出されたウイルスは合計986株で、このうち髄液からの分離例は392（39.8%）である。月別分離報告数は患者発生状況と一致して7、8月に最も多い（図18-B-5）。

この年の無菌性髄膜炎起因ウイルスの主流はコクサッキーB5型で、髄膜炎患者からの分離例の47%（466例）を占めた（図18-6）。これ以外に多種類のエンテロウイルスの分離が報告された。これらはエコー-11、30、9、16、18、コクサッキーB1、2、4およびコクサッキーA9型などである。無菌性髄膜炎の主流は前年がエコー-30型、前々年はコクサッキーB3およびA9型であったことと比較すると、毎年流行ウイルスの主流が全く異っていることがわかる。

図18-1 全国一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Weekly reported cases of aseptic meningitis per reporting clinic, Japan, 1982-1984.

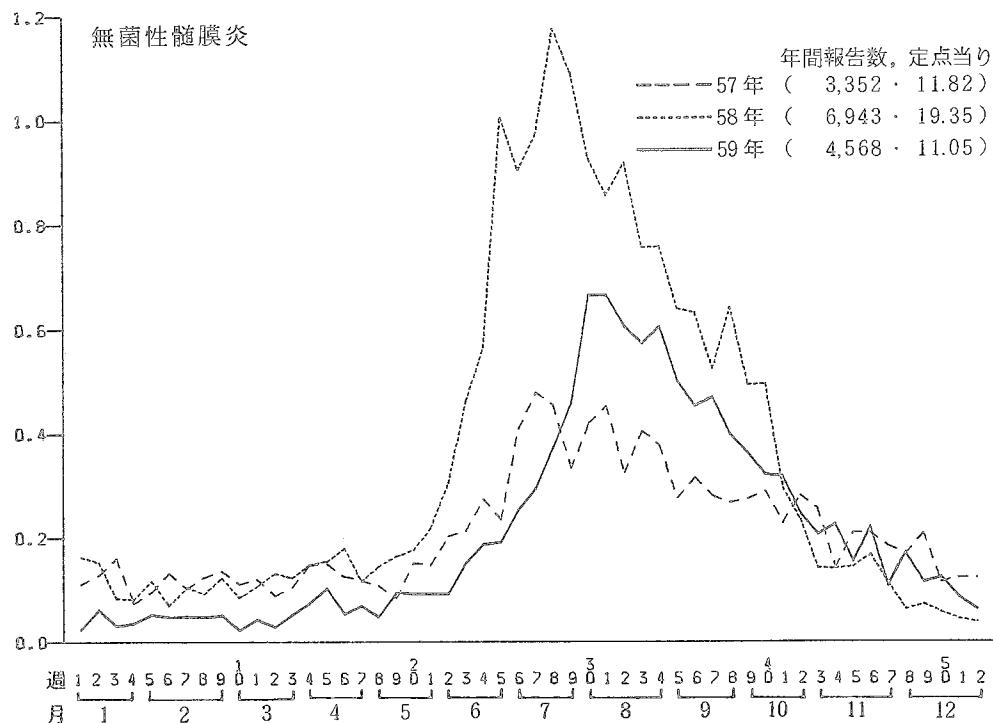


図18-2 年令区分別患者発生状況

Age distribution of reported cases of aseptic meningitis, Japan, 1984.

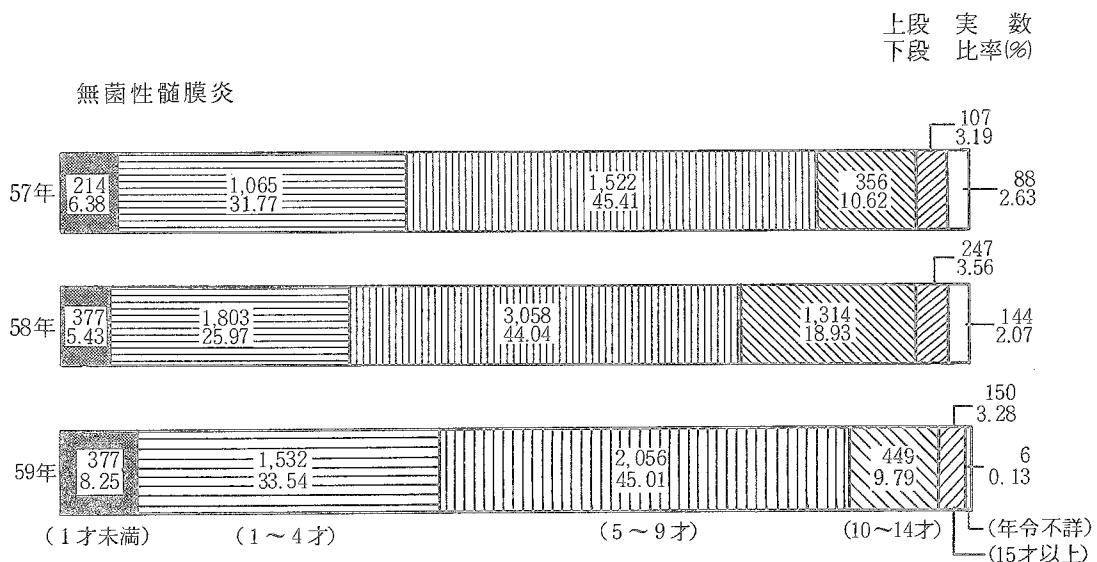


図18-3 ブロック別一定点医療機関当り患者発生数の推移

Weekly reported cases of aseptic meningitis per reporting clinic,  
by geographical area, 1984.

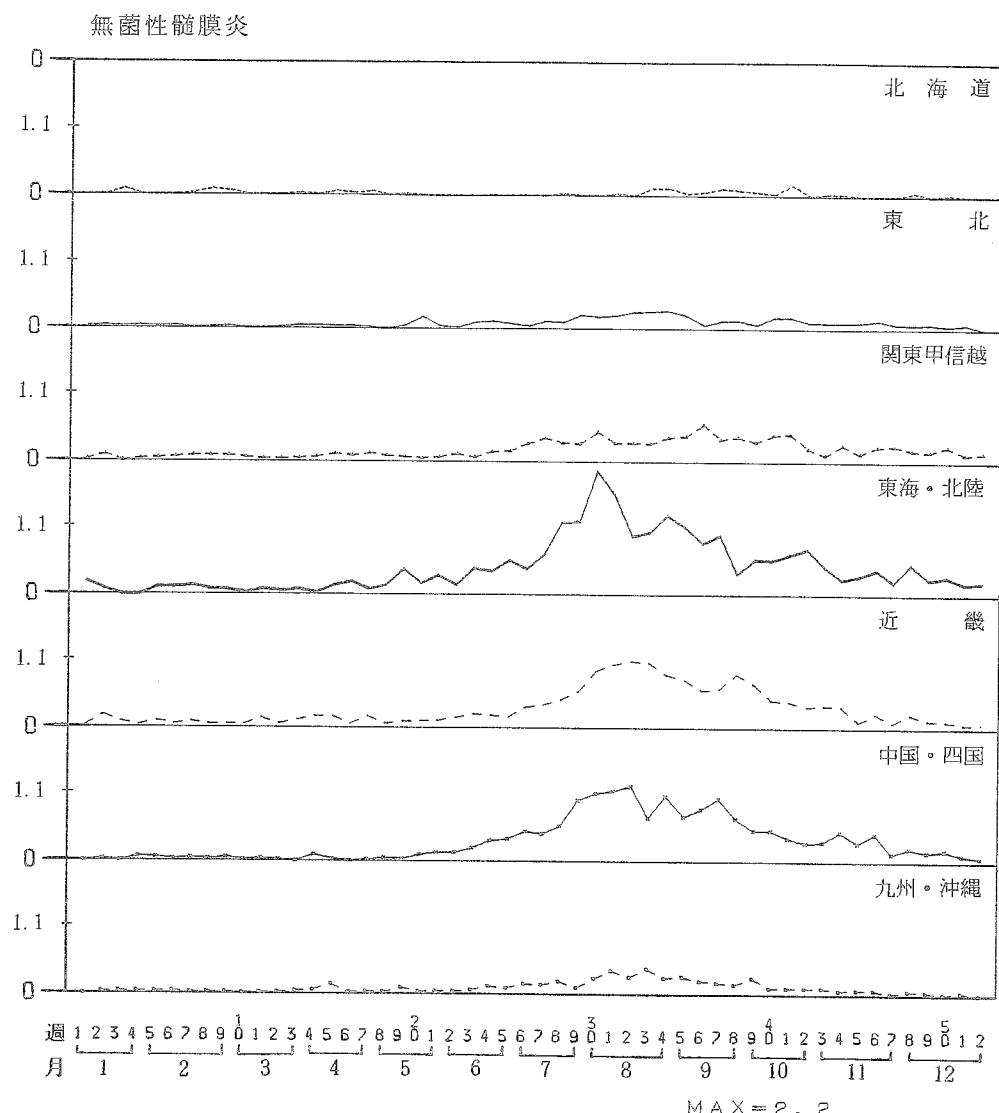


図18-4 地域別一定点医療機関当たりの年間平均患者発生状況

Incidence of aseptic meningitis per reporting clinic, by prefecture, 1984.

無菌性髄膜炎

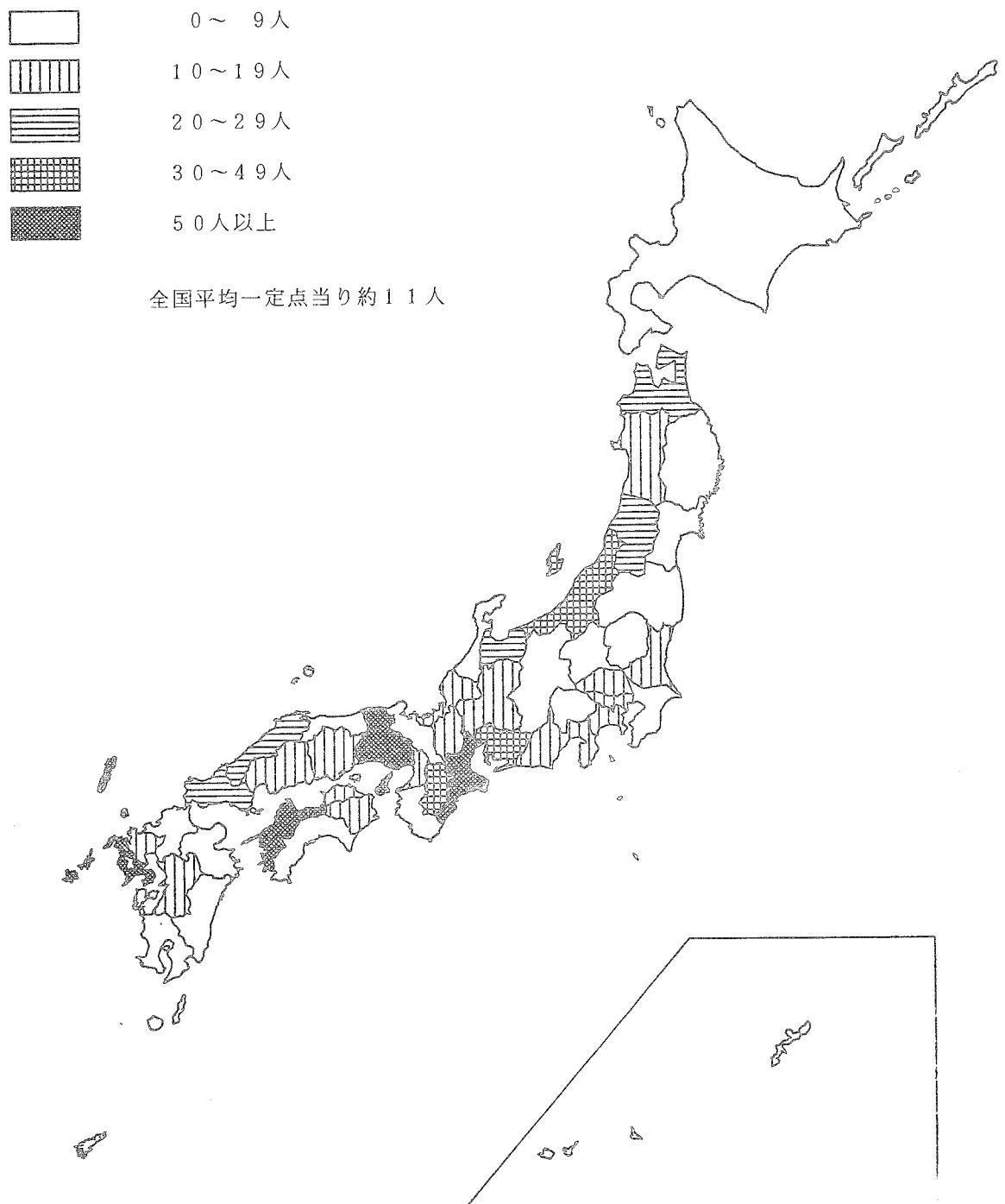


図18-5 無菌性髄膜炎患者からの月別ウイルス検出状況  
Monthly reported isolations of viruses associated with aseptic meningitis,

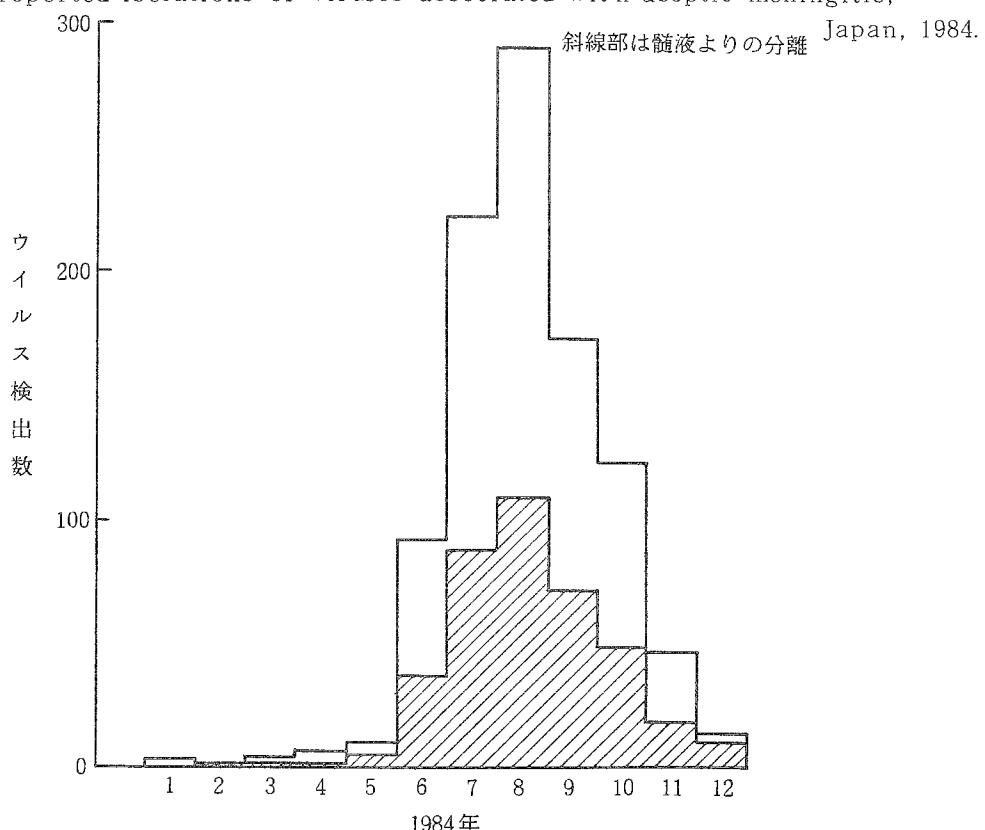
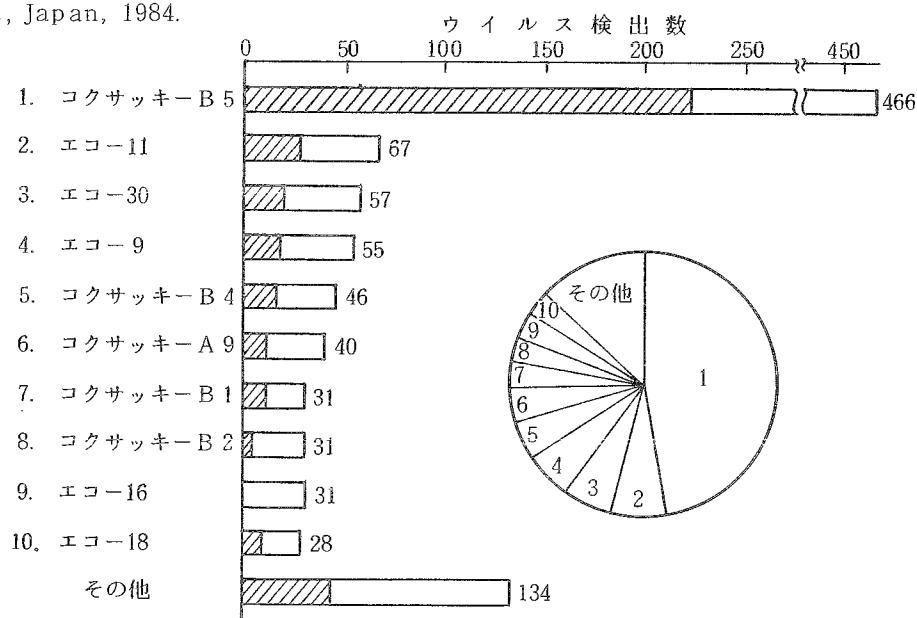


図18-6 無菌性髄膜炎患者からの型別ウイルス検出状況（1984年）

Reported isolations of viruses associated with aseptic meningitis, by etiologic agent, Japan, 1984.



## 19 脳炎・脊髄炎

59年の報告数は200人、一定点当り0.48人で、前年に比べ報告数で13人、一定点当りで0.11人の減少であった。週別の一定点当りの報告数は0～0.03人、平均0.01人で季節変動は認められない。

(図19-1)

ブロック別にみると(図19-3)、一定点当りの報告数は北海道の0.06人から東海・北陸の1.11人までやや幅がみられた。

年令区分では(図19-2)、0才5%、1～4才36%、5～9才35%、10～14才13%で、前年に比べ1～9才の占める比率がやや増加した。

脳炎症状のあった者から検出されたウイルスについて病原微生物検査情報からみると(表19-4)、この年脳炎患者からのウイルス分離は20例報告された。うち4株は髄液からの分離である。分離ウイルスは単純ヘルペス1型5例、コクサッキーB5型とアデノ4型が各2例、その他ではコクサッキーA4、エコー6、11、16、ライノ、ロタ、アデノ2、単純ヘルペス2形と型不明、サイトメガロウイルス、ウイルス未同定が各1例ずつ報告された。

図19-1 全国一定点医療機関当り患者発生数の推移

Weekly reported cases of encephalomyelitis per reporting clinic, Japan, 1982-1984.

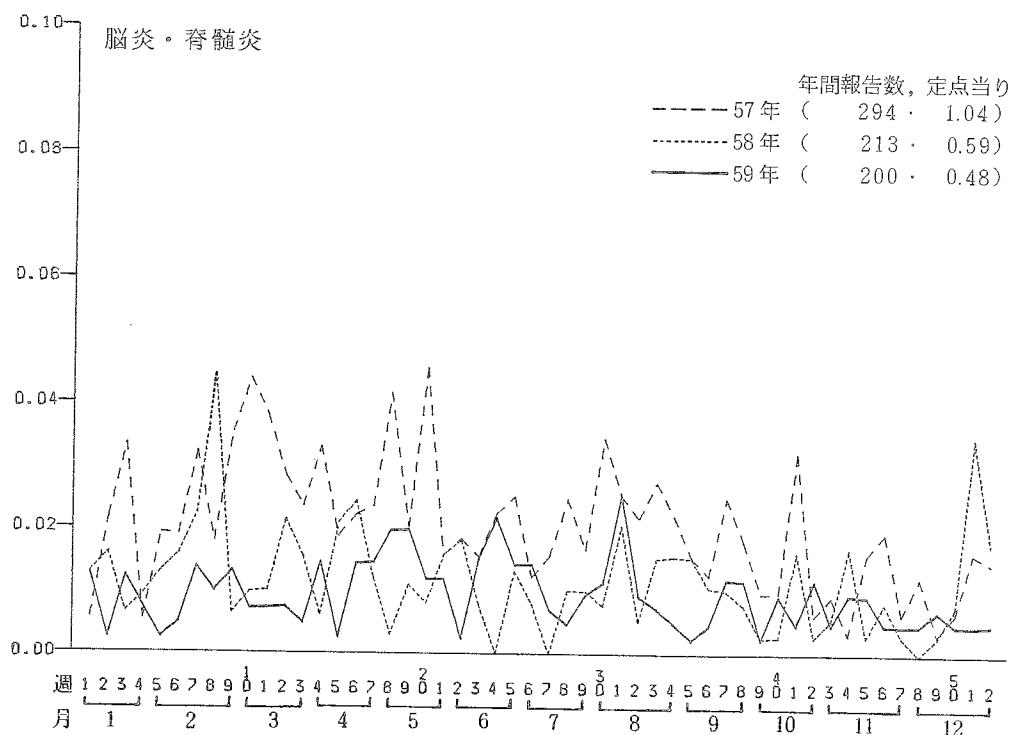


図19-2 年令区分別患者発生状況

Age distribution of reported cases of encephalomyelitis, Japan, 1984.

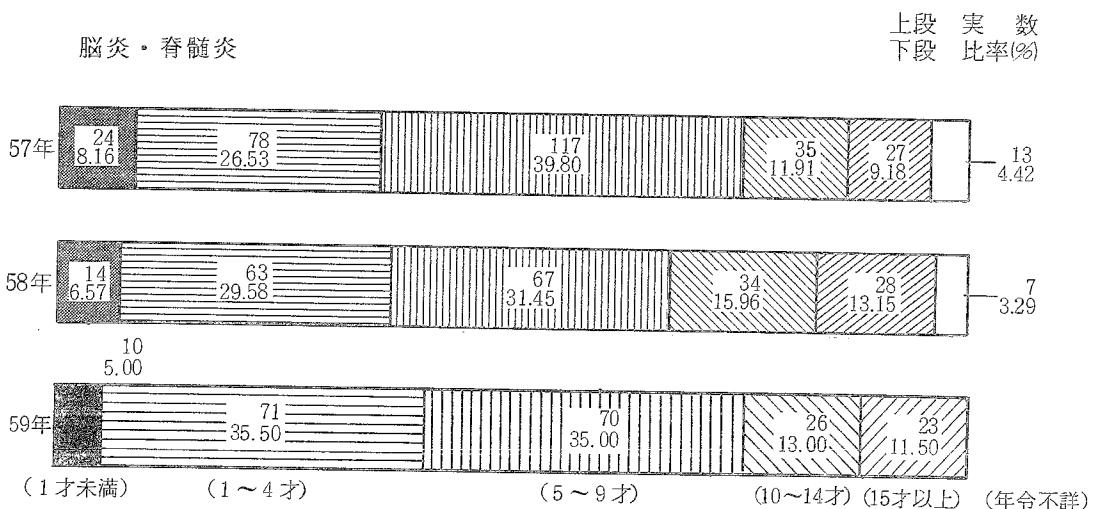


図19-3 ブロック別一定点医療機関当り患者発生数の推移

Weekly reported cases of encephalomyelitis per reporting clinic,  
by geographical area, 1984.

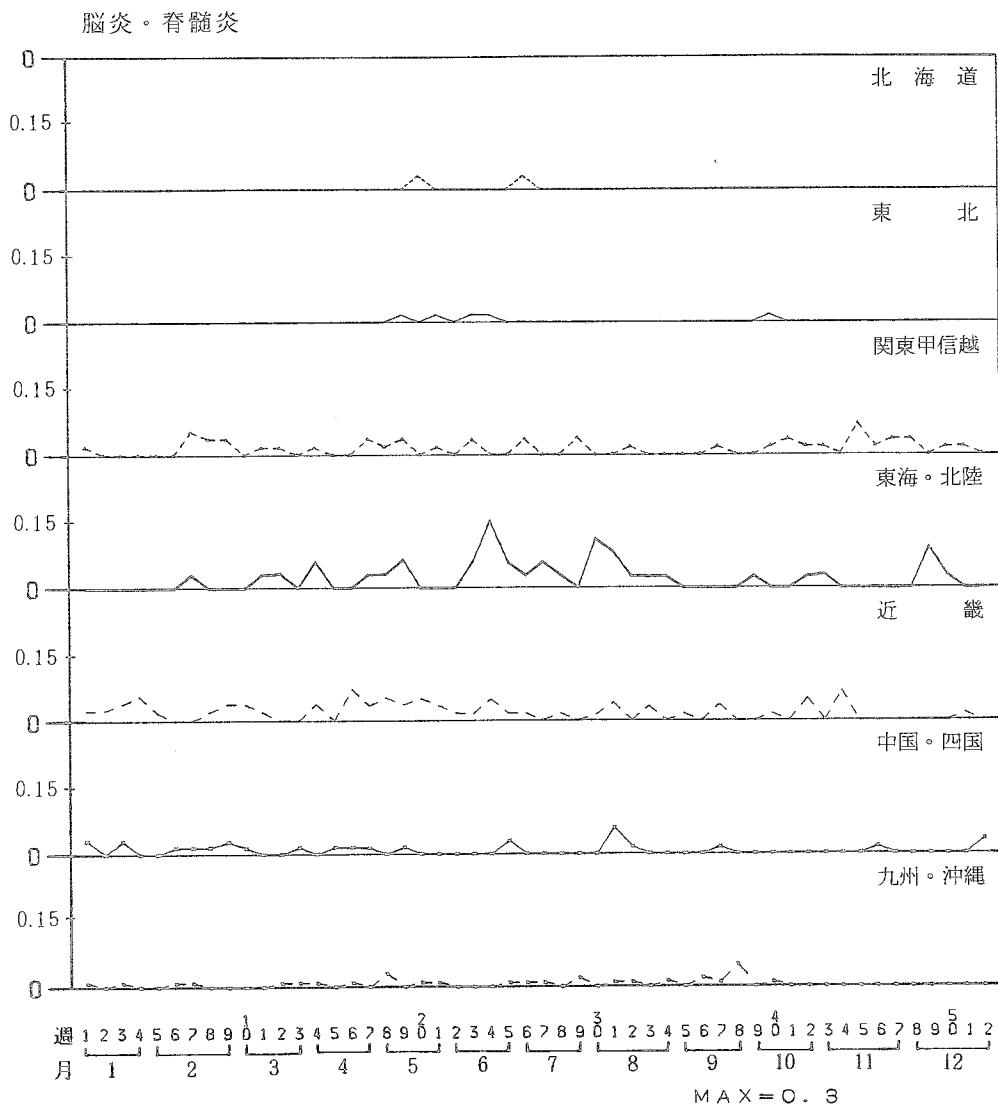


表19-4 脳炎症状ありのものより検出されたウイルス 1984年

ウイルス名	月	検体名	脳炎以外の症状	年齢・性別	住所
ロタ	2	便	発熱、胃腸炎	0歳・男	愛知県
単純ヘルペス2	2	鼻咽喉ぬぐい液	発疹	不明・男	不明
単純ヘルペス1	3	鼻咽喉ぬぐい液	発熱、発疹 上気道炎、肝炎	2歳・不明	埼玉県
アデノ2	4	便・鼻咽喉ぬぐい液	発熱、髄膜炎	1歳・男	名古屋市
サイトメガロ	5	鼻咽喉ぬぐい液・尿		0歳・男	不明
ウイルス未同定	5	便		16歳・女	不明
コクサッキーA 1	6	便・鼻咽喉ぬぐい液	発熱、髄膜炎	2歳・男	愛知県
単純ヘルペス1	6	鼻咽喉ぬぐい液		0歳・女	不明
単純ヘルペス1	7	髄液	発熱、発疹、 上気道炎	3歳・女	三重県
単純ヘルペス型不明	7	鼻咽喉ぬぐい液・ 皮膚病巣	水疱	0歳・女	群馬県
ライノ	7	鼻咽喉ぬぐい液	髄膜炎	3歳・男	不明
コクサッキーB 5	8	便・髄液	発熱	6歳・男	横浜市
エコー1 6	8	便		1歳・男	愛知県
アデノ4	8	鼻咽喉ぬぐい液	発熱、胃腸炎、肝炎 泌尿生殖器疾患	5歳・女	大阪市
コクサッキーB 5	9	便	麻痺	2歳・女	愛知県
アデノ4	9	便・鼻咽喉ぬぐい液		9歳・男	不明
単純ヘルペス1	10	便	発熱、水疱、発疹	10歳・女	広島市
エコー1 1	10	髄液	発熱	8歳・男	広島市
エコー6	12	髄液	発熱、上気道炎、 髄膜炎	1歳・男	広島市
単純ヘルペス1	12	皮膚病巣		52歳・男	不明

## 第 2 病 原 体 情 報 に つ い て

## 第2 病原体情報について

### 1. 情報システム

#### 病原体情報

本報告書に集計された病原体情報は「病原微生物検出情報のシステム化に関する研究」班（1979～1982、班長：井上裕正。愛知県衛生研究所長）によって確立されたシステムによるものである。本システムは、感染症サーベイランス事業の発足にあたって本事業の検査情報を受けもつ部門として位置づけられた。一般に検査情報の報告は患者発生情報より遅れるのがふつうで、またその収集のためには技術的および専門的な対応が要求される。このため本システムは患者情報とは別に、二つの運営委員会、すなわち、国立予防衛生研究所・病原体情報委員会（委員長：金井興美。副所長）と衛生微生物技術協議会・検査情報委員会（委員長：山崎修道。予研ウイルス中央検査部長）のもとで運営され、情報センター業務は国立予防衛生研究所が平常業務の一部として担当している。本報告書は予研ウイルス中央検査部血清情報管理室において集計、作表され、上記運営委員会の下部組織である病原体情報委員会編集小委員会（小委員長：山崎修道。予研ウイルス中央検査部長）において編集されたものである。

#### 情報の内容

本システムによって収集される情報は、病原診断あるいは公衆衛生上の目的で実施される病原微生物検査で検出された病原体に関するものである。報告される病原体としては、ウイルス、リケッチア、クラミジア、細菌、スピロヘータ、原虫が含まれる。集計は便宜上、細菌（スピロヘータ・原虫を含む）およびウイルス（リケッチア、クラミジアおよびマイコプラズマを含む）の2群に分けて取り扱っている。後者にマイコプラズマが含まれるのは、マイコプラズマに関してはウイルスに準じた個票形式の報告が可能であるという技術上の理由によっている。

#### 情報源

本システムでは、細菌の検出について4系統の機関から検出情報が報告され、別々に作表されている。すなわち、1. 地方衛生研究所（地研）および保健所、2. 一般医療機関、3. 伝染病院、4. 検疫所である。それぞれの機関は独自の検査目的をもつために、検査対象とされる病原菌の種類には差がある。すなわち、地研・保健所においては公衆衛生の立場から実施される検査が中心となるため、主として伝染病流行や集団食中毒時の調査、健康診断、食品の安全性検査など、行政目的をもっておこなわれるもの、およびサーベイランス事業の検査を含む定点観測など特定の研究的色彩をもつ調査の成績が報告される。これに対して、一般医療機関の成績は疾病の診断および治療を目的とした検査である。伝染病院（入院患者に限定）および検疫所における検査は法定伝染病とくに腸管感染症を対象としたものである。これら各機関から提出される検査報告のうち、とくに法定伝染病に関しては同一人からの病原体検出が複数の機関から重複して報告される場合があり、この重複を除外する作業は行っていない。したがってこれらの病原体についてはそれぞれの機関からの報告数を合計することは意味がない。

上記4機関の病原菌検出情報のうち、伝染病院を除く3機関においてはその月に検出された各病原菌の検出数が月報として報告される。また、検出病原菌の一部については型別の成績が年報の形式で集められる。伝染病院においては個人の情報の入手が可能なので個票による詳細な成績が報告される。さらに腸チフス・パラチフス菌に関しては上記システムによる検出報告とは別に、厚生省公衆衛生局長通知「腸チフス対策の推進について」（衛発第788号、1966年11月16日）によって発生情報が収集され、これにもとづき各機関から提出された菌のファージ型別試験が予研。ファージ型別室において実施されている。ここではこの成績が併せて収録されている。

ウイルス検出報告の提出機関は主に地研であるが、これ以外に一部の大学、国立病院および民間検査所が含まれている。地研の報告には病原診断の目的で実施される検査（サーベイランス事業による検査を含む）以外に、定点観測計画、流行予測事業などにもとづくウイルス検出成績も含まれる。ウイルス報告は検出のたびごとに個票により、検出数だけでなく、年齢、臨床症状、検査材料、検査方法などの情報が収集される。

#### 情報提供機関

病原菌およびウイルス検出情報には全国47都道府県の地研および21の指定都市の地研が情報を提供している。1984年に病原菌検出情報を報告した協力医療機関は32の都府県市における合計155の機関である。協力医療機関数は県または市によって異なるが数機関以下の地域が多い。本システムに参加した伝染病院は11都市における合計14の伝染病院である。各協力機関名は94、95頁に記載した。

#### 情報の収集

病原体情報システムにおいては、地研は地域の検査情報センターとしての役割を担当し、細菌に関して、地研の検出成績だけでなく地区内の保健所および医療機関の検査成績の報告をうけ、それぞれ集計作業をおこなったのちに月報として予研に送付する（報告票書式3）。検疫所情報は厚生省生活衛生局検疫所業務管理室に報告された各検疫所の検出数が当室から送付される。ウイルス（報告票書式1）および伝染病院の検出情報については、検査終了次第随時個票によって各機関から直接予研に送付される。

#### 情報の還元と利用

収集された検査情報は予研において集計、作表された上、これに基づいて「病原微生物検出情報・月報」が編集されて関係各方面に配布されている。また検査情報を感染症サーベイランス事業に基づく患者発生情報と併せて解析をおこなうために、上記月報を利用して毎月特集記事がくまれている。1979年以降4年間の成績は各年ごとにそれぞれ「病原微生物検出情報年報」として研究班によって編集、印刷され、配布された。1983年からは本年報に掲載されると共に、Japanese Journal of Medical Science and Biology, Supplementとして編集、印刷されている。

さらにウイルス検出情報については、WHO腸内ウイルス協力センター（予研・腸内ウイルス部）

を通じて毎月 WHO Virus Diseases Unit に個別情報が報告されている。これにより日本のウイルス検出情報は「WHO Yearly Virus Report」に掲載され、この年報において世界各地のウイルス検出状況と比較して解析され、世界における感染症サーベイランスの一翼をになうに至っている。

## 2. 集計の概要

### (1) 細 菌

1984年の病原細菌の検出報告数は、地研・保健所集計17,835、医療機関集計67,723、伝染病院集計1,191、検疫所集計1,628であった。この数は前年と比較するとそれぞれ93%、143%、88%、および85%にあたり、医療機関が増加した以外は減少した。医療機関集計における報告数の増加はひきつづき情報収集網の整備がすすんだことによるものとみられる。

各機関集計における海外旅行者からの分離数は検疫所を除きそれぞれ、2,453(機関報告総数の13.8%)、38(同0.06%)、430(同36.1%)で、前年にくらべ、地研・保健所集計でやや増加した。

地研・保健所集計において最も多く報告される病原菌はサルモネラで、1984年は全報告数の23.8%(前年は25.2%)であった。ついでレンサ球菌20.9%(同20.4%)、カンピロバクター13.5%(同13.4%)、腸炎ビブリオ12.4%(同10.9%)、病原大腸菌9.9%(同9.2%)でこの順位は前年と同じである。

地研・保健所の海外旅行者からの分離例すなわち輸入例についてみると、多い順に、病原大腸菌32.3%(前年は29.9%)、サルモネラ24.4%(同31.2%)、腸炎ビブリオ13.7%(同10.4%)、赤痢菌9.9%(同12.5%)、コレラ菌 $\phi$ 1およびnon $\phi$ 1 6%(同3.6%)、*P. shigelloides* 5.4%(同5.0%)、カンピロバクター5.2%(同5.3%)で、上位を占める菌の種類は同じであるが前年にくらべサルモネラおよび赤痢菌の割合が低下し、大腸菌と腸炎ビブリオがやや増加した。

一般医療機関の集計は地研・保健所集計とは対照的に腸管感染病原菌よりは呼吸器感染関連細菌の検出が多く報告される。1984年の報告数の割合は多い方からレンサ球菌22.7%(前年は22.5%)、インフルエンザ菌22.3%(同19.9%)、肺炎桿菌20.0%(同22.9%)、肺炎レンサ球菌13.4%(同11.9%)である。腸管系病原菌ではカンピロバクター、サルモネラおよび大腸菌はそれぞれ報告総数の7.9%(前年は9.4%)、2.6%(同3.6%)および3.1%(同2.3%)であった。前年同様この機関の集計で38例報告された輸入例はほとんどが腸管系病原菌で18例(47.4%)が赤痢菌であった。

検疫所集計において病原大腸菌の検出数が少ないので、この集計ではこの菌の検査が統一した条件でおこなわれていないことによる。他の病原菌の検出数の割合はサルモネラおよび*P. shigelloides*の報告が多い他は地研・保健所輸入例と同じ傾向である。

### 赤 痞 菌

地研・保健所集計では1984年の赤痢菌の分離数として531が報告された。本集計における赤痢菌報告数は1979, 80, 82年はいずれも500件台であるが1981年は800以上であり、また1983年は例年の2倍以上にあたる1,180の発生が報告された。1984年は例年の発生レベルにもどったことになる。群別

にみるとD群が322(60.6%)、ついでB群が184(34.7%)、C群が14(2.6%)、A群が11(2.1%)である。

1984年の赤痢菌の輸入例は245(46.1%)で、各群における輸入例の割合はD群で50%、B群で35%を占め、検出数の少ないA群とC群はそれぞれ91%と71%が輸入例である。

伝染病院における分離報告数は、地研・保健所集計ほどの変動はみられないが、1984年は436件でやはり前年(603)より減少して、1982年と同レベルとなった。輸入例は合計223(赤痢菌報告数の51.1%)、この中で各群の占める割合はA群4.5%、B群38.6%、C群3.1%、D群53.8%でこの割合は毎年ほぼ同様の傾向である。

検疫所における赤痢菌検出報告数は165でこの中に占める各群の割合はA、B、CおよびD群がそれぞれ1.2%、29.7%、6.7%、62.4%であった。

#### サルモネラ

地研・保健所集計におけるチフス菌、パラチフス菌を含めたヒトからのサルモネラ検出報告数は合計4,237でこれは前年の88%にあたる。そのうち輸入例からの分離は599(サルモネラ報告数の14.1%)であった。月別検出数では例年8~9月を中心に夏季に幅広い大きな山を形成する。これはこの季節におけるサルモネラ食中毒集団事例の多発を反映するものであるが、さらに主としてこの時期食品取扱者の定期検便が実施されることも報告が増加する理由の一つであるとみられる。伝染病院においてもサルモネラ検出は7~9月に多くなる。

分離されるサルモネラの群はいずれの報告でもB群(パラチフスB菌を含む)が最も多く、地研・保健所集計では36.3%、伝染病院集計で51.8%、地研・保健所の輸入例および検疫所集計ではそれぞれ27.4%および28.6%である。ついで報告数が多いのはC1群、C2-C3群であるが、輸入例および検疫所集計においてはとくにE1およびE4群の割合が高く、これらE群がサルモネラ報告数に占める割合は地研・保健所集計全体では6.7%であるのに対し、その輸入例では22.9%、検疫所集計では28.3%となった。

1984年地研・保健所集計において血清型が報告されたヒト由来サルモネラ4,212についてみると頻度の高い順に上位15血清型が全サルモネラ報告数の72.8%を占めた。圧倒的に多く報告されたのがS. typhimurium669(全サルモネラの15.9%)、ついでS. litchfield 444(10.5%)、S. paratyphi B 368(8.7%)、S. infantis 265(6.3%)などが多く、これら上位を占める血清型は毎年ほとんど同じである。

なお、サルモネラO血清群の呼称については国際腸内細菌委員会のサルモネラ小委員会がKauffmann-White SchemaにおけるO血清群の呼称の変更と、一部血清型名の削除を決定した(1984年12月発表)。変更の理由としては、サルモネラの血清型が1600以上に至っていること、さらにO抗原のあるものはバクテリオファージによって介達されるため不安定であることがあげられている。

本報告書の集計においては、月別集計は従来の様式によったが、血清型別集計表では収集されたデータをプログラムによって変換し、改正後の分類および呼称(従来のものを併記)による集計表とし

である。

### チフス菌、パラチフスA・B菌

上記サルモネラのうちチフス菌は地研・保健所集計では、110（輸入例8）の検出が報告された。これは前年の半数である。パラチフスA菌報告数は10（輸入例2）、パラチフスB菌は312（輸入例4）であった。伝染病院集計ではチフス菌62（輸入例21）、パラチフスA菌は14（輸入例8）、パラチフスB菌は37（輸入例1）であった。チフス菌、パラチフスA菌の検出には季節性は認められないが、パラチフスB菌は多くのサルモネラと同様夏季に多く検出され発生のピークは8月である。

本報告に掲載されている厚生省公衆衛生局長通知にもとづく腸チフス・パラチフスに関する報告は日本における発生状況を全国的に収集したものである。この集計による1984年の腸チフスおよびパラチフス（パラチフスA菌およびB菌による）発生数は、患者、保菌者あわせて228例（輸入例47）、28例（同14）および204例（同1）である。分離菌のうちチフス菌では93%、パラチフスA菌ではすべて、パラチフスB菌では3株以外すべてがファージ型別に供された。

チフス菌については22種のファージ型が分離された。例年の傾向通りD2、DVS（Degraded Vi positive strains）、M1、E1の各型が全国的に頻度高く報告された。海外旅行者からのチフス菌のファージ型は15種および、これらのうちC1、E2、5、40、53-1は国内例からは分離されていない。パラチフスA菌では6種のファージ型が分離され、型別不能、ついで1型、4型の頻度が高かった。パラチフスB菌では8種のファージ型が分離された。輸入例の1株はUntypableであった。

ファージ型に供されたすべての分離株について薬剤感受性試験が実施され、チフス菌1株が耐性であった。輸入例から分離されたものでM1型（SM・ABPC耐性）であった。

### 病原大腸菌

本システムは腸炎の原因と考えられた大腸菌の検出数に限定して検出数が報告されている。1984年の地研・保健所における検出数は1,766でこれは前年とほぼ同じである。そのうち輸入例は792(44.8%)で前年の664例よりやや増加した。病原大腸菌の検出数は地研・保健所集計では、この菌による集団食中毒の発生を反映して主として夏季に増加する。1984年は7、8月が多かった。しかし医療機関からは季節に関係なく報告される。

1984年の地研・保健所集計で報告された内訳では、検査結果が報告された1,626例中組織侵入性6.2%、毒素原性54.9%、病原大腸菌血清型38.9%であった。輸入例727については毒素原性大腸菌の割合がやや高く、64.6%であった。

### 腸炎ビブリオ

1984年の地研・保健所報告数は2,207、輸入例は337でこれは前年の106%および145%にあたる。報告は8月をピークに夏季に集中し、この菌による大型集団食中毒の発生を反映している。

伝染病院における分離は90、輸入例21、検度所は293でいずれも前年の報告数の80~90%である。

#### カンピロバクター

本システムではカンピロバクターのうち腸炎の原因となる *C. jejuni* と *C. coli* が報告されている。1984年の地研・保健所集計では2,400(内輸入例は127)、医療機関集計では5,376(同1)、伝染病院集計では146(同25)が報告され、報告数はそれぞれ前年の93.8%、121.1%および94.2%であった。カンピロバクターによる胃腸炎の集団発生は学校等の給食に起因する例が多く、食中毒季節の前半すなわち5~6月に集中して発生している。

カンピロバクターは地研・保健所より医療機関でめだって多く報告される点が他の腸内細菌と異なる特徴である。これは特に乳幼児で比較的重篤な症状を示すためであろう。医療機関では夏季以外の季節でも相当数が常時報告されているので、散発例は年間を通じて多発しているとみられる。

#### その他の腸管系細菌

*V. fluvialis*、*V. mimicus*、*A. hydrophila/sobria*、*P. shigelloides*については1982年3月11日環食第59号、厚生省食品衛生課長通知「ナグビブリオ、カンピロバクター等の食品衛生上の取り扱いについて」をもって行政上食中毒の原因菌として取り扱われるようになった時点で、菌名が報告票に加えられ、正式に収集されることになった。1982年以前の報告数は「その他細菌」として報告されたものである。1984年の地研・保健所の分離報告数はそれぞれ *V. fluvialis* 55(輸入例18)、*V. mimicus* 14(同0)、*A. hydrophila/sobria* 83(同11)および *P. shigelloides* 140(同133)で、それぞれ前年の73.3%、7倍、2.5倍および109%にあたる。*P. shigelloides* は地研・保健所集計では95.0%が輸入例であり、検度所集計においては全検出報告数の21.0%を占めた。

#### レンサ球菌

1984年中に地研・保健所集計では合計3,713、医療機関集計では15,359のレンサ球菌の検出が報告された。両集計ともA群が圧倒的に多くそれぞれ78.2%および52.9%を占めた。A群レンサ球菌について地研で実施された型別試験の集計では、型別が報告された2,842株中、検出順位はT-12(24.0%)、T-4(22.0%)、T-3(14.4%)、ついでT-28、T-1、T-13で前年とくらべてT-13の割合が減少し、T-3が増加した。分離頻度の高い型でいずれも1~3月および11~12月に検出数のピークがみられる。

#### その他の呼吸器疾患関連病原菌

医療機関からは肺炎桿菌、インフルエンザ菌、肺炎レンサ球菌など呼吸器関連菌が多数報告される。1984年はそれぞれ、13,559、15,105および9,080の検出が報告された。いずれも前年の120~160%に増加している。

## (2) ウィルス(リケッチャ、マイコプラズマを含む)

1984年にヒトから検出されたウィルスとして1985年11月までに61機関から合計8,051件が報告された。報告数は前年の108.8%にあたり、ウィルス分離報告数は毎年増加の傾向にある。

前年までにくらべてインフルエンザウィルスの報告数がめだって少なく(前年の44.6%)、全ウィルス分離数の11.6%であった。かわってエンテロウイルスの報告数が増加し、全ウィルス分離数の38.0%を占めた。ついでアデノウイルスの分離数が23%(前年は16%)に増加した。ロタウイルス12.2%およびヘルペスウイルス群10.3%の割合は前年と同じである。

### エンテロウイルス

1984年はエンテロウイルスの報告の増加がめだった年である。エンテロウイルスの分離報告数は過去最高であった1983年のさらに1.5倍を示し、合計3,056であった。2つのエンテロウイルスすなわちコクサッキー(C)B5型761例(エンテロウイルス報告数の24.9%)、ついでCA10型599例(同19.6%)がめだって多く報告されたが、これ以外にもおおくのコクサッキーAおよびB型の分離が報告された。

CB5はこの年の無菌性髄膜炎の起因ウイルスで分離報告中466件(61.2%)は髄膜炎患者からの分離である。これ以外のCBでは2、3、4型がいずれも100件以上報告された。それぞれ23.7%、10.9%および23.5%は髄膜炎関連例である。CBは1979年以来、1980年を除き毎年流行がみられ、流行型は1、2、3、4および5型の順に1年づつ順次流行した。本年の流行型であったCB5はすべて細胞培養で分離され、材料は糞便53.1%、鼻咽喉材料40.7%、髄液31.9%で、眼ぬぐい液からの分離が3件あった。CAはヘルパンギーナの主な病因をなすウイルスで、この年のCA10の全国的分離報告はヘルパンギーナ大流行を反映したものである。CA群ではCA10以外に4および5型が100件以上報告された。これら3つのCAに関してはそれぞれ79、62、および74%がヘルパンギーナ患者からの分離例である。CA10型の臨床症状として手足口病が68件(CA10の報告数の11.4%)報告された。手足口病の主要病因であるCA16型およびEV71型はこの年それぞれ108および22しか分離されなかつたのでこの年の手足口病の病因としてCA10が31.8%を占めた。他のCAとしては9型が95株報告された。これは髄膜炎に関連するウイルスでこの年40件が髄膜炎患者から分離された。

エコーウィルスでは9および11型の分離が多く、それぞれ50.5%および49.3%が髄膜炎患者からの分離報告である。前年大流行を呈したエコー30型は地域的になお報告が続き合計66株、内57例(86.4%)が髄膜炎関連例であった。

ボリオはいぜんとして春秋を中心に2峰性の分離パターンを示した。分離がワクチン投与時期と一致しているので大部分はワクチン株と考えられる。但し、この報告以外に1984年6月に愛知県で脳炎症状を伴った例から1型野生株の分離が報告されている。

### インフルエンザウィルス

1983/84シーズンのインフルエンザ流行はAソ連(AH1N1)型によるものであった。流行は、1983

年秋に例年より早くはじまり9～12月までにすでに194株、1984年に入り4月までに821株の分離が報告された。近年では最小規模の流行であったことを反映してウイルス分離数は9月以降の合計数で前季のAH 3 N 2型流行時のほぼ半数であった。

同時に1月以降少數ではあるがB型の分離が6月まで報告された。

次シーズンはB型が1984年10月青森で10株分離されたのを初めとして11～12月に81株報告された。このB型流行は1985年1月をピークとする中規模のインフルエンザ流行に発展した。

1984年中にAH 3 N 2は11月1株のみが報告された。

インフルエンザの分離はすべて鼻咽喉由来検体から発育鶏卵または細胞を用いて培養。分離された。A(H1)型感染で下気道感染。肺炎が3.3%報告された。分離される年齢の中心は学童であるが、これ以外の全年齢層から幅広く検出されている。

#### パラインフルエンザ

パラインフルエンザウイルスは8機関から1、2、3型がそれぞれ37、5、58報告された。検出傾向は型により特徴がある。1型は少數だが年間を通じ分離がみられる。2型は1年おきに分離が増加する傾向があり、1983年は多く分離されたのに対し1984年は5株のみであった。3型は毎年規則的に最も多く報告される型でピークは5、6月である。分離される年齢はいずれの型でも4歳以下が過半数でとくに3型はこの年齢群が79.3%を占めた。これらの傾向は例年同様である。

#### ムンプス、RSウイルス、麻しんウイルス

ムンプスウイルスは77株が年間を通じて報告された。うち11例が髄膜炎患者で、8例が髄液から分離された。3歳～5歳の分離が49例(63.6%)、成人例として30歳以上が3例報告された。

RSウイルスの19株は冬季を中心に報告され、すべて5歳以下の分離例で0歳児は7例であった。7例が下気道。肺炎関連例である。

この年、麻しんウイルスの分離が11例報告された。2例は髄膜炎患者で、髄液からの分離である。0～1歳が7例、いずれも3歳以下の分離報告であった。

#### 風しんウイルス

1984年中に風しんウイルスは24株分離された。5月を中心に3月から7月にかけて、6～7歳を中心に分離されているが15歳および25歳からそれぞれ1例が報告された。

#### ロタウイルス

ロタウイルスの検出は従来の電顕法に加えて新しい検査法が急速に開発され、検査用キットが入手可能になったために、電顕以外の方法による報告数が増加した。1984年の報告984例中、電顕による検出報告は40%、ELISA 15%、R-PHA 49%、その他6%であった。

ロタウイルスの検出報告は毎年冬季を中心にきわめて規則的パターンを示し、ピークは1月である。

検出年齢は0歳が45%、1歳が35%を占め、乳幼児が中心であるが、30歳以上の成人例も7例報告された。

#### アデノウイルス

1984年はアデノウイルスの分離数もまた大きく増加し、合計1,836が報告された。これは前年の1.5倍にあたる。主な増加は3、4、8型の報告にみられた。

アデノウイルス中3型が最も多く報告された。この型は1980年以降1年おきに多発の傾向がみられていたが、1983年に多く報告されたにもかかわらず、1984年はさらに報告数が増加し前年の1.5倍(719例)となつた。

アデノ4型も3型とほぼ同様の傾向を示し、この年は前年の3倍の報告数となった。両型とも報告のピークは8月であるが冬季でもかなりの数が報告された。

1984年はアデノ8型も前年の1.7倍にあたる192株が報告された。分離のピークはやはり8月である。アデノ19型の分離はほぼ前年と同程度であり、また前年初めて報告されたアデノ37型が3株報告された。これ以外の型は前年同様ほぼ年間を通じて分離されている。

アデノウイルスは1から6型までの型は発熱、上気道炎、胃腸炎が多く（但し4型は頻度が低い）さらに3、4型においては角膜・結膜炎がそれぞれ33.7%および59.0%に報告されている。これを反映し、これらの型が分離される材料としては、鼻咽喉材料が最も頻度高く、陽性例の70~80%はここから分離される。ついで糞便からの分離が15~36%であるが、例外的にアデノ4型では鼻咽喉材料、糞便からの分離は少なく、眼ぬぐい液からの分離が圧倒的で75.9%を占めた。アデノ3型も眼材料から22.5%が報告された。アデノ11型は36報告中23(63.9%)が尿からの分離であった。

アデノ8型は77.1%が角膜・結膜炎関連例で、大部分は眼からの分離例である。アデノ19型および37型も眼疾患と関連の高いウイルスである。

分離される年齢は1、2、5、6型では低年齢層が主で、4歳以下が80%以上を占める。アデノ3型は0~4歳が42%、学童以下で86%であったが、アデノ4型は15歳以上が44%を占めた。アデノ8および19型の分離報告は成人が中心である。

#### ヘルペスウイルス群

この群の分離報告は単純ヘルペスウイルス以外は特定の機関、とくに民間検査所における検出が多く報告されている。

単純ヘルペスウイルスは523の分離が報告された。型別された249中1型は80%、2型は20%であった。鼻咽喉から55%、皮膚病巣から39%が分離されている。眼および髄液からの分離としては1型および型不明が19株および6株報告された。尿からの分離が1型に3例、2型に2例あった。

多く報告された臨床症状は1型では発熱、上気道炎、口内炎などで、泌尿生殖器感染は2型で15例、1型で7例報告された。

サイトメガロウイルスは223株の分離が報告された。0歳児の分離が79(35.4%)、分離材料は尿が

78.0 %、鼻咽喉 21.5 %、その他が 2 例報告された。

#### マイコプラズマ

1984 年は異型肺炎の流行がみられ、これと一致してマイコプラズマの分離が 5 機関から 177 例報告された。分離のピークは 7、8 月でこの両月に 46.3 % が検出された。分離された年齢は学童を中心で 5 ~ 9 歳が 65.0 % を占めた。発熱が 88.1 % に、上気道炎が 29.4 % に、下気道炎・肺炎が 74.6 % に報告された。

## 協力機関一覧

### 協力地方衛生研究所

List of prefectural and municipal public health institutes participating in the reporting system

Code number	県・市	Prefecture /city	地方衛生研究所	Institute
011	北海道	Hokkaido P.	北海道立衛生研究所	Hokkaido Institute of Public Health
012	札幌市	Sapporo C.	札幌市衛生研究所	Sapporo City Institute of Public Health
013	函館市	Hakodate C.	函館市衛生試験所	Hakodate Municipal Institute of Public Health
021	青森県	Aomori P.	青森県衛生研究所	Aomori Prefectural Institute of Public Health
031	岩手県	Iwate P.	岩手県衛生研究所	Iwate Prefectural Institute of Public Health
041	宮城県	Miyagi P.	宮城県保健環境センター	Miyagi Prefectural Institute of Public Health
042	仙台市	Sendai C.	仙台市衛生試験所	Sendai Municipal Institute of Public Health
051	秋田県	Akita P.	秋田県衛生科学研究所	Akita Prefectural Institute of Public Health
061	山形県	Yamagata P.	山形県衛生研究所	Yamagata Prefectural Institute of Public Health
071	福島県	Fukushima P.	福島県衛生公害研究所	Fukushima Institute of Health
081	茨城県	Ibaraki P.	茨城県衛生研究所	Ibaraki Prefectural Institute of Health
091	栃木県	Tochigi P.	栃木県衛生研究所	Tochigi Prefectural Hygienic Institute
101	群馬県	Gunma P.	群馬県衛生研究所	Gunma Institute of Public Health
111	埼玉県	Saitama P.	埼玉県衛生研究所	Saitama Institute of Public Health
121	千葉県	Chiba P.	千葉県衛生研究所	Public Health Laboratory of Chiba Prefecture
131	東京都	Tokyo M.	東京都立衛生研究所	Tokyo Metropolitan Research Laboratory of Public Health
141	神奈川県	Kanagawa P.	神奈川県衛生研究所	Kanagawa Prefectural Public Health Laboratory
142	横浜市	Yokohama C.	横浜市衛生研究所	Yokohama City Institute of Public Health
143	川崎市	Kawasaki C.	川崎市衛生研究所	Public Health Research Institute of The City of Kawasaki
144	横須賀市	Yokosuka C.	横須賀市衛生試験所	Yokosuka City Institute of Public Health
151	新潟県	Niigata P.	新潟県衛生公害研究所	Niigata Prefectural Research Laboratory for Health and Environment
152	新潟市	Niigata C.	新潟市衛生試験所	Niigata Municipal Institute of Public Health
161	富山県	Toyama P.	富山県衛生研究所	Toyama Institute of Health
171	石川県	Ishikawa P.	石川県衛生公害研究所	Ishikawa Research Laboratory for Public Health and Environment
181	福井県	Fukui P.	福井県衛生研究所	Fukui Prefectural Institute of Public Health
191	山梨県	Yamanashi P.	山梨県立衛生公害研究所	Yamanashi Institute for Public Health
201	長野県	Nagano P.	長野県衛生公害研究所	Nagano Research Institute for Public Health and Pollution
211	岐阜県	Gifu P.	岐阜県衛生研究所	Gifu Prefectural Institute of Public Health
212	岐阜市	Gifu C.	岐阜市衛生試験所	Hygienic Laboratory of Gifu City
221	静岡県	Shizuoka P.	静岡県衛生環境センター	Shizuoka Prefectural Institute of Public Health and Environmental Science
222	静岡市	Shizuoka C.	静岡市衛生試験所	Shizuoka City Institute of Public Health
231	愛知県	Aichi P.	愛知県衛生研究所	Aichi Prefectural Institute of Public Health
232	名古屋市	Nagoya C.	名古屋市衛生研究所	Nagoya City Health Research Institute
241	三重県	Mie P.	三重県衛生研究所	Mie Institute of Public Health
251	滋賀県	Shiga P.	滋賀県立衛生環境センター	Shiga Prefectural Institute of Public Health and Environmental Science
261	京都府	Kyoto P.	京都府衛生公害研究所	Kyoto Prefectural Institute of Hygienic and Environmental Sciences
262	京都市	Kyoto C.	京都市衛生研究所	Kyoto City Institute of Public Health
271	大阪府	Osaka P.	大阪府立公衆衛生研究所	Osaka Prefectural Institute of Public Health
272	大阪市	Osaka C.	大阪市立環境科学研究所	Osaka City Institute of Public Health and Environmental Sciences
273	堺市	Sakai C.	堺市衛生研究所	Sakai City Health Research Institute
281	兵庫県	Hyogo P.	兵庫県衛生研究所	Public Health Institute of Hyogo Prefecture
282	神戸市	Kobe C.	神戸市環境衛生研究所	Public Health Institute of Kobe City
283	姫路市	Himeji C.	姫路市環境衛生研究所	Himeji City Research Institute of Public Health
284	尼崎市	Amagasaki C.	尼崎市立衛生研究所	Amagasaki Municipal Institute of Public Health
291	奈良県	Nara P.	奈良県衛生研究所	Nara Prefectural Institute of Public Health
301	和歌山県	Wakayama P.	和歌山県衛生公害研究センター	Wakayama Prefectural Research Center of Environment and Public Health
302	和歌山市	Wakayama C.	和歌山市衛生研究所	Wakayama City Institute of Public Health
311	鳥取県	Tottori P.	鳥取県衛生研究所	Tottori Prefectural Public Health Laboratory
321	島根県	Shimane P.	島根県衛生公害研究所	Shimane Prefectural Institute of Public Health and Environmental Science
331	岡山県	Okayama P.	岡山県環境保健センター	Okayama Prefectural Research Center of Environment and Public Health
341	広島県	Hiroshima P.	広島県衛生研究所	Hiroshima Prefectural Institute of Public Health
342	広島市	Hiroshima C.	広島市衛生研究所	Hiroshima City Institute of Public Health
351	山口県	Yamaguchi P.	山口県衛生研究所	Yamaguchi Prefectural Research Institute of Health
361	徳島県	Tokushima P.	徳島県保健環境センター	The Tokushima Prefectural Institute of Public Health and Environmental Sciences
371	香川県	Kagawa P.	香川県衛生研究所	Kagawa Prefectural Institute of Public Health
381	愛媛県	Ehime P.	愛媛県立衛生研究所	Ehime Prefectural Institute of Public Health
391	高知県	Kochi P.	高知県衛生研究所	Public Health Institute of Kochi Prefecture
401	福岡県	Fukuoka P.	福岡県衛生公害センター	Fukuoka Environmental Research Center
402	福岡市	Fukuoka C.	福岡市衛生試験所	Fukuoka City Institute of Public Health

403	北九州市	Kitakyushu C.	Kitakyushu Municipal Institute of Environmental Health Sciences
411	佐賀県	Saga P.	Saga Prefectural Institute of Public Health
421	長崎県	Nagasaki P.	Nagasaki Prefectural Institute of Public Health and Environmental Sciences
431	熊本県	Kumamoto P.	Kumamoto Prefectural Institute of Public Health
432	熊本市	Kumamoto C.	Kumamoto Municipal Institute of Public Health
441	大分県	Oita P.	Institute of Environmental Pollution and Public Health, Oita Prefecture
451	宮崎県	Miyazaki P.	Miyazaki Prefectural Public Health Laboratory
461	鹿児島県	Kagoshima P.	Kagoshima Prefectural Institute of Public Health
471	沖縄県	Okinawa P.	Okinawa Prefectural Institute for Public Health

P:Prefecture    C:City    M:Metropolis

#### 協力検疫所

018	函館検疫所千歳空港出張所
121	成田空港検疫所
131	成田至海検疫所東京空港出張所
172	新潟検疫所小松空港出張所
234	名古屋検疫所名古屋空港出張所
302	大阪検疫所和歌山下津支所
273	大阪空港検疫所
401	門司検疫所
442	門司検疫所大分空港出張所
403	博多検疫所福岡空港出張所
424	長崎検疫所長崎空港出張所
431	長崎検疫所熊本空港出張所
472	那覇検疫所那覇空港支所

#### List of quarantine stations participating in the system

Chitose Airport Detached Office, Hakodate Quarantine Station
Narita Airport Quarantine Station
Tokyo Airport Detached Office, Narita Airport Quarantine Station
Komatsu Airport Detached Office, Niigata Quarantine Station
Nagoya Airport Detached Office, Nagoya Quarantine Station
Wakayama Shimotsu Branch Office, Osaka Quarantine Station
Osaka Airport Quarantine Station
Moji Quarantine Station
Oita Airport Detached Office, Moji Quarantine Station
Fukuoka Airport Detached Office, Hakata Quarantine Station
Nagasaki Airport Detached Office, Nagasaki Quarantine Station
Kumamoto Airport Detached Office, Nagasaki Quarantine Station
Naha Airport Branch Office, Naha Quarantine Station

#### 協力都市立伝染病院

市立札幌病院南久丘分院
東京都立豊島病院
東京都立駒込病院
東京都立墨東病院
東京都立後原病院
川崎市立川崎病院
横浜市立万治病院
名古屋市立東市民病院
京都市立病院
大阪市立桃山病院
神戸市立中央市民病院
広島市立病院
北九州市立朝日ヶ丘病院
福岡市立こども病院感染症センター

#### List of Infectious Diseases Hospitals participating in the reporting system

Sapporo City General Hospital
Tokyo Metropolitan Toshima Hospital
Tokyo Metropolitan Komagome Hospital
Tokyo Metropolitan Bokuto Hospital
Tokyo Metropolitan Ebara Hospital
Kawasaki Municipal Hospital
Yokohama Municipal Manji Hospital
Nagoya Municipal Higashi City Hospital
Kyoto Municipal Hospital
Osaka Municipal Momoyama Hospital
Kobe Municipal Central Hospital
Hiroshima Municipal Funairi Hospital
Kitakyushu Municipal Asahigaoka Hospital
Fukuoka Municipal Infectious Diseases Center

#### その他の協力機関

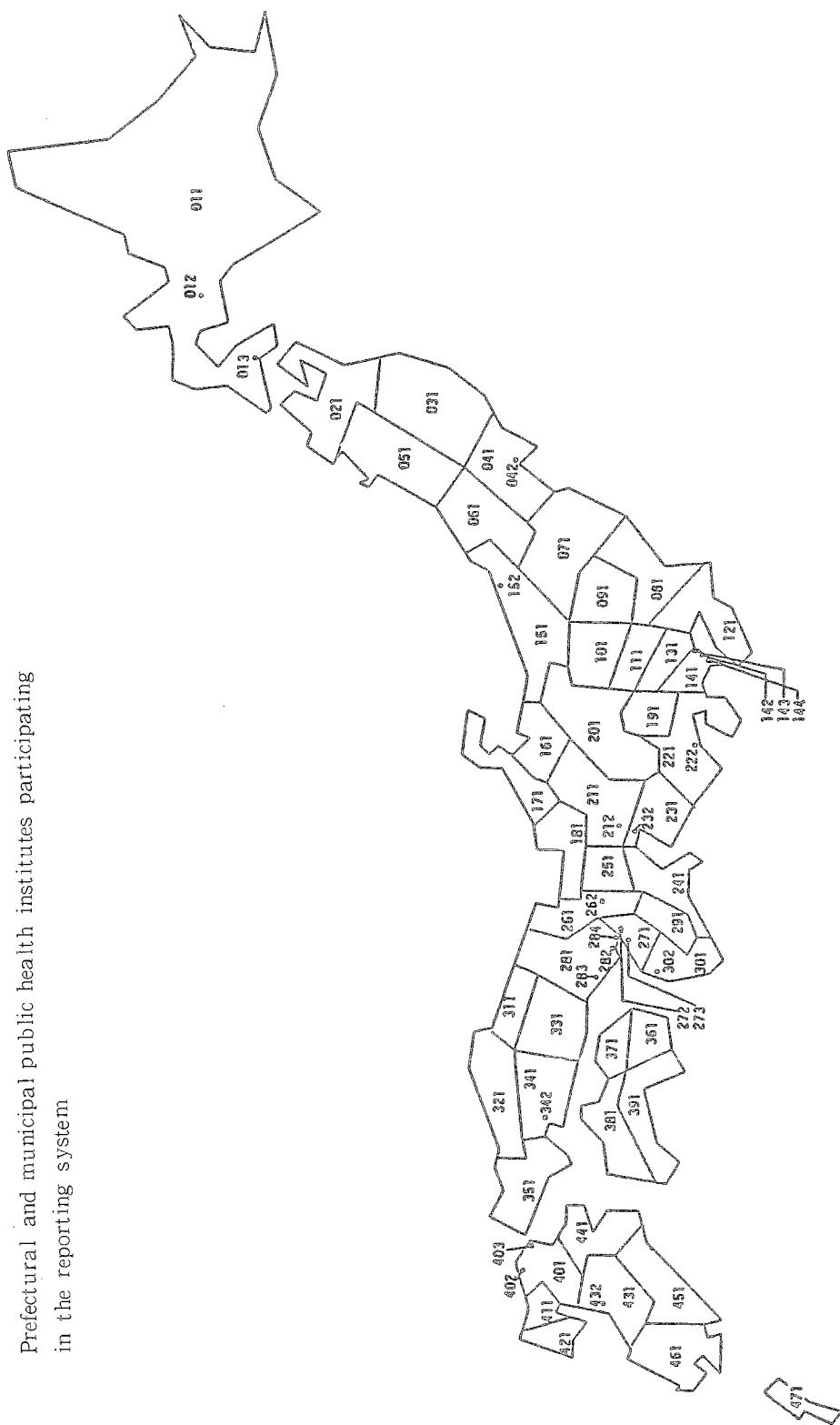
京都国立病院
スペシャルレファレンスラボラトリ
三菱油化
福島医大細菌学教室

#### List of participating laboratories other than prefectoral and municipal public health institutes in the virus reporting system

Kyoto National Hospital Virus Research Center
Special Reference Laboratory
Mitsubishi Research Institute of Medical Science Co.
Department of Bacteriology, Fukushima Medical College

協力地方衛生研究所所在地

Prefectural and municipal public health institutes participating  
in the reporting system



### 第 3 患 者 情 報 集 計

# 第三章 患者情報集計

## 59年 全国。通別。疾病別報告数及び一定点当たり発生数

年月日 number old hospitals	施設名 name of hospital	施設当たり incidence	2施設レ tuberculosis	3施設レ epidemic	4施設以下レ epidemic	5施設レ epidemic	6施設以下レ epidemic	7施設以下レ epidemic
01月	2,021	1,795	0.89	351	0.17	6,512	3.22	1,523
02月	2,057	2,098	0.98	371	0.18	6,493	3.16	1,517
03月	2,080	1,819	0.90	263	0.13	5,210	2.50	1,090
04月	2,082	2,355	1.13	372	0.18	5,699	2.74	1,064
05月	2,080	3,882	1.15	418	0.20	4,485	2.16	1,253
06月	2,069	2,511	1.21	349	0.17	4,393	2.12	857
07月	2,090	3,257	1.55	603	0.29	5,364	2.57	1,187
08月	2,090	3,555	1.70	828	0.40	4,979	2.38	2,660
09月	2,091	3,715	1.78	892	0.43	5,367	2.57	1,716
10月	2,074	3,969	1.88	1,200	0.58	5,508	2.66	1,353
11月	2,061	4,414	2.14	1,470	0.71	5,734	2.78	2,156
12月	2,094	4,414	2.11	1,524	0.73	6,015	2.87	2,273
1月	2,095	4,856	2.32	1,710	0.82	6,232	2.97	1,494
2月	2,120	5,016	2.37	2,082	0.98	6,200	2.92	1,445
3月	2,124	4,947	2.33	2,281	1.07	5,563	2.62	1,402
4月	2,123	5,123	2.39	1,972	0.92	5,472	2.55	1,361
5月	2,073	5,171	2.49	2,067	1.00	5,209	2.51	1,314
6月	2,058	4,332	2.18	2,146	1.04	4,601	2.24	1,122
7月	2,093	5,807	2.77	2,390	1.14	6,556	3.13	1,576
8月	2,115	5,359	2.53	2,380	1.13	6,139	2.90	1,589
9月	2,145	4,928	2.30	2,427	1.13	6,176	2.88	1,644
10月	2,136	4,713	2.21	2,399	1.12	6,764	3.17	1,754
11月	2,121	4,062	1.91	2,663	1.26	6,292	2.97	2,123
12月	2,152	3,774	1.75	2,316	1.08	6,127	2.85	1,928
1月	2,143	2,924	1.36	2,069	0.97	5,314	2.68	1,064
2月	2,147	2,565	1.19	1,790	0.83	4,524	2.11	1,069
3月	2,247	1,05	1,526	0.71	3,462	1.61	1,895	0.88
4月	2,143	1,949	0.91	1,278	0.60	4,380	2.04	2,203
5月	2,120	1,815	0.86	1,067	0.50	2,821	1.33	2,139
6月	2,125	1,649	0.78	670	0.32	3,137	1.43	1,928
7月	2,140	1,484	0.69	536	0.25	2,216	1.04	2,064
8月	2,066	1,235	0.60	413	0.20	1,897	0.92	1,897
9月	2,021	1,053	0.53	242	0.12	1,533	0.76	1,821
10月	2,088	934	0.45	247	0.12	1,190	0.57	1,821
11月	2,102	797	0.38	244	0.12	1,288	0.61	1,495
12月	368	530	0.26	202	0.10	1,966	0.46	1,221
1月	373	2,068	0.25	171	0.08	1,993	0.43	1,304
2月	383	526	0.25	142	0.07	1,031	0.50	1,284
3月	320	307	0.15	154	0.07	1,727	0.61	1,384
4月	2,074	397	0.19	139	0.07	1,187	0.57	1,059
5月	403	2,074	0.19	125	0.06	1,546	0.74	1,430
6月	418	376	0.18	107	0.05	1,672	0.80	1,689
7月	2,090	701	0.34	206	0.10	5,485	2.58	2,277
8月	2,125	508	0.24	1,21	0.06	2,529	1.21	1,21
9月	2,096	377	0.18	118	0.06	2,283	1.10	1,847
10月	2,080	307	0.15	125	0.06	2,283	1.10	1,850
11月	2,109	436	0.21	188	0.09	3,839	2.58	1,07
12月	2,084	399	0.19	187	0.09	3,997	1.92	2,224
1月	2,121	716	0.34	322	0.15	7,367	3.47	2,505
2月	2,012	603	0.30	255	0.13	2,774	1.05	1,237
3月	2,124	478	0.23	216	0.10	4,520	2.13	1,023
4月	2,125	483	0.24	206	0.10	5,824	2.76	2,549
5月	2,113	561	0.27	254	0.12	6,755	3.16	2,529
6月	2,136	582	0.27	226	0.11	1,830	1.07	1,946
7月	2,121	716	0.34	322	0.15	7,367	3.47	2,504
8月	2,074	603	0.30	255	0.13	2,774	1.05	1,237
9月	2,121	577	0.27	231	0.11	2,277	1.07	1,227
10月	2,099	488	0.24	206	0.10	5,824	2.76	2,549
11月	2,113	561	0.27	254	0.12	6,755	3.16	2,529
12月	2,136	582	0.27	226	0.11	1,830	1.07	1,946
1月	2,121	716	0.34	322	0.15	7,367	3.47	2,504
2月	2,012	603	0.30	255	0.13	2,774	1.05	1,237
3月	2,124	478	0.23	216	0.10	4,520	2.13	1,023
4月	2,125	483	0.24	206	0.10	5,824	2.76	2,549
5月	2,113	561	0.27	254	0.12	6,755	3.16	2,529
6月	2,136	582	0.27	226	0.11	1,830	1.07	1,946
7月	2,121	716	0.34	322	0.15	7,367	3.47	2,504
8月	2,074	603	0.30	255	0.13	2,774	1.05	1,237
9月	2,121	577	0.27	231	0.11	2,277	1.07	1,227
10月	2,099	488	0.24	206	0.10	5,824	2.76	2,549
11月	2,113	561	0.27	254	0.12	6,755	3.16	2,529
12月	2,136	582	0.27	226	0.11	1,830	1.07	1,946
1月	2,121	716	0.34	322	0.15	7,367	3.47	2,504
2月	2,012	603	0.30	255	0.13	2,774	1.05	1,237
3月	2,124	478	0.23	216	0.10	4,520	2.13	1,023
4月	2,125	483	0.24	206	0.10	5,824	2.76	2,549
5月	2,113	561	0.27	254	0.12	6,755	3.16	2,529
6月	2,136	582	0.27	226	0.11	1,830	1.07	1,946
7月	2,121	716	0.34	322	0.15	7,367	3.47	2,504
8月	2,074	603	0.30	255	0.13	2,774	1.05	1,237
9月	2,121	577	0.27	231	0.11	2,277	1.07	1,227
10月	2,099	488	0.24	206	0.10	5,824	2.76	2,549
11月	2,113	561	0.27	254	0.12	6,755	3.16	2,529
12月	2,136	582	0.27	226	0.11	1,830	1.07	1,946
1月	2,121	716	0.34	322	0.15	7,367	3.47	2,504
2月	2,012	603	0.30	255	0.13	2,774	1.05	1,237
3月	2,124	478	0.23	216	0.10	4,520	2.13	1,023
4月	2,125	483	0.24	206	0.10	5,824	2.76	2,549
5月	2,113	561	0.27	254	0.12	6,755	3.16	2,529
6月	2,136	582	0.27	226	0.11	1,830	1.07	1,946
7月	2,121	716	0.34	322	0.15	7,367	3.47	2,504
8月	2,074	603	0.30	255	0.13	2,774	1.05	1,237
9月	2,121	577	0.27	231	0.11	2,277	1.07	1,227
10月	2,099	488	0.24	206	0.10	5,824	2.76	2,549
11月	2,113	561	0.27	254	0.12	6,755	3.16	2,529
12月	2,136	582	0.27	226	0.11	1,830	1.07	1,946
1月	2,121	716	0.34	322	0.15	7,367	3.47	2,504
2月	2,012	603	0.30	255	0.13	2,774	1.05	1,237
3月	2,124	478	0.23	216	0.10	4,520	2.13	1,023
4月	2,125	483	0.24	206	0.10	5,824	2.76	2,549
5月	2,113	561	0.27	254	0.12	6,755	3.16	2,529
6月	2,136	582	0.27	226	0.11	1,830	1.07	1,946
7月	2,121	716	0.34	322	0.15	7,367	3.47	2,504
8月	2,074	603	0.30	255	0.13	2,774	1.05	1,237
9月	2,121	577	0.27	231	0.11	2,277	1.07	1,227
10月	2,099	488	0.24	206	0.10	5,824	2.76	2,549
11月	2,113	561	0.27	254	0.12	6,755	3.16	2,529
12月	2,136	582	0.27	226	0.11	1,830	1.07	1,946
1月	2,121	716	0.34	322	0.15	7,367	3.47	2,504
2月	2,012	603	0.30	255	0.13	2,774	1.05	1,237
3月	2,124	478	0.23	216	0.10	4,520	2.13	1,023
4月	2,125	483	0.24	206	0.10	5,824	2.76	2,549
5月	2,113	561	0.27	254	0.12	6,755	3.16	2,529
6月	2,136	582	0.27	226	0.11	1,830	1.07	1,946
7月	2,121	716	0.34	322	0.15	7,367	3.47	2,504
8月	2,074	603	0.30	255	0.13	2,774	1.05	1,237
9月	2,121	577	0.27	231	0.11	2,277	1.07	1,227
10月	2,099	488	0.24	206	0.10	5,824	2.76	2,549
11月	2,113	561	0.27	254	0.12	6,755	3.16	2,529
12月	2,136	582	0.27	226	0.11	1,830	1.07	1,946
1月	2,121	716	0.34	322	0.15	7,367	3.47	2,504
2月	2,012	603	0.30	255	0.13	2,774	1.05	1,237
3月	2,124	478	0.23	216	0.10	4,520	2.13	1,023
4月	2,125	483	0.24	206	0.10	5,824	2.76	2,549
5月	2,113	561	0.27	254	0.12	6,755	3.16	2,529
6月	2,136	582	0.27	226	0.11	1,830	1.07	1,946
7月	2,121	716	0.34	322	0.15	7,367	3.47	2,504
8月	2,074	603	0.30	255	0.13	2,774	1.05	1,237
9月	2,121	577	0.27	231	0.11	2,277	1.07	1,227
10月	2,099	488	0.24	206	0.10	5,824	2.76	2,549
11月	2,113	561	0.27	254	0.12	6,755	3.16	2,529
12月	2,136	582	0.27	226	0.11	1,830	1.07	1,946
1月	2,121	716	0.34	322	0.15	7,367	3.47	2,504
2月	2,012	603	0.30	255	0.13	2,774	1.05	1,237
3月	2,124	478	0.23	216	0.10	4,520	2.13	1,023
4月	2,125	483						

全國。週別。疾病別報告數及び一定点当たり発生數

Reported cases from clinics and hospitals, by week and disease, 1984		13～18歳～ギニア	
Reported cases from clinics and hospitals, by week and disease, 1984		12歳未満～ギニア	
報告された症例		発生地	発生地
症例数	発生地	症例数	症例数
Incidence	Incidence	Incidence	Incidence
97,030	3～48	7,921	1,220
8,973	1～36	115	114
7,897	3～80	73	0.07
6,910	3～31	72	0.06
6,273	3～02	51	0.06
5,049	2～45	51	0.06
5,260	2～52	51	0.06
4,880	2～14	51	0.06
3,865	1～85	51	0.06
3,379	1～76	51	0.06
3,244	1～26	51	0.06
3,93	1～55	51	0.06
2,933	1～21	51	0.06
2,339	1～07	51	0.06
2,000	2～00	51	0.06
1,662	2～17	51	0.06
1,544	2～02	51	0.06
1,579	0～74	51	0.06
1,226	0～59	51	0.06
1,351	0～35	51	0.06
970	0～66	51	0.06
937	0～44	51	0.06
853	0～40	51	0.06
833	0～37	51	0.06
645	0～30	51	0.06
640	0～30	51	0.06
572	0～27	51	0.06
502	0～23	51	0.06
452	0～21	51	0.06
449	0～21	51	0.06
434	0～20	51	0.06
380	0～18	51	0.06
373	0～17	51	0.06
375	0～18	51	0.06
363	0～18	51	0.06
386	0～18	51	0.06
391	0～19	51	0.06
350	0～17	51	0.06
414	0～20	51	0.06
456	0～22	51	0.06
491	0～24	51	0.06
572	0～22	51	0.06
630	0～33	51	0.06
961	0～46	51	0.06
1,120	1～36	51	0.06
6,253	2～96	51	0.06
1,836	0～88	51	0.06
2,668	1～28	51	0.06
7,777	3～64	51	0.06
7,274	3～63	51	0.06
6,587	3～27	51	0.06
130,178	62,055	51	0.06
294,352	140,322	51	0.06
8,562	56,143	51	0.06
26,776	14,032	51	0.06
10,783	5,083	51	0.06
204,555	97,551	51	0.06

59年 全国。週別。疾病別報告数及び一定点当たり罹生数

Reported cases from clinics and hospitals, by week and disease, 1984	16種別病院報告数 number of hospital reports by disease category		17種別医療機関報告数 number of medical facility reports by disease category		18種別発生数 number of cases by disease category	
	定點当たり 報告数 incidence reported cases	報告数 incidence reported cases	定點当たり 報告数 incidence reported cases	報告数 incidence reported cases	定點当たり 報告数 incidence reported cases	報告数 incidence reported cases
01型	229	79	0.34	531	2.32	0.46
02型	216	82	0.38	593	2.75	1.00
03型	218	65	0.30	491	2.25	0.46
04型	217	85	0.39	475	2.19	0.43
05型	223	55	0.25	439	1.97	0.37
06型	216	82	0.38	431	2.00	0.34
07型	222	72	0.32	557	2.51	1.04
08型	215	90	0.42	514	2.39	1.47
09型	220	93	0.42	470	2.14	1.12
10型	210	110	0.52	548	2.61	0.51
11型	213	132	0.62	561	2.63	0.46
12型	218	83	0.38	544	2.50	0.44
13型	220	135	0.61	566	2.57	0.44
14型	226	115	0.51	523	2.31	1.02
15型	228	116	0.51	588	2.58	1.36
16型	228	111	0.93	602	2.64	1.70
17型	225	222	0.99	662	2.94	1.82
18型	230	181	0.79	589	2.56	0.86
19型	233	251	1.08	817	3.51	1.50
20型	223	232	1.04	657	2.95	0.82
21型	235	252	1.07	781	3.32	1.85
22型	235	346	1.47	873	3.71	1.47
23型	240	351	1.46	980	4.08	1.04
24型	237	369	1.56	959	4.05	1.03
25型	245	436	1.78	903	3.69	2.33
26型	247	386	1.56	1,176	4.76	2.71
27型	250	567	2.27	1,193	4.77	508
28型	264	655	2.48	1,316	4.98	872
29型	261	786	3.01	1,407	5.39	1,228
30型	275	990	3.60	1,428	5.19	711
31型	277	1,191	4.30	1,469	5.30	1,469
32型	282	1,347	4.78	1,668	5.91	284
33型	282	1,528	5.42	1,926	6.83	212
34型	299	1,954	6.54	2,084	6.97	2,084
35型	294	1,931	6.57	2,046	6.96	1,79
36型	282	1,615	5.73	1,681	5.95	150
37型	263	2,236	4.65	1,361	5.12	1,68
38型	263	931	3.54	1,335	5.08	1,01
39型	258	553	2.14	1,230	4.77	198
40型	253	370	1.46	973	3.85	1,68
41型	246	245	1.00	859	3.49	119
42型	241	200	0.83	807	3.35	100
43型	233	167	0.72	657	2.80	58
44型	233	99	0.42	569	2.44	44
45型	233	131	0.56	645	2.77	192
46型	233	128	0.55	583	2.50	248
47型	233	123	0.53	534	2.29	196
48型	230	147	0.64	590	2.57	151
49型	234	133	0.57	573	2.45	133
50型	232	111	0.43	639	2.75	142
51型	227	114	0.50	580	2.56	169
52型	222	105	0.67	557	2.51	112
計	23,985	21,988	91,68	45,535	189,85	41,97

50年都道府県別・疾病別・年間報告数及び一定点当たり発生数  
Reported cases per week by prefecture and disease(1984)

平均日間報告数 group average number of daily reported cases	平均日間報告数 group average number of daily reported cases	定点当たり incidence incidence	3歳未満 children 報告数 cases	4歳以上下咽炎 nunup 報告数 cases	5日間連続 報告数 cases	6日間連続 報告数 cases	7日間連続 報告数 cases	8日間連続 報告数 cases	9日間連続 報告数 cases	10日間連続 報告数 cases
0.1北関東 1.672 29.71	1.122 1.359 56.21	13.64 15.82 38.20	7,882 3,494 117.60	87.08 81.55 1,497	2,209 2,634 48.29	257.1 263.5 128	2,34 8.85 32.71	2,157 88.65 1,014	25.10 29.79 32.71	655 562 938
0.2関東 31.00	993 556 30.03	56.21 18.26 8.21	2,518 518 4,016	51.55 150.49 169.83	1,497 2,172 1,608	43.13 55.69 59.91	1.13 1.31 1.608	1,497 1,43 1,400	47.03 47.83 47.83	1,834 1,834 1,834
0.4東北 23.00	2,293 99.91	56.77 6.61	445 6.61	5,669 1,520	11.41 152.0	53.46 55.69	1.35 1.35	1,497 1,497	47.83 47.83	1,834 1,834
0.5北陸 26.00	1,612 6.69	44.69 4.33	1,509 3,906	16.61 138.04	1,611 2,661	42.78 42.78	1.37 1.37	1,497 1,497	47.83 47.83	1,834 1,834
0.6山陰 52.60	1,676 6.19	44.69 4.33	1,612 3,906	16.61 138.04	1,611 2,661	42.78 42.78	1.37 1.37	1,497 1,497	47.83 47.83	1,834 1,834
0.7信濃 52.25	2,081 32.85	59.28 45.32	1,788 4,182	32.68 4,355	7.13 90.30	3,678 3,809	1.23 1.23	1,497 1,497	47.83 47.83	1,834 1,834
0.8長野 62.40	1,816 1,477	45.32 36.23	449 4,182	7.20 4,016	56.74 98.26	64.73 68.90	1.33 1.33	1,497 1,497	47.83 47.83	1,834 1,834
0.9岐阜 91.48	1,041 2,338	41.38 80.62	645 1,214	41.82 4,186	62.17 120.28	42.41 108.86	1.31 1.32	1,497 1,497	47.83 47.83	1,834 1,834
1.0愛知 29.00	1,746 1,838	8.14 8.14	130 130	6.19 6.19	2,856 3,488	136.00 136.00	1.056 1.056	1,497 1,497	47.83 47.83	1,834 1,834
1.1埼玉 24.68	1,676 8.16	8.19 8.16	1,612 5,558	16.23 10.61	3,104 8,071	16.46 153.45	1.23 1.23	1,497 1,497	47.83 47.83	1,834 1,834
1.2千葉 52.60	4,376 2,081	8.16 39.83	2,866 2,866	5.47 5.47	4,180 4,180	80.00 80.00	2.101 2.101	40.21 40.21	56 56	1,07 1,07
1.3東京都 52.25	2,081 32.85	45.32 32.85	449 449	7.20 7.20	5,674 5,674	90.92 90.92	1,735 1,735	1,075 1,075	158 158	1,212 1,212
1.4神奈川 62.40	1,041 11.38	41.38 41.38	487 487	5.32 5.32	6,687 6,687	62.17 62.17	3,880 3,880	42.41 42.41	217 217	12.47 12.47
1.5滋賀 21.00	1,746 1,746	8.14 8.14	130 130	6.19 6.19	2,856 2,856	136.00 136.00	1.056 1.056	50.29 50.29	64 64	17.10 17.10
1.6滋賀 23.31	1,676 8.00	8.00 9.9	1,612 907	4.25 9.9	3,104 2,679	16.46 16.46	1.23 1.23	1,497 1,497	36 36	12.5 12.5
1.7群馬 1,753 1,838	4,376 4,376	8.00 8.00	2,553 2,553	1.57 1.57	8,28 2,679	14.21 14.21	3,115 3,115	16.61 16.61	117 117	1.37 1.37
1.8栃木 52.60	4,376 4,376	8.00 8.00	2,553 2,553	1.57 1.57	8,28 2,679	14.21 14.21	3,115 3,115	16.61 16.61	261 261	1.37 1.37
1.9福島 41.00	1,983 4,47	4.47 4.47	220 220	5.36 5.36	2,661 2,661	64.87 64.87	1,189 1,189	28.99 28.99	139 139	3.39 3.39
2.0宮城 38.33	1,558 1,558	14.56 14.56	219 219	5.71 5.71	3,874 3,874	101.80 95.80	2,913 2,913	76.00 76.00	160 160	4.17 4.17
2.1岩手 30.10	1,962 1,962	11.38 11.38	121 121	4.02 4.02	4,02 4,02	85.89 85.89	768 768	25.52 25.52	219 219	1.235 1.235
2.2宮城 41.77	1,960 2,163	46.92 47.00	2,212 907	52.96 907	5,922 2,110	141.78 145.72	2,110 2,110	50.52 50.52	522 522	4.63 4.63
2.3秋田 46.00	2,163 2,163	47.00 47.00	907 907	19.67 19.67	6,210 6,210	135.00 138.00	2,014 2,014	43.78 43.78	444 444	2.778 2.778
2.4青森 52.81	2,090 2,090	2.090 2.090	39.58 39.58	1.96 1.96	3,71 3,71	138.00 138.00	1.160 1.160	21.97 21.97	284 284	5.38 5.38
2.5山形 19.96	1,315 1,315	65.48 65.48	555 555	2.76 2.76	2,661 2,661	64.87 64.87	1,189 1,189	28.99 28.99	139 139	3.39 3.39
2.6福島 25.50	1,443 1,443	56.59 56.59	264 264	10.35 10.35	3,426 3,426	134.35 134.35	3,871 3,871	34.16 34.16	161 161	4.65 4.65
2.7宮城 90.46	5,753 5,753	63.60 63.60	3,090 3,090	34.16 34.16	7,934 7,934	87.71 87.71	3,624 3,624	40.06 40.06	418 418	2.138 2.138
2.8宮城 48.83	5,326 5,326	10.85 10.85	787 787	16.10 16.10	7,123 7,123	145.71 145.71	2,780 2,780	56.07 56.07	232 232	4.75 4.75
2.9福島 27.04	1,661 1,661	60.40 60.40	340 340	12.57 12.57	5,655 5,655	12.30 12.30	1,553 1,553	32.99 32.99	55 55	2.03 2.03
3.0福島 25.25	2,081 2,081	10.25 10.25	679 679	26.89 26.89	3,434 3,434	11.60 11.60	1,674 1,674	66.30 66.30	196 196	5.38 5.38
3.1福島 12.23	4,494 4,494	40.39 40.39	299 299	24.45 24.45	1,721 1,721	186.22 186.22	4,410 4,410	20.54 20.54	54 54	2.71 2.71
3.2宮城 22.06	3,003 3,003	122.73 122.73	1,941 1,941	88.00 88.00	3,426 3,426	134.35 134.35	3,871 3,871	34.16 34.16	161 161	4.65 4.65
3.3宮城 32.62	1,549 1,549	134.95 134.95	412 412	11.33 11.33	4,088 4,088	11.83 11.83	2,780 2,780	23.42 23.42	149 149	4.31 4.31
3.4宮城 34.54	4,661 4,661	11.33 11.33	1,731 1,731	13.25 13.25	6,230 6,230	17.30 17.30	1,553 1,553	14.93 14.93	219 219	4.93 4.93
3.5宮城 44.42	4,943 4,943	11.11 11.11	638 638	14.36 14.36	5,655 5,655	12.30 12.30	1,553 1,553	14.93 14.93	219 219	4.93 4.93
3.6宮城 15.00	2,081 2,081	10.25 10.25	679 679	26.89 26.89	3,434 3,434	11.60 11.60	1,674 1,674	66.30 66.30	196 196	5.38 5.38
3.7宮城 22.75	2,019 2,019	9.75 9.75	1,748 1,748	6.24 6.24	2,982 2,982	131.03 131.03	1,700 1,700	7.47 7.47	77 77	3.38 3.38
3.8宮城 29.00	3,083 3,083	13.21 13.21	1,748 1,748	60.28 60.28	3,757 3,757	129.55 129.55	1,930 1,930	34.14 34.14	127 127	1.275 1.275
3.9宮城 30.60	1,549 1,549	50.63 50.63	598 598	19.54 19.54	4,503 4,503	147.18 147.18	1,248 1,248	40.79 40.79	271 271	1.890 1.890
4.0宮城 28.00	3,731 3,731	11.33 11.33	1,332 1,332	12.86 12.86	3,280 3,280	117.14 117.14	1,183 1,183	42.25 42.25	291 291	1.039 1.039
4.1宮城 17.96	1,457 1,457	8.11 8.11	320 320	17.82 17.82	1,777 1,777	98.93 98.93	2,700 2,700	15.03 15.03	185 185	1.761 1.761
4.2宮城 40.27	2,789 2,789	6.92 6.92	1,038 1,038	26.99 26.99	3,839 3,839	95.33 95.33	1,281 1,281	31.81 31.81	381 381	5.66 5.66
4.3宮城 44.42	2,120 2,120	47.72 47.72	497 497	11.19 11.19	5,700 5,700	128.31 128.31	1,860 1,860	41.87 41.87	543 543	2.196 2.196
4.4宮城 22.87	3,325 3,325	145.42 145.42	1,625 1,625	71.07 71.07	4,681 4,681	206.72 206.72	1,332 1,332	49.51 49.51	356 356	69.43 69.43
4.5宮城 34.06	3,950 3,950	115.93 115.93	1,583 1,583	15.06 15.06	5,324 5,324	156.77 156.77	977 977	28.69 28.69	1,737 1,737	1.584 1.584
4.6宮城 36.00	4,114 4,114	114.28 114.28	4,007 4,007	11.31 11.31	5,089 5,089	127.47 127.47	1,727 1,727	45.19 45.19	698 698	1.587 1.587
4.7宮城 28.52	1,472 1,472	51.61 51.61	4,037 4,037	141.55 141.55	4,218 4,218	147.90 147.90	302 302	10.59 10.59	176 176	5.35 5.35
3.6.76 2.204.02	59.96	924.38	25.15	4,155.77	113.06	1,0597.36	43.46	216.40	30.49	30.49
3.6.76 2.204.02	59.96	924.38	25.15	4,155.77	113.06	1,0597.36	43.46	216.40	30.49	30.49

1959年都道府県別・疾病別・年間報告数及び一定点当たり発生数  
Reported cases per week by prefecture and disease (1959)

59年都道府県別・疾病別・年間報告数及び一定点当り発生数  
Reported Cases per week by prefecture and disease (1984)

発生地別: 地域 Prefecture: Region	発生地別: 病院 Prefecture: Hospital	発生地別: その他 Prefecture: Others	0歳未満: 呼吸器 Infantile: Respiratory	0歳未満: 感染 Infantile: Infection	定点当たり Infectious cases	10歳未満: 呼吸器 Child: Respiratory	10歳未満: 感染 Child: Infection	定点当たり Infectious cases	15歳未満: 呼吸器 Teenager: Respiratory	15歳未満: 感染 Teenager: Infection	定点当たり Infectious cases	15歳以上: 呼吸器 Adult: Respiratory	15歳以上: 感染 Adult: Infection	定点当たり Infectious cases	15歳以上: その他の Adult: Other	15歳以上: 感染 Adult: Infection	定点当たり Infectious cases
01北海道	1,896	22.07	2,145	24.96	4,006	46.62	354	4.12	1,976	23.00	4,570	53.19					
02青森	2,068	69.60	4,766	160.41	910	30.63	457	15.38	2,133	71.79	3,109	104.64					
03宮城	1,642	52.97	1,925	62.10	619	19.97	93	3.00	1,508	1,074	1,774	57.23					
04福島	2,003	59.05	3,329	213.56	5,603	19.36	579	14.85	3,623	92.90	5,356	141.95					
05群馬	2,327	101.17	2,646	115.06	3,555	154.57	220	9.57	1,989	86.48	2,894	125.83					
06埼玉	1,770	68.08	2,783	107.04	363	33.19	129	4.96	1,603	61.65	2,370	91.15					
07千葉	1,713	37.24	578	12.57	1,605	34.89	252	5.48	1,587	34.50	3,578	77.78					
08東京	1,940	40.22	5,937	123.10	1,290	26.75	131	2.72	1,867	38.71	4,177	86.60					
09神奈	1,074	62.34	466	11.43	536	13.15	135	2.08	1,612	39.54	2,318	56.86					
10栃木	1,806	62.28	5,780	199.31	214	7.38	59	2.03	1,970	67.23	3,780	130.34					
11茨城	1,177	47.89	3,624	147.66	476	19.37	111	4.52	1,569	63.03	3,094	125.89					
12群馬	1,798	91.22	6,729	122.94	1,275	24.24	321	6.10	2,994	56.92	5,718	108.72					
13新潟	1,619	79.79	1,188	214.12	1,239	23.71	415	7.94	2,537	48.56	4,186	80.11					
14福井	2,486	39.84	12,368	198.19	1,717	27.51	248	3.97	2,258	36.13	5,002	80.16					
15富山	2,393	26.16	3,76	69.00	418	5.43	154	1.43	2,154	27.48	3,822	49.78					
16石川	1,244	59.24	644	30.52	1,112	52.95	34	1.62	1,438	68.48	1,453	69.19					
17福井	1,500	6.44	234	10.04	309	13.26	19	0.82	542	23.25	782	33.55					
18滋賀	1,098	57.97	1,774	93.56	174	9.18	37	1.95	918	48.41	1,254	66.3					
19京都	1,148	27.99	3,671	89.49	1,361	33.19	46	1.42	803	19.53	1,990	24.14					
20大阪	2,358	74.57	7,166	186.97	429	11.19	114	2.97	2,352	61.37	3,707	96.72					
21奈良	1,986	65.99	2,244	74.46	159	5.28	68	2.26	917	30.47	1,382	45.92					
22和歌	2,806	67.18	8,249	197.49	2,174	52.05	154	3.69	3,330	79.72	5,430	130.00					
23熊本	3,862	84.61	9,321	202.53	398	8.65	235	5.11	2,829	61.50	3,614	78.57					
24大分	5,003	98.53	17,541	332.17	807	15.28	130	2.46	3,266	61.85	6,773	128.26					
25鹿児	4,965	24.85	2,309	115.67	116	5.31	27	1.35	641	32.11	1,858	93.03					
26宮崎	1,386	54.35	7,807	306.16	193	7.57	25	0.98	1,591	62.39	2,985	117.06					
27鹿児	4,343	48.01	1,808	130.53	1,038	11.47	175	1.93	4,215	46.59	3,528	67.27					
28熊本	4,748	97.13	9,701	198.45	1,110	22.71	246	5.03	4,284	87.63	9,251	189.24					
29長崎	771	28.51	1,767	65.75	183	6.77	67	2.48	994	36.76	1,901	70.31					
30沖縄	1,357	53.74	2,957	117.11	394	15.60	353	1.98	1,875	74.26	3,057	121.07					
31熊本	865	70.72	2,369	193.69	323	26.61	72	1.35	819	66.96	1,503	122.89					
32宮崎	2,075	94.07	6,668	302.65	625	28.33	31	1.41	1,672	66.73	4,067	184.33					
33山口	1,153	35.35	7,930	243.14	461	14.13	31	1.48	1,200	36.79	2,487	76.25					
34徳島	1,847	53.48	7,212	208.91	1,105	38.59	54	1.52	4,629	47.16	3,380	97.86					
35高知	3,140	70.68	5,513	124.40	2,763	62.20	257	5.79	3,817	71.74	7,056	158.44					
36佐賀	2,567	171.13	3,129	208.60	72	4.80	30	2.00	940	62.67	1,784	118.93					
37沖縄	1,314	57.76	3,150	138.46	284	12.48	35	1.54	1,353	59.69	2,243	98.59					
38鹿児	2,592	92.83	3,216	110.90	833	28.72	110	3.79	1,641	45.59	4,567	157.48					
39沖縄	2,568	83.93	6,333	207.15	369	12.06	60	1.93	2,338	73.15	4,167	136.19					
40沖縄	3,113	129.04	3,481	124.32	705	25.18	55	1.96	1,270	45.36	2,923	104.77					
41佐賀	1,593	88.69	3,64	20.27	306	17.04	99	5.51	1,345	74.88	2,013	111.26					
42長崎	2,748	68.24	987	24.51	727	18.05	113	2.81	2,344	58.21	3,430	85.18					
43沖縄	4,759	107.13	2,634	63.48	1,249	28.12	71	1.60	3,570	80.36	4,802	123.46					
44沖縄	3,821	167.11	13,844	605.66	409	17.89	26	1.14	2,400	104.96	5,702	249.37					
45沖縄	4,812	141.29	3,674	107.38	2,336	65.65	93	2.73	1,838	53.97	3,797	111.49					
46沖縄	2,124	59.00	4,511	125.31	746	20.72	53	1.47	1,713	47.58	2,412	67.00					
47沖縄	80	2.81	2,622	9.19	1,037	36.36	9	0.32	616	21.60	215	7.54					
37沖縄	2,315.30	62.99	5,070.11	137.93	4,037.47	28.22	150.04	4,088	1,937.13	52.70	3,534.51	96.16					

5 年都道府県別。疾病別。年間報告数及び一定点当たり発生数  
Reported cases per week by prefecture and disease(1984)

10位以内の下痢便 Influenza and diarrheal 報告数 cases	9位の他の感染性下痢便 Other infectious diarrhea 報告数 cases	10位以内の 扁桃炎 咽頭炎 報告数 cases	11位の扁桃炎 咽頭炎 報告数 cases	12位の麻疹 麻疹 報告数 cases	13位のインフルエンザ influenza 報告数 cases							
51札幌市 52横浜市 53川崎市 54名古屋市 55京都市 56大阪市 57名戸市 58広島市 59北九州市 60福岡市	1,561 2,689 689 22,53 58,06 2,550 1,639 1,959 1,480 1,409 3,219	97.56 56.34 56.51 1,972 58.06 58.93 36.39 26.29 77.89 128.09 254.93	2,527 7,561 1,972 13,571 9,309 9,309 3,715 9,343 2,349 2,383 3,327	157.94 158.41 64.49 193.87 215.14 82.49 125.38 123.63 121.64 210.64 255.55	877 1,335 663 421 485 485 284 635 1,304 612 766	54.81 27.97 21.68 6.01 11.21 14.7 6.31 8.52 68.63 55.64 58.84	227 476 149 170 2,402 3,402 74 133 103 18 13	14.19 9.97 4.87 2.402 2.402 2.402 3.4.31 3.4.31 3.4.31 1.64 1.00	1,299 3,040 1,064 2,402 2,305 1,400 31.08 1,609 1,625 1,64 1,112	81.19 63.69 34.80 34.31 53.27 53.27 31.08 21.59 85.53 84.73 85.41	3,229 5,158 2,120 5,128 73.26 4,404 2,903 8,943 120.01 129.68 159.00 2,335 179.35	201.81 108.06 69.33 5,128 73.26 101.78 64.46 120.01 129.68 159.00 179.35 103.83 97.51
10位以内の 大都市 平均	2,135.90 2,283.82	57.70 62.05	5,605.70 5,164.07	151.44 140.32	738.20 984.96	19.94 26.76	151.00 150.21	4.08 4.08	1,678.80 1,891.81	45.35 51.40	3,843.30 3,568.68	
10 largest cities average												

59年都道府県別・疾病別・年間報告数及び一定点当たり発生数  
Reported cases per week by prefecture and disease (1984)

59年都道府県別・疾患別・年間報告数及び一定点当たり発生数  
Reported cases per week prefecture and disease (1984)

都道府県 (府県名)	14種別累積報告 数(報告点) number of reported cases & hospitals of clinics & hospitals	15種別累積報告 数(報告点) epidemic ratio- cumulative report- ed cases	定点当たり 発生率 incidence rate	16急性出血性髄膜炎 acute hemorrhagic meningitis and encephalitis cases	17a 脳膜炎細菌性 bacterial meningitis cases	17b 脳膜炎細菌性 bacterial meningitis cases	17c 脳炎細菌性 bacterial encephalitis cases	18急性骨髄炎 acute osteomyelitis cases	19急性骨髄炎 acute osteomyelitis cases	20急性骨髄炎 acute osteomyelitis cases	21急性骨髄炎 acute osteomyelitis cases
51札幌市	6.06	202	33.35	1,007	166.23	163	26.91	6.00	-	21	3.50
52飯塚市	4.25	474	111.53	690	162.35	50	11.76	1.96	14	23	11.73
53川崎市	3.00	1,81	60.33	423	141.00	68	22.67	3.00	1	0.33	1
54名古屋市	6.00	1,461	243.50	529	88.17	68	11.33	6.75	2	0.30	-
55京都府	2.40	286	118.98	354	147.26	59	24.54	1.00	1	1.00	13
56大阪府	7.50	427	56.93	822	109.60	123	16.40	16.35	30	6.00	3.00
57神戸市	9.21	242	26.27	1,328	144.17	112	12.16	0.96	9	1.84	1.22
58広島市	3.00	150	50.00	330	110.00	49	16.33	5.00	12	2.00	59.28
59北九州市	1.00	65	65.00	95	95.00	9	9.00	11.00	5	0.45	8
60福岡市	2.00	264	132.00	15	7.50	14	7.00	13.02	6	0.46	6.8
10最大都市 average	4.44	375.20	84.46	559.30	125.90	71.50	16.10	6.50	8.00	1.23	70.50
全国平均 average	4.21	385.75	91.68	798.86	189.85	176.61	41.97	7.25	8.28	1.14	80.14
											3.51
											0.48

昭和59年病別・年間報告数  
Reported cases by area (1984)

	患者定点 (年平均) annual average number of clinics & hospitals	麻しん様疾患 measles	風疹 rubella	水痘 chickenpox	流行性下腺炎 mumps	百日咳 pertussis	溶連菌感染症 streptococcal infection	異型肺炎 atypical pneumonia
	報告数 reported cases	定点当たり incidence cases	報告数 reported cases	定点当たり incidence cases	報告数 reported cases	定点当たり incidence cases	報告数 reported cases	定点当たり incidence cases
北海道	1,014.92	1,113.24	12.92	2,113	20.73	9.403	92.26	2.617
東北	1,947.71	11,064	56.82	3,059	15.71	23.154	118.91	12.68
関東甲信越	558.96	23,538	42.11	6,951	12.44	53.112	50.566	5.522
東海北陸	303.94	12,874	42.36	4,550	14.97	34.223	112.60	9.56
近畿	3,999.2	25,044	62.62	7,460	18.65	37.516	93.81	15.116
中・四国	2,622.21	21,694	82.73	6,868	26.19	33.366	127.25	8.087
九州	2,766.12	25,661	92.94	17,692	64.07	37.092	134.34	9.306
合計	2,097.79	121,199	57.77	4,8693	23.21	227.866	108.62	37.710

	乳児吐下物症 infantile vomiting and diarrhoea	その他の感染性下痢症 other infectious diarrhea	手足口病 hand foot and mouth disease	伝染性紅斑 erythema infectiosum	発赤性発しん exanthem subitum	ヘルパンギーナ herpangina	
	報告数 reported cases	定点当たり incidence cases	報告数 reported cases	定点当たり incidence cases	報告数 reported cases	定点当たり incidence cases	報告数 reported cases
北海道	3,457	33.92	4,672	45.89	4,883	47.91	5.70
東北	1,1823	60.72	21,027	107.99	13,155	67.56	17.730
関東甲信越	27,227	48.71	72,838	130.31	10,953	19.60	2,774
東海北陸	20,443	67.26	53,572	176.26	5,554	18.27	847
近畿	19,249	75.13	47,874	146.82	4,438	11.10	1,247
中・四国	19,701	75.13	47,874	182.58	8,367	31.21	833
九州	28,278	102.41	35,653	129.12	8,793	31.85	550
合計	130,178	62,051	294,352	140.32	56,143	26.76	8,562

	眼科定点 (年平均) annual average number of clinics & hospitals	咽頭結膜熱 pharyngitis	流行性角膜炎 epidemic kerato- conjunctivitis	急性出血性結膜炎 acute hemorrhagic conjunctivitis	細菌性皰膜炎 bacterial meningitis	無菌性皰膜炎 aseptic meningitis	脳・脊髄炎 meningitis
	報告数 reported cases	定点当たり incidence cases	報告数 reported cases	定点当たり incidence cases	報告数 reported cases	定点当たり incidence cases	報告数 reported cases
北海道	20.13	230	11.42	2,112	10.489	25.8	12.81
東北	23.12	1,258	54.42	4,098	17.7	52.7	22.80
関東甲信越	56.21	5,562	98.95	9,714	172.81	54.6	27.50
近畿	33.38	3,366	16.63	6,532	19.56	34.4	10.30
中・四国	43.48	3,099	71.27	6,701	15.41	38.1	8.76
九州	33.31	3,650	10.95	6,224	18.68	63.1	18.94
合計	30.21	2,823	93.41	10,154	33.610	6,380	21.18

59年 第5表 疾病・年齢区分別 年間発生数  
Reported cases by age group (1984)

	0才	1~4才	5~9才	10~14才	15才以上	平均	合計
01麻しん候疾患	15,369	75,205	25,115	4,718	705	87	121,199
02風しん	2,093	17,597	19,654	5,994	3,353	2	48,693
03水痘	18,572	133,377	67,303	6,425	1,985	204	227,866
04流行性下痢炎	849	42,915	38,389	3,749	1,786	22	87,710
05百日ぜん病候疾患	3,436	6,182	1,609	241	86	1	11,555
06溶連性髄膜炎	506	20,354	27,985	4,255	1,485	21	54,606
07猩紅熱	874	18,030	28,823	8,124	3,154	13	59,018
08乳頭炎下痢症	69,706	54,419	4,719	869	392	73	130,178
09乳頭炎下痢症	24,200	130,174	8,639	27,557	25,333	4,49	294,352
10手足口病	5,941	40,669	8,457	734	342	-	56,143
11伝染性紅斑	949	2,801	3,884	833	87	3	8,562
12炎症性癆しん	100,290	7,140	318	55	28	2	107,833
13ヘルパンギーナ	30,521	137,479	31,341	3,543	1,565	106	204,555
14咽喉管炎熱	1,258	9,276	7,996	1,94	1,539	5	21,988
15流行性結膜炎	1,137	4,979	5,549	4,956	28,651	263	45,535
16急性出血性結膜炎	95	423	792	1,456	7,294	7	10,067
17A型細菌性頸膜炎	185	134	93	38	21	1	472
17B型細菌性頸膜炎	377	1,532	2,056	447	150	6	4,568
18細胞肺炎	10	71	70	26	23	-	200

59年 第6表 疾病・年齢区分別 年間発生数(100分率)  
Percentage distribution of reported cases by age group (1984)

	0才	1~4才	5~9才	10~14才	15才以上	平均	合計
01麻しん候疾患	12,68	62,05	20,72	3,89	0,58	0,07	100,00
02風しん	4,30	36,14	40,36	12,31	6,89	0,00	100,00
03水痘	8,15	58,53	29,54	2,82	0,87	0,09	100,00
04流行性下痢炎	9,97	48,93	43,77	4,27	2,04	0,03	100,00
05百日ぜん病候疾患	29,74	53,50	13,92	2,07	0,74	0,01	100,00
06溶連性髄膜炎	0,93	37,27	51,25	7,79	2,72	0,04	100,00
07猩紅熱	1,48	30,55	48,84	13,77	5,34	0,02	100,00
08乳頭炎下痢症	53,55	41,80	3,63	0,67	0,30	0,06	100,00
09乳頭炎下痢症	3,22	44,22	29,43	9,36	8,61	0,15	100,00
10手足口病	10,58	72,44	15,06	1,31	0,61	-	100,00
11伝染性紅斑	1,108	32,71	45,36	9,73	1,02	0,09	100,00
12炎症性癆しん	93,00	6,62	0,29	0,05	0,03	0,00	100,00
13ヘルパンギーナ	14,92	67,21	15,32	1,73	0,77	0,05	100,00
14咽喉管炎熱	5,72	42,19	3,637	8,70	7,00	0,02	100,00
15流行性角膜炎	2,50	10,93	12,19	10,88	62,92	0,58	100,00
16急性出血性結膜炎	0,94	4,20	7,87	14,46	72,45	0,07	100,00
17A型細菌性頸膜炎	39,19	28,39	19,70	8,05	4,45	0,21	100,00
17B型細菌性頸膜炎	8,25	33,54	45,01	9,79	3,28	0,13	100,00
18細胞肺炎	5,00	35,50	35,00	13,00	11,50	-	100,00

## 第 4 病 原 細 菌 檢 出 成 績

## 第 4 病原細菌検出成績

### 1. 病原細菌検出状況総括、由来ヒト、1984年

1. Total number of bacteria isolated from humans, Japan, 1984

( ) : 海外旅行者分再掲

( ) : Imported cases included in the total

		地 研 保 健 所	医 療 機 関	都 市 立 染 病 院	檢 疫 所
	Prefectural and municipal public health institute**	General clinical institution	Infectious diseases hospital	Quarantine station	
合計	Total	17835(2453)	67723(38)	1191(430)	1623(1628)
病原大腸菌	<i>E.coli</i>	1766( 792)	2095( 1)	29( 21)	25( 25)
赤痢菌	<i>Shigella</i>				
志賀赤痢菌	<i>S.dysenteriae</i>	11( 19)	-	10( 10)	2( 2)
フラクスナー赤痢菌	<i>S.flexneri</i>	189( 65)	36( 5)	134( 86)	49( 49)
ボイド赤痢菌	<i>S.boylei</i>	14( 10)	5( 3)	16( 7)	11( 11)
ソブニ赤痢菌	<i>S.sonnei</i>	322( 160)	69(10)	276(120)	103( 103)
サルモネラ	<i>Salmonella</i>				
チフス菌	<i>S.typhi</i>	110( 8)	60( 5)	62( 21)	-
バラチフスA菌	<i>S.paratyphi A</i>	10( 2)	2( 1)	14( 8)	-
バラチフスB菌	<i>S.paratyphi B</i>	312( 4)	150	37( 1)	-
その他のサルモネラ	Others, group B	1229( 160)	774( 2)	110( 5)	184( 184)
C 1	group C1	1133( 103)	276	21( 2)	103( 103)
C 2	group C2	732( 94)	248( 1)	29( 5)	81( 81)
D 1	group D1	274( 41)	156( 1)	6( 1)	31( 31)
D 2	group D2	2	1	-	3( 3)
E 1	group E1	197( 97)	14	2( 1)	126( 126)
E 2	group E2	34( 13)	4	-	5( 5)
E 4	group E4	51( 27)	4	-	51( 51)
G	group G	37( 5)	8	-	6( 6)
K	group K	51( 16)	4	-	16( 16)
その他	other groups	48( 26)	26	2	23( 23)
群不明	group unknown	22( 3)	32	1	15( 15)
1般7777例	<i>V.enterocolitica</i>	75( 21)	187	1	-
1般7777例	<i>V.pseudotuberculosis</i>	2	21	-	-
コレラ菌O 1	<i>V.cholerae</i> O1	81( 77)	7( 2)	24( 24)	10( 10)
コレラ菌O 1以外	<i>V.cholerae</i> non O1	119( 70)	10( 1)	6( 6)	95( 95)
腸炎ビリオ	<i>V.parahaemolyticus</i>	2397( 337)	617( 1)	90( 21)	293( 293)
ビリオツルビアリス	<i>V.fluvialis</i>	55( 18)	43	7( 2)	20( 20)
ビリオツミカス	<i>V.almaicus</i>	14	7	-	5( 5)
エプロモナズム/S	<i>A.hydrophila/sobria</i>	83( 11)	295	3	6( 6)
カキ貝及び海貝類	<i>P.shigelloides</i>	140( 133)	17	13( 11)	342( 342)
カンピロバクターJ / C	<i>C.jejuni/coli</i>	2400( 127)	5376( 1)	148( 25)	-
黄色ブドウ球菌	<i>S.aureus</i>	925( 2)	1770	13	-
ウェルシュ菌	<i>C.perfringens</i>	167	7	3	-
ボツリヌス菌	<i>C.botulinum</i> , type E	3	-	-	-
その他のボツリヌス菌	<i>C.botul. other types</i>	7	2	-	-
セレウス菌	<i>B.cereus</i>	92	40	-	-
りん菌	<i>N.gonorrhoeae</i>	776( 12)	1430	-	-
皰膜炎菌	<i>N.meningitidis</i>	9	53	-	-
レンサ球菌A	<i>Streptococcus</i> , group A	2905	8132	-	-
レンサ球菌B	group B	575	4954	-	-
レンサ球菌C	group C	20	558	-	-
レンサ球菌G	group G	85	593	-	-
レンサ球菌群不明	group unknown	128	1122	-	-
肺炎レンサ球菌	<i>S.pneumoniae</i>	18	9030	-	-
ジフテリア菌	<i>C.diphtheriae</i>	-	1	-	-
百日咳菌	<i>B.pertussis</i>	17	64	-	-
インフルエンザ菌	<i>H.influenzae</i>	5	15105	-	-
肺炎桿菌	<i>K.pneumoniae</i>	26	13559	-	-
赤痢アメーバ	<i>E.histolytica</i>	2	2	67( 30)	-
マラリア	<i>Malaria</i>	4( 4)	3( 3)	-	-
その他 *	Others	361( 5)	704( 1)	69( 23)	23( 23)

\*\* Including health centers

\* その他の細菌の内訳 Others

地研・保健所 Prefectural and municipal public health institutes

*Mycoplasma pneumoniae*, *Clostridium difficile*, *Mycobacterium tuberculosis*, *Klebsiella oxytoca*,  
*Giardia lamblia*, *Pseudomonas aeruginosa*, *Listeria monocytogenes*, *Vibrio metschnikovii*,  
*Proteus morganii*, *Edwardsiella tarda*, *Listeria*

医療機関 General clinical institutions

*Streptococcus faecalis*, *Klebsiella oxytoca*, *Mycobacterium tuberculosis*, *Pseudomonas aeruginosa*,  
*Mycoplasma pneumoniae*, *Clostridium difficile*, *Streptococcus*, group D, *Vibrio alginolyticus*,  
*Streptococcus*, group F, *Branhamella catarrhalis*, *Pasteurella multocida*, *Vibrio sp*, *Aeromonas sp*,  
*Vibrio vulnificus*, *Giardia lamblia*, *Acinetobacter calcoaceticus*, *Edwardsiella tarda*, *Listeria*  
*monocytogenes*, *Pasteurella ureae*, *Ureaplasma*

都市立伝染病院 Infectious diseases hospitals

*Klebsiella oxytoca*, *Giardia lamblia*, *Clostridium difficile*, *Vibrio alginolyticus*, *Listeria*  
*monocytogenes*, *Proteus sp*

検疫所 Quarantine stations

*Giardia lamblia*

## 1. Continued

病原大腸菌の内訳	E. coli categorized by pathogenicity	( ) : 海外旅行者分再掲 ( ) : Imported cases included in the total			
		地 域 保健所 Prefectural and municipal public health institute**	医 療 門 General clinical institution	都市立 伝染病院 Infectious diseases hospital	検疫所 Quarantine station
大腸菌細菌侵入性	EIEC	100( 32)	45	4( 4)	5( 5)
大腸菌素性	ETEC	883( 470)	27( 1)	3( 1)	18( 16)
病原大腸菌血清型	EPEC	633( 225)	884	18( 13)	4( 4)
大腸菌その他、型不明	Unknown	140( 65)	1139	4( 3)	-

赤痢菌の血清型別の内訳	Shigella serovars	( ) : 海外旅行者分再掲 ( ) : Imported cases included in the total			
		S. dysenteriae	S. flexneri	S. boydii	S. sonnei
志賀赤痢菌	S. dysenteriae	-	-	-	-
志賀赤痢菌1	serovar 1	4( 4)	-	2( 2)	-
志賀赤痢菌2	serovar 2	4( 4)	-	6( 6)	-
志賀赤痢菌3	serovar 3	-	-	1( 1)	-
志賀赤痢菌4	serovar 4	3( 2)	-	-	1( 1)
志賀赤痢菌9	serovar 9	-	-	1( 1)	1( 1)
フレクスナー赤痢菌	S. flexneri	-	-	-	-
フレクスナー赤痢菌1 a	serovar 1a	3( 3)	-	5( 4)	2( 2)
フレクスナー赤痢菌1 b	serovar 1b	25( 8)	9	21( 9)	3( 3)
フレクスナー赤痢菌1	serovar 1	-	-	-	1( 1)
フレクスナー赤痢菌2 a	serovar 2a	83( 19)	17( 1)	44( 25)	11( 11)
フレクスナー赤痢菌2 b	serovar 2b	20( 5)	1	7( 7)	8( 8)
フレクスナー赤痢菌3 a	serovar 3a	18( 11)	3( 2)	20( 15)	9( 9)
フレクスナー赤痢菌3 b	serovar 3b	2( 1)	-	1( 1)	1( 1)
フレクスナー赤痢菌3 c	serovar 3c	1	-	2( 1)	-
フレクスナー赤痢菌4 a	serovar 4a	4( 2)	2( 2)	-	4( 4)
フレクスナー赤痢菌4 b	serovar 4b	1( 1)	-	1( 1)	-
フレクスナー赤痢菌4	serovar 4	1( 1)	-	6( 6)	-
フレクスナー赤痢菌5	serovar 5	1( 1)	1	1( 1)	1( 1)
フレクスナー赤痢菌6	serovar 6	23( 12)	3	20( 12)	9( 9)
フレクスナー赤痢菌7	serovar 7	-	-	2( 1)	-
フレクスナー赤痢菌X	serovar X	-	-	1( 1)	-
フレクスナー赤痢菌Y	serovar Y	2( 1)	-	-	-
フレクスナー赤痢菌型不明	serovar unknown	-	-	3( 2)	-
ボイド赤痢菌	S. boydii	-	-	-	-
ボイド赤痢菌1	serovar 1	1( 1)	1	1( 1)	3( 3)
ボイド赤痢菌2	serovar 2	4( 4)	1( 1)	-	1( 1)
ボイド赤痢菌3	serovar 3	1( 1)	-	-	-
ボイド赤痢菌4	serovar 4	4( 2)	1( 1)	9( 1)	-
ボイド赤痢菌5	serovar 5	1	-	-	-
ボイド赤痢菌6	serovar 6	1( 1)	-	-	-
ボイド赤痢菌7	serovar 7	-	-	-	-
ボイド赤痢菌8	serovar 8	-	1( 1)	-	-
ボイド赤痢菌10	serovar 10	1( 1)	-	-	-
ボイド赤痢菌12	serovar 12	1	-	1( 1)	2( 2)
ボイド赤痢菌13	serovar 13	-	-	-	1( 1)
ボイド赤痢菌14	serovar 14	-	-	2( 2)	2( 2)
ボイド赤痢菌15	serovar 15	-	-	-	1( 1)
ボイド赤痢菌型不明	serovar unknown	-	1	3( 2)	1( 1)
ソンネ赤痢菌	S. sonnei	322( 160)	69(10)	276(120)	103( 103)

\*\* Including health centers

## 2. 病原細菌検出数の月別集計、由来ヒト、1984年

2. Isolation of bacteria from humans, by month, Japan, 1984

### 2-1. 地域・保健所

#### 2-1. Prefectural and municipal public health institutes and health centers

	T	1	2	3	4	5	6
	O	J	F	M	A	M	J
	A	A	E	A	P	A	U
	L	N	B	R	R	Y	N
コウケイ TOTAL	17835(2453)	787(161)	711(100)	1341(234)	901(246)	1274(193)	1605(130)
ヒヨウケンタウキイチヨウキン E.COLI	1766(792)	67(50)	64(43)	143(81)	109(40)	116(63)	119(56)
セキリキン SHIGELLA							
シカツセキリキン S.DYSENTERIAE	11(10)	-	-	1(1)	3(3)	1(1)	-
フレクスナーセキリキン S.FLEXNERI	184(65)	21(3)	17(3)	32(4)	21(10)	16(7)	10(3)
ホウイトセキリキン S.BOYDII	14(10)	-	1	1(1)	2(2)	2(2)	1(1)
ソンセキリキン S.SONNEI	322(160)	13(6)	30(4)	22(18)	75(66)	35(15)	24(8)
サルモネラ SALMONELLA							
チフスキ S.TYPHI	110(8)	2	9(1)	9(1)	7	14(1)	13
ハラチフス Aキシ S.PARATYPHI A	10(2)	1	-	1	1	3	-
ハラチフス Bキシ S.PARATYPHI B	312(4)	5	1	5	15(1)	26(2)	37
ソノタノサルネラ B OTHERS GROUP B	1224(160)	34(12)	28(7)	64(9)	65(11)	104(8)	146(11)
C1 GROUP C1	1133(103)	34(12)	31(3)	28(5)	40(10)	79(8)	120(3)
C2 GROUP C2	732(94)	19(5)	19(4)	35(9)	27(6)	63(7)	84(3)
D1 GROUP D1	274(41)	5(3)	1	11(4)	11(3)	31(15)	26(11)
D2 GROUP D2	2	-	-	-	-	-	-
E1 GROUP E1	197(97)	7(5)	8(4)	11(9)	12(10)	17(6)	18(7)
E2 GROUP E2	34(13)	-	1	-	3(1)	3	2
E4 GROUP E4	51(27)	2(2)	2(1)	7(7)	4(2)	1(1)	7(2)
G GROUP G	37(5)	2	2	1(1)	1(1)	1	5
K GROUP K	51(16)	1(1)	2(1)	5(3)	4(1)	1(1)	2
ソノタ OTHER GROUPS	48(26)	1(1)	-	4(3)	2(2)	6(3)	4(2)
クラムマイ GROUP UNKNOWN	22(3)	-	1(1)	1(1)	-	1	2
エルシニア エラコロリカ Y.ENTEROCOLITICA	75(21)	6(2)	9(1)	6(4)	6(4)	6(1)	14(1)
エルシニア シュコツヅル Y.PSEUDOTUBERCULOSIS	2	2	-	-	-	-	-
コレラシオ O1 V.CHOLERAE,O1	81(77)	1(1)	-	-	-	1	3(3)
コレラシオ O1イカイ V.CHOLERAE,NON O-1	119(70)	1(1)	3(3)	5(5)	7(7)	9(7)	5(5)
ショウエントラフィオ V.PARAHAEMOLYTICUS	2207(357)	38(37)	8(8)	34(32)	34(34)	34(20)	126(24)
ヒラブリオ・フルベアリス V.FLUVIALIS	55(18)	-	-	3(3)	1(1)	2(2)	3(3)
ヒラブリオ・ミカヌカ V.MIMICUS	14	-	-	-	-	-	-
アエロモスク(H/S) A.HYDROPHILA/SOBRIA	83(11)	2(1)	-	1(1)	2(1)	7(2)	8
フジオモスク・シグマロイド P.SHIGELLOIDES	140(133)	4(4)	8(7)	15(15)	15(15)	14(14)	4(4)
カニコロバコ J/C C.JEJUNI/COLI	2400(127)	69(14)	87(7)	120(15)	145(14)	336(3)	455(12)
オウショウバトウセキヨウキン S.AUREUS	925(2)	6	61	9	37	17	62
ウェルコッキン G.PERFRINGENS	167	4	24	54	17	13	10
ホリツヌスキニ E C.BUTILINUM,TYPE E	3	-	-	-	-	-	-
ソノタノホリツヌスキニ C.BUTOL,OTHER TYPES	7	-	-	-	-	9	9
セレヌスキニ B.CEREUS	92	-	-	-	-	-	-
リシキ N.GONORRHOEAE	776(12)	50	45(2)	53	47	54(3)	50
スマイクエンキン N.MENINGITIDIS	9	-	-	?	-	-	-
レンシショウキン A STREPTOCOCCUS, GROUP A	2905	299	204	440	131	189	144
レンシショウキン B GROUP B	575	68	22	205	24	21	34
レンシショウキン C GROUP C	20	1	3	1	-	-	1
レンシショウキン G GROUP G	85	4	2	9	3	6	5
レンシショウキン クラムマイ GROUP UNKNOWN	128	7	7	10	3	7	10
ハイエンドリキセキヨウキン S.PNEUMONTAE	18	3	4	-	3	1	3
ジャニチセキヨウキン B.PERTUSSIS	17	1	2	-	1	1	2
インフルエンザ H.INFLUENZAE	5	-	-	2	-	-	-
ハイエンカニキン K.PNEUMONIAE	26	-	-	2	10	9	5
セキリマーハ E.HISTOLYTICA	2	-	-	-	-	1	1
マラリア MALARIA	4(4)	1(1)	-	1(1)	-	1(1)	-
ソノタ OTHERS	361(5)	8	5	9(1)	13(1)	16	22(1)
病原大腸菌の内訳 E.coli categorized by pathogenicity							
ジラクシショウキン A EIEC	100(32)	6(6)	5(3)	5(2)	5(2)	3	6(1)
トマクシショウキン ETEC	893(470)	26(23)	23(21)	57(56)	39(25)	52(37)	22(19)
EPPECセキヨウキン EPEC	633(225)	25(17)	29(16)	55(18)	62(12)	49(21)	81(12)
ソノタカニフィ UNKNOWN	140(65)	10(4)	7(3)	28(5)	3(1)	12(5)	10(4)
赤痢菌血型別の内訳 Shigella serovars							
ジラクシショウキン S.DYSENTERIAE							
1 SEROVAR 1	4(4)	-	-	-	-	1(1)	-
2 SEROVAR 2	4(4)	-	-	1(1)	1(1)	-	-
4 SEROVAR 4	3(2)	-	-	-	2(2)	-	-
フレクスナーセキリキン S.FLEXNERI							
1A SEROVAR 1A	3(3)	-	-	-	-	1(1)	-
1B SEROVAR 1B	25(8)	-	-	5(1)	4(2)	2	2(1)
2A SEROVAR 2A	83(19)	17(1)	16(2)	10(1)	6(2)	6(1)	4
2B SEROVAR 2B	20(5)	-	-	14	1(1)	1(1)	-
3A SEROVAR 3A	18(11)	5(1)	-	5(2)	1	1(1)	1(1)
3B SEROVAR 3B	20(1)	-	-	-	-	1	-
3C SEROVAR 3C	1	-	-	-	-	-	-
4A SEROVAR 4A	4(2)	1(1)	1(1)	-	-	-	-
4B SEROVAR 4B	1(1)	-	-	-	-	-	-
4 SEROVAR 4	1(1)	-	-	-	-	-	-
5 SEROVAR 5	1(1)	-	-	-	-	1(1)	-
6 SEROVAR 6	23(12)	-	-	-	8(4)	3(2)	2(1)
Y SEROVAR Y	2(1)	-	-	-	1(1)	-	1
セキリマーハ S.BODYII							
1 SEROVAR 1	1(1)	-	-	-	-	1(1)	-
2 SEROVAR 2	6(4)	-	-	1(1)	1(1)	-	1(1)
3 SEROVAR 3	1(1)	-	-	-	-	-	-
4 SEROVAR 4	6(2)	-	1	-	-	-	-
5 SEROVAR 5	1	-	-	-	-	-	-
7 SEROVAR 7	1(1)	-	-	-	-	-	-
10 SEROVAR 10	1(1)	-	-	-	1(1)	-	-
12 SEROVAR 12	1	-	-	-	-	-	-
ソノセキリキン S.SONNEI	322(160)	13(6)	30(4)	22(18)	75(66)	35(15)	24(8)

## 2-1. Continued

( ) : 海外旅行者分再掲

( ): Imported cases included in the total

	7	8	9	10	11	12
	J	A	S	O	N	D
	U	U	E	C	O	E
L	G	P	T	V	C	
コウケイ TOTAL	2224(160)	2442(436)	2151(237)	1595(200)	1553(222)	1251(134)
ヒヨウケンタムイコウキン E.COLI	378( 50)	236(171)	172( 83)	120( 52)	155( 68)	87( 55)
セキリキン SHIGELLA	-	3( 3)	2( 2)	-	-	1
シカセキリキン S.DYSENTERIAE	-	3( 3)	2( 2)	-	-	-
フレクスターセキリキン S.FLEXNERI	6( 2)	16( 10)	15( 8)	8( 6)	12( 8)	12( 3)
ホイコウセキリキン S.BOYDII	-	4( 3)	-	2	1( 1)	-
ソンセキリキン S.SONNEI	19( 4)	16( 15)	17( 12)	44( 5)	17( 1)	10( 6)
サルモラ SALMONELLA	-	-	-	-	-	-
チフスキ S.TYPHIZ	13( 2)	12	10( 1)	8( 1)	8( 1)	5
ハララクス A.ヤニ S.PARATYPHI A	-	3( 1)	-	-	-	1( 1)
ハララクス B.ヤニ S.PARATYPHI B	46	74	56	25( 1)	15	9
ソノノリルセキリキン OTHERS, GROUP B	165( 20)	208( 38)	164( 17)	120( 11)	74( 12)	50( 6)
C1 GROUP C1	201( 6)	126( 19)	221( 14)	109( 6)	62( 8)	74( 9)
C2 GROUP C2	120( 9)	138( 16)	115( 11)	59( 10)	63( 14)	10
D1 GROUP D1	29( 3)	51( 4)	70( 5)	25( 1)	7( 1)	7( 1)
D2 GROUP D2	-	-	1	1	-	-
E1 GROUP E1	17( 11)	48( 13)	19( 5)	13( 11)	17( 10)	10( 6)
E2 GROUP E2	1	3( 2)	3( 3)	6( 3)	4( 3)	8( 1)
E4 GROUP E4	3	7( 6)	8( 2)	4( 2)	2( 1)	4( 1)
G GROUP G	6( 1)	6( 1)	7( 1)	1	4	1
K GROUP K	10( 3)	8( 2)	5	8( 2)	2	3( 2)
ソノタ OTHER GROUPS	1	14( 10)	7( 3)	3( 1)	1	5( 1)
クマツメイ GROUP UNKNOWN	-	8( 1)	4	1	-	4
エビシニア エンテロコリチカ Y.ENTEROCOLITICA	7( 3)	7( 1)	2	4( 1)	4( 1)	4( 2)
エルシニア ショット・ツバキ Y.PSEUDOTUBERCULOSIS	-	-	-	-	-	-
コレラ菌 O1 V.CHOLERAE,O1	-	-	6( 6)	31( 30)	40( 38)	1( 1)
コレラ菌 O1イカイ V.CHOLERAE,NON O-1	9( 8)	13( 6)	47( 10)	7( 5)	9( 9)	4( 6)
ショウジンピラオ V.PARAHEMOLYTICUS	483( 27)	700( 55)	529( 28)	151( 35)	52( 21)	18( 18)
ヒラリオ・フルーテリス V.FLUVIALIS	9	21( 3)	10( 1)	3( 3)	3( 2)	-
ヒラリオ・ミミズク V.VIMINICUS	-	8	6	-	-	-
エロモチス(H/S) A.HYDROPHILA/SOBRIA	5	17( 3)	14( 1)	12	11	4( 2)
プロラクミス・シヘリ P.SHIGELLOIDES	9( 6)	26( 25)	15( 15)	11( 10)	9( 8)	10( 10)
カンビロハクダ- J/C C.JEJUNI/coli	290( 3)	164( 25)	120( 11)	221( 4)	239( 14)	154( 5)
オウシロハクダ-ウキョウキン S.AUREUS	97	218( 1)	146	140	100	32( 1)
ケルシキン C.PERFRINGENS	-	3	6	23	12	1
ホリスキン E C.BOTTULINUM,TYPE E	-	-	-	2	-	1
ソトノホリスキン C.BOTTUL.OTHER TYPES	2	4	-	-	-	-
セレウスキン B.CEREUS	31	12	31	-	-	-
リンキン N.GONORRHOEAE	68( 2)	70( 2)	100	87( 2)	70( 1)	102
ヌマイマエキン N.MENINGITIDIS	7	-	-	1	-	-
レンギュウキン A STREPTOCOCCUS, GROUP A	120	89	111	219	473	486
レンギュウキン B GROUP B	14	21	23	49	39	55
レンギュウキン C GROUP C	-	2	2	4	3	3
レンギュウキン G GROUP G	3	8	9	8	17	11
レンギュウキン クンメイ GROUP UNKNOWN	6	14	14	15	14	23
ハイエレンギュウキン S.PNEUMONIAE	-	-	-	3	1	-
ヒヤクニセキリキン BPERTUSSIS	1	3	3	2	-	1
インフルエンザ H.INFLUENZAE	-	1	-	-	2	-
ハイエンキン K.PNEUMONIAE	1	-	-	-	1	-
セキリアーハ K.E.HISTOLYTICA	-	-	-	-	-	-
マラリア MALARIA	-	1( 1)	-	-	-	-
ソノタ OTHERS	49	59( 1)	63	47	30	40( 1)
病原大腸菌の内訳 E.coli categorized by pathogenicity						
ソノタセキリキン EIEC	7( 1)	8( 4)	19( 5)	10( 1)	25( 4)	3( 3)
トヨクゲンセキリキン ETEC	296( 37)	119( 106)	82( 50)	53( 27)	76( 43)	48( 26)
EPECセキリキン EPEC	70( 10)	96( 50)	50( 20)	47( 15)	43( 16)	26( 18)
ソノタセキリキン UNKNOWN	5( 2)	13( 11)	21( 8)	10( 9)	11( 5)	10( 8)
赤痢菌血清型別の内訳 Shigella serovars						
シカセキリキン S.DYSENTERIAE	-	-	-	-	-	-
1 SEROVAR 1	-	1( 1)	2( 2)	-	-	-
2 SEROVAR 2	-	2( 2)	-	-	-	-
4 SEROVAR 4	-	-	-	-	-	1
フレクスターセキリキン S.FLEXNERI	-	-	-	-	-	-
1A SEROVAR 1A	1( 1)	-	1( 1)	-	-	-
1B SEROVAR 1B	-	2( 1)	5( 1)	1( 1)	3( 1)	1
2A SEROVAR 2A	2( 1)	2( 2)	6( 5)	4( 2)	3( 2)	7
2B SEROVAR 2B	-	1( 1)	-	-	3( 2)	-
3A SEROVAR 3A	1	2( 2)	1( 1)	1	1( 1)	3( 2)
3B SEROVAR 3B	-	-	-	-	1( 1)	-
3C SEROVAR 3C	-	1	-	-	-	-
4A SEROVAR 4A	-	1	-	1	-	-
4B SEROVAR 4B	-	-	-	-	-	1( 1)
4 SEROVAR 4	-	1( 1)	-	-	-	-
5 SEROVAR 5	-	-	-	-	-	-
6 SEROVAR 6	-	6( 3)	2	1( 1)	1( 1)	-
Y SEROVAR Y	-	-	-	-	-	-
ホイドセキリキン S.BODYII	-	-	-	-	-	-
1 SEROVAR 1	-	-	-	-	-	-
2 SEROVAR 2	-	1( 1)	-	-	-	-
3 SEROVAR 3	-	-	-	-	1( 1)	-
4 SEROVAR 4	-	2( 2)	-	1	-	-
5 SEROVAR 5	-	-	-	1	-	-
7 SEROVAR 7	-	-	-	-	-	-
10 SEROVAR 10	-	-	-	-	-	-
12 SEROVAR 12	-	1	-	-	-	-
ソノタセキリキン S.SONNEI	19( 4)	16( 15)	17( 12)	44( 5)	17( 1)	10( 6)

## 2-2. 医療機関

## 2-2. General clinical institutions

( ) : 海外旅行者分再掲

( ) : Imported cases included in the total

	T O T A L	1 J A N	2 F E B	3 M R	4 A R	5 M R	6 J Y	7 U N L
コウケイ	TOTAL	67723(38)	3956	3846(3)	4703(5)	5284(7)	6796(6)	6666(4)
ヒヨウクラムシタインチヨウキン	E.COLI	2095( 1)	57	94(1)	100	83	199	140
セキリキン	SHIGELLA							165
フレクスターセキリキン	S.FLEXNERI	36( 5)	6	3	7(3)	3	1(1)	2
ホイトセキリキン	S.BOYDII	5( 3)	-	-	-	1	1(1)	-
ゾンネセキリキン	S.SONNEI	69(10)	8	6	4(2)	4(4)	14(2)	6
ツルモラ	Salmonella							2
チフスキ	S.TYPHI	60( 5)	2	1(1)	5	7(1)	4	6(1)
ハラチス Aキン	S.PARATYPHI A	2( 1)	-	-	1	1(1)	-	-
ハラチス Bキン	S.PARATYPHI B	150	2	2	6	5	12	16
ソノタノツルモラ B	OTHERS, GROUP B	774( 2)	22	24	27	49	65	101
C1	GROUP C1	276	6	9	9	8	18	19
C2	GROUP C2	248( 1)	7	7(1)	5	17	17	23
D1	GROUP D1	156( 1)	3	1	5	3	7	24
D2	GROUP D2	1	-	-	-	-	-	-
E1	GROUP E1	14	-	-	1	-	6	-
E2	GROUP E2	4	-	-	-	-	-	1
E4	GROUP E4	4	-	-	-	-	-	1
G	GROUP G	8	-	-	-	-	1	1
K	GROUP K	4	1	-	-	-	1	-
ソノタ	OTHER GROUPS	26	-	-	-	1	-	2
クランメイ	GROUP UNKNOWN	32	2	-	-	2	1	3
7								7
エルシニア エンテロコリチカ	Y.ENTEROCOLITICA	187	8	8	12	10	16	28
エルシニア シュトツツヘル	Y.PSEUDOTUBERCULOSIS	21	2	1	2	1	5	2
コレラキン 01	V.CHOLERAE, O1	7( 2)	-	-	-	-	-	-
コレラキン 01イカイ	V.CHOLERAE, NON O-1	10( 1)	-	-	1	-	-	1(1)
ショウエンヒアリオ	V.PARAHAEMOLYTICUS	617( 1)	3	-	-	-	4(1)	17
ヒアリオ・ブリヒアリス	V.FLUVIALIS	43	-	-	-	-	-	12
ヒアリオ・ミカス	V.MIMICUS	7	1	-	1	-	-	1
アロモヌス(H/S)	A.HYDROPHILA/SOBRIA	295	6	7	7	6	18	22
フレシヨウヌス・シカロイロ	P.SHIGELLOIDES	17	-	1	1	-	1	5
カンヒオハクター J/C	C.JE JUNI/coli	5376( 1)	202	214	249	362	665(1)	869
オウヨウグサドウキヨウキン	S.AUREUS	1770	135	32	103	164	127	94
ウェルシヨキン	C.PERFRINGENS	7	1	1	-	-	-	1
ソノタノホリツリスキン	C.BOTUL. OTHER TYPES	2	-	1	1	-	-	-
セリウスキ	B.CEREUS	40	3	2	-	5	3	4
リキキン	N.GONORRHOEAE	1430	129	100	95	106	144	110
ズマイマクエンキン	N.MENINGITIDIS	53	2	2	6	5	5	8
レンサキヨウキン A	STREPTOCOCCUS, GROUP A	8132	595	608	715	609	726	580
レンサキヨウキン B	GROUP B	4954	306	309	314	318	409	462
レンサキヨウキン C	GROUP C	558	35	25	44	60	67	58
レンサキヨウキン G	GROUP G	593	45	26	51	45	76	49
レンサキヨウキン クランメイ	GROUP UNKNOWN	1122	87	60	72	120	118	82
ハイエンシキヨウキン	S.PNEUMONIAE	9080	661	572	790	865	1140	1055
ジアリニアキン	C.DIPHTHERIAE	1	-	-	-	-	-	-
ヒヤクニシキヨウキン	BPERTUSSIS	64	2	5	6	2	5	16
インフルエンザキン	H.INFLUENZAE	15105	946	1043	1319	1502	1798	1587
ハイエンカシキン	K.PNEUMONIAE	13559	657	660	722	894	1044	1227
セキリアメーハ	E.HISTOLYTICA	2	-	-	-	1	-	-
マラリア	MALARIA	3( 3)	-	-	-	1(1)	-	2(2)
ソノタ	OTHERS	704( 1)	14	22	22	30	80	70
7								84

## 病原大腸菌の内訳 E.coli categorized by pathogenicity

ソシキシニコウセイ	EIEC	45	2	2	6	4	3	2	6
ドククリケン	ETEC	27( 1)	2	3(1)	1	-	1	4	8
EPECケッセイカタ	EPEC	884	33	44	65	54	71	86	72
ソノタ・カタメイ	UNKNOWN	1139	20	45	28	25	124	48	79

## 赤痢菌 血清型別の内訳 Shigella serovars

フレクスターセキリキン	S.FLEXNERI								
1B	SEROVAR 1B	9	1	-	4	1	-	-	1
2A	SEROVAR 2A	17( 1)	5	3	-	1	1(1)	2	-
2B	SEROVAR 2B	1	-	-	-	-	-	-	-
3A	SEROVAR 3A	3( 2)	-	-	2(2)	1	-	-	-
4A	SEROVAR 4A	2( 2)	-	-	1(1)	-	-	-	-
5	SEROVAR 5	1	-	-	-	-	-	-	-
6	SEROVAR 6	3	-	-	-	-	-	-	-
ホイトセキリキン	S.BOYDII								
1	SEROVAR 1	1	-	-	-	-	-	-	-
2	SEROVAR 2	1( 1)	-	-	-	-	1(1)	-	-
4	SEROVAR 4	1( 1)	-	-	-	-	-	-	-
8	SEROVAR 8	1( 1)	-	-	-	-	-	-	-
カタメイ	SEROVAR UNKNOWN	1	-	-	-	1	-	-	-
ゾンネセキリキン	S.SONNEI	69(10)	8	6	4(2)	4(4)	14(2)	6	2

## 2-2. Continued

( ) : 海外旅行者分再掲

( ) : Imported cases included in the total

		8	9	10	11	12
		A	S	O	N	D
		U	E	C	O	E
		G	P	T	V	C
コウケイ	TOTAL	6278(2)	5388(1)	6171(1)	6372(4)	5864(4)
ヒコウケンタウショウキン	E.COLI	235	229	277	289	227
セキリキン	SHIGELLA					
フレクスターセキリキン	S.FLEXNERI	4	-	1	-	8(1)
ボイドセキリキン	S.BOYDII	3(2)	-	-	-	-
ソンネセキリキン	S.SONNEI	-	2(1)	5	2	16(1)
サルモネラ	SALMONELLA					
サフスキ	S.TYPHI	3	3	5	5	10(1)
パララフス Aキン	S.PARATYPHI A	-	-	-	-	-
パララフス Bキン	S.PARATYPHI B	48	23	11	3	2
ソノタノ サルモネラ B	OTHERS GROUP B	156	87	64	37(1)	34(1)
C1	GROUP C1	61	50	36	24	11
C2	GROUP C2	69	24	13	14	3
D1	GROUP D1	40	23	15	8(1)	-
D2	GROUP D2	1	-	-	-	-
E1	GROUP E1	-	1	1	2	2
E2	GROUP E2	-	1	1	1	-
E4	GROUP E4	-	-	-	2	-
G	GROUP G	3	1	1	-	-
K	GROUP K	-	1	-	1	-
ソノタ	OTHER GROUPS	10	2	5	3	1
グンヌメイ	GROUP UNKNOWN	3	7	2	3	2
エルシニア エントロコリチカ	Y.ENTEROCOLITICA	20	29	16	14	9
エルシニア シュートツバメル	Y.PSEUDOTUBERCULOSIS	-	-	-	5	3
コレラキン 01	V.CHOLERAE,01	-	-	1(1)	6(1)	-
コレラキン 01イカイ	V.CHOLERAE,NON 0-1	5	1	-	1	-
チャウエンジアフリオ	V.PARAHAEMOLYTICUS	299	146	15	2	-
ヒマリオーフルビアリス	V.FLUVIALIS	13	13	3	1	1
ヒマリオーミミカス	V.MIMICUS	-	1	3	-	-
エロモナス(H/S)	A.HYDROPHILA/SOBRIA	33	50	28	52	23
フレジギモウスシゲロイロ	P.SHIGELLOIDES	2	2	4	-	-
カンジロウクタ J/C	C.JEJUNI/COLI	492	363	479	463	387
オウジワクダトウキユウキン	S.AUREUS	143	189	223	239	185
ウェルシュキン	C.PERFRINGENS	-	-	1	2	1
ソノタノ ネツリスキン	C.BOTUL.OTHER TYPES	-	-	-	-	-
セレウスキ	B.CEREUS	3	4	2	1	5
リンキン	N.GONORRHOEAE	122	115	114	134	134
ヌイマイクエンキン	N.MENINGITIDIS	7	8	4	5	1
レンザキウキン A	STREPTOCOCCUS, GROUP A	402	404	696	1056	1168
レンザキウキン B	GROUP B	460	478	515	477	453
レンザキウキン C	GROUP C	55	47	50	39	40
レンザキウキン G	GROUP G	46	41	58	58	49
レンザキウキン グンヌメイ	GROUP UNKNOWN	116	102	84	95	80
ハイエンジアキウキン	S.PNEUMONIAE	542	420	705	859	744
ジテリテリキン	C.DIPHTHERIAE	-	-	1	-	-
ヒュニヂセキキン	B.PERTUSSIS	6	5	2	4	6
インフルエンザキン	H.INFLUENZAE	1158	1001	1107	1171	1136
ハイエンガキン	K.PNEUMONIAE	1625	1437	1546	1227	1055
セキリアメハ	E.HISTOLYTICA	-	-	1	-	-
マラリア	MALARIA	-	-	-	-	-
ソノタ	OTHERS	93	78	76	67(1)	68

病原大腸菌の内訳 *E.coli* categorized by pathogenicity

ソジギシニコセイ	ETEC	8	6	2	1	3
トキツリキンセイ	ETEC	3	-	1	2	2
EPECカタカタ	EPEC	135	72	96	78	78
ソノタ・カタメイ	UNKNOWN	89	151	178	208	144

赤痢菌 血清型別の内訳 *Shigella* serovars

フレクスターセキリキン	S.FLEXNERI					
1B	SEROVAR 1B	2	-	-	-	-
2A	SEROVAR 2A	-	-	1	-	4
2B	SEROVAR 2B	1	-	-	-	-
3A	SEROVAR 3A	-	-	-	-	-
4A	SEROVAR 4A	-	-	-	-	1(1)
5	SEROVAR 5	1	-	-	-	-
6	SEROVAR 6	-	-	-	-	3
ボイドセキリキン	S.BOYDII					
1	SEROVAR 1	1	-	-	-	-
2	SEROVAR 2	-	-	-	-	-
4	SEROVAR 4	1(1)	-	-	-	-
8	SEROVAR 8	1(1)	-	-	-	-
カタメイ	SEROVAR UNKNOWN	-	-	-	-	-
ソノネセキリキン	S.SONNEI	-	2(1)	5	2	16(1)

## 2-3. 検査所

## 2-3. Quarantine stations

		T	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
		O	T	J	F	M	A	M	J	J	A	S	O	N
		A	A	E	A	P	A	U	U	U	E	C	C	D
		I	N	B	R	R	Y	N	L	G	P	T	V	E
コラーゲン	TOTAL	1628	64	83	197	101	104	97	138	410	160	103	65	106
セキリキン	E.COLI	25	-	1	-	2	4	1	3	14	-	-	-	-
シガモセキリキン	SHIGELLA													
フレクスター・セキリキン	S.DYSENTERIAE	2	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
ホーリド・セキリキン	S.FLEXNERI	49	4	1	3	4	2	3	3	14	6	4	4	1
ソンネセキリキン	S.BOYDII	11	2	-	1	1	2	-	1	4	-	-	-	-
サルモテラ	S.SONNEI	103	2	8	12	18	10	4	7	15	11	6	4	6
ソノタノサルモテラ	OTHERS, GROUP B	184	8	11	32	12	13	16	17	38	8	11	7	11
C1	GROUP C1	103	6	3	5	3	11	15	10	18	8	12	7	5
C2	GROUP C2	81	4	6	7	2	8	9	8	18	5	7	6	1
D1	GROUP D1	31	2	2	5	-	6	2	1	4	5	1	3	-
D2	GROUP D2	3	-	2	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
E1	GROUP E1	126	5	5	26	10	13	4	11	20	12	9	5	6
E2	GROUP E2	5	-	-	1	-	-	-	-	-	1	1	1	1
E4	GROUP E4	51	5	3	7	6	7	5	5	4	1	4	3	1
G	GROUP G	6	1	1	-	1	-	1	2	-	-	-	-	-
K	GROUP K	16	-	-	2	-	-	1	1	7	5	-	-	-
ソノタ	OTHER GROUPS	23	-	-	1	2	3	4	-	7	2	2	2	-
カタツメイ	GROUP UNKNOWN	15	-	-	2	-	2	-	3	1	-	1	-	6
コレラ菌 O1	V.CHOLOERAE, O1	10	-	-	-	-	-	-	-	2	4	1	3	-
コレラ菌 O1イカリ	V.CHOLOERAE, NON O-1	95	2	6	14	8	4	3	17	16	8	7	4	6
ショウエンヒマリオ	V.PARAHAEMOLYTICUS	293	7	17	37	15	12	21	7	86	41	15	9	26
ヒマリオ・フルヒマリス	V.FLUVIALIS	20	-	6	2	1	3	-	4	1	2	-	1	-
ヒマリオ・ミミカズ	V.MIMICUS	5	2	-	1	-	-	-	1	-	1	-	-	-
アエロモナス(H/S)	A.HYDROPHILA/SOBRIA	6	-	-	2	-	-	-	2	-	-	-	-	2
フレジオモナス・シケロイ	P.SHIGELLOIDES	342	12	17	35	6	5	5	37	132	38	18	5	32
ソノタ	OTHERS	23	2	-	-	5	1	-	5	3	3	1	2	1
病原大腸菌の内訳														
<i>E.coli</i> categorized by pathogenicity														
ソブシシニコウセイ	EIEC	5	-	-	-	-	1	2	2	-	-	-	-	-
トキソゲンセイ	ETEC	16	-	-	-	2	3	-	1	10	-	-	-	-
EPEC ケッセイカタ	EPEC	4	-	1	-	-	1	-	-	2	-	-	-	-
赤痢菌血清型別の内訳														
<i>Shigella</i> serovars														
シガモセキリキン	S.DYSENTERIAE													
4	SEROVAR 4	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
9	SEROVAR 9	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
フレクスター・セキリキン	S.FLEXNERI													
1A	SEROVAR 1A	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-
1B	SEROVAR 1B	3	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-
1	SEROVAR 1	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
2A	SEROVAR 2A	11	1	-	1	-	-	2	1	3	2	1	-	-
2B	SEROVAR 2B	8	1	-	-	1	-	-	2	1	-	1	2	-
3A	SEROVAR 3A	9	-	-	1	1	-	-	-	4	1	-	2	-
3B	SEROVAR 3B	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
4A	SEROVAR 4A	4	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
5	SEROVAR 5	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
6	SEROVAR 6	9	-	1	1	1	2	-	-	2	1	1	-	-
ホーリド・セキリキン	S.BOYDII													
1	SEROVAR 1	3	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-
2	SEROVAR 2	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
12	SEROVAR 12	2	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
13	SEROVAR 13	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
14	SEROVAR 14	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15	SEROVAR 15	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
カタツメイ	SEROVAR UNKNOWN	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ソンネセキリキン	S.SONNEI	103	2	8	12	18	10	4	7	15	11	6	4	6

## 2-4. 都市立伝染病院

## 2-4. Infectious Diseases Hospitals in 11 major cities

( ) : 海外旅行者分再掲

( ) : Imported cases included in the total

	T	1	2	3	4	5	6	7	8	
	O	J	F	M	A	M	J	J	A	
	A	A	E	A	P	A	U	U	U	
	L	N	B	R	R	Y	N	L	G	
コウケイ	TOTAL	1191(430)	74(25)	51(23)	54(28)	96(60)	79(28)	81(26)	125(32)	185(65)
ヒュウゲンシタイエトヨウキン	E.COLI	29( 21)	2( 2)	4( 3)	-	2( 2)	1( 1)	-	5( 3)	7( 5)
セキリキン	SHIGELLA									
シカセキリキン	S.DYSENTERIAE	10( 10)	-	1( 1)	1( 1)	3( 3)	-	-	-	2( 2)
フレクスターセキリキン	S.FLEXNERI	134( 86)	17( 5)	2( 2)	7( 5)	17(10)	7( 5)	12(11)	5( 4)	24(17)
ホウイドセキリキン	S.BOYDII	16( 7)	2( 1)	-	2( 2)	1( 1)	1( 1)	-	3	4( 1)
ソンネセキリキン	S.SONNEI	276(120)	14( 5)	12( 7)	14(11)	35(29)	23( 9)	13( 7)	7( 7)	20(15)
サルモネラ	Salmonella									
ダフスキン	S.TYPHI	62( 21)	6( 3)	5( 3)	4( 2)	8( 4)	3	4	3	6( 4)
ハラブス Aキン	S.PARATYPHI A	14( 8)	2	1( 1)	1( 1)	1( 1)	2( 1)	-	1	1( 1)
ハラブス Bキン	S.PARATYPHI B	37( 1)	1	1	-	-	2	8	9	7
ソノタノサルモネラ B	OTHERS, GROUP B	110( 5)	4( 1)	1	1	1	5( 1)	13	20( 1)	28( 1)
C1	GROUP C1	21( 2)	-	-	-	1	-	1	4	4( 1)
C2	GROUP C2	29( 5)	-	2( 1)	4( 1)	1( 1)	2	-	8( 1)	9
D1	GROUP D1	6( 1)	-	-	-	-	-	1	1	1
E1	GROUP E1	2( 1)	1	-	-	-	-	-	1( 1)	-
ソノタ	OTHER GROUPS	2	-	-	-	-	-	-	1	-
ワニコロイ	GROUP UNKNOWN	1	-	-	-	-	-	-	-	1
エルシニア エンテロコリチカ	Y.ENTEROCOLITICA	1	-	-	-	-	1	-	-	-
コレラ菌 O1	V.CHOLERAE-O1	24( 24)	-	-	-	-	-	1( 1)	-	1( 1)
コレラ菌 O1カバイ	V.CHOLERAE-NON-O-1	6( 6)	-	-	-	-	-	1( 1)	2( 2)	-
チャエニヒラウオ	V.PARAHAEMOLYTICUS	90( 21)	2( 2)	1( 1)	1	1( 1)	2( 1)	9( 2)	23( 5)	27( 3)
ヒラリオリ・フルベアリス	V.FLUVIALIS	7( 2)	-	-	-	-	-	-	1	3
エコモナス(H/S)	A.HYDROPHILA/SOBRIA	3	-	-	-	-	-	-	1	-
フレシガモヌス・シケロイ	P.SHIGELLOIDES	13( 11)	1( 1)	-	-	2( 2)	-	1( 1)	1( 1)	3( 2)
カンピロバクター J/C	C.JEJUNI/coli	146( 25)	13( 3)	9( 1)	6( 1)	10( 4)	19( 3)	8	19( 5)	17( 5)
オウロバクタ・ヒュウキン	S.AUREUS	13	-	-	-	-	-	1	3	6
エラルシコキン	C.PERFRINGENS	3	-	-	-	1	1	-	-	1
セキリキンメハ	E.HISTOLYTICA	67( 30)	2( 2)	4( 3)	6( 2)	10( 1)	6( 4)	4( 1)	4( 1)	4( 3)
ソノタ	OTHERS	69( 23)	7	8	7( 2)	3( 1)	4( 2)	2( 2)	4( 1)	8( 4)

病原大腸菌の内訳 *E.coli* categorized by pathogenicity

ソラキシニコウキン	EIEC	4( 4)	1( 1)	1( 1)	-	-	1( 1)	-	-	1( 1)
トクソカニセイ	ETEC	3( 1)	-	1( 1)	-	-	-	-	1	-
EPECケッセイ	EPEC	18( 13)	1( 1)	2( 1)	-	1( 1)	-	-	4( 3)	4( 3)
ソラ・カタメイ	UNKNOWN	4( 3)	-	-	-	1( 1)	-	-	-	2( 1)

赤痢菌 血液型別の内訳 *Shigella* serovars

シカセキリキン	S.DYSENTERIAE									
1	SEROVAR 1	2( 2)	-	-	1( 1)	1( 1)	-	-	-	-
2	SEROVAR 2	6( 6)	-	1( 1)	-	-	-	-	-	2( 2)
3	SEROVAR 3	1( 1)	-	-	-	1( 1)	-	-	-	-
9	SEROVAR 9	1( 1)	-	-	-	1( 1)	-	-	-	-
フレクスター・セキリキン	S.FLEXNERI									
1A	SEROVAR 1A	5( 4)	-	-	-	3( 3)	-	-	-	1
1B	SEROVAR 1B	21( 9)	1	-	-	1	1( 1)	3( 2)	-	5( 3)
2A	SEROVAR 2A	44( 25)	13( 3)	1( 1)	4( 2)	3	2( 1)	4( 4)	1( 1)	6( 3)
2B	SEROVAR 2B	7( 7)	1( 1)	-	-	1( 1)	1( 1)	-	1( 1)	1( 1)
3A	SEROVAR 3A	20( 15)	-	-	2( 2)	2( 2)	1( 1)	2( 2)	-	4( 4)
3B	SEROVAR 3B	1( 1)	-	-	-	-	-	-	-	-
3C	SEROVAR 3C	2( 1)	-	-	-	1( 1)	-	-	1	-
4B	SEROVAR 4B	1( 1)	-	-	-	-	-	-	-	-
4	SEROVAR 4	6( 6)	1( 1)	-	-	-	-	1( 1)	-	3( 3)
5	SEROVAR 5	1( 1)	-	-	-	-	-	-	-	1( 1)
6	SEROVAR 6	20( 12)	-	-	-	6( 3)	2( 1)	2( 2)	-	2( 2)
X	SEROVAR X	2( 1)	-	-	1( 1)	-	-	-	-	1
Y	SEROVAR Y	1( 1)	-	1( 1)	-	-	-	-	-	-
カタメイ	SEROVAR UNKNOWN	3( 2)	1	-	-	-	-	-	2( 2)	-
ホウイド・セキリキン	S.BOYDII									
1	SEROVAR 1	1( 1)	-	-	-	-	-	-	-	1( 1)
4	SEROVAR 4	9( 1)	-	-	1( 1)	-	-	-	3	3
12	SEROVAR 12	1( 1)	-	-	-	-	1( 1)	-	-	-
14	SEROVAR 14	2( 2)	-	-	1( 1)	1( 1)	-	-	-	-
カタメイ	SEROVAR UNKNOWN	3( 2)	2( 1)	-	-	-	-	-	-	-
ソンネセキリキン	S.SONNEI	276(120)	14( 5)	12( 7)	14(11)	35(29)	23( 9)	13( 7)	7( 7)	20(15)

2-4. Continued

( ) : 海外旅行者分再掲

( ) : Imported cases included in the total

		9	10	11	12
		S	O	N	D
		E	C	O	E
		P	T	V	C
コウケイ	TOTAL	128(56)	132(33)	130(42)	56(12)
ヒヨウケンタウイチオウキン	E.COLI	2	3( 2)	1( 1)	2( 2)
セキリキン	SHIGELLA				
シカセキリキン	S.DYSENTERIAE	1( 1)	1( 1)	-	1( 1)
フレクスター・セキリキン	S.FLEXNERI	16(12)	9( 7)	13( 6)	5( 2)
ホーリト・セキリキン	S.BOYDII	1	2( 1)	-	-
ソノネセキリキン	S.SONNEI	20(18)	56( 6)	59( 3)	3( 3)
サルモエラ	SAULMONELLA				
チフスキ	S.TYPHI	5( 2)	5	7( 2)	6( 1)
ハラチフス Aキン	S.PARATYPHI A	1( 1)	2( 1)	2( 1)	-
ハラチフス Bキン	S.PARATYPHI B	3( 1)	4	1	1
ソノタ・サルモエラ	B. OTHERS, GROUP B	21( 1)	7	2	7
C1	GROUP C1	4	5( 1)	1	1
C2	GROUP C2	3( 1)	-	-	-
D1	GROUP D1	2	1( 1)	-	-
E1	GROUP E1	-	-	-	-
ソノタ	OTHER GROUPS	1	-	-	-
グランツメイ	GROUP UNKNOWN	-	-	-	-
エルシニア エンテロコリチカ	Y.ENTEROCOLITICA	-	-	-	-
コレラキン O1	V.CHOLERAE O1	3( 3)	6( 6)	13(13)	-
コレラキン O1イカイ	V.CHOLERAE NON O-1	-	1( 1)	2( 2)	-
ショゲンキン・ワヨリオ	V.PARAHAEMOLYTICUS	15( 2)	5( 1)	4( 3)	-
ヒヨウリオ・フルビニアリス	V.FLUVIALIS	3( 2)	-	-	-
エコロモナス(H/S)	A.HYDROPHILA/SOBRIA	-	1	-	-
フレクシオモナス・シケロイダ	P.SHIGELLOIDES	4( 3)	-	1( 1)	-
カンピロバクター J/C	C.JEJUNI/COLI	11( 2)	12	7	15( 1)
オブショウバクトリュウキウキン	S.AUREUS	1	-	1	1
ウェルシユキン	C.PERFRINGENS	-	-	-	-
セキリメーハ	E.HISTOLYTICA	8( 5)	6( 2)	9( 6)	4
ソノタ	OTHERS	3( 2)	6( 3)	7( 4)	10( 2)

病原大腸菌の内訳 *E.coli* categorized by pathogenicity

ソジキンニコウイ	EIEC	-	-	-	-
トマソッキンモイ	ETEC	-	1	-	-
EPEC・カッセイタ	EPEC	2	1( 1)	1( 1)	2( 2)
ソノタ・カタメイ	UNKNOWN	-	1( 1)	-	-

赤痢菌 血清型別の内訳 *Shigella* serovars

シカセキリキン	S.DYSENTERIAE				
1	SEROVAR 1	-	-	-	-
2	SEROVAR 2	1( 1)	1( 1)	-	1( 1)
3	SEROVAR 3	-	-	-	-
9	SEROVAR 9	-	-	-	-
フレクスター・セキリキン	S.FLEXNERI				
1A	SEROVAR 1A	1( 1)	-	-	-
1B	SEROVAR 1B	2( 1)	2	3( 2)	3
2A	SEROVAR 2A	5( 5)	4( 4)	1( 1)	-
2B	SEROVAR 2B	-	1( 1)	1( 1)	-
3A	SEROVAR 3A	4( 2)	-	4( 1)	1( 1)
3B	SEROVAR 3B	-	1( 1)	-	-
3C	SEROVAR 3C	-	-	-	-
4B	SEROVAR 4B	-	-	-	1( 1)
4	SEROVAR 4	1( 1)	-	-	-
5	SEROVAR 5	-	-	-	-
6	SEROVAR 6	3( 2)	1( 1)	4( 1)	-
X	SEROVAR X	-	-	-	-
Y	SEROVAR Y	-	-	-	-
カタメイ	SEROVAR UNKNOWN	-	-	-	-
ホーリト・セキリキン	S.BOYDII				
1	SEROVAR 1	-	-	-	-
4	SEROVAR 4	1	1	-	-
12	SEROVAR 12	-	-	-	-
14	SEROVAR 14	-	-	-	-
カタメイ	SEROVAR UNKNOWN	-	1( 1)	-	-
ソノネセキリキン	S.SONNEI	20(18)	56( 6)	59( 3)	3( 3)

\*上記以外にRotavirusが18例報告された

### 3. 病原細菌検出数の報告機関別集計、由来ヒト、1984年

#### 3. Isolation of bacteria from humans, by participating laboratory, Japan, 1984

##### 3-1. 地域・保健所

##### 3-1. Prefectural and municipal public health institutes and health centers

(Refer to code map in page 93~95)

( ): 海外旅行者分再掲

( ): Imported cases included in the total

	TOTAL	011	012	013	021	031	041	042	051	061	071	081	091	
	合 計	北 海 道	礼 賀 市	福 島 市	青 森 県	岩 手 県	宮 城 県	仙 台 市	秋 田 県	山 形 県	福 島 県	茨 城 県	栃 木 県	
コウケイ	TOTAL	17835(2453)	388(4)	153(78)	16	220(2)	117(1)	125(7)	63(1)	168(3)	88(3)	186(16)	71(1)	352(40)
ビコウキン	E.COLI	1766( 792)	6	20(20)	-	-	3	3(1)	3	-	38	23( 2)	3	8( 8)
セキリキン	SHIGELLA													
シガセキリキン	S.DYSENTERIAE	11( 10)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1( 1)
フレクスネリ	S.FLEXNERI	186( 65)	2(2)	1( 1)	-	-	5	-	-	-	7	14	2	5
ホーリー	S.BOYDII	14( 10)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ソンヌキリキン	S.SONNEI	322( 160)	1(1)	5( 5)	-	-	-	1(1)	1(1)	-	13(2)	-	-	-
サルモネラ	Salmonella													
ラブス	S.TYPHI	110( 8)	4	-	-	-	2	3	1	1	2	1	1	-
アララクス A キン	S.PARATYPHI A	10( 2)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
アララクス B キン	S.PARATYPHI B	312( 6)	3	1( 1)	1	-	3	-	3	5	-	1	19	-
ソクノリルルタ B	OTHERS GROUP B	1226( 160)	36	13(10)	-	3	15	1	12	1	1	6( 1)	4	59( 1)
C1	GROUP C1	1133( 103)	3	1	-	1	-	18	14	5	-	1	8( 1)	53
C2	GROUP C2	732( 96)	6	6( 6)	-	-	-	-	-	-	-	3	1	25( 6)
D1	GROUP D1	274( 41)	2(1)	9( 9)	-	-	1	-	-	-	-	-	1	6
D2	GROUP D2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
E1	GROUP E1	197( 97)	-	5( 5)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8( 2)
E2	GROUP E2	36( 15)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-
E4	GROUP E4	51( 27)	-	3( 3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
G	GROUP G	37( 5)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
K	GROUP K	51( 16)	-	1( 1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ソノタ	OTHER GROUPS	48( 26)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
	GROUP UNKNOWN	22( 3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10( 1)
ヨルシニア エラコリチカ	Y.ENTEROCOCCUS	75( 21)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヨルシニア シートラッカ	Y.PSEUDOTUBERCULOSIS	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
コレラ	V.CHOLERAE-O1	81( 77)	-	-	-	1(1)	1(1)	1(1)	-	6(3)	-	6( 6)	-	5( 4)
コレラ	V.CHOLERAE-NON O-1	119( 70)	-	-	-	-	-	-	2(2)	1	-	-	-	2( 2)
ショエヒコロナ	V.PARAHAEMOLYTICUS	2207( 337)	2	8( 5)	1	20(1)	41	28	9	1	10	18	12	77( 9)
ヒドロリス・ブルベニアス	V.FLUVIALIS	55( 18)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
ヒドロリス・ミコス	V.MIMICUS	14	7	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
アエモモカ( H/S )	A.HYDROPHILA/SOBRIA	83( 11)	-	3( 3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
プロレオカクタ・タマオイ	P.SHIGELLOIDES	140( 133)	-	10( 9)	-	-	-	-	-	-	-	3( 3)	-	3( 3)
ジンコウカクタ	J.C.JEJUNI/coli	2400( 127)	60	13	-	22	13	23	5	41	-	12( 1)	-	28( 2)
オウムラクタ・キヌユウキン	S.AUREUS	925( 2)	-	6	15	13	24	9	-	1	22	29	15	-
ウェルキン	C.PERFRINGENS	167	5	23	-	-	13	-	2	-	-	6	11	-
ボーリスカクタ E	C.BUTONINUM-TYPE E	3	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ソノタ	C.BUTOL OTHER TYPES	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
セレクタ	B.CEREUS	92	-	21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
リンド	N.GONORRHOEAE	776( 12)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
スマイケン	N.MENINGITIDIS	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
レンツキウキン A	STREPTOCOCCUS GROUP A	2905	267	-	156	-	27	14	110	-	49	-	-	-
レンツキウキン B	GROUP B	575	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
レンツキウキン C	GROUP C	20	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	2	-
レンツキウキン G	GROUP G	65	2	-	-	-	1	-	1	5	-	-	-	-
レンツキウキン クラフィ	GROUP UNKNOWN	128	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ハイエンレンツキウキン	S.PNEUMONIAE	18	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
ハイエンレンツキウキン	B.PERTUSSIS	17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
インフルエンザ	V.INFLUENZAE	5	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
ハイエンレンツキン	K.PNEUMONIAE	26	-	-	-	-	-	-	-	-	23	-	-	-
セラフバード	E.HISTOLYTICA	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マラリア	MALARIA	4( 6)	-	-	-	-	2(2)	-	-	1(1)	-	-	1( 1)	-
ソノタ	OTHERS	361( 5)	-	-	-	-	-	-	-	-	3( 1)	-	-	-

病原大腸菌の内訳		E.coli categorized by pathogenicity												
ソラクシニコウキン	EIEC	100( 32)	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-
ドワリソウセイ	ETEC	893( 470)	-	5( 5)	-	-	-	1	-	7	-	-	6( 6)	-
EPCEカクタ	EPEC	653( 225)	8	14(16)	-	-	2	1	2	-	31	20( 2)	1	2( 2)
ソノタ・カクタ	UNKNOWN	140( 65)	-	1( 1)	-	-	-	2(1)	-	-	2	2	-	-

赤痢菌血清型別の内訳		Shigella serovars												
シガセキリキン	S.DYSENTERIAE													
1	SEROVAR 1	4( 4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1( 1)
2	SEROVAR 2	4( 6)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	SEROVAR 4	3( 2)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
フレクスネリ	S.FLEXNERI													
1A	SEROVAR 1A	3( 3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1B	SEROVAR 1B	25( 8)	1(1)	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	6
2A	SEROVAR 2A	83( 19)	-	1( 1)	-	-	3	-	-	7	-	1	-	-
2B	SEROVAR 2B	20( 5)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	-	4
3A	SEROVAR 3A	18( 11)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
3B	SEROVAR 3B	2( 1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3C	SEROVAR 3C	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4A	SEROVAR 4A	6( 2)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4B	SEROVAR 4B	1( 1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	SEROVAR 4	1( 1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5	SEROVAR 5	1( 1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6	SEROVAR 6	23( 12)	1(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Y	SEROVAR Y	2( 1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ハイエイセキリキン	S.BOVILLI													
1	SEROVAR 1	1( 1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	SEROVAR 2	4( 4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	SEROVAR 3	1( 1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	SEROVAR 4	4( 2)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5	SEROVAR 5	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7	SEROVAR 7	1( 1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10	SEROVAR 10	1( 1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12	SEROVAR 12	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ソノセキリキン	S.SONNEI	322( 160)	1(1)	5( 5)	-	-	1(1)	1(1)	-	13(2)	-	-	-	-

## 3-1. Continued-(1)

( ) : 海外旅行者分専掲  
( ) : Imported cases included in the total

	101	111	121	131	141	142	143	144	151	152	161	171	181
群 馬 県	埼 玉 県	千 葉 県	東 京 都	神 奈 川 県	横 浜 市	川 崎 市	横 須 賀 市	新 潟 市	新 潟 県	富 山 市	石 川 県	福 井 県	
コ <sup>ラ</sup> ク <sup>イ</sup> TOTAL	101(2)	1965(557)	347(110)	2853(1087)	1400(8)	283(67)	158(80)	37(19)	177(13)	31	192(4)	189	62
ヒ <sup>ロ</sup> ウ <sup>カ</sup> ン <sup>ダ</sup> イ <sup>チ</sup> ウ <sup>キ</sup> E. COLI	14	285(275)	42( 5)	709(374)	36	74(43)	27(18)	7( 6)	4( 2)	-	7(3)	76	-
シ <sup>カ</sup> セ <sup>キ</sup> リ <sup>キ</sup> S. DYSENTERIAE	-	2( 2)	2( 2)	2( 2)	1(1)	-	-	-	-	-	-	-	-
フレクスナ <sup>セ</sup> リ <sup>キ</sup> S. FLEXNERI	5	9( 7)	16( 7)	35( 27)	3(2)	2( 2)	-	-	-	2	-	5	1 3
ホ <sup>イ</sup> ト <sup>セ</sup> セ <sup>キ</sup> リ <sup>キ</sup> S. BOYDII	1	2( 2)	1( 1)	3( 3)	-	-	-	-	1( 1)	-	-	-	-
ソ <sup>ン</sup> セ <sup>キ</sup> リ <sup>キ</sup> S. SONNEI	-	18( 17)	29( 15)	59( 46)	1(1)	2( 1)	1( 1)	3( 3)	1( 1)	-	-	1	-
サ <sup>ル</sup> セ <sup>キ</sup> リ <sup>キ</sup> SALMONELLA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
チ <sup>フ</sup> キ <sup>イ</sup> S. TYPHI	1	1	6( 2)	9	2	1	-	1	-	1	3	6	-
ハ <sup>ラ</sup> ラ <sup>チ</sup> A. K. S. PARATYPHI A	-	1( 1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ハ <sup>ラ</sup> ラ <sup>チ</sup> B. K. S. PARATYPHI B	5	34( 2)	9( 1)	19	17	1	-	-	4	2	-	6 12	-
ソ <sup>ノ</sup> タ <sup>ル</sup> モ <sup>ル</sup> B. OTHERS. GROUP B	15(1)	146( 25)	34( 13)	217( 75)	11	22( 2)	18( 5)	5( 1)	18( 1)	9 4	-	-	-
C1 GROUP C1	5	180( 18)	38( 5)	267( 52)	45(2)	58( 2)	14( 6)	1( 1)	16	8	17	-	6
C2 GROUP C2	3(1)	131( 22)	21( 8)	140( 36)	3	15	7( 6)	2( 1)	3( 1)	1	6	-	2
D1 GROUP D1	-	22( 4)	7( 2)	43( 18)	2(1)	3( 1)	1( 1)	1( 1)	-	-	-	4	-
D2 GROUP D2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
E1 GROUP E1	2	33( 16)	10( 6)	68( 47)	1	3( 2)	7( 7)	2( 1)	-	1	-	-	-
E2 GROUP E2	2	7( 4)	-	9( 7)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
E4 GROUP E4	-	5( 2)	3( 2)	16( 14)	-	1	-	2( 2)	1( 1)	1	-	-	-
G GROUP G	-	9	2	7( 4)	1	-	-	-	-	-	-	-	-
K GROUP K	-	12( 6)	3	14( 5)	-	-	-	-	-	1	-	-	-
ソ <sup>ノ</sup> タ <sup>ル</sup> OTHER GROUPS	6( 1)	-	23( 18)	-	1( 1)	1( 1)	-	1( 1)	-	1	-	-	-
ケ <sup>ン</sup> メ <sup>タ</sup> GROUP UNKNOWN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
エルシニア エラコロカ <sup>リ</sup> Y. ENTEROCOLITICA	-	22( 21)	-	1	8	-	-	-	-	-	-	-	-
エルシニア シ <sup>ト</sup> ト <sup>ツ</sup> ペ <sup>ル</sup> Y. PSEUDOTUBERCULOSIS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
コレ <sup>レ</sup> キン O1 オ <sup>イ</sup> カ <sup>イ</sup> V. CHOLERAE-O1	-	3( 3)	3( 3)	12( 12)	-	2( 2)	-	-	-	-	-	-	-
コレ <sup>レ</sup> キン O1 <sup>+</sup> カ <sup>イ</sup> V. CHOLERAE-NON O-1	-	11( 11)	2( 2)	39( 39)	-	-	4( 4)	-	1( 1)	-	1	-	-
パ <sup>ラ</sup> ラ <sup>ク</sup> ジ <sup>ン</sup> P. PARAHAEMLYTICUS	27	131( 62)	95( 27)	476( 137)	38	61( 5)	37(18)	8( 3)	54( 2)	3	36(1)	46	9
ヒ <sup>ラ</sup> リ <sup>ク</sup> ル <sup>ル</sup> ア <sup>リ</sup> ス V. FLUVIALIS	-	6( 6)	4( 1)	18( 9)	6	-	-	-	-	-	-	-	-
ヒ <sup>ラ</sup> リ <sup>ク</sup> ル <sup>ル</sup> ミ <sup>ミ</sup> ス V. MIMICUS	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
ア <sup>ク</sup> ロモ <sup>リ</sup> ト <sup>リ</sup> ス A. HYDROPHILA/SOBRIA	-	3( 3)	8( 1)	2( 2)	8	-	-	-	-	1	-	-	-
ア <sup>ク</sup> ロモ <sup>リ</sup> ト <sup>リ</sup> ス P. SHIGA-LIKE	-	42( 42)	10( 7)	64( 62)	-	-	1( 1)	-	1( 1)	-	-	-	-
カ <sup>ン</sup> ド <sup>ロ</sup> ウ <sup>リ</sup> J/C C. JEJUNI/coli	13	69( 5)	1	255( 98)	103	19( 3)	16(12)	-	38( 1)	-	2 4	-	-
オ <sup>ク</sup> ロ <sup>ワ</sup> ク <sup>リ</sup> ウ <sup>キ</sup> S. AUREUS	7	-	1	264	32(1)	9( 1)	10	5	26	3	3	13	-
ウ <sup>ニ</sup> セ <sup>キ</sup> リ <sup>キ</sup> C. PERFRINGENS	-	-	-	60	14	-	-	-	3	-	-	-	-
オ <sup>ク</sup> リ <sup>ス</sup> カ <sup>ニ</sup> E. C. BOTULINUM, TYPE E	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ソ <sup>ノ</sup> タ <sup>ル</sup> オ <sup>ク</sup> リ <sup>ス</sup> カ <sup>ニ</sup> C. BOTUL. OTHER TYPES	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
セ <sup>レ</sup> ク <sup>シ</sup> キ <sup>ス</sup> セ <sup>キ</sup> リ <sup>キ</sup> B. CEREUS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
リ <sup>ン</sup> ゴ <sup>ニ</sup> N. GONORRHOEAE	-	-	-	22	-	3	-	-	-	-	-	-	-
ヌ <sup>イ</sup> イ <sup>カ</sup> ク <sup>シ</sup> S. N. MENINGITIDIS	-	-	-	-	272	-	-	-	-	-	-	-	-
レ <sup>ン</sup> キ <sup>シ</sup> カ <sup>ニ</sup> A. STREPTOCOCCUS, GROUP A	-	361	-	-	445	-	-	-	-	77	23 24	-	-
レ <sup>ン</sup> キ <sup>シ</sup> カ <sup>ニ</sup> B. GROUP B	-	287	-	-	131	-	-	-	-	22	-	3	-
レ <sup>ン</sup> キ <sup>シ</sup> カ <sup>ニ</sup> C. GROUP C	-	2	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
レ <sup>ン</sup> キ <sup>シ</sup> カ <sup>ニ</sup> G. GROUP G	-	19	-	-	24	-	-	-	-	-	-	-	-
レ <sup>ン</sup> キ <sup>シ</sup> カ <sup>ニ</sup> ク <sup>ラ</sup> ム <sup>イ</sup> GROUP UNKNOWN	-	106	-	-	1	-	-	-	-	4	-	1	-
ハ <sup>イ</sup> シ <sup>ン</sup> シ <sup>リ</sup> カ <sup>ニ</sup> S. PNEUMONIAE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヒ <sup>ラ</sup> コ <sup>モ</sup> セ <sup>キ</sup> リ <sup>キ</sup> B. PERTUSSIS	3	-	-	-	4	-	1	-	-	-	1	-	-
インフルエ <sup>ン</sup> ザ H. INFLUENZAE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
バ <sup>ク</sup> テ <sup>ル</sup> カ <sup>ニ</sup> K. PNEUMONIAE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
セ <sup>キ</sup> ア <sup>イ</sup> オ <sup>マ</sup> E. HISTOLYTICA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マ <sup>リ</sup> ア <sup>フ</sup> MALARIA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ソ <sup>ノ</sup> タ <sup>ル</sup> OTHERS	-	-	-	-	163	6( 2)	12	-	2	-	4	-	-
<hr/>													
病原大腸菌の内訳 E. coli categorized by pathogenicity													
ソ <sup>ノ</sup> シ <sup>シ</sup> ニ <sup>ウ</sup> カ <sup>ニ</sup> EIEC	-	8( 7)	-	19( 17)	1	10( 6)	2( 2)	-	-	-	1	-	-
ト <sup>ク</sup> リ <sup>シ</sup> セ <sup>キ</sup> ETEC	1	171(169)	35( 5)	550( 254)	23	32(17)	-	4( 3)	1( 1)	-	1	-	-
EPEC エ <sup>ク</sup> リ <sup>シ</sup> EPEC	13	57( 53)	7	126( 95)	9	32(20)	10( 7)	3( 3)	1( 1)	-	5(5)	76	-
ソ <sup>ノ</sup> タ <sup>ル</sup> カ <sup>ク</sup> メ <sup>タ</sup> UNKNOWN	-	49( 46)	-	121( 8)	5	-	15( 9)	-	2	-	-	-	-
<hr/>													
赤痢血清型別の内訳 Shiga <sup>+</sup> Escherichia coli serovars													
シ <sup>カ</sup> セ <sup>キ</sup> リ <sup>キ</sup> S. DYSENTERIAE	-	-	1( 1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1 SEROVAR 1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2 SEROVAR 2	-	1( 1)	-	-	2( 2)	1( 1)	-	-	-	-	-	-	-
4 SEROVAR 4	-	1( 1)	1( 1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
フ <sup>レ</sup> ク <sup>ス</sup> ナ <sup>セ</sup> リ <sup>キ</sup> S. FLEXNERI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1A SEROVAR 1A	-	-	-	1( 1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1B SEROVAR 1B	1	1( 1)	1( 1)	6( 5)	-	-	-	-	2	-	-	-	1
2A SEROVAR 2A	1	5( 3)	9( 1)	9( 8)	3(2)	-	-	-	-	5	1	1	-
2B SEROVAR 2B	-	1( 1)	-	2( 2)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3A SEROVAR 3A	-	1( 1)	1( 1)	5( 5)	-	1( 1)	-	-	-	-	-	-	1
3B SEROVAR 3B	-	-	-	1( 1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3C SEROVAR 3C	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4A SEROVAR 4A	-	-	1( 1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4B SEROVAR 4B	-	-	-	-	-	1( 1)	-	-	-	-	-	-	-
4 SEROVAR 4	-	-	-	-	1( 1)	-	-	-	-	-	-	-	-
5 SEROVAR 5	-	-	1( 1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6 SEROVAR 6	-	1( 1)	2( 1)	10( 4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Y SEROVAR Y	-	-	1( 1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ホ <sup>イ</sup> ト <sup>セ</sup> セ <sup>キ</sup> リ <sup>キ</sup> S. BOYDII	1	-	-	-	-	-	-	-	1( 1)	-	-	-	-
2 SEROVAR 2	-	1( 1)	1( 1)	1( 1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3 SEROVAR 3	-	1( 1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4 SEROVAR 4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5 SEROVAR 5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7 SEROVAR 7	-	-	-	1( 1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10 SEROVAR 10	-	-	-	1( 1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12 SEROVAR 12	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ソ <sup>ン</sup> セ <sup>キ</sup> リ <sup>キ</sup> S. SONNEI	-	18( 17)	29( 15)	59( 46)	1(1)	2( 1)	1( 1)	3( 3)	1( 1)	-	1	-	-

## 3-1. Continued-(2)

( ) : 海外旅行者分再掲

( ) : Imported cases included in the total

	201 長野県	211 岐阜県	212 静岡県	221 静岡市	222 愛知県	231 名古屋市	232 三重県	241 滋賀県	251 京都府	261 大阪府	271 大阪市	272 大都市	273 大阪市
コウケイ	TOTAL	297(14)	213(7)	20(2)	860(23)	20(1)	336(37)	48(8)	79	241(9)	114(2)	108(6)	1359(151)
セキヨウキン	E.COLI	18	15	-	109( 6)	-	-	-	S(5)	2(1)	2(1)	2(1)	- 1
セキヨウキン	SHIGELLA												
セカセキヨウキン	S.DYSENTERIAE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	- 2( 2)
フレクスター・セキヨウキン	S.FLEXNERI	2	4(1)	-	7	-	22( 1)	-	2(2)	-	-	-	- 2( 1)
ホーリー・セキヨウキン	S.BOYDII	-	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-
ソンセキヨウキン	S.SONNEI	-	16(1)	-	5( 4)	-	17(15)	-	-	-	-	291( 29)	42 13(13)
ガルニエラ	SALMONELLA												
チロカツ	S.TYPHI	5	2	-	9( 2)	-	5( 1)	-	3	1	2	-	3( 1) 3 1
ハマグリス、ハキン	S.PARATYPHI A	-	-	-	2	-	3( 1)	-	-	-	-	-	-
ハマグリス、Bキン	S.PARATYPHI B	4	9	-	-	-	36	-	17	2	-	40	- 2
ソノノ・ハムモカ	OTHERS-GROUP B	69( 2)	13	-	55	3	36	6(11)	6 31	5	2	77( 14)	2 15( 1)
O1	GROUP C1	29	21	1	36	5	63( 2)	6(11)	2 22	1	-	53( 9)	4 6
C2	GROUP C2	35	17	-	30( 1)	1	63( 1)	1	2 23	-	1	71( 5)	9 11
D1	GROUP D1	3	8	-	12	-	72( 1)	-	1 3	-	-	30( 2)	9 3
D2	GROUP D2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
E1	GROUP E1	3( 2)	1	-	1	-	1	-	-	-	-	10( 7)	- 2
E2	GROUP E2	-	-	-	1( 1)	-	-	-	-	-	-	2	-
E4	GROUP E4	2	-	-	1	-	2	-	1 1	-	-	3( 1)	1 -
G	GROUP G	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	2( 1)	-
K	GROUP K	-	1	-	3	-	1	-	-	-	-	6( 3)	3 2
ソノ	OTHER GROUPS	2( 2)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7( 2)	- 1
ワシヌイ	GROUP UNKNOWN	5	-	-	1( 1)	1(1)	-	-	-	-	-	1	2
エルシニア エンテロコリティカ	Y.ENTEROCOLITICA	1	-	-	7	1	-	-	-	-	-	2	-
エルシニア ショットツツヘル	Y.PSEUDOTUBERCULOSIS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
コレラ菌 O1	V.CHOLERAE-O1	-	5(5)	2(2)	3( 3)	-	16(15)	6(6)	1 4(4)	1(1)	2(2)	1( 1)	-
コレラ菌 O1以外	V.CHOLERAE-NON O-1	4( 2)	-	-	5( 2)	-	-	-	-	-	-	6( 4)	-
チロカツ	V.PARAHAEMOLYTICUS	51( 3)	71	17	86( 3)	7	12	18	32 25	35	56(2)	154( 50)	54 15
セガフリオ・フルビアリス	V.FLUVIALIS	4	3	-	-	-	-	-	3	-	-	1( 2)	- 1
セガフリオ・ミミカズ	V.MIMICUS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
アロマチス(H/S)	A.HYDROPHILA/SOBRIA	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	41( 1)	-
フレジオモチス・シカゴイカ	P.SHIGELLOIDES	3( 3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
カビセロバクター J/C	C.JEJUNI/coli	24	-	-	266	-	-	-	8	2	13	215( 1)	4 4
オジオカブア・ド・ラ・ユウカシ	S.AUREUS	7	27	-	32	3	4	13	22 11	43	34	19	33 6
ラムカロニ	C.PAECINENS	9	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-
ボーリスミネキン E	C.BORINUM-TYPE E	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ソノカツ	C.BOTTU OTHER TYPES	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
セノカツ	B.CEREUS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	18
リキシ	N.GOMORRHOEAE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	182( 12)	-
スマイエラキシ	N.MENINGITIDIS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
レジリュウキン A	STREPTOCOCCUS GROUP A	14	-	-	145	-	-	-	9 68	-	-	318	-
レジリュウキン B	GROUP B	-	-	-	19	-	-	-	13	-	-	34	-
レジリュウキン C	GROUP C	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	4	-
レジリュウキン G	GROUP G	-	-	-	6	-	-	-	4	-	-	12	-
レジリュウキン グランツメ	GROUP UNKNOWN	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	2	-
ハエリエラ・セキヨウキン	S.PNEUMONIAE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	-
ヒトカツセキヨウキン	B.PERTUSSIS	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-
インフルエンザ	H.INFLUENZAE	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-
ハエリカシキン	K.PNEUMONIAE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
セリリヤー	E.HISTOLYTICA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
マリリア	MALARIA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ソノ	OTHERS	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3( 2)
病原大腸菌の内訳 E.coli categorized by pathogenicity													
ソシキヨウキンニコセイ	EIEC	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
トマクツキンセイ	ETEC	18	10	-	6( 3)	-	-	-	2(2)	-	-	-	-
EPICセキヨウキン	EPEC	-	5	-	60( 3)	-	-	-	1(1)	2(1)	-	-	1
ソノタ・カクワイ	UNKNOWN	-	-	-	39	-	-	-	-	-	2	-	-
赤痢菌 血清型別の内訳 Shigella serovars													
セカセキヨウキン	S.DYSENTERIAE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	- 2( 2)
1	SEROVAR 1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	SEROVAR 2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	SEROVAR 4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
フレクスター・セキヨウキン	S.FLEXNERI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1A	SEROVAR 1A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1B	SEROVAR 1B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
2A	SEROVAR 2A	1	1	-	6	-	14	-	-	-	-	2( 1)	- 1
2B	SEROVAR 2B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1( 1)	-
3A	SEROVAR 3A	-	-	-	1	-	2	-	-	1(1)	-	3( 1)	-
3B	SEROVAR 3B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
3C	SEROVAR 3C	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4A	SEROVAR 4A	-	-	-	-	-	2	-	-	1(1)	-	-	-
4B	SEROVAR 4B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	SEROVAR 4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5	SEROVAR 5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6	SEROVAR 6	1	3(1)	-	-	-	1( 1)	-	-	-	-	1( 1)	- 1( 1)
Y	SEROVAR Y	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
ホーリー・セキヨウキン	S.BOYDII	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1	SEROVAR 1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	SEROVAR 2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1( 1)	-
3	SEROVAR 3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1( 1)	-
4	SEROVAR 4	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	1( 1)	-
5	SEROVAR 5	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
7	SEROVAR 7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10	SEROVAR 10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12	SEROVAR 12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	29( 29)	42 13(13)
ソニセキヨウキン	S.SONNEI	-	16(1)	-	5( 4)	-	17(15)	-	-	-	-	-	-

## 3-1. Continued-(3)

( ) : 海外旅行者分再掲

( ) : Imported cases included in the total

	TOTAL	281	282	283	284	291	301	302	311	321331	341	342	351	361	371	381	391	
		兵 庫 県	神 戸 市	姫 路 市	尼 崎 市	奈 良 県	和 歌 山 市	鳥 取 県	島 根 県	廣 島 県	広 島 市	山 口 県	徳 島 県	香 川 県	愛 媛 県	高 知 県		
コ <sup>モ</sup> ウ ケイ	TOTAL	87(2)	558(4)	77(1)	18(4)	74(1)	17	9(2)	77(1)	344	2(1)	32	162(30)	79(5)	82	348	209(16)	819
ヒ <sup>モ</sup> ウカウンダ <sup>モ</sup> イ <sup>モ</sup> ウキウン	E.COLI	-	23	1	-	-	-	-	3	-	17	31(16)	-	15	64	6(6)	39	
セキリキン	S.DYSENTERIAE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	
シカ <sup>モ</sup> セキリキン	S.FLEXNERI	-	-	2(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	1(1)	2(1)	1	-	2(2)	
ホ <sup>モ</sup> イド <sup>モ</sup> セキリキン	S.BOYDII	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1(1)	-	-	-		
ソン <sup>モ</sup> セキリキン	S.SONNEI	-	7	17(1)	1(1)	-	-	-	-	-	14	20(1)	-	-	1	-	-	
サルモ <sup>モ</sup> ラ	SALMONELLA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
チフ <sup>モ</sup> キ	S.TYphi	-	2	-	-	-	-	-	2	4	-	-	2	2	1	4(2)	-	
ハ <sup>モ</sup> ラ <sup>モ</sup> ス A <sup>モ</sup> ン	S.PARATYPHI A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-		
ハ <sup>モ</sup> ラ <sup>モ</sup> ス B <sup>モ</sup> ン	S.PARATYPHI B	4	7	-	3	3	-	2	14	-	-	5	-	2	6	-		
ソノ <sup>モ</sup> ノ リモ <sup>モ</sup> ラ B	OTHERS.GROUP B	-	29	10	1	4	2	-	7	34	-	-	15(6)	13	21	30	4(1)	19
C1	GROUP C1	-	17(1)	9	4(1)	3(1)	2	4(1)	2	6	-	-	4	2	5	1	-	29
C2	GROUP C2	-	22	7	4	1	1	1	1	7	1	-	4	2	3	-	4	
D1	GROUP D1	-	2	1	-	-	-	-	-	3	-	-	1	-	2	-	3	
D2	GROUP D2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
E1	GROUP E1	-	-	1	-	1	-	-	-	1	-	-	1(1)	-	-	-	1(1)	
E2	GROUP E2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1(1)	-	1	-	-	
E4	GROUP E4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1(1)	-	-	-	-	
G	GROUP G	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
K	GROUP K	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1(1)	-	-	-	-	
ソノ <sup>モ</sup> タ	OTHER GROUPS	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
ケン <sup>モ</sup> ブ <sup>モ</sup> イ	GROUP UNKNOWN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ヨルシニア エンテロコリカ	Y.ENTEROCOLECTICA	-	-	-	-	-	-	-	2	27	-	-	-	-	-	-	1	
ヨルシニア シントラ <sup>モ</sup> ウル Y.PSEUDOMONAS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	
コレ <sup>モ</sup> ラ <sup>モ</sup> ン O <sup>モ</sup> V.CHOLOERAE-O1	V.CHOLOERAE-O1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1(1)	-	-	-	-	-	-	
コレ <sup>モ</sup> ラ <sup>モ</sup> ン O <sup>モ</sup> イカイ V.CHOLOERAE-NON-O-1	V.CHOLOERAE-NON-O-1	1(1)	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	37	
チャ <sup>モ</sup> エニ <sup>モ</sup> ラ <sup>モ</sup> リ <sup>モ</sup> V.PARAHAEMOLYTICUS	V.PARAHAEMOLYTICUS	28	91(1)	18	3(2)	37	3	3	47	8	1	2(2)	19(2)	-	37	1(1)	2	
ヒ <sup>モ</sup> アリ <sup>モ</sup> ラ <sup>モ</sup> リ <sup>モ</sup> セ <sup>モ</sup> リ <sup>モ</sup> ス V.FLUVIALIS	V.FLUVIALIS	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ヒ <sup>モ</sup> アリ <sup>モ</sup> リ <sup>モ</sup> ミカ <sup>モ</sup> ス V.MIMICUS	V.MIMICUS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ア <sup>モ</sup> モリ <sup>モ</sup> (H/S) A.HYDROPHILA/SOBRIA	A.HYDROPHILA/SOBRIA	3(1)	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	4	
フ <sup>モ</sup> レ <sup>モ</sup> オ <sup>モ</sup> キ <sup>モ</sup> ス <sup>モ</sup> シ <sup>モ</sup> ロ <sup>モ</sup> イ P.SHIGELLOIDES	P.SHIGELLOIDES	-	-	-	-	-	-	-	1(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	
カ <sup>モ</sup> ド <sup>モ</sup> オ <sup>モ</sup> ク <sup>モ</sup> ー <sup>モ</sup> ク <sup>モ</sup> J/C C.JEJUNI/COLI	C.JEJUNI/COLI	47	270	2	5	7	-	8	118	-	57(1)	8	32	126	139(3)	153		
オ <sup>モ</sup> ウ <sup>モ</sup> ウ <sup>モ</sup> カ <sup>モ</sup> ウ <sup>モ</sup> ウ <sup>モ</sup> キ <sup>モ</sup> S.AUREUS	S.AUREUS	2	-	11	-	11	-	-	3	-	-	18	-	42	2	-	4	
ウ <sup>モ</sup> ル <sup>モ</sup> ミ <sup>モ</sup> ス <sup>モ</sup> C.PERFRINGENS	C.PERFRINGENS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	
ホ <sup>モ</sup> リ <sup>モ</sup> ス <sup>モ</sup> E C.BOTULINUM,TYPE E	C.BOTULINUM,TYPE E	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ソノ <sup>モ</sup> ホ <sup>モ</sup> リ <sup>モ</sup> ス <sup>モ</sup> C.B.CEREUS	C.B.CEREUS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
リ <sup>モ</sup> ン N.GONORHOEAE	N.GONORHOEAE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ス <sup>モ</sup> イ <sup>モ</sup> ケン <sup>モ</sup> ン A STREPTOCOCCUS.GROUP A	STREPTOCOCCUS.GROUP A	-	-	-	-	-	-	-	91	-	24	-	42	47	-	508	-	
レ <sup>モ</sup> キ <sup>モ</sup> ウ <sup>モ</sup> キ <sup>モ</sup> B GROUP B	GROUP B	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	1	-	-	-	-	1	
レ <sup>モ</sup> キ <sup>モ</sup> ウ <sup>モ</sup> キ <sup>モ</sup> C GROUP C	GROUP C	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
レ <sup>モ</sup> キ <sup>モ</sup> ウ <sup>モ</sup> キ <sup>モ</sup> G GROUP G	GROUP G	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	3	-	-	
レ <sup>モ</sup> キ <sup>モ</sup> ウ <sup>モ</sup> キ <sup>モ</sup> グ <sup>モ</sup> ン <sup>モ</sup> メ <sup>モ</sup> イ GROUP UNKNOWN	GROUP UNKNOWN	-	-	-	-	-	-	-	16	-	-	-	-	-	-	-	-	
ハイ <sup>モ</sup> レ <sup>モ</sup> リ <sup>モ</sup> ガ <sup>モ</sup> キ <sup>モ</sup> S.PNEUMONIAE	S.PNEUMONIAE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
ヒ <sup>モ</sup> ニ <sup>モ</sup> ツ <sup>モ</sup> ス <sup>モ</sup> B.PERTUSSIS	B.PERTUSSIS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
イン <sup>モ</sup> ル <sup>モ</sup> イ <sup>モ</sup> キ <sup>モ</sup> H.IFLUENZAE	H.IFLUENZAE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ハイ <sup>モ</sup> カ <sup>モ</sup> キ <sup>モ</sup> K.PNEUMONIAE	K.PNEUMONIAE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マ <sup>モ</sup> リ <sup>モ</sup> メ <sup>モ</sup> ー <sup>モ</sup> リ <sup>モ</sup> E.HISTOTYLYTICA	E.HISTOTYLYTICA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	2	
マ <sup>モ</sup> リ <sup>モ</sup> リ <sup>モ</sup> MALARIA	MALARIA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ソノ <sup>モ</sup> タ OTHERS	OTHERS	-	79	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

病原大腸菌の内訳 *E.coli* categorized by pathogenicity

ソノ <sup>モ</sup> シニ <sup>モ</sup> ウ <sup>モ</sup> キ <sup>モ</sup> EIEC	EIEC	-	1	-	-	-	-	-	-	-	17	-	-	13	-	-	10
ト <sup>モ</sup> ク <sup>モ</sup> リ <sup>モ</sup> セ <sup>モ</sup> イ <sup>モ</sup> ETEC	ETEC	-	7	-	-	-	-	-	-	-	2(2)	-	-	8	-	-	-
EP <sup>モ</sup> EC <sup>モ</sup> セ <sup>モ</sup> イ <sup>モ</sup> EPEC	EPEC	-	10	1	-	-	-	-	3	-	-	29(14)	-	13	41	6(6)	29
ソノ <sup>モ</sup> カ <sup>モ</sup> ブ <sup>モ</sup> イ UNKNOWN	UNKNOWN	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	-	-	-

赤痢菌 血清型別の内訳 *Shigella* serovars

シカ <sup>モ</sup> セキリキン	S.DYSENTERIAE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1	SEROVAR 1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	SEROVAR 2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	SEROVAR 4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
フレク <sup>モ</sup> ス <sup>モ</sup> タ <sup>モ</sup> リ <sup>モ</sup> S.FLEXNERI	S.FLEXNERI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1A	SEROVAR 1A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1(1)
1B	SEROVAR 1B	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2A	SEROVAR 2A	-	-	1(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	2(1)	-	-	1(1)	-
2B	SEROVAR 2B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3A	SEROVAR 3A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1(1)	-	-	-	-	-
3B	SEROVAR 3B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3C	SEROVAR 3C	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4A	SEROVAR 4A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4B	SEROVAR 4B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	SEROVAR 4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5	SEROVAR 5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6	SEROVAR 6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
Y	SEROVAR Y	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	S.BYODII	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	SEROVAR 1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	SEROVAR 2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	SEROVAR 3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	SEROVAR 4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1(1)	-	-	-	-
5	SEROVAR 5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7	SEROVAR 7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10	SEROVAR 10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12	SEROVAR 12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16	20(1)	-	1	-	-
ソノ <sup>モ</sup> セキリキン	S.SONNEI	-	7	17(1)	1(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

## 3-1. Continued-(4)

( ) : 海外旅行者分再掲  
 ( ) : Imported cases included in the total

	TOTAL	35(1)	80(6)	45	192	11	14	169	48(1)	128	407
	E.COLI	1	3(3)	1	2	-	7	-	-	11	-
セキリヤン	S.HIGELLA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
セキリヤン	S.DYSENTERIAE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
フレクスター・セキリヤン	S.FLEXNERI	2	2(2)	-	6	2	-	-	1(1)	-	-
ホーリー・セキリヤン	S.BOYDII	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ソノネ・セキリヤン	S.SONNEI	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-
サルモエラ	Salmonella	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
サルモエラ	S.TYPHI	1	2	4	-	2	-	1	-	2	1
ハララクス A	S.PARATYPHI A	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
ハララクス B	S.PARATYPHI B	3	3	-	4	-	-	-	1	-	-
ソノタ・ノリモカ B	OTHERS-GROUP B	-	4	-	8	-	3	1	21	22	1
C1	GROUP C1	1	8	-	2	-	-	-	5	20	5
C2	GROUP C2	-	33	-	1	-	-	-	3	22	-
D1	GROUP D1	-	-	-	10	-	-	-	1	2	1
D2	GROUP D2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
E1	GROUP E1	-	1	-	-	-	-	-	1	30	1
E2	GROUP E2	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
E4	GROUP E4	-	2	-	-	-	-	-	-	3	-
G	GROUP G	-	1	-	-	-	-	-	7	6	-
K	GROUP K	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-
ソノタ	OTHER GROUPS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
サルモエラ	GROUP UNKNOWN	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
エリシニア エラテロリツカ	Y.ENTEROCOLITICA	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
エリシニア ショウトウツヅケル	Y.PSEUDOTUBERCULOSIS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
コレラ菌 01	V.CHOLERAE OT	1(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
コレラ菌 01カイ	V.CHOLERAE-NON O-1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-
チラエニヒビ・フリオ	V.PARAHEMOLYTICUS	15	2(1)	8	-	-	-	5	-	-	-
ヒドリオカ・ブルドアリス	V.FLUVIALIS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヒドリオカ・ミミカ	V.MIMICUS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
アロモカ (H/S)	A.HYDROPHILA/SOBRIA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
アロモカ・ツ・シロロイ	P.SHIGELLOIDES	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
コレラ菌・J/C	C.JEJUNI/COLEI	15	-	154	-	-	5	-	-	1	-
サルモエラ・ウキヨウキン	S.AUREUS	11	-	32	-	7	4	5	11	2	1
ウェルヌコキン	C.PERFRINGENS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ホリツスキン E	C.BOTULINUM-TYPE E	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ソノタ ノホリツスキン	C.BOTUL.OTHER TYPES	-	-	-	1	-	-	1	2	-	-
セレウスキン	B.CEREUS	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-
リムシ	N.GONORHOEAE	-	-	-	-	-	-	-	-	322	-
スマイクセンキン	N.MENINGITIDIS	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-
レンツコキン A	STREPTOCOCCUS GROUP A	-	-	-	-	-	-	84	-	2	-
レンツコキン B	GROUP B	-	-	-	-	-	-	53	-	-	-
レンツコキン C	GROUP C	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
レンツコキン G	GROUP G	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-
レンツコキン グラムマイ	GROUP UNKNOWN	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
ハイムレセリコキン	S.PNEUMONIAE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヒドリオカ・セキリヤン	B.PERTUSSIS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
イソラエリカ・セキリヤン	H.INFLUENZAE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ハイムカガニ	K.PNEUMONIAE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
セキリヤン	E.HISTOLYTICA	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
マラリア	MALARIA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ソノタ	OTHERS	-	-	-	-	-	-	-	-	67	-

病原大腸菌の内訳 *E.coli* categorized by pathogenicity

ソジシニコウキ	EIEC	1	-	-	-	-	-	11	-
トクジン・セキリヤン	ETEC	-	3(3)	-	-	-	-	-	-
エペカッセイのり	EPEC	-	-	1	2	-	7	-	-
ソノタ・カタツメイ	UNKNOWN	-	-	-	-	-	-	-	-

赤痢菌 血清型別の内訳 *Shigella* serovars

セキリヤン	S.DYSENTERIAE	-	-	-	-	-	-	-	-	
1	SEROVAR 1	-	-	-	-	-	-	-	-	
2	SEROVAR 2	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	SEROVAR 4	-	-	-	-	-	-	-	-	
フレクスター・セキリヤン	S.FLEXNERI	-	-	-	-	-	-	-	-	
1A	SEROVAR 1A	-	-	1(1)	-	-	-	-	-	
1B	SEROVAR 1B	-	-	-	2	-	-	-	-	
2A	SEROVAR 2A	2	-	-	6	-	-	-	-	
2B	SEROVAR 2B	-	-	-	-	-	1(1)	-	-	
3A	SEROVAR 3A	-	-	-	-	-	-	-	-	
3B	SEROVAR 3B	-	-	-	-	-	-	-	-	
3C	SEROVAR 3C	-	-	-	-	-	-	-	-	
4A	SEROVAR 4A	-	-	-	-	-	-	-	-	
4B	SEROVAR 4B	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	SEROVAR 5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	SEROVAR 6	-	-	1(1)	-	-	-	-	-	
Y	SEROVAR Y	-	-	-	-	-	-	-	-	
ホーリー・セキリヤン	S.BOYDII	-	-	-	-	-	-	-	-	
1	SEROVAR 1	-	-	-	-	-	-	-	-	
2	SEROVAR 2	-	-	-	-	-	-	-	-	
3	SEROVAR 3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	SEROVAR 4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	SEROVAR 5	-	-	-	-	-	-	-	-	
7	SEROVAR 7	-	-	-	-	-	-	-	-	
10	SEROVAR 10	-	-	-	-	-	-	-	-	
12	SEROVAR 12	-	-	-	-	-	-	-	-	
ソノネ・セキリヤン	S.SONNEI	-	-	4	-	-	-	-	-	-

## 3-2. 医療機関

3-2. General clinical institutions (Refer to code map in page 93~95)

( ) : 海外旅行者分再掲

( ) : Imported cases included in the total

	TOTAL	012	021	051	091	101	111	121	131	151	161	171	181	191	231	232	
	合	札 幌 市	幌 春 季 年 県	秋 季 年 県	播 州 年 県	那 馬 年 県	陸 上 年 県	千 葉 年 県	東 京 都	新 潟 県	富 山 県	石 川 県	福 井 県	愛 知 県	名 古 屋 市		
	計																
コラーキ	TOTAL	67725(38)	4610(1)	2603	1510	1253(1)	3019	876	1281(3)	132	1228	1181(5)	9496	751	398	5512	743(8)
ヒューランギアセキロウキン	E. COLI	2095(1)	80	31	4	78	44	4	-	2	1	90(1)	196	56	3	9	
モリキラク	S. SHIGELLA																
モリキラクセキロイキン	S. FLEXNERI	36(5)	-	-	-	4	-	6(1)	-	2	3	1	-	-	4	1	
モリキラクセキロイキン	S. BOYDII	5(3)	-	-	-	-	-	1(1)	-	-	-	1	-	-	-	-	
モリキラクセキロイキン	S. SONNEI	69(10)	-	-	-	1(1)	-	2	-	-	1(1)	1	1	-	-	9(3)	
モリキラク	S. SALMONELLA																
モリキラク	S. TYPHI	60(5)	2	-	-	-	-	-	-	1	6	2	-	1	3	5(2)	
モリキラク A シン	S. PARATYPHI A	2(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1(1)	
モリキラク B シン	S. PARATYPHI B	150	4	1	1	1	2	-	3	2	15	4	8	-	30	6	
ソノラ ノルモキヨ	OTHERS GROUP B	78(2)	64	10	6	10	22	28	9	37	29(2)	59	13	2	59	18	
C1	GROUP C1	276	8	5	6	1	5	7	1	6	39	19	7	-	40	12	
C2	GROUP C2	248(1)	6	2	-	1	5	10	-	1	5	11(1)	24	1	55	13	
D1	GROUP D1	156(1)	4	-	-	-	5	1	-	6	5	15	-	-	37	7	
D2	GROUP D2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
E1	GROUP E1	14	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
E2	GROUP E2	4	-	1	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
E4	GROUP E4	4	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
G	GROUP G	8	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
K	GROUP K	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ソノ	OTHER GROUPS	26	4	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラフメイ	GROUP UNKNOWN	32	-	1	6	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	4	
エリシニア エンタコリカ	Y. ENTEROCOCCUS	187	11	4	1	-	19	1	-	6	9	12	2	-	86	3	
エリシニア ショートトブル	Y. PSEUDOTUBERCULOSIS	21	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
コレラキン O1	V. CHOLERAE O1	7(2)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	
コレラキン O1カムイ	V. CHOLERAE NON-O1	10(1)	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1(1)	
チャウエンピットワリ	V. PARAHAEIMOLYTICUS	617(1)	19(1)	34	25	22	34	26	9	12	24	53	7	2	-	-	
ヒラフリオ・フルヒラリス	V. FLUVIALIS	43	1	-	-	1	1	1	-	12	24	9	-	-	76	6	
ヒラフリオ・ミミカス	V. MIMICUS	7	3	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	9	
アプロモス (H/S)	A. HYDROPHILA/SOBRIA	295	16	12	11	5	22	-	-	4	-	28	1	-	26	1	
フレモモス・シカロイロ	P. SHIGELLOIDES	17	-	-	1	-	1	-	-	1	2	-	1	-	1	1	
ガジン・ハーフターナー・J/C	C. JEJUNI/COLI	5376(1)	512	243	62	4	436	49	29(1)	33	72	240	126	104	17	632	120
ガジン・ホーリックワニキ	S. AUREUS	1770	37	28	-	-	-	-	-	16	1	491	-	-	9	3	
クラフメイ	C. PERFRINGENS	7	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	
ソノ	C. BOTUL. OTHER TYPES	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
モリキラク	B. CEREU	40	1	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	2	
スミヨニエキシキ	N. GONORRHOEAE	1630	214	140	9	35	65	91	-	12	13	12	133	15	2	78	44
レニサキウキシ A	N. MENINGITIS	53	1	1	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	2	
レニサキウキシ B	S. STREPTOCOCCUS, GROUP A	8132	451	152	223	31	603	231	106	53	403	408	1436	34	27	598	76
レニサキウキシ C	GROUP C	4954	370	132	50	6	155	172	222	9	125	167	901	32	61	451	89
レニサキウキシ D	GROUP D	598	21	5	3	2	11	27	-	2	8	5	-	24	45	-	-
レニサキウキシ G	GROUP G	593	34	11	9	4	39	28	18	7	31	33	11	8	66	15	-
ハエリシニア・クンメイ	GROUP UNKNOWN	1122	25	145	10	2	16	24	1	10	19	66	-	12	30	-	-
ハエリシニア・クンメイ	S. PNEUMONIAE	9080	613	278	184	99	378	24	170	13	126	1	2511	47	28	697	35
シナフリテク	C. DIPHTHERIAE	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ヒカチキセキキ	B. PERTUSSIS	64	-	-	-	1	24	-	-	9	2	-	1	-	3	-	-
ハエリシニア・クンメイ	H. INFLUENZAE	15105	1250	428	380	451	883	135	579	-	345	-	1350	182	82	1806	97
ハエリシニア・クンメイ	K. PNEUMONIAE	13559	850	927	524	493	216	19	119	-	14	-	1801	214	149	656	99
モリキラク	E. HISTOLYTICA	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マラリア	MALARIA	3(3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ソノ	OTHERS	704(1)	5	6	-	-	12	3	-	5	-	58	210	-	10	34(1)	

病原大腸菌の内訳 *E. coli categorized by pathogenicity*

ソノキモニコウセイ	EIEC	45	-	-	3	-	-	-	-	6	6	13	-	-	-	-
トクツカシキ	ETEC	27(1)	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
EPEC	EPEC	884	79	17	4	62	42	4	-	1	1	68	189	27	2	9
ソノ・カタメイ	UNKNOWN	1139	1	14	-	12	1	-	1	-	15	1	16	1	-	-

赤痢菌血清型別の内訳 *Shigella serovars*

	S. FLEXNERI	1B	SEROVAR 1B	9	-	4	1	-	1	-	-	-	-	-	-	1	1
		2A	SEROVAR 2A	17(1)	-	-	3	-	5(1)	-	2	3	-	-	-	-	-
		2B	SEROVAR 2B	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		3A	SEROVAR 3A	3(2)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		4A	SEROVAR 4A	2(2)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		5	SEROVAR 5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		6	SEROVAR 6	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		S. BOYDII														3	-
		1	SEROVAR 1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		2	SEROVAR 2	1(1)	-	-	-	-	1(1)	-	-	-	-	-	-	-	-
		4	SEROVAR 4	1(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		8	SEROVAR 8	1(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		カタメイ	SEROVAR UNKNOWN	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		ソノ・カタメイ	S. SONNEI	69(10)	-	-	1(1)	-	2	-	-	1(1)	1	1	-	-	9(3)

## 3-2. Continued

( ) : 海外旅行者分再掲

( ): imported cases included in the total

	241	251	271	273	281	282	284	301	321	331	341	351	371	411	421	431	471	
三 重 県	滋 賀 県	大 阪 府	堺 市	兵 庫 府	神 戸 市	尼 崎 市	和 歌 山 市	島 根 県	岡 山 県	広 島 県	山 口 県	香 川 県	佐 賀 県	長 崎 県	熊 本 県	鹿 児 島 県		
コウケイ TOTAL	9	1586(3)	1106	316	47(1)	428(2)	173	418	1978	2638(3)	10274(7)	888	2841	1443	2503(4)	1295	5195	
E.COLI	-	7	-	2	11	1	36	33	41	143	143	143	157	250	19	2	815	
モザイク	S.HIGELLA	-	1(1)	1	-	-	-	-	-	6(2)	-	1	1	1(1)	-	-	-	
フレクスター	S.FLEXNERI	-	1(1)	-	1(1)	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	
ホロツク	S.BOYDII	-	1(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ソツモキリキン	S.SONNEI	-	-	1	-	-	-	-	15	35(5)	-	-	2	-	-	-	-	
サルモネラ	SALMONELLA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
チフスキ	S.TYPHI	1	-	-	5	1(1)	-	-	3	3(2)	5	-	9	-	7	6	-	
パラタイフィ	S.PARATYPHI A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
パラタイフィ	S.PARATYPHI B	4	8	-	3	4	-	-	1	3	-	40	-	5	2	4	1	
ソノタノリモネラ	B OTHERS, GROUP B	-	16	8	20	1	25	-	10	22	27	86	19	67	9	31	26	43
C1	GROUP C1	1	1	2	3	7	-	-	1	2	12	32	4	16	2	7	1	20
C2	GROUP C2	2	9	4	3	1	3	-	1	7	22	29	6	11	1	5	6	6
D1	GROUP D1	-	2	-	5	-	2	-	1	1	12(1)	30	3	1	7	-	4	10
D2	GROUP D2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
E1	GROUP E1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
E2	GROUP E2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
E4	GROUP E4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
G	GROUP G	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
K	GROUP K	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
ソノタ	OTHER GROUPS	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	5
ケンブリ	GROUP UNKNOWN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
エルシニア エンテロコリティカ	Y. ENTEROCOLITICA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
エルシニア ショットラヘル	Y. PSEUDOTUBERCULOSIS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
コレラ菌	V.CHELODRAE	01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
コレラ菌	V.CHELODRAE, NON O-1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
チャリコビタリ	V.PARAHAEMOLYTICUS	37	1	5	1	22	-	-	7	2	9	148	9	18	3	3	2	6
チャリコビタリ	V.FLUVIALIS	-	5	-	1	4	-	-	-	2	3	3	4	-	1	-	-	-
チャリコビタリ	V.MIMICUS	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-
アロモヌス(H/S)	A.HYDROPHILA/SOBRIA	1	1	-	3	3	-	-	37	24	39	-	3	6	30	9	13	-
フレジセラス・シガロロ	C.SHIGELLOIDES	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2	-	4	-
カビセロウタ- J/C	C.JEJUNI/COLI	77	15	63	26	191	2	134	63	251	932	75	256	73	346	87	104	-
オクロロウタ- キュウオキ	S.AUREUS	-	1	-	-	-	-	-	-	331	1	18	1	94	9	8	-	722
ウェルヌキ	C.PERFRINGENS	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-
ソノタノリモヌス	C.BUTIL, OTHER TYPES	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
ヒレウス	B.CEREUS	-	-	-	-	-	-	-	-	4	1	3	-	24	-	-	-	-
リンキン	N.GONORRHOEAE	-	90	-	9	7	69	11	10	32	229	17	35	6	13	11	48	-
スマイケン	N.MENINGITIDIS	-	-	-	-	-	-	-	-	37	1	1	-	1	4	-	3	-
レンキキコウキン A	STREPTOCOCCUS, GROUP A	291	106	45	-	83	1	79	202	172	1004	50	196	142	426	40	683	-
レンキキコウキン B	GROUP B	201	130	19	-	4	50	42	95	233	331	43	118	17	172	81	476	-
レンキキコウキン C	GROUP C	18	11	-	4	-	17	13	40	18	-	67	-	16	-	186	7	-
レンキキコウキン G	GROUP G	43	15	8	-	-	26	32	36	19	6	16	-	4	-	8	22	-
レンキキコウキン	GROUP UNKNOWN	93	37	8	-	51	21	11	66	18	143	96	1	113	-	-	108	-
バエケンリキキコウキン	S.PNEUMONIAE	195	206	28	-	22	63	187	308	1541	107	348	181	255	128	307	-	1
ジャフリキ	C.DIPHTHERIAE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヒクモキ	B.PERTUSSIS	-	1	-	-	-	-	-	-	23	-	-	-	-	-	-	-	-
インフルエンザ	H.INFLUENZAE	288	457	77	-	14	-	431	563	2409	214	429	385	661	393	814	-	-
ハイエンズ	K.PNEUMONIAE	209	95	21	-	14	-	425	704	3113	206	890	345	321	303	830	-	-
セキリオメドハ	E.HISTOLYTICA	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
マラリア	MALARIA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ソノタ	OTHERS	-	-	8	-	-	-	-	-	22	3	-	1	-	-	-	327	-

## 病原大腸菌の内訳

*Escherichia coli* categorized by pathogenicity

ソノタニコウキン	EIEC	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	-	14	-	-	-	-
トクモセモイ	ETEC	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	23	-	-	-	-	-
EPDセカツイ	EPEC	-	-	6	-	1	-	1	32	33	39	143	99	5	19	1	815
ソノタカツメイ	UNKNOWN	-	-	-	11	-	-	4	-	-	-	1	245	-	1	815	-

## 赤痢菌血清型別の内訳

*Shigella* serovars

フレクスター	S.FLEXNERI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
1B	SEROVAR 1B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2A	SEROVAR 2A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	1	-	-	-
2B	SEROVAR 2B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3A	SEROVAR 3A	-	-	1	-	-	-	-	-	-	2(2)	-	-	-	-	-	-
4A	SEROVAR 4A	-	1(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1(1)	-	-
5	SEROVAR 5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
6	SEROVAR 6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ホロツク	S.BODYII	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1	SEROVAR 1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	SEROVAR 2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	SEROVAR 4	-	1(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8	SEROVAR 8	-	-	-	1(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
カツメイ	SEROVAR UNKNOWN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
ソノタカツメイ	S.SONNEI	-	-	1	-	1	-	-	-	15	35(5)	-	2	-	-	-	-

## 3-3. 検疫所

3-3. Quarantine stations (Refer to code map in page 93~95)

	TOTAL	0	1	1	2	2	3	4	4	4	4	4
合	8	1	2	2	4	3	2	1	0	2	3	4
千	成	東	小	名	大	和	門	福	長	熊	大	那
計	歲	田	京	松	古	阪	歌	岡	崎	本	分	鶴
	空	空	空	空	屋	空	山	司	空	空	空	空
	港	港	港	港	空	港	下	港	港	港	港	港
					港							

コロカイ  
ヒヨウケンタウキン  
セキリキン  
シガセキリキン  
フレクスナーセキリキン  
ホイトセキリキン  
ソンネセキリキン  
サルモネラ  
ソノタノサルモネラ  
B OTHERS GROUP B  
C1 GROUP C1  
C2 GROUP C2  
D1 GROUP D1  
D2 GROUP D2  
E1 GROUP E1  
E2 GROUP E2  
E4 GROUP E4  
G GROUP G  
K GROUP K  
ソノタ  
カタツメイ  
コレラ菌 O1  
コレラ菌 O1イカリ  
ショウエンドウリオ  
ビフリオ・ミミカズ  
アエロモナス(H/S)  
プロレオモナス・シケロイテ  
ソノタ

TOTAL 1628 3 918 1 1 86 490 1 6 112 3 3 1 3  
E.COLI 25 - 1 - - - 7 - 1 16 - - -  
SHIGELLA  
S.DYSENTERIAE 2 - 1 - - - 1 - - - - - -  
S.FLEXNERI 49 - 28 - - - 20 - - - 1 - - -  
S.BOYDII 11 - 6 - - - 5 - - - - - -  
S.SONNEI 103 - 68 - - - 31 - 1 2 1 - - -  
SALMONELLA  
OTHERS GROUP B 184 - 108 - 1 1 64 - - 10 - - -  
GROUP C1 103 - 47 - - 2 53 - - 1 - - -  
GROUP C2 81 - 39 - - - 39 - - 1 1 - - 1  
GROUP D1 31 - 19 - - - 10 - - 2 - - -  
GROUP D2 3 - 1 - - - - - - 2 - - -  
GROUP E1 126 - 76 - - 1 45 - - 1 - 2 - 1  
GROUP E2 5 - 3 - - - 2 - - - - - -  
GROUP E4 51 - 32 1 - - 17 - - 1 - - -  
GROUP G 6 - 2 - - - 4 - - - - - -  
GROUP K 16 - 7 - - - 9 - - - - - -  
OTHER GROUPS 23 - 17 - - - 4 - - 2 - - -  
GROUP UNKNOWN 15 - 12 - - - 1 1 - 1 - - -  
V.CHOLOERAE.O1 10 - 4 - - - 6 - - - - - -  
V.CHOLOERAE.NON O-1 95 - 52 - - 4 35 - - 4 - - -  
V.PARAHAEMOLYTICUS 293 3 111 - - 30 96 - 4 48 - - 1 -  
V.FLUVIALIS 20 - 2 - - - 17 - - 1 - - -  
V.MIMICUS 5 - - - 2 1 - - 2 - - -  
A.HYDROPHILA/SOBRIA 6 - - - - - - - - 6 - - -  
P.SHIGELLOIDES 342 - 282 - - 46 - - - 12 - 1 - 1  
OTHERS 23 - - - - - 23 - - - - - -

## 病原大腸菌の内訳

E.coli categorized by pathogenicity

セキリキンシコウケイ	EIEC	5 -	1 - -	-	4 - -	-	-	-	-	-	-	-
トマツリシコウケイ	ETEC	16 -	- - -	-	- - -	16 - -	-	-	-	-	-	-
EPECカセイカタ	EPEC	4 -	- - -	-	- - -	3 - 1	-	-	-	-	-	-

## 赤痢菌血清型別の内訳

Shigella serovars

シガセキリキン	S.DYSENTERIAE											
4	SEROVAR 4	1 -	1 - -	-	- - -	-	-	-	-	-	-	-
9	SEROVAR 9	1 -	- - -	-	1 - -	-	-	-	-	-	-	-
フレクスナーセキリキン	S.FLEXNERI											
1A	SEROVAR 1A	2 -	1 - -	-	1 - -	-	-	-	-	-	-	-
1B	SEROVAR 1B	3 -	2 - -	-	1 - -	-	-	-	-	-	-	-
1	SEROVAR 1	1 -	- - -	-	1 - -	-	-	-	-	-	-	-
2A	SEROVAR 2A	11 -	9 - -	-	2 - -	-	-	-	-	-	-	-
2B	SEROVAR 2B	8 -	3 - -	-	5 - -	-	-	-	-	-	-	-
3A	SEROVAR 3A	9 -	7 - -	-	2 - -	-	-	-	-	-	-	-
3B	SEROVAR 3B	1 -	1 - -	-	- - -	-	-	-	-	-	-	-
4A	SEROVAR 4A	4 -	- - -	-	3 - -	-	1 - -	-	-	-	-	-
5	SEROVAR 5	1 -	1 - -	-	- - -	-	-	-	-	-	-	-
6	SEROVAR 6	9 -	4 - -	-	5 - -	-	-	-	-	-	-	-
ホイトセキリキン	S.BOYDII											
1	SEROVAR 1	3 -	3 - -	-	- - -	-	-	-	-	-	-	-
2	SEROVAR 2	1 -	1 - -	-	- - -	-	-	-	-	-	-	-
12	SEROVAR 12	2 -	- - -	-	2 - -	-	-	-	-	-	-	-
13	SEROVAR 13	1 -	- - -	-	1 - -	-	-	-	-	-	-	-
14	SEROVAR 14	2 -	- - -	-	2 - -	-	-	-	-	-	-	-
15	SEROVAR 15	1 -	1 - -	-	- - -	-	-	-	-	-	-	-
カタツメイ	SEROVAR UNKNOWN	1 -	1 - -	-	- - -	-	-	-	-	-	-	-
ソンネセキリキン	S.SONNEI	103 -	68 - -	-	31 - 1	2 1 - -	-	-	-	-	-	-

#### 4. 検出サルモネラの菌型分布、1984年

4. *Salmonella* serovars isolated in Japan, 1984

##### 4-1. 全国集計（地研・保健所）

4-1. *Salmonella* serovars, total, 1984

Prefectural and municipal public health institutes and health centers

GROUP	血清型 SEROVAR	ヒト HUMAN	動物 ANIMAL	食品 FOOD	環境 ENVIRONMENT
02(A)	S.PARATYPHI A	10( 2)	-	-	-
	SUBTOTAL 小計	10( 2)	-	-	-
04(B)	S.TYPHIMURIUM	669( 26)	13	54	300
	S.PARATYPHI B	368( 5)	1	5	190
	S.AGONA	138( 31)	2	6	105
	S.DERBY	79( 40)	-	26	79
	S.SAINTPAUL	36( 19)	1	-	29
	S.STANLEY	35( 16)	-	2	11
	S.HEIDELBERG	27( 10)	-	-	28
	S.BREDENAY	15( 1)	-	1	6
	S.BRANDENBURG	13	-	-	1
	S.SCHWARZENGRUND	12	1	1	30
	S.II [SOFIA]	9( 1)	-	47	23
	S.HAIFA	7( 1)	-	-	3
	S.READING	4( 1)	-	10	5
	S.KIAMBU	4( 2)	-	-	5
	S.GLOUCESTER	3	-	-	-
	S.SCHLEISSHEIM	3	-	-	-
	S.CHESTER	2( 1)	-	1	8
	S.INDIANA	2( 2)	-	-	1
	S.BUDAPEST	2	-	-	-
	S.HATO	1( 1)	-	-	1
	S.EKO	1( 1)	-	-	-
	S.KISANGANI	-	-	-	4
	S.SANDIEGO	-	-	-	4
	S.BANANA	-	-	-	3
	S.ALBERT	-	-	-	2
	S.BRADFORD	-	-	-	2
	S.MASSENYA	-	-	-	2
	S.FYRIS	-	-	-	1
	S.II [CALEDON]	-	-	-	1
	S.ITURI	-	-	-	1
	S.KAAPSTAD	-	-	-	1
	SLAGOS	-	-	-	1
	S.LIMETE	-	-	-	1
	S.SHUBRA	-	-	-	1
	S.WAGENIA	-	-	-	1
	S.WIEN	-	-	-	1
	NOT TYPED 未同定	98( 4)	-	14	143
	SUBTOTAL 小計	1528(162)	18	167	994
07(C1)	S-INFANTIS	265( 13)	11	28	209
	S.THOMPSON	201( 1)	5	3	82
	S.BRAENDERUP	151( 6)	-	2	85
	S.MONTEVIDEO	127( 9)	-	3	56
	S.BAREILLY	106( 5)	-	9	47
	S.MBANDAKA	32( 14)	2	1	19
	S.VIRCHOW	29( 15)	-	5	22
	S.TENNESSEE	24( 1)	-	-	55
	S.ISANGI	13	2	-	8
	S.POTS DAM	13( 7)	-	-	8
	S.LIVINGSTONE	12( 2)	2	-	9
	S.ORANIENBURG	9( 4)	-	-	26
	S.OHIO	9( 6)	2	1	7
	S.OTHMARSCHEN	4	-	-	2
	S.DJUGU	3	-	-	10
	S.SINGAPORE	3( 3)	-	-	1
	S.IRUMU	3	-	-	-
	S.OSLO	2( 1)	-	-	7
	S.RICHMOND	2( 1)	-	-	5
	S.MIKAWASIMA	2( 1)	-	-	3
	S.GALIEMA	1	-	-	5
	S.ORITAMERIN	1	-	-	4
	S.MENSTON	1( 1)	-	-	3
	S.CONCORD	1	-	-	2
	S.EDINBURG	1( 1)	2	-	-
	S.PAPUANA	1( 1)	-	-	1
	S.BONN	1( 1)	-	-	-
	S.DENVER	1( 1)	-	-	-
	S.KISII	1( 1)	-	-	-
	S.KIVU	1	-	-	-

( ) : 海外旅行者分再掲

( ) : Imported cases included in the total

4-1. Continued-(1)

O群 GROUP	血清型 SEROVAR	ヒト HUMAN	動物 ANIMAL	食品 FOOD	環境 ENVIRONMENT
07(C1)	S.RISSEN	1	-	-	-
	S.HARTFORD	-	-	-	5
	S.INGANDA	-	-	-	3
	S.ATHINAI	-	-	-	2
	S.ESCANABA	-	-	1	1
	S.LOMITA	-	-	-	2
	S.MENDEN	-	-	-	2
	S.AFULA	-	-	-	1
	S.ALAMO	-	-	-	1
	S.AUGUSTENBORG	-	-	-	1
	S.BRAZZAVILLE	-	-	1	-
	S.COLINDALE	-	-	-	1
	S.GEORGIA	-	-	-	1
	S.NGILI	-	-	-	1
	S.NORTON	-	-	-	1
	S.SANJUAN	-	-	1	-
	NOT TYPED 未同定	98( 8)	-	9	90
	SUBTOTAL 小計	1119(103)	26	64	788
08(C2-C3)	S.LITCHFIELD	444( 3)	-	4	132
	S.BLOCKLEY	82( 36)	-	1	14
	S.NEWPORT	60( 24)	-	1	26
	S.MUENCHEN	37( 3)	-	3	86
	S.MANHATTAN	27	1	4	19
	S.KENTUCKY	23( 18)	-	-	2
	S.BOVISMORBIFICANS	9( 8)	-	-	5
	S.HADAR	8( 2)	-	-	5
	S.KOTTBUS	5( 2)	-	-	4
	S.EMEK	4( 4)	-	-	-
	S.CHINCOL	3( 3)	-	-	6
	S.NARASHINO	2	-	-	2
	S.LINDENBURG	2( 2)	-	-	1
	S.NAGOYA	1	1	-	10
	S.CHAILEY	1	-	-	1
	S.MANCHESTER	1	-	-	-
	S.TSHIONGWE	-	-	-	3
	S.CLEVELAND	-	-	-	2
	S.LOANDA	-	-	-	2
	S.TAKORADI	-	-	-	2
	S.DUESSELDORF	-	-	-	1
	S.GLOSTRUP	-	-	-	1
	S.MAPO	-	-	-	-
	S.PRAHA	-	-	-	1
	S.ZERIFIN	-	-	-	1
	NOT TYPED 未同定	36( 6)	-	1	21
	SUBTOTAL 小計	745(111)	2	14	348
09(D1)	S.ENTERITIDIS	179( 6)	-	-	80
	S.TYPHI	109( 9)	-	-	57
	S.PANAMA	61( 30)	-	2	51
	S.MIYAZAKI	11	-	-	1
	S.BLEGDAAM	6	-	-	1
	S.EASTBOURNE	6( 5)	-	-	-
	S.JAVIANA	2	-	-	2
	S.DUBLIN	1	-	-	-
	S.NEWMEXICO	-	-	-	8
	S.MENDOZA	-	-	-	4
	S.BERTA	-	-	-	2
	S.SEREMBAN	-	-	-	1
	S.BOURNEMOUTH	-	-	-	1
	S.ISRAEL	-	-	-	1
	S.JAMAICA	-	-	-	1
	S.NDOLO	-	-	-	1
	NOT TYPED 未同定	8	-	-	58
	SUBTOTAL 小計	383( 50)	-	2	270
09,46(D2)	S.BAILDON	1	-	-	-
	S.INDIA	-	-	-	2
	S.MARYLEBONE	-	-	-	2
	S.BERGEDORF	-	-	-	1
	NOT TYPED 未同定	-	-	-	2
	SUBTOTAL 小計	1	-	-	7

( ) : 海外旅行者分再掲  
( ) : Imported cases included in the total

## 4-1. Continued-(2)

O群 GROUP	血清型 SEROVAR	ヒト HUMAN	動物 ANIMAL	食品 FOOD	環境 ENVIRONMENT
03,10(E1)	S.ANATUM	86( 45)	7	1	29
	S.WELTEVREDEN	55( 16)	-	5	1
	S.LONDON	36( 17)	2	13	15
	S.GIVE	13( 4)	-	1	31
	S.LEXINGTON	11( 9)	-	-	1
	S.MELEAGRIDIS	9( 4)	12	-	11
	S.AMSTERDAM	7( 6)	-	-	1
	S.ORION	3( 2)	-	1	2
	S.MUENSTER	2( 1)	-	-	1
	S.AMAGER	1	-	-	1
	S.ZANZIBAR	1	-	-	1
	S.II 3,10:G:M,S,T:-	1( 1)	-	-	-
	S.VEJLE	-	-	-	2
	S.WESTHAMPTON	-	-	-	2
	S.NCHANGA	-	-	-	1
	S.NEWLANDS	-	-	-	1
	S.NYBORG	-	-	-	1
	S.SINSTORF	-	-	-	1
	S.STORMONT	-	-	-	1
	S.UGHELLI	-	-	-	1
	NOT TYPED 未同定	9( 5)	-	1	19
	SUBTOTAL 小計	234(110)	21	22	123
01,3,19(E4)	S.SENFTENBERG	35( 16)	-	-	46
	S.KREFELD	11( 8)	-	1	16
	S.LIVERPOOL	1	-	1	7
	NOT TYPED 未同定	6( 2)	-	-	8
	SUBTOTAL 小計	51( 26)	-	2	77
011(F)	S.ABERDEEN	1	-	-	3
	S.NYANZA	1	-	-	-
	SUBTOTAL 小計	2	-	-	3
013(G)	S.HAVANA	19( 4)	-	-	28
	S.WORTHINGTON	5	13	1	6
	S.POONA	3	-	-	10
	S.CHAGOUA	1( 1)	-	-	-
	S.MIM	1	-	-	-
	S.TANGER	1	-	-	-
	S.FARMSEN	-	-	-	2
	S.II [GOJENBERG]	-	-	-	1
	NOT TYPED 未同定	8	-	-	20
	SUBTOTAL 小計	38( 5)	13	1	67
016(I)	S.HVITTINGFOSS	6( 5)	-	-	1
	S.NOTTINGHAM	1	-	-	-
	S.WESTON	1( 1)	-	-	-
	S.GAMINARA	-	-	-	1
	S.MPOUTO	-	-	-	1
	NOT TYPED 未同定	1	-	-	-
	SUBTOTAL 小計	9( 6)	-	-	3
018(K)	S.CERRO	51( 16)	6	-	56
	NOT TYPED 未同定	1	-	-	14
	SUBTOTAL 小計	52( 16)	6	-	70
021(L)	S.MINNESOTA	1( 1)	-	-	-
	NOT TYPED 未同定	-	-	-	1
	SUBTOTAL 小計	1( 1)	-	-	1
035(O)	S.ADELAIDE	4	-	-	1
	S.ALACHUA	4( 3)	-	-	-
	NOT TYPED 未同定	1	-	-	-
	SUBTOTAL 小計	9( 3)	-	-	1
038(P)	NOT TYPED 未同定	-	-	-	3
	SUBTOTAL 小計	-	-	-	3

( ) : 海外旅行者分再掲

( ) : Imported cases included in the total

## 4-1. Continued-(3)

O群 GROUP	血清型 SEROVAR			動物 ANIMAL	食品 FOOD	環境 ENVIRONMENT
		HUMAN	ANIMAL			
039(Q)	S.CHAMPAIGN	3	-	-	-	1
	S.WANDSWORTH	-	-	-	-	1
	NOT TYPED 未同定	1	-	-	-	-
	SUBTOTAL 小計	4	-	-	-	2
040(R)	S.JOHANNESBURG	1	-	1	1	3
	SUBTOTAL 小計	1	-	1	1	3
048(Y)	NOT TYPED 未同定	-	-	-	-	1
	SUBTOTAL 小計	-	-	-	-	1
UNKNOWN	群不明	25( 3)	-	1	58	
	SUBTOTAL 小計	25( 3)	-	1	58	
	TOTAL 合計	4212(598)	86	274	2819	

( ) : 海外旅行者分再掲

( ) : Imported cases included in the total

## 4-2. 全国集計（医療機関）

4-2. *Salmonella* serovars, total, 1984

General clinical institutions

O群 GROUP	血清型 SEROVAR	ヒト HUMAN	O群 GROUP	血清型 SEROVAR	ヒト HUMAN
02(A)	S.PARATYPHI A	2( 1)	01,3,19(E4)	S.SENFTENBERG NOT TYPED 未同定	1 3
	SUBTOTAL 小計	2( 1)		SUBTOTAL 小計	4
04(B)	S.TYPHIMURIUM	393( 1)	011(F)	S.ABERDEEN	1
	S.PARATYPHI B	155		SUBTOTAL 小計	1
	S.AGONA	14			
	S.SAINTPAUL	8	013(G)	S.HAVANA S.POONA NOT TYPED 未同定	2 2 4
	S.STANLEY	7		SUBTOTAL 小計	8
	S.HEIDELBERG	5( 1)	06,14(H)	S.NDJAMENA	1
	S.DERBY	3		SUBTOTAL 小計	1
	S.BREDENHEY	2	018(K)	S.CERRO NOT TYPED 未同定	8 2
	S.III [SOFIA]	2		SUBTOTAL 小計	10
	S.SCHWARZENGRUND	2	039(Q)	S.CHAMPAIGN	1
	S.HAIFA	1		SUBTOTAL 小計	1
	S.KINGSTON	1	040(R)	S.JOHANNESBURG	4
	S.KUNDUCHI	1		SUBTOTAL 小計	4
	S.SCHELEISSHEIM	1	UNKNOWN	群不明	43
	NOT TYPED 未同定	327		SUBTOTAL 小計	43
	SUBTOTAL 小計	922( 2)		TOTAL 合計	1756( 18)
07(C1)	S-INFANTIS	57		( ) : 海外旅行者分再掲	
	S.MONTEVIDEO	28		( ):Imported cases included in the total	
	S.BRAENDERUP	19			
	S.THOMPSON	18			
	S.BAREILLY	9			
	S.MBANDAKA	4			
	S.ORANIENBURG	3			
	S.VIRCHOW	3			
	S.IRUMU	2			
	S.NORTON	2			
	S.OHIO	2			
	S.BONN	1			
	S.SCHOLERAESUIS	1			
	S.CONCORD	1			
	S.LOMITA	1			
	S.TENNESSEE	1			
	NOT TYPED 未同定	124			
	SUBTOTAL 小計	276			
08(C2-C3)	S.LITCHFIELD	123			
	S.MUENCHEN	12			
	S.MANHATTAN	8			
	S.NEWPORT	7			
	S.BLOCKLEY	5			
	S.BOVISMORBIFICANS	1( 1)			
	S.MANCHESTER	1			
	S.NAGOYA	1			
	S.NARASHINO	1			
	NOT TYPED 未同定	89			
	SUBTOTAL 小計	248( 1)			
09(D1)	S.ENTERITIDIS	78			
	S.TYPHI	60( 5)			
	S.PANAMA	10			
	S.BOURNEMOUTH	1			
	S.JAVIANA	1( 1)			
	S.ONARIMON	1			
	NOT TYPED 未同定	65			
	SUBTOTAL 小計	216( 6)			
09,46(D2)	NOT TYPED 未同定	1			
	SUBTOTAL 小計	1			
03,10(E1)	S.ANATUM	1			
	S.LONDON	1			
	NOT TYPED 未同定	17			
	SUBTOTAL 小計	19			

## 4-3. 報告機関別集計、由来ヒト（地研・保健所）

4-3. *Salmonella* serovars from humans, by participating laboratory, 1984

Prefectural and municipal public health institutes and health centers (Refer to code map in page 93~95)

		011	012	021	031	041	042	051	061	071	081	091	101	111	121	131	141	142
Q群 GROUP	血清型 SEROVAR	北海道	札幌市	青森県	岩手県	宮城県	仙台市	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	横浜市
02(A)	S.TYPHATYPHI A	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-
	SUBTOTAL 小計	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-
04(B)	S.TYPHIMURIUM	35	4	1	-	-	-	1	1	1	25	12	61	20	84	9	13	
	S.PARATYPHI B	3	1	1	-	3	-	3	5	3	2	19	5	34	9	19	17	1
	S.AGONA	2	4	-	-	-	-	-	-	-	9	-	33	3	29	2	2	
	S.DERBY	-	2	-	-	-	-	-	-	2	4	-	10	7	33	-	3	
	S.SAINTPAUL	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	1	14	-	-	
	S.STANLEY	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	1	8	-	-	
	S.HEIDELBERG	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	5	1	12	-	-	
	S.BREDENY	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	1	2	-	1	-	-	
	S.BRANDENBURG	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	8	-	-	-	
	S.SCHWARZENGRUND	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	2	-	-	
	S.II [SOFIA]	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	1	-	-	-	-	
	S.HAIFA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	1	-	-	-	
	S.KIAMBU	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	
	S.READING	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S.GLOUCESTER	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
	S.SCHLEISSHEIM	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	
	S.BUDAPEST	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	
	S.CHESTER	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S.INDIANA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
	S.EKO	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
	S.HATO	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
	NOT TYPED 未同定	1	1	-	15	1	12	-	1	-	4	-	1	-	21	-	1	
	SUBTOTAL 小計	39	14	4	15	4	12	4	6	4	5	78	18	180	43	235	28	23
07(C1)	S-INFANTIS	1	1	1	-	-	1	-	-	10	2	60	17	56	18	2		
	S.THOMPSON	1	-	-	-	-	-	-	-	2	17	1	19	6	25	26	35	
	S.BRAENDERUP	-	-	-	-	-	-	-	3	9	-	25	1	33	-	4		
	S.MONTEVIDEO	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	14	5	57	1	2		
	S.BAREILLY	-	-	-	-	-	-	-	-	6	1	18	4	22	-	-		
	S.MBANDAKA	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	7	-	14	-	-		
	S.VIRCHOW	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	7	1	12	-	-		
	S.TENNESSEE	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	6	1	7	-	3	-	
	S.ISANGI	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-	
	S.POTS DAM	1	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	2	-	-	1	
	S.LIVINGSTONE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	4	-	1	-	
	S.OHIO	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	3	-	-	-	
	S.ORANIENBURG	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	-	-	-	-	-	
	S.OTHMARSCHEN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S.DJUGU	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	
	S.IRUMU	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S.SINGAPORE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	
	S.MIKAWASIMA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S.OSLO	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S.RICHMOND	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	
	S.BONN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S.CONCORD	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S.DENVER	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S.EDINBURG	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	S.GALIEMA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S.KISTI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S.KIVU	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
	S.MENSTON	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	S.ORITAMERIN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	
	S.PAPUANA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S.RISSEN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	NOT TYPED 未同定	-	-	-	18	14	-	-	-	1	1	-	3	2	24	-	1	
	SUBTOTAL 小計	3	1	1	-	18	14	5	-	8	53	5	176	38	268	45	58	

## 4-3. Continued-(1)

	143	144	151	152	161	171	181	201	211	212	221	222	231	232	241	251	261	
O群 GROUP	川 崎 市	横 須 賀 市	新 潟 県	富 山 県	石 川 県	福 井 県	長 野 県	岐 阜 県	岐 阜 市	静 岡 県	静 岡 市	愛 知 県	名 古 屋 市	三 重 県	滋 賀 県	京 都 府		
02(A)	S.PARATYPHI A	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	3	-	-	-	-		
	SUBTOTAL 小計	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	3	-	-	-	-		
04(B)	S.TYPHIMURIUM	8	3	15	7	4	7	-	45	7	-	27	-	23	-	5	20	5
	S.PARATYPHI B	2	-	4	2	-	6	12	22	9	-	16	1	36	3	-	17	2
	S.AGONA	4	-	1	-	-	-	1	4	-	6	-	8	-	-	-	4	-
	S.DERBY	1	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	3	1	-	-	-	-
	S.SAINTPAUL	1	-	1	1	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	S.STANLEY	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	4	-
	S.HEIDELBERG	2	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.BREDENNEY	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.BRANDENBURG	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	S.SCHWARZENGRUND	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
	S.III [SOFIA]	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	S.HAIFA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.KIAMBU	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.READING	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.GLOUCESTER	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.SCHLEISSEHM	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.BUDAPEST	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.CHESTER	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.INDIANA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.EKO	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.HATO	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	NOT TYPED 未同定	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	1	2	-
	SUBTOTAL 小計	18	5	22	11	4	13	12	73	21	-	55	1	72	6	6	48	7
07(C1)	S-INFANTIS	1	-	3	-	3	-	6	1	9	-	13	1	10	-	-	4	1
	S.THOMPSON	3	-	1	1	2	-	-	19	1	-	7	1	6	-	-	5	-
	S.BRAENDERUP	2	-	5	1	1	-	-	4	7	-	5	-	24	1	-	6	-
	S.MONTEVIDEO	1	-	1	-	8	-	-	1	1	-	5	-	12	-	-	4	-
	S.BAREILLY	-	-	4	4	3	-	-	-	2	-	3	-	8	2	-	1	-
	S.MBANDAKA	1	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.VIRCHOW	2	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	1	-	-	-
	S.TENNESSEE	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
	S.ISANGI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.POTSDAM	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.LIVINGSTONE	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.OHIO	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.ORANIENBURG	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-
	S.OTHMARSCHEN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.DJUGU	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.IRUMU	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.SINGAPORE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.MIKAWASIMA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	S.OSLO	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.RICHMOND	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.BONN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.CONCORD	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.DENVER	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.EDINBURG	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.GALIEMA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	S.KISII	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.KIVU	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.MENSTON	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.ORITAMERIN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	S.PAPUANA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.RISSEN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	NOT TYPED 未同定	-	1	-	-	-	-	-	-	1	1	-	2	-	1	-	1	-
	SUBTOTAL 小計	14	1	16	8	17	-	6	28	21	1	36	3	63	4	2	22	1

## 4-3. Continued-(2)

	262	271	272	273	281	282	283	284	291	301	302	311	321	331	342	351	361	
GROUP	京都府	大阪市	堺市	兵庫県	神戸市	姫路市	尼崎市	奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県			
O群																		
GROUP	SEROVAR																	
02(A)	S.PARATYPHI A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	
	SUBTOTAL 小計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	
04(B)	S.TYPHIMURIUM	2	52	1	12	-	-	6	-	4	2	-	6	28	-	4	13	14
	S.PARATYPHI B	-	40	1	2	4	7	3	-	3	3	-	2	14	-	4	5	4
	S.AGONA	-	7	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
	S.DERBY	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-
	S.SAINTPAUL	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-
	S.STANLEY	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
	S.HEIDELBERG	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.BREDENAY	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.BRANDENBURG	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.SCHWARZENGRUND	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	S.III [SOFIA]	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.HAIFA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	S.KIAMBU	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.READING	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
	S.GLOUCESTER	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.SCHLEISHEIM	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.BUDAPEST	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.CHESTER	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	S.INDIANA	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.EKO	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.HATO	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	NOT TYPED 未同定	-	1	-	-	29	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	SUBTOTAL 小計	2	117	2	17	4	36	10	2	7	5	-	9	48	-	15	18	21
07(C1)	S-INFANTIS	-	11	4	2	-	-	5	1	-	2	-	1	-	-	2	-	1
	S.THOMPSON	-	8	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	1	3	
	S.BRAENDERUP	-	13	-	-	-	-	1	-	2	-	-	2	-	-	1	1	-
	S.MONTEVIDEO	-	3	-	1	-	-	1	-	-	-	-	1	-	4	-	1	-
	S.BAREILLY	-	3	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.MBANDAKA	-	3	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.VIRCHOW	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.TENNESSEE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.ISANGI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.POTSDAM	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.LIVINGSTONE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.OHIO	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	S.ORANIENBURG	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.OETHMARSCHEN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.DJUGU	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.IRUMU	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.SINGAPORE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.MIKAWASIMA	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.OSLO	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	S.RICHMOND	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.BONN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.CONCORD	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.DENVER	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.EDINBURG	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.GALIEMA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.KISII	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.KIVU	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.MENSTON	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.ORITAMERIN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.PAPUANA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.RISSEN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	NOT TYPED 未同定	-	3	-	-	17	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	1
	SUBTOTAL 小計	-	53	4	6	-	17	9	1	3	2	4	2	6	-	4	2	5

## 4-3. Continued-(3)

O群 GROUP	血清型 SEROVAR	TOTAL													
		371	381	391	401	402	403	411	421	441	451	461	471		
		香 川 県	愛 媛 県	高 知 県	福 岡 市	福 岡 市	北 九 州	佐 賀 県	長 崎 県	大 分 県	宮 崎 県	鹿 児 島 県	沖 縄 県	合 計	
02(A)	S.PARATYPHI A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	10		
	SUBTOTAL 小計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	10		
04(B)	S.TYPHIMURIUM	29	3	14	-	3	-	8	-	1	17	9	-	669	
	S.PARATYPHI B	-	2	6	3	3	-	4	-	-	1	-	-	368	
	S.AGONA	1	1	-	-	1	-	-	-	-	3	9	-	138	
	S.DERBY	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	79	
	S.SAINTPAUL	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	36	
	S.STANLEY	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	35	
	S.HEIDELBERG	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	27	
	S.BREDENEY	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15	
	S.BRANDENBURG	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	
	S.SCHWARZENGRUND	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	12	
	S.II [SOFIA]	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	9	
	S.HAIFA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	
	S.KIAMBU	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	
	S.READING	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	
	S.GLOUCESTER	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	
	S.SCHLEISHEIM	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	
	S.BUDAPEST	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
	S.CHESTER	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
	S.INDIANA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
	S.EKO	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	S.HATO	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	NOT TYPED 未同定	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	98	
	SUBTOTAL 小計	30	6	25	3	7	-	12	-	1	22	22	1	1528	
07(C1)	S-INFANTIS	-	-	3	1	-	-	2	-	-	1	8	-	265	
	S.THOMPSON	-	-	6	-	-	-	-	-	-	2	-	-	201	
	S.BRAENDERUP	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	151	
	S.MONTEVIDEO	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	127	
	S.BAREILLY	-	19	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	106	
	S.MBANDAKA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	32	
	S.VIRCHOW	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	29	
	S.TENNESSEE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	24	
	S.ISANGI	-	-	-	6	-	-	-	-	-	2	1	-	13	
	S.POTS DAM	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	13	
	S.LIVINGSTONE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	
	S.OHIO	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	
	S.ORANIENBURG	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	
	S.OTHMARSCHEN	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	3	
	S.DJUGU	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	
	S.IRUMU	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	S.SINGAPORE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	
	S.MIKAWASIMA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
	S.OSLO	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
	S.RICHMOND	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
	S.BONN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	S.CONCORD	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	S.DENVER	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	S.EDINBURG	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	S.GALIEMA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	S.KISII	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	S.KIVU	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	S.MENSTON	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	S.ORITAMERIN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	S.PAPUANA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	S.RISSEN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	NOT TYPED 未同定	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	98	
	SUBTOTAL 小計	1	-	29	1	8	-	2	-	-	5	14	5	1119	

## 4-3. Continued-(4)

	011	012	021	031	041	042	051	061	071	081	091	101	111	121	131	141	142		
	北海道	札幌市	青森県	岩手県	宮城県	仙台市	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	横浜市		
<b>0群 血清型</b>																			
GROUP SEROVAR																			
08(C2-C3)	S.LITCHFIELD	3	-	-	-	-	-	-	1	-	11	1	72	7	79	3	9		
	S.BLOCKLEY	-	-	-	-	-	-	-	-	5	1	9	3	21	-	2			
	S.NEWPORT	-	2	-	-	-	-	-	-	2	-	21	2	16	5	-	1		
	S.MUENCHEN	1	-	-	-	-	-	-	-	-	13	2	5	-	1				
	S.MANHATTAN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5	3	1	-	-			
	S.KENTUCKY	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	13	-	2			
	S.BOVISMORBIFICANS	-	2	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	2	-	-			
	S.HADAR	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	4	-	2			
	S.KOTTBUS	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-			
	S.EMEK	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-			
	S.CHINCOL	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-			
	S.LINDENBURG	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-			
	S.NARASHINO	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-			
	S.CHAILEY	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-			
	S.MANCHESTER	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-			
	S.NAGOYA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	NOT TYPED 未同定	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	8	-	-			
	SUBTOTAL 小計	4	6	-	-	-	-	-	1	1	23	3	131	21	154	3	15		
09(D1)	S.ENTERITIDIS	1	-	-	-	-	-	-	-	2	1	13	1	19	-	1			
	S.TYPHI	4	-	-	2	3	1	1	2	1	1	-	1	6	9	2	1		
	S.PANAMA	1	9	-	-	-	-	-	-	1	3	-	8	6	18	1	2		
	S.MIYAZAKI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	S.BLEGDAM	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	S.EASTBOURNE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	5	-	-			
	S.JAVIANA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-			
	S.DUBLIN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-			
	NOT TYPED 未同定	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-			
	SUBTOTAL 小計	6	9	-	2	4	1	1	2	1	2	6	3	23	13	52	4	4	
09,46(D2)	S.BAILDON	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-		
	SUBTOTAL 小計	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-		
03,10(E1)	S.ANATUM	-	-	-	-	-	-	-	1	7	3	18	6	27	1	1			
	S.WELTEVREDEN	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	7	1	13	-	1			
	S.LONDON	-	2	-	-	-	-	-	-	2	-	5	1	15	-	1			
	S.GIVE	-	-	-	-	-	-	-	-	4	1	2	1	3	-	-			
	S.LEXINGTON	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	5	-	-			
	S.MELEAGRIDIS	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	?	-	4	-	-			
	S.AMSTERDAM	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	2	-	-			
	S.ORION	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-			
	S.MUENSTER	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-			
	S.AMAGER	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-			
	S.II 3,10:G:M,S,T:-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-			
	S.ZANZIBAR	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-		
	NOT TYPED 未同定	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	3	-	-			
	SUBTOTAL 小計	-	5	-	-	-	-	-	-	1	14	4	41	10	78	1	3		
01,3,19(E4)	S.SENFTENBERG	-	2	-	-	-	-	-	-	1	-	2	2	13	-	1			
	S.KREFELD	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	3	-	-			
	S.LIVERPOOL	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-		
	NOT TYPED 未同定	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-		
	SUBTOTAL 小計	-	3	-	-	-	-	-	-	1	-	5	3	16	-	1			
011(F)	S.ABERDEEN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-		
	S.NYANZA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-			
	SUBTOTAL 小計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-		
013(G)	S.HAVANA	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	6	-	5	-	-	-		
	S.WORTHINGTON	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-		
	S.POONA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-		
	S.CHAGOUA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	S.MIM	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-		
	S.TANGER	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-		
	NOT TYPED 未同定	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	1	-	-	-	-		
	SUBTOTAL 小計	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	9	2	7	1	-	-		

## 4-3. Continued-(5)

	143	144	151	152	161	171	181	201	211	212	221	222	231	232	241	251	261	
	川 崎 市	横 須 賀 市	新 潟 県	新 潟 市	富 山 県	石 川 県	福 井 県	長 野 県	岐 阜 県	岐 阜 市	静 岡 県	静 岡 市	愛 知 県	愛 知 市	名 古 屋 市	三 重 県	滋 賀 県	京 都 府
<b>0群 血清型</b>																		
GROUP	SEROVAR																	
08(C2-C3)	S.LITCHFIELD	1	1	2	1	5	2	-	33	14	-	23	1	38	1	2	16	-
	S.BLOCKLEY	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	4	-	
	S.NEWPORT	1	-	-	-	-	-	-	2	1	-	1	-	3	-	-	-	
	S.MUENCHEN	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	1	-	-	3	-	
	S.MANHATTAN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	
	S.KENTUCKY	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S.BOVISMORBIFICANS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S.HADAR	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S.KOTTBUS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S.EMEK	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	
	S.CHINCOL	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S.LINDENBURG	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S.NARASHINO	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S.CHAILEY	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S.MANCHESTER	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S.NAGOYA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	NOT TYPED 未同定	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
	SUBTOTAL 小計	7	2	4	1	6	2	-	35	16	-	30	1	43	1	2	23	-
09(D1)	S.ENTERITIDIS	1	-	1	-	1	3	-	3	2	-	9	-	69	-	-	3	-
	S.TYPHI	-	1	-	1	3	6	-	5	2	-	9	-	5	-	3	1	2
	S.PANAMA	-	1	-	-	-	1	-	-	1	-	3	-	3	-	-	-	-
	S.MIYAZAKI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.BLEGDAM	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.EASTBOURNE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.JAVIANA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.DUBLIN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	NOT TYPED 未同定	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	SUBTOTAL 小計	1	2	1	1	4	10	-	8	10	-	21	-	77	-	4	4	2
09,46(D2)	S.BAILDON	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	SUBTOTAL 小計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
03,10(E1)	S.ANATUM	2	-	-	-	-	-	-	2	1	-	1	-	-	-	-	-	-
	S.WELTEVREDEN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	S.LONDON	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	S.GIVE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	S.LEXINGTON	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.MELEAGRIDIS	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.AMSTERDAM	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.ORION	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.MUENSTER	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.AMAGER	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.II 3:10:G:M,S,T:-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.ZANZIBAR	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	NOT TYPED 未同定	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	SUBTOTAL 小計	7	2	-	1	-	-	-	3	1	-	2	-	1	-	-	1	-
01,3,19(E4)	S.SENFTENBERG	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	1	-	2	-	-	1	-
	S.KREFELD	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.LIVERPOOL	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	NOT TYPED 未同定	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	SUBTOTAL 小計	-	2	1	1	-	-	-	2	-	-	1	-	2	-	1	1	-
011(F)	S.ABERDEEN	-	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.NYANZA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	SUBTOTAL 小計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
013(G)	S.HAVANA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	S.WORTHINGTON	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	S.POONA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.CHAGOUA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.MIM	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.TANGER	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	NOT TYPED 未同定	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	SUBTOTAL 小計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	1	-

4-3. Continued-(6)

## 4-3. Continued-(7)

GROUP	血清型 SEROVAR	都道府県別													TOTAL
		香川県	愛媛県	高知県	徳島県	福岡県	北九州市	佐賀県	長崎県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	合計	
08(C2-C3)	S.LITCHFIELD	-	-	3	-	32	-	1	-	-	2	1	-	444	
	S.BLOCKLEY	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	16	-	82	
	S.NEWPORT	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	60	
	S.MUENCHEN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	37	
	S.MANHATTAN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	27	
	S.KENTUCKY	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	23	
	S.BOVISMORBIFICANS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	
	S.HADAR	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	
	S.KOTTBUS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	
	S.EMEK	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	
	S.CHINCOL	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	
	S.LINDENBURG	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
	S.NARASHINO	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
	S.CHAILEY	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	S.MANCHESTER	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	S.NAGOYA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	NOT TYPED 未同定	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	36	
	SUBTOTAL 小計	-	-	4	-	33	-	1	-	-	3	21	-	745	
09(D1)	S.ENTERITIDIS	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	2	-	179	
	S.TYPHI	1	4	-	1	2	4	-	2	1	-	-	1	109	
	S.PANAMA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	61	
	S.MIYAZAKI	-	-	-	-	-	-	10	-	-	1	-	-	11	
	S.BLEGDAM	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	
	S.EASTBOURNE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	
	S.JAVIANA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
	S.DUBLIN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	NOT TYPED 未同定	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	8	
	SUBTOTAL 小計	1	4	3	1	2	4	10	2	1	1	3	2	383	
09,46(D2)	S.BAILDON	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	SUBTOTAL 小計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
03,10(E1)	S.ANATUM	-	1	-	-	3	-	-	-	-	1	3	-	86	
	S.WELTEVREDEN	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	29	-	55	
	S.LONDON	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	36	
	S.GIVE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	
	S.LEXINGTON	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	
	S.MELEAGRIDIS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	
	S.AMSTERDAM	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	
	S.ORION	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	
	S.MUENSTER	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
	S.AMAGER	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	S.II 3:10:G:M,S,T:-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	S.ZANZIBAR	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	NOT TYPED 未同定	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	9	
	SUBTOTAL 小計	-	1	-	-	4	-	-	-	-	1	32	1	234	
01,3,19(E4)	S.SENFTENBERG	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	35	
	S.KREFELD	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	-	11	
	S.LIVERPOOL	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	NOT TYPED 未同定	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	
	SUBTOTAL 小計	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	3	-	51	
011(F)	S.ABERDEEN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	S.NYANZA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	SUBTOTAL 小計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
013(G)	S.HAVANA	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	4	-	19	
	S.WORTHINGTON	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	5	
	S.POONA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	?	-	-	3	
	S.CHAGOUA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	S.MIM	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	S.TANGER	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	NOT TYPED 未同定	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	
	SUBTOTAL 小計	-	-	1	-	1	-	-	-	-	1	6	-	38	

## 4-3. Continued-(8)

011	012	021	031	041	042	051	061	071	081	091	101	111	121	131	141	142
北 海 道	札 幌	青 森	岩 手	宮 城	仙 台	秋 田	山 形	福 島	茨 城	栃 木	群 馬	埼 玉	千 葉	東 京	神 奈 川	横 浜 市
市	県	県	県	市	县	县	县	县	县	县	县	县	县	都	县	县

O群	血清型																	
GROUP	SEROVAR																	
016(I)	S.HVITTINGFOSS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-		
	S.NOTTINGHAM	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-		
	S.WESTON	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-		
	NOT TYPED 未同定	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-		
	SUBTOTAL 小計	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	3	-	3	-	-		
018(K)	S.CERRO	-	1	-	-	-	-	-	-	2	-	12	3	14	-	-		
	NOT TYPED 未同定	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	SUBTOTAL 小計	-	1	-	-	-	-	-	-	2	-	12	3	14	-	-		
021(L)	S.MINNESOTA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	SUBTOTAL 小計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
035(O)	S.ADELAIDE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-		
	S.ALACHUA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-		
	NOT TYPED 未同定	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	SUBTOTAL 小計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	1		
039(Q)	S.CHAMPAIGN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-		
	NOT TYPED 未同定	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	SUBTOTAL 小計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-		
040(R)	S.JOHANNESBURG	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-		
	SUBTOTAL 小計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
UNKNOWN	群不明	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-		
	SUBTOTAL 小計	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-		
	TOTAL 台計	52	39	5	17	26	27	10	8	6	19	190	33	583	133	832	82	105

## 4-3. Continued-(9)

	143	144	151	152	161	171	181	201	211	212	221	222	231	232	241	251	261	
	川 崎 市	横 須 賀 市	新 潟 県	新 潟 市	富 山 県	富 山 市	石 川 県	石 川 市	福 井 県	福 井 市	長 野 県	長 野 市	岐 阜 県	岐 阜 市	静 岡 県	静 岡 市	愛 知 県	愛 知 市
0群 GROUP	京都府 滋賀県 三重県 奈良県 和歌山县 大阪府 兵库県 京都府 滋賀県 三重県 爱知县 名古屋市																	
SEROVAR																		
016(I)	S.HVITTINGFOSS	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.NOTTINGHAM	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.WESTON	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	NOT TYPED 未同定	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	SUBTOTAL 小計	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
018(K)	S.CERRO	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-
	NOT TYPED 未同定	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	SUBTOTAL 小計	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	3	-	1	-	-	-
021(L)	S.MINNESOTA	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	SUBTOTAL 小計	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
035(O)	S.ADELAIDE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.ALACHUA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	NOT TYPED 未同定	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	SUBTOTAL 小計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
039(Q)	S.CHAMPAIGN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	NOT TYPED 未同定	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	SUBTOTAL 小計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
040(R)	S.JOHANNESBURG	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	SUBTOTAL 小計	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
UNKNOWN	群不明	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	1	1	-	-	-	1	-
	SUBTOTAL 小計	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	1	1	-	-	-	1	-
	TOTAL 合計	48	14	44	24	32	25	18	156	70	1	152	6	263	11	15	101	10

## 4-3. Continued-(10)

	262	271	272	273	281	282	283	284	291	301	302	311	321	331	342	351	361		
	京都 都 市	大阪 府 市	大 阪 市	堺 市	兵 庫 縣	神 戶 市	姬 路 市	尼 崎 市	奈 良 縣	和 歌 山 縣	和 歌 山 縣	鳥 取 縣	鳥 取 縣	島 根 縣	島 根 縣	岡 山 縣	廣 島 縣	山 口 縣	德 島 縣
<b>O群 血清型</b>																			
<b>GROUP SEROVAR</b>																			
016(I)	S.HVITTINGFOSS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.NOTTINGHAM	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.WESTON	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	NOT TYPED 未同定	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	SUBTOTAL 小計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
018(K)	S.CERRO	-	6	3	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	NOT TYPED 未同定	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	SUBTOTAL 小計	-	6	3	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
021(L)	S.MINNESOTA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	SUBTOTAL 小計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
035(O)	S.ADELAIDE	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.ALACHUA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	NOT TYPED 未同定	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	SUBTOTAL 小計	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
039(Q)	S.CHAMPAIGN	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	NOT TYPED 未同定	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	SUBTOTAL 小計	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
040(R)	S.JOHANNESBURG	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	SUBTOTAL 小計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
UNKNOWN	群不明	-	1	2	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	SUBTOTAL	-	1	2	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	TOTAL 合計	3	305	33	43	4	83	28	8	13	8	6	14	69	1	27	27	34	

## 4-3. Continued-(11)

	371	381	391	401	402	403	411	421	441	451	461	471	TOTAL
	香 川 県	愛 媛 県	高 知 県	福 岡 県	福 岡 市	北 九 州 市	佐 賀 県	長 崎 県	大 分 県	宮 崎 県	鹿 児 島 県	沖 縄 県	合 計
<b>0群 血清型</b>													
GROUP SEROVAR													
016(I) S.HVITTINGFOSS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
S.NOTTINGHAM	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
S.WESTON	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
NOT TYPED 未同定	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
SUBTOTAL 小計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
018(K) S.CERRO	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	51
NOT TYPED 未同定	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
SUBTOTAL 小計	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	52
021(L) S.MINNESOTA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
SUBTOTAL 小計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
035(O) S.ADELAIDE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
S.ALACHUA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
NOT TYPED 未同定	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
SUBTOTAL	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
039(Q) S.CHAMPAIGN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
NOT TYPED 未同定	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
SUBTOTAL 小計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
040(R) S.JOHANNESBURG	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
SUBTOTAL 小計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
UNKNOWN 痛不分明	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1	25
SUBTOTAL 小計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1	25
TOTAL 合計	32	11	63	5	58	4	25	2	2	33	104	10	4212

## 4-4. 嘲告機関別集計、由来ヒト（医療機関）

4-4. *Salmonella* serovars from humans, by participating laboratory, 1984

General clinical institutions (Refer to code map in page 93~95)

012 021 051 091 101 111 121 131 151 161 171 181 191 231 232 241 251

 札幌市  
 青森県  
 秋田県  
 檜木郡  
 群馬県  
 埼玉県  
 千葉県  
 東京都  
 新潟県  
 富山県  
 石川県  
 福井県  
 山梨県  
 愛知県  
 名古屋市  
 三重県  
 滋賀県

O群 GROUP	血清型 SEROVAR	012	021	051	091	101	111	121	131	151	161	171	181	191	231	232	241	251
02(A)	S.PARATYPHI A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
	SUBTOTAL 小計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
04(B)	S.TYPHIMURIUM	60	-	-	10	-	4	-	-	21	13	3	13	2	30	9	-	14
	S.PARATYPHI B	4	1	1	1	2	1	-	3	2	15	4	8	-	30	10	4	8
	S.AGONA	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	2	-	1
	S.SAINTPAUL	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.STANLEY	1	-	-	-	-	-	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	1
	S.HEIDELBERG	2	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
	S.DERBY	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.BREDENBECK	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.III [SOFIA]	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	S.SCHWARZENGRUND	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.HAIFA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.KINGSTON	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	S.KUNDUCHI	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.SCHLEISHEIM	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	NOT TYPED 未同定	-	10	6	-	22	22	9	-	12	13	56	-	-	28	-	-	-
	SUBTOTAL 小計	68	11	7	11	24	28	9	3	39	44	63	21	2	89	24	4	24
07(C1)	S-INFANTIS	1	-	-	1	-	-	-	-	3	3	2	-	10	1	-	1	-
	S.MONTEVIDEO	3	-	-	-	-	-	-	-	18	-	-	-	-	-	1	-	-
	S.BRAENDERUP	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	6	1	-
	S.THOMPSON	1	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	3	-	-
	S.BAREILLY	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	6	-	-	-
	S.MBANDAKA	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.ORANIENBURG	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-
	S.VIRCHOW	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-
	S.IRUMU	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.NORTON	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.OHIO	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.BONN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.CHOLERAESUIS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.CONCORD	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	S.LOMITA	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.TENNESSEE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	NOT TYPED 未同定	-	5	6	-	9	4	7	1	5	15	16	5	-	13	-	-	-
	SUBTOTAL 小計	8	5	6	1	9	5	7	1	6	39	19	7	-	40	12	1	1
08(C2-C3)	S.LITCHFIELD	5	-	-	1	-	-	-	-	4	6	3	-	1	37	11	2	7
	S.MUENCHEN	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	1	-	-	1
	S.MANHATTAN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.NEWPORT	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.BLOCKLEY	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
	S.BOVISMORBIFICANS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	S.MANCHESTER	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	S.NAGOYA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.NARASHINO	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	NOT TYPED 未同定	-	2	-	-	5	10	-	1	1	2	21	-	-	17	-	-	-
	SUBTOTAL 小計	6	2	-	1	5	10	-	1	5	11	24	-	1	55	13	2	9
09(D1)	S.ENTERITIDIS	4	-	-	-	-	-	-	-	5	3	4	-	-	20	7	-	2
	S.TYphi	2	-	-	-	-	-	-	-	1	6	2	-	-	1	3	5	1
	S.PANAMA	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.BOURNEMOUTH	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	S.JAVIANA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.ONARIMON	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	NOT TYPED 未同定	-	-	-	-	5	-	-	1	2	11	-	-	-	16	-	-	-
	SUBTOTAL 小計	6	-	-	-	5	1	-	-	7	11	17	-	1	40	12	1	2
09,46(D2)	NOT TYPED 未同定	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	SUBTOTAL 小計	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

## 4-4. Continued-(1)

		271	273	281	282	301	321	331	341	351	371	411	421	431	471	TOTAL	
GROUP	O群	大	堺	兵	神	和	島	岡	広	山	香	佐	長	崎	熊	沖	合
		阪	市	庫	戸	根	県	山	島	川	川	賀	県	本	福	県	計
02(A)	SEROVAR	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	2		
04(B)	S.PARATYPHI A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	393	
	SUBTOTAL 小計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	2		
04(B)	S.TYPHIMURIUM	5	15	1	-	-	20	16	75	-	60	-	22	-	-	393	
	S.PARATYPHI B	-	3	4	-	1	3	-	40	-	3	2	4	-	1	155	
	S.AGONA	-	1	-	-	-	1	-	3	-	3	-	1	-	-	14	
	S.SAINTPAUL	-	2	-	-	-	-	-	2	-	1	-	1	-	-	8	
	S.STANLEY	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	7	
	S.HEIDELBERG	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	5	
	S.DERBY	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	3	
	S.BREDENY	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	2	
	S.II [SOFIA]	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
	S.SCHWARZENGRUND	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	2	
	S.HAIFA	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	
	S.KINGSTON	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	S.KUNDUCHI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	S.SCHLEISHEIM	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	
	NOT TYPED 未同定	3	-	-	23	10	-	10	1	19	-	9	5	26	43	327	
	SUBTOTAL 小計	8	21	5	23	11	25	27	126	19	70	11	35	26	44	922	
07(C1)	S-INFANTIS	-	1	-	-	-	-	7	16	-	8	-	3	-	-	57	
	S-MONTEVIDEO	-	-	-	-	-	-	-	3	-	3	-	-	-	-	28	
	S-BRAENDERUP	-	1	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-	19	
	S.THOMPSON	-	-	-	-	-	-	1	2	6	-	2	-	1	-	18	
	S-BAREILLY	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	9	
	S-MBANDAKA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	
	S.ORANIENBURG	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3	
	S.VIRCHOW	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	
	S.IRUMU	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	2	
	S.NORTON	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
	S.OHIO	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	2	
	S.BONN	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	
	S.CHOLERAESUIS	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	
	S.CONCORD	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	S.LOMITA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	S.TENNESSEE	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	
	NOT TYPED 未同定	-	-	-	7	1	-	2	-	4	-	2	1	1	20	124	
	SUBTOTAL 小計	2	3	-	7	1	2	12	32	4	16	2	7	1	20	276	
08(C2-C3)	S.LITCHFIELD	2	1	1	-	-	1	5	25	-	8	-	3	-	-	123	
	S.MUENCHEN	1	2	-	-	-	-	-	4	1	-	-	-	-	-	12	
	S.MANHATTAN	-	-	-	-	-	1	6	-	-	1	-	-	-	-	8	
	S.NEWPORT	-	-	-	-	-	5	-	1	-	-	-	-	-	-	7	
	S.BLOCKLEY	-	-	-	-	-	-	1	-	-	2	-	-	-	-	5	
	S.BOVISMORBIFICANS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	S.MANCHESTER	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	S.NAGOYA	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	
	S.NARASHINO	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	
	NOT TYPED 未同定	1	-	-	3	1	-	6	-	6	-	1	-	6	6	89	
	SUBTOTAL 小計	4	3	1	3	1	7	22	29	6	11	1	3	6	6	248	
09(D1)	S.ENTERITIS	-	3	-	-	-	-	8	22	-	-	-	-	-	-	78	
	S.TYPHI	-	-	5	1	-	3	3	5	-	9	-	7	6	-	60	
	S.PANAMA	-	-	-	-	-	-	-	8	-	1	-	-	-	-	10	
	S.BOURNEMOUTH	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	
	S.JAVIANA	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	
	S.ONARIMON	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	NOT TYPED 未同定	-	-	-	2	1	-	3	-	3	-	7	-	4	10	65	
	SUBTOTAL 小計	-	3	5	3	1	4	15	35	3	10	7	7	10	10	216	
09,46(D2)	NOT TYPED 未同定	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	SUBTOTAL 小計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	

## 4-4. Continued-(2)

	012	021	051	091	101	111	121	131	151	161	171	181	191	231	232	241	251
	札 幌 市	青 森 県	秋 田 県	柄 木 県	群 馬 県	埼 玉 県	千 葉 県	東 京 都	新 潟 県	富 山 県	石 川 県	福 井 県	山 梨 県	愛 知 県	名 古 屋 市	三 重 県	滋 賀 県
<b>O群 血清型</b>																	
GROUP SEROVAR																	
03,10(E1)	S.ANATUM	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.LONDON	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	NOT TYPED 未同定	-	1	-	-	4	-	1	-	1	-	-	-	1	-	-	-
	SUBTOTAL 小計	-	1	-	-	4	-	1	-	1	-	-	-	1	-	-	-
01,3,19(E4)	S.SENFTENBERG	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	NOT TYPED 未同定	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-
	SUBTOTAL 小計	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	1	-	-	-
011(F)	S.ABERDEEN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	SUBTOTAL 小計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
013(G)	S.HAVANA	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.POONA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	NOT TYPED 未同定	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	SUBTOTAL 小計	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
06,14(H)	S.NOJAMENA	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	SUBTOTAL 小計	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
018(K)	S.CERRO	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	NOT TYPED 未同定	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	SUBTOTAL 小計	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
039(Q)	S.CHAMPAIGN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	SUBTOTAL 小計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
040(R)	S.JOHANNESBURG	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	SUBTOTAL 小計	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
UNKNOWN	群不明	1	6	-	-	5	-	-	-	-	-	1	-	-	4	-	-
	SUBTOTAL 小計	1	6	-	-	5	-	-	-	-	-	1	-	-	4	-	-
	TOTAL 合計	94	25	13	14	53	44	18	5	60	105	124	28	4	231	62	8
																	36

## 4-4. Continued-(3)

	271	273	281	282	301	321	331	341	351	371	411	421	431	471	TOTAL
	大	堺	兵	神	和	島	岡	広	山	香	佐	長	熊	沖	合
	阪	府	市	廈	市	根	山	山	島	川	賀	崎	本	繩	計
Q群 GROUP	血清型 SEROVAR														
03,10(E1)	S.ANATUM	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1
	S.LONDON	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1
	NOT TYPED 未同定	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9 17
	SUBTOTAL 小計	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	9	19
01,3,19(E4)	S.SENFTENBERG	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	NOT TYPED 未同定	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
	SUBTOTAL 小計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
011(F)	S.ABERDEEN	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1
	SUBTOTAL 小計	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1
013(G)	S.HAVANA	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	2
	S.POONA	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	2
	NOT TYPED 未同定	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	1	4
	SUBTOTAL 小計	-	1	-	-	-	-	4	-	-	-	1	-	-	8
06,14(H)	S.NDJAMENA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	SUBTOTAL 小計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
018(K)	S.CERRO	-	-	1	-	-	-	6	1	-	-	-	-	-	8
	NOT TYPED 未同定	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	2	
	SUBTOTAL 小計	-	-	1	1	-	-	6	1	-	-	-	1	-	10
039(Q)	S.CHAMPAIGN	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1
	SUBTOTAL 小計	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1
040(R)	S.JOHANNESBURG	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
	SUBTOTAL 小計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
UNKNOWN	群不明	-	-	-	1	1	-	8	-	-	-	1	-	15	43
	SUBTOTAL 小計	-	-	-	1	1	-	8	-	-	-	1	-	15	43
	TOTAL 合計	14	31	12	38	15	38	91	229	32	107	21	55	45	104 1756

## 4-5. 報告機関別集計、由来動物（地研・保健所）

4-5. *Salmonella* serovars from animal, by participating laboratory, 1984  
 Prefectural and municipal public health institutes and health centers  
 (Refer to code map in page 93~95)

O群 GROUP	血清型 SEROVAR	TOTAL							
		群 県	富 山 県	長 野 県	静 岡 県	香 川 県	福 岡 市	鹿 児 島 県	合 計
		101	161	201	221	371	402	461	
04(B)	S.TYPHIMURIUM	4	-	1	6	2	-	-	13
	S.AGONA	-	-	2	-	-	-	-	2
	S.PARATYPHI B	-	-	-	-	-	1	-	1
	S.SAINTPAUL	1	-	-	-	-	-	-	1
	S.SCHWARZENGRUND	-	-	-	-	1	-	-	1
	SUBTOTAL 小計	5	-	3	6	3	1	-	18
07(C1)	S.INFANTIS	-	7	1	2	1	-	-	11
	S.THOMPSON	-	-	-	4	-	-	1	5
	S.EDINBURG	-	-	-	-	2	-	-	2
	S.ISANGI	-	-	2	-	-	-	-	2
	S.LIVINGSTONE	-	-	-	2	-	-	-	2
	S.MBANDAKA	-	-	2	-	-	-	-	2
	S.OHIO	-	-	-	-	2	-	-	2
	SUBTOTAL 小計	-	7	5	8	5	-	1	26
08(C2-C3)	S.MANHATTAN	-	-	1	-	-	-	-	1
	S.NAGOYA	1	-	-	-	-	-	-	1
	SUBTOTAL 小計	1	-	1	-	-	-	-	2
03,10(E1)	S.MELEAGRISDIS	-	-	-	12	-	-	-	12
	S.ANATUM	4	-	3	-	-	-	-	7
	S.LONDON	1	-	1	-	-	-	-	2
	SUBTOTAL 小計	5	-	4	12	-	-	-	21
013(G)	S.WORTHINGTON	-	13	-	-	-	-	-	13
	SUBTOTAL 小計	-	13	-	-	-	-	-	13
018(K)	S.CERRO	-	6	-	-	-	-	-	6
	SUBTOTAL 小計	-	6	-	-	-	-	-	6
	TOTAL 合計	11	26	13	26	8	1	1	86

## 4-6. 報告機関別集計、由来食品（地研・保健所）

4-6. *Salmonella* serovars from food, by participating laboratory, 1984

Prefectural and municipal public health institutes and health centers

(Refer to code map in page 93~95)

012 031 042 051 111 121 142 151 152 161 171 201 211 221 222 232 281

札幌市 岩手県 仙台市 秋田県 埼玉県 千葉県 横浜市 新潟市 富山県 石川県 長野県 岐阜県 静岡県 静岡市 爽知県 兵庫県

O群 GROUP	血清型 SEROVAR	012	031	042	051	111	121	142	151	152	161	171	201	211	221	222	232	281
04(B)	S.TYPHIMURIUM	-	-	-	2	-	-	9	4	1	2	-	1	-	-	2	1	-
	S.II [SOFIA]	-	-	-	-	-	-	19	-	-	-	-	2	1	-	-	1	1
	S.DERBY	-	-	-	-	6	-	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.READING	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.AGONA	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
	S.PARATYPHI B	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
	S.STANLEY	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.BREDENEY	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.CHESTER	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.SCHWARZENGRUND	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	NOT TYPED 未同定	-	5	2	1	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
	SUBTOTAL 小計	-	5	4	9	1	-	31	7	2	2	2	5	1	-	2	2	2
07(C1)	S-INFANTIS	-	-	-	8	-	1	8	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.BAREILLY	-	-	-	-	-	-	3	3	2	-	-	-	1	-	-	-	1
	S.VIRCHOW	-	-	3	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
	S.MONTEVIDEO	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.THOMPSON	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	S.BRAENDERUP	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.BRAZZAVILLE	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.ESCANABA	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.MBANDAKA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	S.OHIO	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.SANJUAN	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	NOT TYPED 未同定	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	SUBTOTAL 小計	-	8	-	11	2	1	16	5	3	1	-	1	-	2	-	1	-
08(C2-C3)	S.LITCHFIELD	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	S.MANHATTAN	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.MUENCHEN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.BLOCKLEY	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.NEWPORT	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	NOT TYPED 未同定	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	SUBTOTAL 小計	-	1	-	-	-	-	4	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-
09(D1)	S.PANAMA	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	SUBTOTAL 小計	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
03,10(E1)	S.LONDON	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.WELTEVREDEN	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.ANATUM	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.GIVE	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.ORION	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	NOT TYPED 未同定	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	SUBTOTAL 小計	1	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
01,3,19(E4)	S.KREFELD	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.LIVERPOOL	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	SUBTOTAL 小計	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
013(G)	S.WORTHINGTON	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	SUBTOTAL 小計	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
040(R)	S.JOHANNESBURG	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	SUBTOTAL 小計	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
UNKNOWN	群不明	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	SUBTOTAL 小計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	TOTAL 合計	1	14	4	25	6	1	51	13	5	3	2	7	2	2	2	3	2

## 4-6. Continued

O群 GROUP	血清型 SEROVAR	TOTAL									
		奈 良 県	島 根 県	福 岡 市	長 崎 县	熊 本 市	大 分 县	鹿 兒 島 县	沖 縄 县	合 计	
04(B)	S.TYPHIMURIUM	-	21	8	-	3	-	-	-	54	
	S.II [SOFIA]	1	20	-	-	-	2	-	-	47	
	S.DERBY	-	15	1	-	-	-	-	-	26	
	S.READING	-	10	-	-	-	-	-	-	10	
	S.AGONA	-	2	-	-	-	1	-	-	6	
	S.PARATYPHI B	-	1	-	-	-	-	-	-	5	
	S.STANLEY	-	1	-	-	-	-	-	-	2	
	S.BREDENHEY	-	1	-	-	-	-	-	-	1	
	S.CHESTER	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	S.SCHWARZENGROUND	-	-	1	-	-	-	-	-	1	
	NOT TYPED 未同定	-	3	-	1	-	-	-	-	14	
	SUBTOTAL 小計	1	74	10	1	3	3	-	-	167	
07(C1)	S.INFANTIS	-	10	-	-	-	-	-	-	28	
	S.BAREILLY	-	-	1	-	-	-	-	-	9	
	S.VIRCHOW	-	-	-	-	-	-	-	-	5	
	S.MONTEVIDEO	-	-	-	-	-	-	-	-	3	
	S.THOMPSON	-	-	-	-	-	-	-	-	3	
	S.BRAENDERUP	-	-	1	-	-	-	-	-	2	
	S.BRAZZAVILLE	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	S.ESCANABA	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	S.MBANDAKA	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	S.OHIO	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	S.SANJUAN	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	NOT TYPED 未同定	-	-	-	-	-	-	-	-	1	9
	SUBTOTAL 小計	-	10	2	-	-	-	-	-	1	64
08(C2-C3)	S.LITCHFIELD	-	3	-	-	-	-	-	-	4	
	S.MANHATTAN	-	-	-	-	-	-	-	-	4	
	S.MUENCHEN	-	3	-	-	-	-	-	-	3	
	S.BLOCKLEY	-	-	1	-	-	-	-	-	1	
	S.NEWPORT	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	NOT TYPED 未同定	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	SUBTOTAL 小計	-	6	1	-	-	-	-	-	14	
09(D1)	S.PANAMA	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
	SUBTOTAL 小計	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
03,10(E1)	S.LONDON	-	13	-	-	-	-	-	-	13	
	S.WELTEVREDEN	-	-	-	-	-	4	-	-	5	
	S.ANATUM	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	S.GIVE	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	S.ORION	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	NOT TYPED 未同定	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
	SUBTOTAL 小計	-	13	-	-	-	4	1	22		
01,3,19(E4)	S.KREFELD	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	S.LIVERPOOL	-	1	-	-	-	-	-	-	1	
	SUBTOTAL 小計	-	1	-	-	-	-	-	-	2	
013(G)	S.WORTHINGTON	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	SUBTOTAL 小計	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
04D(R)	S.JOHANNESBURG	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	SUBTOTAL 小計	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
UNKNOWN	群不明	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	SUBTOTAL 小計	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	TOTAL 合計	1	104	13	1	3	3	4	2	274	

## 4-7. 紙告機関別集計、由来環境(地所・保健所)

4-7. *Salmonella* serovars from environment, by participating laboratory, 1984

Prefectural and municipal public health institutes and health centers

(Refer to code map in page 93~95)

	011	012	021	042	051	071	091	111	142	143	152	161	171	201	221	232	272
	北 海 道	札 幌	青 森	仙 台	秋 田	福 島	福 島	新 潟	横 濱	埼 玉	新 潟	富 山	石 川	長 野	諏 岡	名 古 屋	大 阪
	市	市	県	市	县	县	县	市	市	县	市	县	县	县	市	市	

## O群 血清型

## GROUP SEROVAR

04(B)	S.TYPHIMURIUM	-	29	2	-	25	5	-	17	15	16	7	12	2	-	1	26	4
	S.PARATYPHI B	-	19	-	-	10	3	-	7	8	1	30	16	1	-	29	1	
	S.AGONA	1	10	-	-	1	-	-	9	8	12	6	4	-	2	1	24	2
	S.DERBY	-	2	-	-	1	-	-	5	2	1	14	-	-	1	-	2	-
	S.SCHWARZENGRUND	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	4	-	
	S.SAINTPAUL	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
	S.HEIDELBERG	1	9	-	-	1	-	-	3	4	2	2	-	-	-	1	-	2
	S.II [SOFIA]	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	4	-
	S.STANLEY	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-
	S.CHESTER	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	
	S.BREDENEY	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	1	-
	S.KIAMBU	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
	S.READING	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
	S.KISANGANI	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
	S.SANDIEGO	-	2	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S.BANANA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S.HAIFA	-	-	-	-	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S.ALBERT	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S.BRADFORD	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S.MASSENYA	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
	S.BRANDENBURG	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
	S.FYRIS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
	S.HATO	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
	S.II [CALEDON]	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	S.INDIANA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S.ITURI	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S.KAAPSTAD	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	SLAGOS	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
	S.LIMETE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	S.SHUBRA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S.WAGENIA	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
	S.WIEN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
	NOT TYPED 未同定	-	2	-	79	9	-	2	3	-	-	-	-	-	3	1	-	
	SUBTOTAL 小計	2	77	2	79	59	8	-	47	45	37	58	32	3	5	2	103	11
07(C1)	S-INFANTIS	-	13	-	-	12	1	-	5	5	26	1	2	-	2	26	-	
	S-BRAENDERUP	-	4	-	-	-	-	-	2	4	-	1	2	-	1	-	1	-
	S-THOMPSON	-	12	-	-	1	1	1	9	6	7	-	-	2	-	8	2	
	S-MONTEVIDEO	-	12	-	-	2	-	-	3	4	13	1	8	-	-	3	1	
	S-TENNESSEE	-	6	-	-	-	-	-	2	-	14	-	-	1	1	5	-	
	S-BAREILLY	-	-	-	-	7	1	-	7	2	8	1	7	1	5	-	12	-
	S-ORANJENBURG	-	9	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	1	-
	S-VIRCHOW	1	5	-	-	6	-	-	3	1	2	3	-	-	-	-	-	
	S-MBANDAKA	-	3	-	-	6	-	-	5	1	3	-	-	-	-	-	-	
	S-DJUGU	-	-	-	-	7	-	-	1	1	1	2	-	-	-	-	-	
	S-LIVINGSTONE	-	2	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-	-	-	1	-
	S-ISANGI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
	S-POTSDAM	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
	S-OHIO	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	
	S-OSLO	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S-GALIEMA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	
	S-HARTFORD	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S-RICHMOND	-	-	-	-	3	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
	S-ORITAMERTIN	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S-INGANDA	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S-MENSTON	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	
	S-MIKAWASIMA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	
	S-ATHINAI	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S-CONCORD	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-
	S-LONITA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	
	S-MENDEN	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S-OTHMARSCHEN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
	S-AFULA	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S-ALAMO	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S-AUGUSTENBOR	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
	S-COLINDALE	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S-ESCANABA	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S-GEORGIA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S-NGILI	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S-NORTON	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S-PAPUA	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S-SINGAPORE	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	NOT TYPED 未同定	-	-	-	52	6	-	2	5	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	SUBTOTAL 小計	1	64	-	52	68	3	2	40	39	80	8	20	4	8	3	63	4

## 4-7. Continued-(1)

O群 GROUP	血清型 SEROVAR	273	283	284	291	311	342	361	371	381	402	411	421	432	441	461	TOTAL
		群 市	姫 路 市	尼 崎 市	奈 良 県	島 取 市	広 島 市	徳 島 市	香 川 県	愛 媛 県	福 岡 市	佐 賀 県	長 崎 市	熊 本 市	大 分 県	鹿 児 島 県	合 計
04(B)	S.TYPHIMURIUM	26	19	14	2	4	6	13	37	1	1	4	-	10	-	2	300
	S.PARATYPHI B	3	18	-	2	-	4	26	8	-	2	-	-	1	1	-	190
	S.AGONA	4	-	-	-	3	5	-	13	1	-	-	2	-	-	-	105
	S.DERBY	-	16	-	-	-	4	-	30	-	-	-	-	1	-	-	79
	S.SCHWARZENGROUND	1	1	-	-	1	-	8	13	-	-	-	-	-	-	-	30
	S.SAINTPAUL	2	-	-	-	-	2	17	3	-	-	-	-	-	-	-	29
	S.HEIDELBERG	-	-	-	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	28
	S.III [SOFIA]	4	-	-	-	1	-	-	1	19	-	-	-	-	-	-	23
	S.STANLEY	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	11
	S.CHESTER	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	8
	S.BREDENEY	1	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	6
	S.KIAMBU	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	5
	S.READING	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
	S.KISANGANI	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
	S.SANDIEGO	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
	S.BANANA	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
	S.HAIFA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
	S.ALBERT	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
	S.BRADFORD	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	2
	S.MASSENYA	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
	S.BRANDENBURG	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	S.FYRIS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	S.HATO	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	S.III [CALEDON]	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	S.INDIANA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	S.ITURI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	S.KAAPSTAD	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	SLAGOS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	S.LIMETE	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	S.SHUBRA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	S.WAGENIA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	S.WIEN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	NOT TYPED 未同定	-	8	8	-	2	2	24	-	-	-	-	-	-	-	-	143
	SUBTOTAL 小計	43	62	25	4	18	25	91	130	2	3	4	2	12	1	2	994
07(C1)	S-INFANTIS	1	19	4	-	4	24	10	46	1	-	6	-	1	-	-	209
	S.BRAENDERUP	1	28	1	-	1	6	30	-	-	1	-	-	1	-	-	85
	S.THOMPSON	2	6	-	-	6	3	9	4	3	-	-	-	1	-	1	82
	S.MONTEVIDEO	-	3	1	-	-	2	-	2	-	-	-	-	1	-	-	56
	S.TENNESSEE	-	16	-	-	2	7	-	3	-	-	-	-	-	-	-	55
	S.BAREILLY	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2	-	-	47
	S.ORANIENBURG	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	26
	S.VIRCHOW	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22
	S.MBANDAKA	2	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	19
	S.DJUGU	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
	S.LIVINGSTONE	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
	S.ISANGI	3	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
	S.POISDAM	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	8
	S.OHIO	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	7
	S.OSLO	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
	S.GALIEMA	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
	S.HARTFORD	-	2	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
	S.RICHMOND	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	5
	S.ORITAMERIN	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3
	S.INGANDA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
	S.MENSTON	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
	S.MIKAWASIMA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
	S.ATHINAI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
	S.CONCORD	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
	S.LOMITA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
	S.MENDEN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
	S.OTHMARSCHEN	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2
	S.AFULA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	S.ALAMO	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	S.AUGUSTENBORG	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	S.COLINDALE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	S.ESCANABA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	S.GEORGIA	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
	S.NGILI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	S.NORTON	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	S.PAPUANA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	S.SINGAPORE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	NOT TYPED 未同定	2	2	4	-	2	-	13	1	-	-	-	-	-	-	-	90
	SUBTOTAL 小計	13	93	10	-	18	44	63	68	4	1	6	-	8	-	1	788

## 4-7. Continued-(2)

		011	012	021	042	051	071	091	111	142	143	152	161	171	201	221	232	272
GROUP		北海道	札幌市	青森県	仙台市	秋田県	福島県	栃木県	埼玉県	横浜市	川崎市	新潟県	富山県	石川県	長野県	静岡県	名古屋市	大阪市
08(C2-C3)	SEROVAR																	
	S.LITCHFIELD	-	7	-	-	2	-	-	7	3	9	3	4	-	-	-	25	6
	S.NUENCHEN	-	2	-	-	-	1	-	5	-	15	-	-	1	-	10	8	
	S.NEWPORT	-	1	-	-	3	-	-	2	1	1	-	-	-	1	-	2	
	S.MANHATTAN	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	1
	S.BLOCKLEY	-	-	-	-	-	-	-	2	2	2	-	-	1	-	-	4	
	S.NAGOYA	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	4	
	S.CHINCOL	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S.BOVISMORBIFICANS	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	1	
	S.HADAR	-	-	-	-	3	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	
	S.KOTTBUS	-	-	-	-	3	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S.TSHIONGWE	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S.CLEVELAND	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S.KENTUCKY	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S.LOANDA	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S.NARASHINO	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-
	S.TAKORADI	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S.CHAILEY	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S.DUESSELDORF	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S.GLOSTRUP	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S.LINDENBURG	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S.MAPO	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S.PRAHA	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
	S.ZERIFIN	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	NOT TYPED 未同定	-	-	-	8	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	2	-
	SUBTOTAL 小計	-	13	-	8	27	1	-	21	10	30	6	4	1	2	-	51	17
09(D1)																		
	S.ENTERITIIDS	-	10	-	-	2	1	-	1	2	4	1	-	-	-	-	21	5
	S.TYPHI	-	-	-	15	-	-	-	7	-	-	33	1	-	-	-	-	-
	S.PANAMA	-	2	-	-	2	-	-	4	2	9	14	-	-	2	-	3	-
	S.NEWMEXICO	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S.MENDOZA	-	-	-	-	2	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
	S.BERTA	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-
	S.JAVIANA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S.SEREMBAN	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S.BLEGDAM	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
	S.BOURNEMOUTH	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S.ISRAEL	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S.JAMAICA	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S.MIYAZAKI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S.NDOLO	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	NOT TYPED 未同定	-	-	-	24	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	SUBTOTAL 小計	-	12	-	39	22	1	-	12	6	13	47	2	-	2	-	26	6
09,46(D2)																		
	S.INDIA	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.MARYLEBONE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S.BERGEDORF	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	NOT TYPED 未同定	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	SUBTOTAL 小計	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
03,10(E1)																		
	S.GIVE	-	1	-	-	1	1	-	5	1	5	-	-	1	-	-	5	-
	S.ANATUM	-	-	-	-	-	-	-	4	1	10	-	-	1	1	2	1	-
	S.LONDON	-	1	-	-	-	-	-	2	-	8	-	-	-	-	-	1	-
	S.MELEAGRIDIS	-	2	-	-	-	-	-	2	-	3	-	-	-	-	-	-	
	S.ORION	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	
	S.VEJLE	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	
	S.WESTHAMPTON	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
	S.AMAGER	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S.AMSTERDAM	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S.LEXINGTON	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S.MUENSTER	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S.NCHANGA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	
	S.NEWLANDS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S.NYORG	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	
	S.SINSTORF	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S.STORMONT	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
	S.UGHELLI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
	S.WELTEVREDEN	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S.ZANZIBAR	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	NOT TYPED 未同定	-	-	-	12	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
	SUBTOTAL 小計	-	5	-	12	5	1	-	14	6	29	2	-	1	1	1	7	2
01,3,19(E4)																		
	S.SENFTENBERG	-	4	-	-	1	-	-	5	1	6	-	-	1	-	2	1	-
	S.KREFELD	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
	S.LIVERPOOL	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	
	NOT TYPED 未同定	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-
	SUBTOTAL 小計	-	5	-	-	1	-	-	6	1	7	-	-	-	1	-	4	4

## 4-7. Continued-(3)

O群 GROUP	血清型 SEROVAR	TOTAL																	
		273 堺市	283 姫路市	284 尼崎市	291 奈良県	311 鳥取県	342 広島市	361 徳島県	371 香川県	381 愛媛県	402 福岡市	411 佐賀県	421 長崎県	432 熊本市	441 大分県	461 鹿児島県	合計		
08(C2-C3)	S.LITCHFIELD	2	18	6	-	3	-	6	28	-	2	-	-	-	-	1	132		
	S.MUENCHEN	8	15	4	-	14	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	86		
	S.NEWPORT	-	12	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	26		
	S.MANHATTAN	2	6	3	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19		
	S.BLOCKLEY	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	14		
	S.NAGOYA	2	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10		
	S.CHINCOL	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	6		
	S.BOVISMORBIFICANS	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	5		
	S.HADAR	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5		
	S.KOTTBUS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4		
	S.TSHIONGWE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3		
	S.CLEVELAND	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2		
	S.KENTUCKY	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2		
	S.LOANDA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2		
	S.NARASHINO	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2		
	S.TAKORADI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2		
	S.CHAILEY	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1		
	S.DUESSELDORF	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1		
	S.GLOSTRUP	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1		
	S.LINDENBURG	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1		
	S.MAPO	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1		
	S.PRAHA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1		
	S.ZERIFIN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1		
	NOT TYPED 未同定	-	-	1	-	2	-	3	2	-	-	-	-	-	-	-	21		
	SUBTOTAL 小計	14	51	14	-	21	5	14	37	-	2	-	-	-	-	1	348		
09(D1)	S.ENTERITIDIS	2	-	-	2	2	-	26	1	-	-	-	-	-	-	-	80		
	S.TYPHI	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	57		
	S.PANAMA	-	6	-	-	3	1	2	-	-	-	-	1	-	-	-	51		
	S.NEWMEXICO	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8		
	S.MENDOZA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4		
	S.BERTA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2		
	S.JAVIANA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2		
	S.SEREMBAN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2		
	S.BLEGDAM	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1		
	S.BOURNEMOUTH	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1		
	S.ISRAEL	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1		
	S.JAMAICA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1		
	S.MIYAZAKI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1		
	S.NDOLO	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1		
	NOT TYPED 未同定	-	-	-	-	-	30	-	2	-	-	-	-	-	-	-	56		
	SUBTOTAL 小計	2	6	-	-	2	5	31	29	3	-	1	-	3	-	-	270		
09,46(D2)	S.INDIA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2		
	S.MARYLERONE	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	2		
	S.BERGEDORF	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1		
	NOT TYPED 未同定	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2		
	SUBTOTAL 小計	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	1	-	-	-	7		
03,10(E1)	S.GIVE	3	8	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	31		
	S.ANATUM	1	-	1	-	1	1	5	-	-	-	-	-	-	-	-	29		
	S.LONDON	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	15		
	S.MELEAGRIDIS	-	-	-	-	-	-	3	1	-	-	-	-	-	-	-	11		
	S.ORION	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2		
	S.VEJLE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2		
	S.WESTHAMPTON	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2		
	S.AMAGER	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1		
	S.AMSTERDAM	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1		
	S.LEXINGTON	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1		
	S.MUENSTER	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1		
	S.NCHANGA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1		
	S.NEWLANDS	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1		
	S.NYborg	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1		
	S.SINSTORF	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1		
	S.STORMONT	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1		
	S.UGHELLI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1		
	S.WELTEVREDEN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1		
	S.ZANZIBAR	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1		
	NOT TYPED 未同定	-	-	1	-	-	1	2	-	-	-	-	1	-	-	-	19		
	SUBTOTAL 小計	4	8	3	-	2	2	9	8	-	-	-	-	1	-	-	123		
01,3,19(E4)	S.SENFTENBERG	2	10	-	-	1	3	-	9	-	-	-	-	-	-	-	46		
	S.KREFELD	-	-	-	-	-	1	13	-	-	-	-	-	-	-	-	16		
	S.LIVERPOOL	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7		
	NOT TYPED 未同定	-	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	8		
	SUBTOTAL 小計	2	10	-	-	1	8	3	24	-	-	-	-	-	-	-	77		

## 4-7. Continued-(4)

	011	012	021	042	051	071	091	111	142	143	152	161	171	201	221	232	272		
	北海道	札幌市	青森県	仙台市	秋田県	福島県	福島県	福島県	埼玉県	埼玉県	横浜市	川崎市	新潟市	富山市	石川県	長野県	静岡県	名古屋市	大阪市
<b>0群 血清型 SEROVAR</b>																			
011(F) S. ABERDEEN																			
SUBTOTAL 小計																			
013(G) S. HAVANA																			
S. POONA																			
S. WORTHINGTON																			
S. FARMSEN																			
S. II [GOJENBERG]																			
NOT TYPED 未同定																			
SUBTOTAL 小計																			
016(I) S. GAMINARA																			
S. HVITTINGFOSS																			
S. MPOOUTO																			
SUBTOTAL 小計																			
018(K) S. CERRO																			
NOT TYPED 未同定																			
SUBTOTAL 小計																			
021(L) NOT TYPED 未同定																			
SUBTOTAL 小計																			
035(O) S. ADELAIDE																			
SUBTOTAL 小計																			
038(P) NOT TYPED 未同定																			
SUBTOTAL 小計																			
039(Q) S. CHAMPAIGN																			
S. WANDSWORTH																			
SUBTOTAL 小計																			
040(R) S. JOHANNESBURG																			
SUBTOTAL 小計																			
048(Y) NOT TYPED 未同定																			
SUBTOTAL 小計																			
UNKNOWN 群不明																			
SUBTOTAL 小計																			
TOTAL 合計																			
3 189 2 190 194 14 2 148 111 208 123 66 9 21 6 273 51																			

## 4-7. Continued-(5)

	273	283	284	291	311	342	361	371	381	402	411	421	432	441	461	TOTAL	
	群 市	辨 路 市	姬 崎 市	尼 良 市	奈 良 縣	鳥 取 市	広 島 縣	徳 島 縣	香 川 縣	愛 媛 縣	福 岡 市	佐 賀 縣	長 崎 縣	熊 本 市	大 分 縣	鹿 兒 島 縣	合 計
<b>O群</b>																	
GROUP	血清型 SEROVAR																
011(F)	S.ABERDEEN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
	SUBTOTAL 小計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
013(G)	S.HAVANA	-	4	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	28
	S.POONA	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
	S.WORTHINGTON	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
	S.FARMSEN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
	S.II [GOJENBERG]	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	NOT TYPED 未同定	5	-	-	-	5	1	8	-	-	-	-	-	-	-	-	20
	SUBTOTAL 小計	5	12	-	-	5	1	8	2	-	-	-	-	-	-	-	67
016(I)	S.GAMINARA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	S.HVITTINGFOSS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	S.MPOUTO	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	SUBTOTAL 小計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
018(K)	S.CERRO	6	30	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	56
	NOT TYPED 未同定	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	-	-	-	-	14
	SUBTOTAL 小計	6	30	-	-	-	1	11	2	-	-	-	-	-	-	-	70
021(L)	NOT TYPED 未同定	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	SUBTOTAL 小計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
035(O)	S.ADELAIDE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	SUBTOTAL 小計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
038(P)	NOT TYPED 未同定	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
	SUBTOTAL 小計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
039(Q)	S.CHAMPAIGN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	S.WANDSWORTH	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	SUBTOTAL 小計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
040(R)	S.JOHANNESBURG	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
	SUBTOTAL 小計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
048(Y)	NOT TYPED 未同定	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	SUBTOTAL 小計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
UNKNOWN	群不明	-	34	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	58
	SUBTOTAL 小計	-	34	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	58
	TOTAL 合計	89	306	57	4	67	91	230	302	9	6	11	2	25	1	9	2819

## 5. 検出チフス菌・パラチフスA、B菌のファージ型分布、由来ヒト、1984年

### 5. Phage types of *S.typhi* and *S.paratyphi* A and B isolated from humans, Japan, 1984

ファージ型別集計、集計：國立予防衛生研究所細菌部

ファージ型別室

#### 5-1. 検出チフス菌の月別ファージ型分布

5-1. *S.typhi* phage types from humans, by month, 1984

Phage typing : Laboratory of Phage Typing, NIH

診定月 Month of diagnosis	<i>S.typhi</i> phage types																	U	T**	UVS1	UVS4	Vi-***	NT****	Total
	A	B1	B2	C1	C5	D1	D2	D6	E1	E2	H	J1	M1	O	39	40	46	53-1						
JAN 1月	-	-	-	-	-	5	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	9	
FEB 2月	-	-	1	2	-	1	3	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	2	2	3	-	-	1	(1)
MAR 3月	1	2	-	-	-	2	4	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	(2)	(1)	(3)	-	-	1	(9)
APR 4月	2	1	-	-	-	2	3	1	-	1	2	1	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-	2	(3)
MAY 5月	1	-	2	-	-	-	7	-	2	-	-	1	-	1	-	-	-	2	-	1	2	1	19	
JUN 6月	1	-	1	-	-	2	6	-	6	-	-	3	-	1	-	-	-	3	2	-	-	3	28	
JUL 7月	1	-	1	-	-	1	5	1	2	-	-	3	-	-	-	-	-	1	2	3	-	-	4	24
AUG 8月	1	-	1	-	1	1	2	-	-	2	-	1	-	2	-	-	-	1	4	1	1	-	-	18
SEP 9月	2	-	-	-	-	2	-	4	-	-	1	2	1	-	-	-	-	6	1	-	-	1	1	20
OCT 10月	-	1	-	1	-	3	6	-	2	1	-	3	-	1	-	-	-	1	1	-	-	-	-	20
NOV 11月	-	1	-	-	1	-	4	1	3	-	-	1	3	-	-	-	-	3	1	-	-	1	19	
DEC 12月	-	-	1	-	-	3	4	-	1	-	-	7	-	-	-	-	-	1	2	1	-	-	3	23
Total 合計	9	5	7	3	2	15	51	3	22	3	3	4	25	1	4	1	2	3	26	17	2	3	17	228
	(2)	(2)	(3)	(3)		(5)	(1)	(3)				(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(3)	(7)	(11)		(2)	(47)	

#### 5-2. 検出パラチフス菌の月別ファージ型分布

5-2. *S.paratyphi* phage types from humans, by month, 1984

診定月 Month of diagnosis	パラチフスA菌ファージ型 <i>S.paratyphi A</i> phage types					Total	パラチフスB菌ファージ型 <i>S.paratyphi B</i> phage types							UT**	NT****	Total	
	1	2	3	4	5		1	3a	3b	Taunton	BACR	Dundee	Worksop	UT**	NT****		
JAN 1月	-	-	-	-	-	3	3	-	4	-	-	-	-	-	-	-	4
FEB 2月	-	-	-	1	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-	1	1	5
MAR 3月	1	-	-	-	-	2	3	-	2	-	-	-	-	-	-	-	2
APR 4月	1	-	-	1	-	2	4	1	-	2	-	-	1	-	1	-	5
MAY 5月	-	-	1	1	1	1	4	4	1	3	-	-	2	-	3	1	14
JUN 6月	-	-	-	-	1	-	1	11	3	2	2	-	1	-	2	1	22
JUL 7月	1	-	-	-	-	1	2	15	4	1	-	1	-	-	-	-	21
AUG 8月	1	1	-	-	-	2	31	2	19	-	-	3	1	5	-	-	61
SEP 9月	-	-	1	-	-	-	1	2	1	7	-	-	1	-	5	-	16
OCT 10月	2	-	-	-	-	2	4	2	-	2	-	-	-	10	1	-	15
NOV 11月	-	-	-	1	-	1	2	3	3	-	-	-	-	3	-	-	9
DEC 12月	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-	-	-	2	-	-	3
Unknown 不明	-	-	-	-	-	-	7	1	10	-	-	-	-	4	5	-	27
Total 合計	6	1	2	4	2	13	28	77	24	46	2	1	8	20	23	3	204
	(3)	(1)	(2)	(1)	(7)	(14)									(1)		

\* ほとんどの懸別用ファージに溶菌され、

A-degradedと総称していた

\*\* 認知のすべてのファージに感受性のないもの  
UVS1~4の群に細分される

\*\*\* 菌の送付がないため、または臨床検定による  
ためファージ型別のできないもの  
( ) : 海外旅行者分再掲

\* DVS : Degraded Vi positive strains

\*\* UT : Untypable

\*\*\* Vi- : Vi negative strains

\*\*\*\* NT : Not tested

( ) : Imported cases included in the total

5-3. 検出チフス菌の都道府県別ファージ型分布

5-3. *S. typhi* phage types from humans, by place of residence, 1984

都道府県 Prefecture of residence	チフス菌ファージ型																		<i>S. typhi</i> phage types		U <sup>**</sup>	T <sup>**</sup>	Vi <sup>***</sup>	NT <sup>****</sup>	合計 Total
	A	B1	B2	C1	C5	D1	D2	D6	E1	E2	H	J1	M1	O	39	40	46	53-1	DVS <sup>*</sup>	UVS1	UVS4	Vi <sup>***</sup>	NT <sup>****</sup>		
北海道 Hokkaido	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	5	
青森 Aomori	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
岩手 Iwate	-	1	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	
宮城 Miyagi	-	1	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
秋田 Akita	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	
山形 Yamagata	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	
福島 Fukushima	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
(1)																								(1)	
茨城 Ibaraki	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
栃木 Tochigi	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
群馬 Gunma	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
埼玉 Saitama	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
千葉 Chiba	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	
(1)																								(2)	
東京 Tokyo	1	1	-	-	-	4	2	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	5	5	1	1	2	29		
(1)						(2)	(2)	(2)									(1) (4)	(1) (1)	(1) (1)	(1) (1)	(1) (1)	(1) (1)	(1) (1)		
神奈川 Kanagawa	-	2	2	-	-	1	2	-	2	-	-	3	-	-	-	-	-	2	2	-	-	4	20		
(1)																	(1) (2)	(1) (2)	(1) (2)	(1) (2)	(1) (2)	(1) (2)	(1) (2)		
新潟 Niigata	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	3	
(1)																	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	
富山 Toyama	-	-	-	-	-	5	-	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	9	
石川 Ishikawa	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	4	
福井 Fukui	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長野 Yamanashi	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
岐阜 Nagano	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
静岡 Gifu	-	-	-	-	-	3	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	3	12	
(1)																	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(3)	
愛知 Aichi	1	-	2	-	-	2	5	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	12	
(1)						(1)	(1)										(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(3)	
三重 Mie	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	4	
滋賀 Shiga	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
京都 Kyoto	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	6	
(1)																	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(3)	
大阪 Osaka	-	-	1	-	-	2	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	10	
(1)																	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(2)	
兵庫 Hyogo	-	-	-	-	2	1	-	1	-	-	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	5	-	-	-	-	-	1	14	
(1)																	(1) (1)	(1) (1)	(1) (1)	(1) (1)	(1) (1)	(1) (1)	(1) (1)	(5)	
奈良 Nara	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	4
和歌山 Wakayama	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
鳥取 Tottori	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
島根 Shimane	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	
(1)																	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	
岡山 Okayama	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	3	
(1)																	(1) (1)	(1) (1)	(1) (1)	(1) (1)	(1) (1)	(1) (1)	(1) (1)	(2)	
広島 Hiroshima	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	
山口 Yamaguchi	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	
徳島 Tokushima	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	
香川 Kagawa	-	1	-	-	-	1	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	8	
(1)																	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(2)	
愛媛 Ehime	1	-	-	-	-	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	
(1)							(1)																	(2)	
高知 Kochi	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1	-	2	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	13	
福岡 Fukuoka	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	
佐賀 Saga	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
長崎 Nagasaki	1	-	-	-	-	2	-	-	-	2	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
(1)																	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	
熊本 Kumamoto	-	-	1	-	1	2	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	8	
(1)								(1)															(2)		
大分 Oita	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
宮崎 Miyazaki	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	
鹿児島 Kagoshima	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	(1)	
沖縄 Okinawa	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
Total	9	5	7	3	2	15	51	3	22	3	3	4	25	1	4	1	2	3	26	17	2	3	17	228 (47)	

\* ほとんどの型別用ファージに感受性、  
A+degradedと総称していた

\* DVS : Degraded Vi positive strains

\*\* 感知のすべてのファージに感受性のないもの

\*\* UT : Untypable

\*\*\* UV<sub>1</sub>～4 の群に割分される

\*\*\* Vi- : Vi negative strains

( ) : 海外旅行者分再掲

\*\*\*\* NT : Not tested

( ) : Imported cases included in the total

## 5-4. 検出パラチフス菌の都道府県別ファージ型分布

5-4. *S.paratyphi* phage types from humans, by place of residence, 1984

都道府県 Prefecture of residence	パラチフスA菌ファージ型 <i>S.paratyphi A</i> phage types							パラチフスB菌ファージ型 <i>S.paratyphi B</i> phage types									
	1	2	3	4	5	UT**	Total	1	3a	3b	Taunton	BAOR	Dundee	Workshop	UT**	NT***	*** Total
北海道 Hokkaido	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1
青森 Aomori	1	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	1	-	2
(1)	(1)																
岩手 Iwate	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城 Miyagi	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	1	-	3
秋田 Akita	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	4	-	4
山形 Yamagata	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	5
福島 Fukushima	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城 Ibaraki	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木 Tochigi	-	-	1	-	-	-	1	4	1	7	2	1	-	5	-	-	20
群馬 Gunma	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	2	-	6
埼玉 Saitama	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	1	-	5
千葉 Chiba	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(1)	-	(1)
東京 Tokyo	2	-	-	2	2	4	10	16	3	5	-	-	-	2	3	-	29
(1)	(1) (1) (3) (6)																
神奈川 Kanagawa	-	-	-	-	-	2	2	2	-	1	-	-	-	-	3	-	6
新潟 Niigata	-	-	-	-	-	-	-	4	-	3	-	-	-	3	4	2	2
富山 Toyama	-	-	-	-	-	-	-	5	1	4	-	-	-	-	2	2	18
石川 Ishikawa	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	2	-	12
福井 Fukui	-	-	-	-	-	-	-	5	4	9	-	-	-	-	1	-	3
山梨 Yamanashi	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野 Nagano	-	-	-	-	-	-	-	16	4	-	-	-	-	-	-	-	20
岐阜 Gifu	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡 Shizuoka	2	-	-	-	-	-	2	1	-	2	-	-	-	-	-	-	3
愛知 Aichi	1	-	-	-	-	-	2	2	8	-	-	-	-	-	-	-	10
(1)	(2) (3)																
三重 Mie	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀 Shiga	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
京都 Kyoto	-	-	1	-	-	-	1	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-
(1)	(1)																
大阪 Osaka	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1
兵庫 Hyogo	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	2
奈良 Nara	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	1	-	1
和歌 Wakayama	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
山口 Tottori	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取 Shimane	-	-	1	-	-	1	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	5
岡山 Okayama	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	1	-
広島 Hiroshima	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口 Yamaguchi	-	1	-	1	-	-	2	3	-	-	-	-	-	-	-	-	3
徳島 Tokushima	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川 Kagawa	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛 Ehime	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知 Kochi	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	5
福井 Fukuoka	-	-	-	-	-	1	1	3	3	-	-	-	-	-	2	-	8
佐賀 Saga	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎 Nagasaki	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本 Kumamoto	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分 Oita	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎 Miyazaki	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1
鹿児 Kagoshima	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄 Okinawa	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計 Total	6 (3)	1 (1)	2 (2)	4 (2)	2 (1)	13 (7)	28 (14)	77	24	46	2	1	8	20	23 (1)	3	204 (1)

\*\* 既知のすべてのファージに感受性のないもの  
UVS1~4 の群に細分される\*\*\* 菌の送付がないため、または臨床検定による  
ためファージ型別できないもの

( ) : 海外旅行者分再掲

\*\* UT : Untypable

\*\*\* NT : Not tested

( ) : Imported cases included in the total

## 6. 検出A群レンサ球菌の菌型分布、由来ヒト、1984年

### 6. Group A Streptococcus serotypes isolated from humans, Japan, 1984

#### 6-1. 月別全国集計（地所・保健所）

##### 6-1. Group A Streptococcus serotypes from humans, by month, 1984

Prefectural and municipal public health institutes and health centers

血清型 TYPE	月別集計 (地所・保健所)												合計 TOTAL
	1月 JAN	2月 FEB	3月 MAR	4月 APR	5月 MAY	6月 JUN	7月 JUL	8月 AUG	9月 SEP	10月 OCT	11月 NOV	12月 DEC	
A T-1	37	21	50	2	16	4	4	5	2	15	30	18	204
T-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
T-3	21	7	19	11	15	13	7	6	9	19	140	142	409
T-4	69	71	121	34	39	41	16	19	14	58	70	74	626
T-6	8	1	7	1	3	-	-	-	-	-	-	5	25
T-8	1	1	4	1	1	-	2	4	-	1	-	-	15
T-9	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
T-11	3	1	3	2	3	3	3	-	3	4	3	7	35
T-12	70	45	97	30	39	44	39	34	40	45	87	113	683
T-13	27	10	46	9	9	7	8	7	8	21	16	24	192
T-18	4	4	17	11	9	3	4	-	1	3	4	7	67
T-22	11	9	18	6	16	3	5	5	11	10	15	15	124
T-23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	4
T-25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
T-28	22	10	26	9	18	11	12	6	14	24	64	39	253
T-B3264	10	6	18	3	6	4	3	1	5	6	14	16	92
T-IMP.19	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1
T-5/27/44	1	-	1	-	1	-	2	-	-	-	-	2	7
型別不能 UNTYPABLE	10	15	12	2	5	7	4	1	1	6	18	21	102
型別せず NOT DONE	5	3	-	10	9	4	11	2	3	7	6	3	63
合計 TOTAL	299	204	440	131	189	144	120	89	111	219	473	486	2905

#### 6-2. 月別全国集計（医療機関）

##### 6-2. Group A Streptococcus serotypes from humans, by month, 1984

General clinical institutions

血清型 TYPE	月別集計 (医療機関)												合計 TOTAL
	1月 JAN	2月 FEB	3月 MAR	4月 APR	5月 MAY	6月 JUN	7月 JUL	8月 AUG	9月 SEP	10月 OCT	11月 NOV	12月 DEC	
A T-1	1	3	1	2	2	-	4	3	1	4	-	3	24
T-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
T-3	-	1	6	-	4	-	5	-	1	-	2	4	23
T-4	8	6	5	5	8	2	3	6	1	3	4	9	60
T-6	1	-	1	1	-	-	-	-	1	3	-	1	8
T-8	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	3
T-11	-	2	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	4
T-12	7	11	6	3	11	-	5	3	4	7	8	10	75
T-13	2	3	1	3	3	-	3	2	1	2	3	2	25
T-18	1	-	-	2	1	1	-	-	-	-	-	-	5
T-22	-	1	2	-	-	1	-	-	-	2	-	-	6
T-23	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1
T-28	2	6	-	-	-	1	1	-	-	3	2	1	15
T-B3264	-	-	-	2	-	2	-	-	-	1	1	-	6
T-IMP.19	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1
T-5/27/44	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2
型別不能 UNTYPABLE	4	8	4	3	3	1	-	2	-	2	4	-	31
型別せず NOT DONE	569	567	688	588	691	574	548	385	395	672	1029	1136	7842
合計 TOTAL	595	608	715	609	726	580	573	402	404	696	1056	1168	8132

## 6-3. 報告機関別集計（地研・保健所）

6-3. Group A Streptococcus from humans, by participating laboratory, 1984

Prefectural and municipal public health institutes and health centers

(Refer to code map in page 93~95)

	011 北海道	021 青森県	041 宮城県	042 仙台市	051 秋田県	071 福島県	111 埼玉県	141 神奈川県	161 富山県	171 石川県	181 福井県	201 長野県	221 静岡県	241 三重県	251 滋賀県

## 血清型 TYPE

A T-1	3	9	-	3	4	-	9	35	2	-	-	-	5	-	12
T-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
T-3	46	26	4	-	3	-	38	36	1	2	5	-	40	-	1
T-4	50	19	13	5	29	5	62	115	34	6	8	-	29	-	13
T-6	-	-	-	1	-	5	1	1	-	-	-	-	-	-	-
T-8	-	1	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	1	1	-
T-9	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
T-11	2	-	2	-	-	-	2	12	2	-	1	-	2	-	3
T-12	85	50	2	-	48	24	118	98	19	6	6	-	20	-	11
T-13	4	19	1	-	3	4	27	9	5	4	1	-	1	-	9
T-18	8	8	-	1	-	-	32	1	2	-	-	-	2	-	-
T-22	27	12	-	1	-	1	6	19	2	2	-	-	11	-	1
T-23	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
T-25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
T-28	34	3	3	1	4	5	45	83	1	-	-	-	11	-	5
T-B3264	6	5	-	-	3	5	6	6	4	-	2	-	5	8	7
T-IMP.19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
T-5/27/44	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
型別不能 UNTYPEABLE	2	4	2	2	16	-	5	26	5	3	1	-	16	-	5
型別せず NOT DONE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	-	-	-	-
合計 TOTAL	267	156	27	14	110	49	361	445	77	23	24	14	145	9	68

## 6-3. Continued

	271 大阪府	321 島根県	342 広島県	371 香川県	381 愛媛県	391 高知県	441 大分県	461 鹿児島県	TOTAL

## 血清型 TYPE

A T-1	32	6	1	5	-	44	34	-	204
T-2	-	-	-	-	-	-	-	-	1
T-3	12	-	5	-	-	190	-	-	409
T-4	76	41	6	27	-	85	3	-	626
T-6	1	-	-	1	-	4	11	-	25
T-8	5	2	-	-	-	-	-	-	15
T-9	-	-	-	-	-	-	-	-	1
T-11	7	2	-	-	-	-	-	-	35
T-12	81	7	10	7	-	88	3	-	683
T-13	31	7	1	2	-	60	4	-	192
T-18	10	1	-	-	-	2	-	-	67
T-22	26	13	1	-	-	2	-	-	124
T-23	-	-	-	-	-	-	-	-	4
T-25	-	1	-	-	-	-	-	-	1
T-28	15	6	-	-	-	22	15	-	253
T-B3264	15	4	-	-	-	6	10	-	92
T-IMP.19	-	1	-	-	-	-	-	-	1
T-5/27/44	-	-	-	-	-	-	-	-	7
型別不能 UNTYPEABLE	7	-	-	-	-	5	3	-	102
型別せず NOT DONE	-	-	-	-	47	-	-	2	63
合計 TOTAL	318	91	24	42	47	508	84	2	2905

## 6-4. 報告機関別集計（医療機関）

6-4. Group A *Streptococcus* from humans, by participating laboratory, 1984

General clinical institutions

(Refer to code map in page 93~95)

012 札 幌 市	021 青 森 県	051 秋 田 县	091 砺 木 县	101 群 马 县	111 埼 玉 县	121 千 葉 县	131 東 京 都	151 新 潟 县	161 富 山 县	171 石 川 县	181 福 井 县	191 山 梨 县	231 愛 知 县	232 名 古 屋 市	251 滋 賀 县
--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	-------------------------	--------------------

## 血清型 TYPE

A T-1	-	-	-	-	-	-	-	-	12	5	-	-	1	-	-	
T-2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
T-3	-	-	-	-	-	-	-	-	7	4	-	-	3	-	-	
T-4	-	-	-	-	-	-	-	-	16	22	-	-	5	-	-	
T-6	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	1	-	-	
T-8	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	
T-11	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2	-	-	
T-12	-	-	-	-	-	-	-	-	21	28	-	-	6	-	-	
T-13	-	-	-	-	-	-	-	-	12	8	-	-	2	-	-	
T-18	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	
T-22	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	-	-	1	-	-	
T-23	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	
T-28	-	-	-	-	-	-	-	-	8	5	-	-	1	-	-	
T-B3264	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	2	-	-	
T-IMP.19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	
T-5/27/44	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	
型別不能UNTYPABLE	-	-	-	-	-	-	-	-	15	11	-	-	1	2	-	
型別せずNOT DONE	451	152	223	31	603	231	106	53	297	321	1436	10	-	598	76	291
合計 TOTAL	451	152	223	31	603	231	106	53	403	408	1436	34	27	598	76	291

## 6-4. Continued

271 大 阪 府	273 堺 市	282 神 戸 市	284 尼 崎 市	301 和 歌 山 県	321 島 根 县	331 岡 山 县	341 広 島 县	351 山 口 县	371 香 川 县	411 佐 賀 县	421 長 崎 县	431 熊 本 县	471 沖 縄 县	TOTAL 合 計
--------------------	---------------	--------------------	--------------------	-------------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	-----------------

## 血清型 TYPE

A T-1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	24
T-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
T-3	6	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	23
T-4	2	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	60
T-6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	8
T-8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
T-11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
T-12	9	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	75
T-13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	25
T-18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	6
T-22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	6
T-23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
T-28	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15
T-B3264	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
T-IMP.19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
T-5/27/44	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
型別不能UNTYPABLE	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	31
型別せずNOT DONE	88	45	83	-	79	202	172	1004	30	169	142	426	40	483	7842
合計 TOTAL	106	45	83	1	79	202	172	1004	30	196	142	426	40	483	8132

## 第 5 ウィルス・リケッチャ・マイコプラズマ 検出成績

## 第5 ウィルス・リケッチャ・マイコプラズマ検出成績

### 1. 検出月別、由来ヒト、1984年

1. Isolation of viruses from humans, by month, 1984

1985年11月30日現在報告数  
Data received as of November 30, 1985

	T	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	T	J	F	M	A	M	J	J	A	S	O	N	D
	A	A	E	A	R	A	Y	U	U	E	C	O	E
	L	N	B	R	R	Y	N	L	G	P	T	V	C
コウケイ	TOTAL	8051	1137	628	377	319	454	967	1095	962	737	499	422
コウケイ-A NT	COXSA.A NT	3	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-	-
コウケイ-A2	COXSA.A2	19	-	-	1	-	8	7	3	-	-	-	-
コウケイ-A3	COXSA.A3	4	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-	-
コウケイ-A4	COXSA.A4	144	-	-	2	-	13	64	48	13	3	1	-
コウケイ-A5	COXSA.A5	136	-	-	-	1	13	77	29	13	2	1	-
コウケイ-A6	COXSA.A6	22	-	-	-	-	3	16	3	-	-	-	-
コウケイ-A7	COXSA.A7	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
コウケイ-A9	COXSA.A9	95	1	-	2	-	-	6	11	12	33	18	9
コウケイ-A10	COXSA.A10	599	-	2	-	3	32	280	246	25	8	1	2
コウケイ-A16	COXSA.A16	108	-	-	2	1	2	15	21	11	14	17	15
コウケイ-B1	COXSA.B1	48	-	-	-	-	-	7	18	15	3	3	1
コウケイ-B2	COXSA.B2	131	-	-	-	-	1	-	7	10	48	42	18
コウケイ-B3	COXSA.B3	137	-	48	15	-	-	3	1	13	35	13	5
コウケイ-B4	COXSA.B4	196	5	3	1	3	1	12	78	48	31	4	6
コウケイ-B5	COXSA.B5	761	1	1	-	-	8	45	159	207	198	97	36
コウケイ-B6	COXSA.B6	5	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	1
エコ-3	ECHO-3	24	-	-	-	-	-	1	5	4	8	4	1
エコ-6	ECHO-6	14	-	-	-	-	-	-	1	-	1	8	4
エコ-9	ECHO-9	109	-	-	-	-	-	5	14	28	27	25	7
エコ-11	ECHO-11	136	-	-	-	-	3	6	21	35	39	18	11
エコ-12	ECHO-12	2	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-
エコ-14	ECHO-14	2	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
エコ-16	ECHO-16	64	1	-	-	1	-	19	16	17	9	-	1
エコ-17	ECHO-17	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
エコ-18	ECHO-18	41	-	-	-	-	1	8	15	6	6	5	-
エコ-19	ECHO-19	3	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-
エコ-20	ECHO-20	21	-	-	-	-	-	3	2	4	6	4	2
エコ-21	ECHO-21	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
エコ-22	ECHO-22	26	1	1	-	-	1	-	-	2	11	4	5
エコ-24	ECHO-24	9	-	-	-	-	-	-	2	3	3	1	-
エコ-25	ECHO-25	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
エコ-27	ECHO-27	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
エコ-30	ECHO-30	66	-	-	1	1	-	19	17	16	6	6	-
ボーリオ1	POLIO-1	27	1	1	4	8	3	2	-	-	2	3	3
ボーリオ2	POLIO-2	34	1	1	3	10	6	3	1	-	3	4	2
ボーリオ3	POLIO-3	30	2	-	-	3	11	6	-	1	-	1	2
エンテロ70	ENTERO70	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
エンテロ71	ENTERO71	22	-	-	-	1	-	2	5	5	2	2	1
ライノ	RHINO-ALL	10	1	-	-	-	2	1	1	-	1	1	3
インフルA H1NT	INF.A H1NT	338	285	52	1	-	-	-	-	-	-	-	-
インフルA (H1)	INF.A(H1)	483	375	102	5	1	-	-	-	-	-	-	-
インフルA (H3)	INF.A(H3)	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
インフルエンザB	INF.B	112	2	1	1	4	22	1	-	-	10	16	55
アフライブル1	PARAINF.1	37	-	1	2	2	5	3	1	1	3	3	12
アフライブル2	PARAINF.2	5	-	1	3	1	-	-	-	-	-	-	-
アフライブル3	PARAINF.3	58	1	14	3	5	15	14	4	-	2	-	-
RSウイルス	RS	19	9	1	-	1	-	1	-	1	-	2	4
ムンプス	MUMPS	77	4	4	5	3	4	4	12	11	5	10	8
マジン	MEASLES	11	1	-	-	1	2	1	1	3	2	-	-
フウシ	RUBELLA	24	-	-	1	5	10	5	3	-	-	-	-
レオ NT	REO NT	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
レオ1	REO-1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
レオ2	REO-2	5	-	-	-	-	2	-	-	2	-	-	1
ロタ	ROTA	984	315	251	146	70	43	21	5	1	3	13	21
コカクタケリウイルス	SRV	94	9	4	8	4	3	1	1	1	-	5	19
アデノ NT	ADENO NT	106	6	2	6	12	17	8	16	4	7	8	11
アデノ1	ADENO-1	125	9	7	12	9	13	18	11	9	8	3	8
アデノ2	ADENO-2	140	8	7	17	14	16	13	11	8	10	8	13
アデノ3	ADENO-3	719	19	22	34	52	78	104	97	161	67	29	25
アデノ4	ADENO-4	307	3	3	4	7	8	34	50	77	52	29	19
アデノ5	ADENO-5	79	6	2	4	7	7	14	10	8	4	4	7
アデノ6	ADENO-6	20	4	2	-	3	3	3	2	1	-	1	-
アデノ8	ADENO-8	192	5	1	1	9	12	25	38	78	7	7	3
アデノ10	ADENO-10	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
アデノ11	ADENO-11	36	2	4	9	3	2	7	3	2	1	1	-
アデノ19	ADENO-19	108	4	5	6	6	14	10	12	21	11	10	6
アデノ37	ADENO-37	3	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-
タンショウヘルペスNT	HSV NT	274	16	22	25	18	18	19	23	17	18	23	39
タンショウヘルペス3	HSV-1	198	12	21	21	13	23	14	14	20	6	26	15
タンショウヘルペス2	HSV-2	51	2	3	4	3	6	2	4	4	7	4	3
スイトウイシテヨウホウシ	VZV	80	13	14	10	7	5	7	4	7	5	3	2
サイトメガロ	CMV	223	12	24	18	24	21	12	21	9	16	14	38
アカクタケンエン	HEPATITIS A	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
ミトウテウイルス	VIRUS NT	82	1	1	-	-	5	8	17	21	10	9	4
ツツカムシ	R.TSUTSUG.	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1
マイコラスマ	MYCOPL.PN.	177	2	-	1	2	6	13	45	37	17	23	20

NT: 未同定

## 2. 感染年齢、由来ヒト、1984年

2. Isolation of viruses from humans, by age, 1984

1985年11月30日現在報告数  
Data received as of November 30, 1985

		年齢 AGE IN YEARS															不明 UK
	合計 TOTAL	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15-
コウケイ	TOTAL	8051	1266	1316	676	611	560	516	363	282	242	227	198	204	144	93	68
コウケイ-A NT	COXSA_A NT	3	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
コウケイ-A2	COXSA_A2	19	2	3	4	1	6	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-
コウケイ-A3	COXSA_A3	4	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
コウケイ-A4	COXSA_A4	144	20	45	19	23	17	7	2	1	3	2	1	2	-	-	2
コウケイ-A5	COXSA_A5	136	15	36	21	25	16	11	3	4	-	2	1	2	1	-	1
コウケイ-A6	COXSA_A6	22	4	3	5	3	1	3	2	1	-	-	-	-	-	-	-
コウケイ-A7	COXSA_A7	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
コウケイ-A8	COXSA_A8	95	4	18	4	14	18	14	6	5	4	1	2	2	-	1	2
コウケイ-A10	COXSA_A10	599	85	176	118	76	55	30	22	12	1	6	6	3	1	1	5
コウケイ-A16	COXSA_A16	108	19	36	14	11	12	6	1	2	-	1	3	1	1	1	5
コウケイ-B1	COXSA_B1	48	12	1	2	5	10	4	6	1	2	-	2	1	-	-	1
コウケイ-B2	COXSA_B2	131	16	25	16	26	12	8	9	4	5	1	3	2	1	-	1
コウケイ-B3	COXSA_B3	137	18	14	11	17	6	6	8	6	6	7	5	2	1	2	19
コウケイ-B4	COXSA_B4	196	38	26	14	23	14	32	11	17	4	3	4	2	1	1	5
コウケイ-B5	COXSA_B5	761	109	96	77	95	102	81	55	32	31	16	5	11	6	3	17
コウケイ-B6	COXSA_B6	5	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22
エコ-3	ECHO-3	24	3	3	8	1	3	1	4	-	-	-	-	-	-	-	1
エコ-6	ECHO-6	14	4	-	-	3	-	2	1	-	-	-	-	2	-	-	1
エコ-9	ECHO-9	109	16	15	8	5	16	16	9	5	5	2	1	4	2	1	2
エコ-11	ECHO-11	136	20	20	15	7	26	15	13	2	4	5	-	1	1	-	3
エコ-12	ECHO-12	2	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
エコ-14	ECHO-14	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
エコ-16	ECHO-16	64	8	5	4	6	2	6	6	8	4	3	2	4	1	1	1
エコ-17	ECHO-17	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
エコ-18	ECHO-18	41	6	3	-	5	5	7	1	1	1	3	-	-	-	-	8
エコ-19	ECHO-19	3	1	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
エコ-20	ECHO-20	21	3	3	-	-	2	3	4	-	3	-	2	-	-	-	1
エコ-21	ECHO-21	2	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1
エコ-22	ECHO-22	26	9	8	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
エコ-24	ECHO-24	9	1	-	-	-	-	4	2	-	1	-	-	-	-	-	-
エコ-25	ECHO-25	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
エコ-27	ECHO-27	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
エコ-30	ECHO-30	66	3	4	3	3	12	6	6	7	3	9	2	3	5	1	1
ポリオ1	POLIO-1	27	15	8	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
ポリオ2	POLIO-2	34	20	11	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ポリオ3	POLIO-3	30	8	13	4	2	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
エンテロ70	ENTERO70	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
エンテロ71	ENTERO71	22	1	3	3	3	3	2	-	2	1	-	-	-	-	-	-
ライノ	RHINO-ALL	10	1	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	1
インフル A H1N1	INF.A H1N1	538	5	4	8	5	10	15	16	24	25	31	31	45	35	18	38
インフル A (H1)	INF.A(H1)	483	5	13	11	15	19	23	27	37	35	36	51	59	42	26	69
インフル A (H3)	INF.A(H3)	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
インフルエンザB	INF.B	112	2	1	4	3	-	6	6	4	3	10	15	7	19	6	10
ハラインフル 1	PARAINF.1	37	2	11	9	3	6	3	2	-	-	-	-	-	-	-	1
ハラインフル 2	PARAINF.2	5	1	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
ハラインフル 3	PARAINF.3	58	8	11	11	9	7	3	2	1	2	1	2	-	-	-	1
RSウイルス	RS	19	7	5	2	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2
ムンプス	MUMPS	77	-	2	6	16	12	21	6	5	1	-	-	3	-	-	3
マジス	MEASLES	11	4	3	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
フラン	RUBELLA	24	1	1	2	-	1	3	5	4	1	2	1	-	-	-	1
レオ NT	REO NT	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
レオ1	REO-1	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
レオ2	REO-2	5	-	1	1	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ロタ	ROTA	984	440	344	76	28	18	11	10	9	5	5	7	2	5	1	7
コカ・タケリウイルス	SRV	94	21	26	9	3	3	4	1	-	1	2	-	1	-	-	22
アデノ NT	ADENO NT	106	31	24	5	10	1	3	4	1	2	-	1	-	-	-	11
アデノ1	ADENO-1	125	28	33	18	9	12	8	3	1	1	1	-	1	1	1	5
アデノ2	ADENO-2	140	32	43	12	22	9	7	3	-	3	1	1	-	-	-	6
アデノ3	ADENO-3	719	31	60	62	72	78	80	66	37	47	26	20	5	7	2	63
アデノ4	ADENO-4	307	4	8	5	7	12	18	13	11	16	10	4	5	7	6	134
アデノ5	ADENO-5	79	21	23	11	6	7	6	-	2	-	1	-	-	-	-	2
アデノ6	ADENO-6	20	4	6	5	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1
アデノ8	ADENO-8	192	6	2	2	4	2	5	7	10	8	9	4	6	4	3	2
アデノ10	ADENO-10	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	34
アデノ11	ADENO-11	36	1	-	-	2	1	1	1	2	-	8	2	-	-	-	9
アデノ19	ADENO-19	108	7	2	1	3	2	-	2	-	2	1	3	1	1	1	63
アデノ37	ADENO-37	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
タンシッシュヘルペス	HSV NT	274	22	50	23	15	8	22	7	11	7	7	4	2	-	-	19
タンシッシュヘルペス 1	HSV-1	198	16	19	16	8	3	5	7	4	5	7	1	2	2	3	38
タンシッシュヘルペス 2	HSV-2	51	4	5	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	14
スイトウタキヨウホウクシン	VZV	80	-	2	1	1	-	2	-	2	-	1	1	-	1	-	30
リトメガロ	CMV	223	79	18	9	1	3	2	-	-	-	4	2	1	-	7	35
A&タクサン	HEPATITIS A	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	62
ミトウライウルス	VIRUS NT	82	21	11	5	4	1	-	1	2	1	-	1	1	-	1	2
ツツガムシ	R.TSUTSUG.	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコラス	MYCOPL.PN.	177	1	-	5	12	13	18	26	28	26	17	15	3	2	5	2

NT: 未同定 UK: UNKNOWN

2. Continued

1985年11月30日現在報告数  
Data received as of November 30, 1985

	合計	年齢群 AGE GROUPS(AGE IN YEARS)												不明 UK
		0	5	10	15	20	30	40	50	60	70	80		
		TOTAL	4	9	14	19	29	39	49	59	69			
コウケイ	TOTAL	8051	4429	1630	707	88	270	252	75	71	36	21	472	72
コラッキ-A NT	COXSA-A NT	3	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
コラッキ-A2	COXSA-A2	19	16	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
コラッキ-A3	COXSA-A3	4	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
コラッキ-A4	COXSA-A4	144	124	15	3	1	1	-	-	-	-	-	-	7
コラッキ-A5	COXSA-A5	136	111	20	4	-	-	-	-	-	1	-	-	5
コラッキ-A6	COXSA-A6	22	16	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
コラッキ-A7	COXSA-A7	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
コラッキ-A9	COXSA-A9	95	58	30	5	1	-	-	1	-	-	-	1	-
コラッキ-A10	COXSA-A10	599	510	71	12	1	-	-	-	5	1	3	6	10
コラッキ-A16	COXSA-A16	108	92	8	5	-	-	-	-	3	1	-	-	2
コラッキ-B1	COXSA-B1	48	30	13	2	1	-	-	-	2	6	1	2	1
コラッキ-B2	COXSA-B2	131	95	27	6	-	1	-	-	2	1	3	-	1
コラッキ-B3	COXSA-B3	137	66	33	10	-	6	5	4	3	1	9	4	1
コラッキ-B4	COXSA-B4	196	115	67	8	1	-	-	-	5	8	6	2	1
コラッキ-B5	COXSA-B5	761	479	215	28	1	6	7	1	1	1	22	15	7
コラッキ-B6	COXSA-B6	5	2	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-
エコ-3	ECHO-3	24	18	5	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
エコ-6	ECHO-6	14	8	3	2	-	-	-	-	1	-	-	-	1
エコ-9	ECHO-9	109	60	37	8	-	2	-	-	2	4	4	1	-
エコ-11	ECHO-11	136	88	39	6	-	-	-	3	1	3	1	2	2
エコ-12	ECHO-12	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
エコ-14	ECHO-14	2	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
エコ-16	ECHO-16	64	25	27	8	-	2	1	-	-	1	1	1	-
エコ-17	ECHO-17	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
エコ-18	ECHO-18	41	19	13	1	-	-	-	-	8	1	2	-	-
エコ-19	ECHO-19	3	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
エコ-20	ECHO-20	21	11	9	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
エコ-21	ECHO-21	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
エコ-22	ECHO-22	26	21	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	2
エコ-24	ECHO-24	9	1	7	1	-	-	-	-	1	-	-	-	1
エコ-25	ECHO-25	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
エコ-27	ECHO-27	2	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-
エコ-30	ECHO-30	66	25	31	10	-	-	-	-	2	1	-	-	-
ボリオ-1	POLIO-1	27	25	1	-	-	-	-	1	-	-	-	2	5
ボリオ-2	POLIO-2	34	34	-	-	-	-	-	-	1	1	1	1	2
ボリオ-3	POLIO-3	30	28	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
エンテロ-70	ENTEROT-70	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
エンテロ-71	ENTEROT-71	22	13	8	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ラノバ	RHINO-ALL	10	5	-	3	1	-	-	1	-	-	-	-	1
インフルA H1N1	INF-A H1N1	338	32	111	156	13	9	13	-	2	1	1	1	2
インフルA (H1)	INF-A (H1)	483	63	158	192	17	33	9	4	4	1	1	1	2
インフルA (H3)	INF-A (H3)	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
インフルシングB	INF-B	112	10	29	57	9	-	2	3	1	-	-	-	1
パラインフル1	PARAINF.1	37	31	5	1	-	-	-	-	-	-	1	1	-
パラインフル2	PARAINF.2	5	3	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
パラインフル3	PARAINF.3	58	46	9	3	-	-	-	-	1	-	1	3	1
RSウイルス	RS	19	16	1	-	-	-	-	-	2	-	2	-	1
ムンプス	MUMPS	77	36	33	3	-	2	-	1	2	-	-	-	1
ミジン	MEASLES	11	11	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1
フジシン	RUBELLA	24	5	15	1	1	1	-	-	1	-	-	-	1
ジギ NT	REO NT	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ジギ 1	REO-1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ジギ 2	REO-2	5	4	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ロタ	ROTA	984	906	40	15	-	1	3	3	3	16	2	11	10
アデノ NT	ADENO NT	106	71	10	1	1	-	9	3	-	11	2	-	-
アデノ-1	ADENO-1	125	100	14	3	-	2	2	1	-	3	-	-	-
アデノ-2	ADENO-2	140	118	14	1	-	1	-	-	-	6	2	-	1
アデノ-3	ADENO-3	719	303	256	60	1	26	28	3	4	1	37	2	2
アデノ-4	ADENO-4	307	36	68	23	12	33	63	7	7	9	46	1	1
アデノ-5	ADENO-5	79	68	9	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-
アデノ-6	ADENO-6	20	18	1	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-
アデノ-8	ADENO-8	192	16	39	19	6	21	20	20	10	3	4	34	2
アデノ-10	ADENO-10	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
アデノ-11	ADENO-11	36	4	12	2	-	4	4	1	-	-	9	-	-
アデノ-19	ADENO-19	108	15	5	6	4	32	15	6	4	2	19	2	-
アデノ-37	ADENO-37	3	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-
ジギ+コロナヘルペスNT	HSV NT	274	118	54	13	5	15	22	11	6	8	3	19	3
ジギ+コロナヘルペス 1	HSV-1	198	62	28	8	4	17	14	8	11	1	38	6	1
ジギ+コロナヘルペス 2	HSV-2	51	9	1	-	1	13	8	-	3	-	2	14	2
スパイクウイルスホウズン	VZV	80	4	5	3	5	8	3	-	6	5	38	-	-
サイトメラ	CMV	223	110	6	10	3	12	17	-	3	-	62	3	8
A群ウツラセウ	HEPATITIS A	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3	4	3
ミトウチウイルス	VIRUS NT	82	42	4	4	1	-	1	-	-	30	3	2	-
ツバカムシ	R.TSUTSUG.	4	-	1	-	-	-	1	1	1	-	-	-	-
マイコプラズマ	MYCOPL.PH.	177	31	115	27	1	-	-	-	2	-	-	-	1

NT: 未同定

UK: UNKNOWN

### 3. 検体の種類、由来ヒト、1984年

#### 3. Isolation of viruses from humans, by specimen, Japan, 1984

1985年11月30日 現在報告数  
Data received as of November 30, 1985

例 数 NUMBER OF CASES	糞 便 FAECES	鼻 咽 喉 嚥 液 NASEOPHARYNGEAL FLUID	皮 膚 織 器 液 SKIN/VESTIGIAL SOURCE	尿 液 URINE	血 液 BLOOD	脳 脊 髄 液 LUMBO/ESP.LUMBAR FLUID	肺 支 管 液 LUNG/BRONCHIAL FLUID	そ の 他 支 管 液 OTHER RESPIRATORY FLUID	不明 UNKNOWN
コウケイ	TOTAL	8051	2695	4173	734	471	310	227	1 1 1 8 3 34
コウケイ-A NT	COXSA.A NT	3	1	2	-	-	-	-	-
コウケイ-A2	COXSA.A2	19	2	17	-	1	-	-	-
コウケイ-A3	COXSA.A3	4	1	3	-	-	-	-	-
コウケイ-A4	COXSA.A4	164	53	121	-	-	-	-	-
コウケイ-A5	COXSA.A5	136	8	128	-	-	-	-	1
コウケイ-A6	COXSA.A6	22	2	21	-	-	-	-	-
コウケイ-A7	COXSA.A7	1	-	1	-	-	-	-	-
コウケイ-A9	COXSA.A9	95	39	47	-	15	-	-	-
コウケイ-A10	COXSA.A10	599	171	437	-	-	5	-	-
コウケイ-A16	COXSA.A16	108	16	81	-	-	27	-	-
コウケイ-B1	COXSA.B1	48	28	14	-	13	-	-	-
コウケイ-B2	COXSA.B2	131	62	79	1	7	-	-	-
コウケイ-B3	COXSA.B3	137	42	79	3	16	-	-	2
コウケイ-B4	COXSA.B4	196	114	95	-	23	-	1	-
コウケイ-B5	COXSA.B5	761	404	310	3	243	-	-	1 6
コウケイ-B6	COXSA.B6	5	5	1	-	-	-	-	-
コロナ	ECHO-5	24	10	14	-	-	-	-	-
コロナ	ECHO-6	14	2	8	-	6	-	-	-
コロナ	ECHO-9	109	47	59	-	25	-	1	-
コロナ	ECHO-11	136	70	87	1	31	-	2	-
コロナ	ECHO-12	2	1	-	-	1	-	-	-
コロナ	ECHO-14	2	-	2	-	-	-	-	-
コロナ	ECHO-16	64	56	13	-	-	-	-	-
コロナ	ECHO-17	1	1	-	-	-	-	-	-
コロナ	ECHO-18	41	21	27	-	12	-	-	-
コロナ	ECHO-19	3	1	-	-	2	-	-	-
コロナ	ECHO-20	21	12	10	-	2	-	-	-
コロナ	ECHO-21	2	-	-	-	2	-	-	-
コロナ	ECHO-22	26	18	9	-	-	-	-	-
コロナ	ECHO-24	9	2	3	-	6	-	-	-
コロナ	ECHO-25	1	1	1	-	-	-	-	-
コロナ	ECHO-27	2	2	-	-	-	-	-	-
コロナ	ECHO-30	66	43	19	-	17	-	-	-
ポリオ 1	POLIO-1	27	19	14	-	-	-	-	-
ポリオ 2	POLIO-2	34	22	16	-	-	-	-	-
ポリオ 3	POLIO-3	30	25	5	-	-	-	-	-
エンテロ 70	ENTERO70	1	-	-	-	-	-	-	1
エンテロ 71	ENTERO71	22	3	16	-	3	-	-	-
ゲノ	RHINO-ALL	10	-	9	-	-	-	-	1
インフル A	INF.A H1N1	358	-	338	-	-	-	-	-
インフル A (H1)	INF.A(H1)	483	-	483	-	-	-	-	-
インフル A (H3)	INF.A(H3)	1	-	1	-	-	-	-	-
インフルエンザ B	INF.B	112	-	112	-	-	-	-	-
パラインフル 1	PARAINF.1	37	-	37	-	-	-	-	-
パラインフル 2	PARAINF.2	5	-	5	-	-	-	-	-
パラインフル 3	PARAINF.3	58	-	58	-	-	-	-	-
RSウイルス	RS	19	-	19	-	-	-	-	-
ムツウス	MUMPS	77	-	72	-	8	-	-	-
マジン	MEASLES	11	-	9	1	2	-	-	-
クラク	RUBELLA	26	-	23	1	-	-	-	-
リコ NT	REO NT	1	1	-	-	-	-	-	-
リコ 1	REO-1	1	1	-	-	-	-	-	-
リコ 2	REO-2	5	4	1	-	-	-	-	-
リコ 9	ROTA	984	984	-	-	-	-	-	-
カクテキリウイルス	SRV	94	94	-	-	-	-	-	-
カクテキリウイルス	ADENO NT	106	67	12	13	2	-	11	-
カクテキ 1	ADENO-1	125	33	88	8	2	-	-	1
カクテキ 2	ADENO-2	140	49	100	-	-	2	-	-
カクテキ 3	ADENO-3	719	110	515	162	1	-	1	-
カクテキ 4	ADENO-4	307	7	76	233	-	-	-	8
カクテキ 5	ADENO-5	79	19	58	2	1	-	-	1
カクテキ 6	ADENO-6	20	5	16	-	-	-	-	-
カクテキ 8	ADENO-8	192	1	5	186	-	-	-	-
カクテキ 10	ADENO-10	1	-	1	-	-	-	-	-
カクテキ 11	ADENO-11	36	1	7	6	-	-	23	-
カクテキ 19	ADENO-19	108	5	11	92	-	-	-	-
カクテキ 37	ADENO-37	3	-	3	-	-	-	-	-
ダブルコハヘルペス NT	HSV NT	274	-	187	3	2	81	-	3
ダブルコハヘルペス 1	HSV-1	198	1	94	16	4	80	3	1
ダブルコハヘルペス 2	HSV-2	51	-	8	-	-	41	2	-
スライクタッシュホウシ	VZV	80	-	2	-	2	75	-	-
ライメカロ	CMV	223	-	48	-	-	1	174	-
アカタカンエン	HEPATITISA	1	1	-	-	-	-	-	-
ミトトウケイウイルス	VIRUS NT	82	28	39	-	21	-	3	-

ツツカムシ R.TSUTSUG. 4 - - - - -  
マイコフラス マイコフラス R.MYCOPL.PN. 177 - 176 - - - - -

NT: 未同定

#### 4. 臨床症状、由来ヒト、1984年

#### 4. Isolation of viruses from humans, by clinical conditions, Japan, 1984

1985年11月30日現在報告數  
Data received as of November 30, 1985

NT：未同定

## 5. 検出方法、由来ヒト、1984年

5. Isolation of viruses from humans, by method of isolation, Japan, 1984

1985年11月30日現在報告数  
Data received as of November 30, 1985

例 塔 数 NUMBER OF CASES	培養の方法 ISOLATED BY	電 球						R P H A OTHER	静 養 試 体 法 ELISA
		細胞	動物	卵	細胞	人工培地	電 球		
		CULTURE	ANIMAL	CHICK EMBRYO	CELL CULTURE	ELECTRON MICROSCOPY	IMMUNOFUORESCENCE		
コウケイ	TOTAL	8051	6902	903	437	5691	-	559	12
コツラキ-A NT	COXSA, A NT	3	3	1	-	2	-	-	-
コツラキ-A2	COXSA, A2	19	19	18	-	1	-	-	-
コツラキ-A3	COXSA, A3	4	6	3	-	1	-	-	-
コツラキ-A4	COXSA, A4	144	144	126	-	22	-	-	-
コツラキ-A5	COXSA, A5	136	136	132	-	41	-	-	-
コツラキ-A6	COXSA, A6	22	22	20	-	2	-	-	-
コツラキ-A7	COXSA, A7	1	1	-	-	1	-	-	-
コツラキ-A9	COXSA, A9	95	95	-	-	95	-	-	-
コツラキ-A10	COXSA, A10	599	599	563	-	40	-	-	-
コツラキ-A16	COXSA, A16	108	108	22	-	89	-	-	-
コツラキ-B1	COXSA, B1	48	48	1	-	48	-	-	-
コツラキ-B2	COXSA, B2	131	131	-	-	131	-	-	-
コツラキ-B3	COXSA, B3	137	137	-	-	137	-	-	-
コツラキ-B4	COXSA, B4	196	196	13	-	193	-	-	-
コツラキ-B5	COXSA, B5	761	761	1	-	761	-	-	-
コツラキ-B6	COXSA, B6	5	5	-	-	5	-	-	-
エコ-3	ECHO-3	24	24	-	-	24	-	-	-
エコ-6	ECHO-6	14	14	-	-	14	-	-	-
エコ-9	ECHO-9	109	109	-	-	109	-	-	-
エコ-11	ECHO-11	136	136	-	-	136	-	-	-
エコ-12	ECHO-12	2	2	-	-	2	-	-	-
エコ-14	ECHO-14	2	2	-	-	2	-	-	-
エコ-16	ECHO-16	64	64	-	-	64	-	-	-
エコ-17	ECHO-17	1	1	-	-	1	-	-	-
エコ-18	ECHO-18	41	41	-	-	41	-	-	-
エコ-19	ECHO-19	3	3	-	-	3	-	-	-
エコ-20	ECHO-20	21	21	-	-	21	-	-	-
エコ-21	ECHO-21	2	2	-	-	2	-	-	-
エコ-22	ECHO-22	26	26	-	-	26	-	-	-
エコ-24	ECHO-24	9	9	-	-	9	-	-	-
エコ-25	ECHO-25	1	1	-	-	1	-	-	-
エコ-27	ECHO-27	2	2	-	-	2	-	-	-
エコ-30	ECHO-30	66	66	-	-	66	-	-	-
ポリオ 1	POLIO-1	27	27	-	-	27	-	-	-
ポリオ 2	POLIO-2	34	34	-	-	34	-	-	-
ポリオ 3	POLIO-3	30	30	-	-	30	-	-	-
エンテロ 70	ENTERO70	1	1	-	-	1	-	-	-
エンテロ 71	ENTERO71	22	22	-	-	22	-	-	-
ライノ	RHINO-ALL	10	10	-	-	10	-	-	-
インフルA H1N1	INF.A H1N1	338	338	-	-	173	176	-	-
インフルA (H1)	INF.A(H1)	483	483	-	-	208	296	-	-
インフルA (H3)	INF.A(H3)	1	1	-	-	1	-	-	-
インフルエサ" B	INF.B	112	112	-	-	55	91	-	-
パライフル 1	PARAINF.1	37	37	-	-	37	-	-	-
パライフル 2	PARAINF.2	5	5	-	-	5	-	-	-
パライフル 3	PARAINF.3	58	58	-	-	58	-	-	-
RSウイルス	RS	19	19	-	-	19	-	-	-
ムンアス	MUMPS	77	77	-	-	77	-	-	-
マシン	MEASLES	11	11	-	-	11	-	-	-
フラン	RUBELLA	24	24	-	-	24	-	-	-
レオ NT	REO NT	1	-	-	-	-	1	-	-
レオ 1	REO-1	1	1	-	-	1	-	-	-
レオ 2	REO-2	5	5	-	-	5	-	-	-
ロタ	ROTA	984	-	-	-	-	397	-	151 483 56
コツカタケリウイルス	SRV	94	-	-	-	-	94	-	-
アデノ NT	ADENO- NT	106	40	-	-	40	-	65	-
アデノ 1	ADENO-1	125	125	-	-	125	-	-	-
アデノ 2	ADENO-2	140	140	-	-	140	-	-	-
アデノ 3	ADENO-3	719	719	-	-	719	-	1	-
アデノ 4	ADENO-4	307	307	-	-	307	-	-	-
アデノ 5	ADENO-5	79	79	-	-	79	-	-	-
アデノ 6	ADENO-6	20	20	-	-	20	-	-	-
アデノ 8	ADENO-8	192	192	-	-	192	-	-	-
アデノ 10	ADENO-10	1	1	-	-	1	-	-	-
アデノ 11	ADENO-11	36	36	-	-	36	-	-	-
アデノ 19	ADENO-19	108	108	-	-	108	-	-	-
アデノ 37	ADENO-37	3	3	-	-	3	-	-	-
タンソウヘルペスNT	HSV NT	274	274	2	-	274	-	-	-
タンソウヘルペス 1	HSV-1	198	198	1	-	198	-	-	-
タンソウヘルペス 2	HSV-2	51	48	-	-	48	-	12	-
サイトダクティウホウシン	VZV	80	80	-	-	80	-	-	-
サイトカロ	CMV	223	223	-	-	223	-	-	-
アカタカエン	HEPATITIS A	1	-	-	-	1	-	-	1
ミトウライウイルス	VIRUS NT	82	82	-	-	82	-	-	-
ツツカムシ マイコフ"ラス"マ	R.TSUTSUG. MYCOPL.PN.	4	4	-	-	-	-	-	-
		177	177	-	-	177	-	-	-

NT: 未同定

## 6. 検体採取の理由、由来ヒト、1984年

6. Isolation of viruses from humans, by reason for collection, Japan, 1984

1985年11月30日現在報告数  
Data received as of November 30, 1985

例 散 発 数 発 現	監視・ 特定研究	サード バイラ・ マラニク定性	その 他の 症例	OTHER												
				IMPORTED CASE SURVEILLANCE IN THE NATIONAL SURVEILLANCE PROGRAM	OTHER SURVEY SPECIAL STUDY	NATIONAL SURVEILLANCE OF VACCINE PREVENTABLE DISEASES	EPIDEMIC	Sporadic	NUMBER OF CASES	TOTAL	COXSA-A NT	COXSA-B NT	COXSA-C NT	COXSA-D NT	COXSA-E NT	COXSA-F NT
コウキウイ-A NT										8051	1506	541	744	2218	4046	87
コウキウイ-A2										3	1	-	-	1	2	-
コウキウイ-A3										19	2	-	-	1	18	-
コウキウイ-A4										4	-	-	-	4	-	-
コウキウイ-A5										144	12	5	-	30	114	-
コウキウイ-A6										136	8	37	-	39	99	-
コウキウイ-A7										22	2	-	-	6	16	-
コウキウイ-A8										1	-	-	-	-	1	-
コウキウイ-A9										95	23	-	17	13	62	-
コウキウイ-A10										59	28	14	-	269	375	-
コウキウイ-A16										108	20	1	-	30	82	-
コウキウイ-B1										48	3	1	3	19	23	-
コウキウイ-B2										131	8	1	28	51	65	1
コウキウイ-B3										137	23	4	83	5	25	-
コウキウイ-B4										196	16	18	37	35	14	-
コウキウイ-B5										761	89	29	93	181	492	11
コウキウイ-B6										5	-	2	-	1	1	-
エコ-3	ECHO-3									24	2	1	6	16	5	-
エコ-6	ECHO-6									14	-	-	-	2	13	-
エコ-9	ECHO-9									109	24	25	2	5	90	-
エコ-11	ECHO-11									136	6	1	17	32	87	1
エコ-12	ECHO-12									2	-	-	-	-	2	-
エコ-14	ECHO-14									2	-	-	-	1	1	-
エコ-16	ECHO-16									64	6	4	1	18	40	-
エコ-17	ECHO-17									1	-	-	-	-	1	-
エコ-18	ECHO-18									41	8	-	-	1	32	-
エコ-19	ECHO-19									3	-	-	-	-	2	1
エコ-20	ECHO-20									21	4	1	-	4	16	-
エコ-21	ECHO-21									2	-	-	-	-	2	-
エコ-22	ECHO-22									26	5	-	7	5	13	-
エコ-24	ECHO-24									9	1	-	-	3	8	1
エコ-25	ECHO-25									1	-	-	-	-	1	-
エコ-27	ECHO-27									2	-	-	-	-	2	-
エコ-30	ECHO-30									66	8	2	1	45	19	-
ポリオ-1	POLIO-1									27	7	-	-	11	15	-
ポリオ-2	POLIO-2									34	3	-	-	13	21	-
ポリオ-3	POLIO-3									30	4	1	1	3	25	-
エンテロ-70	ENTERO70									1	-	-	-	-	-	-
エンテロ-71	ENTERO71									22	-	-	-	4	18	-
ライノ	RHINO-ALL									10	10	-	-	-	-	-
インフルA H1N1	INF.A H1N1									358	15	131	169	54	121	-
インフルA (H1)	INF.A (H1)									403	28	144	165	93	104	-
インフルA (H3)	INF.A (H3)									1	-	-	-	-	-	-
インフルエンザB	INF.B									112	3	60	51	11	15	-
パラインフル 1	PARAINF.1									37	-	-	1	32	4	-
パラインフル 2	PARAINF.2									5	-	-	-	1	4	-
パラインフル 3	PARAINF.3									58	-	-	-	53	5	-
RSウイルス	RS									19	6	-	-	7	4	2
ムンプス	MUMPS									77	7	-	-	65	29	-
マジン	MEASLES									11	2	-	-	1	9	-
フラン	RUBELLA									24	1	-	-	23	8	-
レオ NT	REO NT									1	-	-	-	-	1	-
レオ 1	REO-1									1	-	-	-	1	-	-
レオ 2	REO-2									5	1	-	2	-	3	-
ロタ	ROTA									984	38	14	-	313	701	-
コクサヘルペス	SRV									94	-	22	-	43	29	-
アデノ NT	ADENO NT									106	33	-	-	32	43	-
アデノ 1	ADENO-1									125	18	3	12	59	53	-
アデノ 2	ADENO-2									140	19	1	6	60	71	-
アデノ 3	ADENO-3									719	114	19	20	316	373	1
アデノ 4	ADENO-4									307	124	1	2	40	177	-
アデノ 5	ADENO-5									79	7	-	7	29	41	-
アデノ 6	ADENO-6									20	2	-	-	8	12	-
アデノ 8	ADENO-8									192	51	-	-	11	130	-
アデノ 10	ADENO-10									1	-	-	-	1	-	-
アデノ 11	ADENO-11									58	22	-	-	7	7	-
アデノ 19	ADENO-19									108	51	-	-	2	57	-
アデノ 37	ADENO-37									5	-	-	-	3	3	-
ツツジコクサヘルペス NT	HSV NT									274	94	-	11	79	108	-
ツツジコクサヘルペス 1	HSV-1									198	124	1	1	58	27	-
ツツジコクサヘルペス 2	HSV-2									51	44	-	-	5	-	2
ストライクウオウウツ	VZV									80	79	-	-	-	1	-
サイメコロ	CMV									223	222	-	-	1	-	-
A7マウス	HEPATITIS A									1	-	-	-	-	1	-
ミトウケイウイルス	VIRUS NT									82	67	-	-	11	4	-
ツツジカムシ	R.TSUTSUG.									4	1	-	-	2	-	2
マイコプラスマ	MYCOPL.PN.									177	-	-	-	1	176	-

NT: 未同定

7. 検体提供者の住所（県・政令市）、由来ヒト、1984年

#### 7. Isolation of viruses from humans, by place of residence, Japan, 1984

(Refer to code map in page 93~95)

1985年11月30日現在報告數  
Data received as of November 30, 1985

NT：未回定

## 7. Continued

		不明										Unknown										
		福岡市					北九州市					北九州市					福岡市					
		北九州市		北九州市			北九州市		北九州市			北九州市		北九州市			北九州市		北九州市			
		北九州市	北九州市	北九州市	北九州市	北九州市	北九州市	北九州市	北九州市	北九州市	北九州市											
コウケイ	TOTAL	109	28	406	272	107	112	16	134	221	49	69	120	79	9	11	1029	-	-	-	-	
コウリキ-A	NT	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
コウリキ-A2	COXSA_A NT	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
コウリキ-A3	COXSA_A2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
コウリキ-A4	COXSA_A3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
コウリキ-A5	COXSA_A4	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
コウリキ-A6	COXSA_A5	6	-	1	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
コウリキ-A7	COXSA_A6	-	1	-	20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
コウリキ-A8	COXSA_A7	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
コウリキ-A9	COXSA_A9	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
コウリキ-A10	COXSA_A10	9	-	66	62	1	2	-	-	4	3	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
コウリキ-A16	COXSA_A16	-	-	10	13	-	-	-	-	26	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
コウリキ-B1	COXSA_B1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
コウリキ-B2	COXSA_B2	2	-	18	33	1	-	-	-	6	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
コウリキ-B3	COXSA_B3	-	-	-	1	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
コウリキ-B4	COXSA_B4	1	-	-	9	8	3	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
コウリキ-B5	COXSA_B5	10	-	56	7	30	20	-	-	15	26	23	5	16	1	19	1	-	15	34	14	
コウリキ-B6	COXSA_B6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
エコ-3	ECHO-3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
エコ-6	ECHO-6	-	-	1	-	2	1	-	-	1	-	-	3	-	-	-	-	-	-	1	-	
エコ-9	ECHO-9	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	7	1	-	-	-	-	1	1	7	
エコ-11	ECHO-11	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	23	-	3	
エコ-12	ECHO-12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
エコ-14	ECHO-14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
エコ-16	ECHO-16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
エコ-17	ECHO-17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
エコ-18	ECHO-18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
エコ-19	ECHO-19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
エコ-20	ECHO-20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
エコ-21	ECHO-21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
エコ-22	ECHO-22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
エコ-24	ECHO-24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
エコ-25	ECHO-25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
エコ-27	ECHO-27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
エコ-30	ECHO-30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ホリオキ-1	POLIO-1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ホリオキ-2	POLIO-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ホリオキ-3	POLIO-3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
エンテロ70	ENTEROT70	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
エンテロ71	ENTEROT71	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ライ	RHINO-ALL	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
インフルA HIN1	INF.A HIN1	-	-	31	6	6	12	1	-	-	-	-	-	-	-	15	-	-	2	1	10	
インフルA (H1)	INF.A(H1)	18	-	-	-	14	3	-	-	-	17	18	-	-	-	30	3	12	-	14	-	-
インフルA (H3)	INF.A(H3)	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	3	-	-	-	-	
インフルC	INF.B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	2	-	-	-	-	
パラインフル1	PARAINF.1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16	-	-	-	-	-	
パラインフル2	PARAINF.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	1	14	-	-	-	
パラインフル3	PARAINF.3	1	-	-	-	4	-	-	-	1	-	2	-	-	-	20	6	16	-	-	-	
RS	RS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	9	-	-	-	-	
ムンプス	MUMPS	1	-	45	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	
マジン	MEASLES	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	
ワクシ	RUBEILLA	-	-	21	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	
レオ NT	REO NT	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	25	39	13	45	3	
レオ 1	REO-1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	4	-	5	
レオ 2	REO-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	24	-	29	
ロタ	ROTA	3	15	64	27	6	10	-	-	2	100	50	28	5	-	-	-	-	-	-	-	
アデノ NT	ADENO NT	SRV	1	-	-	-	3	2	-	-	5	22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
アデノ 1	ADENO-1	-	-	-	3	4	1	4	-	-	27	19	-	-	-	9	-	20	1	-	8	
アデノ 2	ADENO-2	4	-	-	5	6	7	5	-	-	2	1	-	-	-	7	2	1	1	58	-	
アデノ 3	ADENO-3	21	4	40	29	7	5	1	-	2	64	6	15	-	-	46	1	41	3	2	62	
アデノ 4	ADENO-4	14	1	-	4	4	1	15	-	1	-	1	1	-	-	10	1	14	-	4	4	
アデノ 5	ADENO-5	3	-	-	4	2	-	-	-	1	-	1	1	-	-	6	1	3	-	1	1	
アデノ 6	ADENO-6	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	1	1	-	-	1	1	1	1	1	1	
アデノ 8	ADENO-8	2	-	-	4	-	-	2	-	88	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	51	
アデノ 10	ADENO-10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
アデノ 11	ADENO-11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
アデノ 19	ADENO-19	-	-	-	-	-	-	7	-	1	-	15	-	-	-	1	2	-	-	-	21	
アデノ 37	ADENO-37	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	15	29	-	46	
エンタコバヘルペス NT	HSV NT	-	4	60	23	12	1	1	8	5	9	-	-	-	-	-	-	-	20	5	3	
エンタコバヘルペス 2	HSV-2	5	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	128	
スティラタジウムウカウシ	VZV	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	25	
サイメカロ	CMV	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	69	
アガタニンエニン	HEPATITISA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	215	
ミトウタケイウイルス	VIRUS NT	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	7	-	
ツツラム	R.TSUTSUG.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	63	
マイコフラスマ	MYCOPL.PN.	-	-	-	-	6	-	-	1	15	-	-	-	-	-	-	-	-	115	-	3	

NT: 未同定

## 第6 感染症サーベイランス事業の実施について

## 第6 感染症サーベイランス事業の実施について

（昭和56年5月26日衛発第422号  
各都道府県知事、各指定都市市長あて  
厚生省公衆衛生局長通知）

感染症予防対策については、かねてよりご尽力を願っているところであるが、近年、公衆衛生の向上、生活環境の変化等により各種感染症の発生状況は著しく変貌し、法定伝染病などが減少した反面、風しん、手足口病、伝染性紅斑等の疾病の流行が、最近、社会的に問題となってきた。

このため、これら感染症に対する地域的及び全国的な監視体制を設け、流行の実態を早期かつ適確に把握するとともに、その情報を速やかに地域に還元して適切な予防措置を講じることにより、これら感染症のまん延を未然に防止することを目的として、別添「感染症サーベイランス事業実施要綱」を定めたので、本事業の実施については格段の御配意を願いたい。

なお、本事業実施上の細部については、別途当局保健情報課長より通知することとしているので申し添える。

(別添)

## 感染症サーベイランス事業実施要綱

### 第1 目的

近年、公衆衛生の向上及び生活環境の変化等により各種感染症の発生状況は著しく変貌し、法定伝染病などは激減したが、反面、風しん、手足口病、伝染性紅斑など従来余り表在化することのなかった疾病の流行が、最近社会的に問題視されるようになってきたことにかんがみ、これら感染症に対する地域的及び全国的な監視体制を設け、患者の発生状況、病原体の検索など流行の実態を早期かつ的確に把握し、その情報を速やかに地域に還元することにより、医療機関におけるプライマリ。ケアの推進に資するとともに、予防接種、小児集団生活の管理、衛生教育など適切な予防措置を講じ、もってこれら感染症のまん延を未然に防止することを目的とする。

### 第2 対象疾病

この事業の対象とする疾病は、次のとおりとする。

- (1) 麻しん様疾患 (2) 風しん (3) 水痘 (4) 流行性耳下腺炎 (5) 百日せき様疾患 (6) 溶連菌感染症
- (7) 異型肺炎 (8) 乳児嘔吐下痢症 (9) その他の感染性下痢症 (10) 手足口病 (11) 伝染性紅斑 (12) 突発性発しん (13) ヘルパンギーナ (14) 咽頭結膜熱 (15) 流行性角結膜炎 (16) 急性出血性結膜炎 (17) 頭膜炎 ((a) 細菌性、(b) 無菌性) (18) 脳・脊髄炎

### 第3 実施主体

実施主体は、国、都道府県及び指定都市とする。

### 第4 実施体制の整備

情報処理の総合的かつ円滑な推進を図るため、次の体制を整備するものとする。

#### 1 感染症情報センター

- (1) 中央感染症情報センター（厚生省公衆衛生局感染症対策室）

中央感染症情報センターは、地方感染症情報センターから通報される患者発生情報及び国立予防衛生研究所から通報される検査情報を速やかに地方感染症情報センター等に還元するための中心的役割を果たすものとする。

- (2) 地方感染症情報センター（都道府県・指定都市衛生主管部局）

地方感染症情報センターは、地域における患者発生情報及び検査情報を収集し、全国情報と併せてこれを速やかに医師会、保健所等関係機関に還元するものとすること。

#### 2 定点

都道府県及び指定都市は、患表発生情報及び病原体の分離等の検査情報を収集するため、患者定点及び検査定点をそれぞれ医療機関の中から選定すること。

#### 3 感染症情報対策委員会

- (1) 中央感染症情報対策委員会

中央における事業の適確な運用を図るため、国に小児科、内科、微生物学、疫学等の専門家で構成される中央感染症情報対策委員会を設置し、同委員会に情報の解析評価を行うため解析

評価小委員会を設ける。

(2) 地方感染症情報対策委員会

地方における事業の適確な運用を図るため、都道府県及び指定都市に小児科、内科、微生物学、疫学等の専門家（10名程度）で構成される地方感染症情報対策委員会を設置し、同委員会に情報の解析評価を行うため解析評価小委員会を設けること。

## 第5 事業の実施

### 1 定点の選定

(1) 患者定点

対象疾病の患者発生状況を地域的に把握するため、医療機関を患者定点とし、次の点に留意して選定すること。

ア 人口及び医療機関の分布等を勘案してできるだけ地域及び県（市）全体の疾患の発生状況を把握できるよう考慮すること。

イ 対象疾患のうち、(1)から(3)までに掲げる疾患については、小児科及び内科の医療機関（主として小児科）を患者定点とし、定点数は別表1に掲げる「保健所の人口規模別による患者定点の算出方法」を参考として算定すること。

ウ 対象疾患のうち、(4)から(6)までに掲げる疾患については、眼科の医療機関を患者定点とし、定点数は前記イにより算定された定点数の概ね10%とすること。ただし、当該数が3か所未満の場合であっても3か所を選定すること。

エ 対象疾患のうち、(7)及び(8)の疾患については、対象者がほとんど入院患者であるため病院（主として小児科）を患者定点とし、定点数は、前記イにより算定された定点数の概ね10%とすること。ただし、当該数が3か所未満の場合であっても3か所を選定すること。

(2) 検査定点

病原体の分離等検査結果の情報を収集するため、医療機関を検査定点とし、次の点に留意して選定すること。

ア 原則として患者定点として選定された医療機関の中から選定すること。

イ 定点数は、選定された患者定点数の概ね30%とすること。

ウ (1)のエにより選定された病院は(7)及び(8)の疾患についての検査定点とすること。

### 2 実施方法

(1) 患者定点

ア 患者定点として選定された医療機関は、速やかな情報提供を図る主旨から患者発生件数の把握に際しては、調査単位（日曜日から土曜日までの1週間）の間の診療時における主として臨床的診断の結果をもって行うものであること。

イ 前記1の(1)のイにより選定された小児科、内科の医療機関においては、別紙様式1により、また、前記1の(1)のウにより選定された眼科の医療機関においては、別紙様式2により調査単位の患者発生件数を疾患別、年齢階級別に調査票に記載すること。また、対象疾患についての特記すべき検査情報及び対象でない疾患についての特記すべき事項等がある場合は、調査票中「その他特記事項」欄に記載すること。

ウ 前記1の(1)のエにより選定された病院においては、別紙様式3により調査単位の患者発生状況及び検査結果を調査票の「新報告例」欄に記載することとし、検査結果が当該調査単位の期間内に判明しない場合又は陰性の場合は「検査結果」欄を空欄とする。その後検査結果が陽性となった時点で「報告済で検査結果判明例」欄に所要事項を記載すること。

エ 調査票は、調査単位の翌週の火曜日までに地方感染症情報センターに到着するよう通報すること。

#### (2) 検査定点

ア 検査定点として選定された医療機関は、別に定める感染症サーベイランス事業検査指針により、細菌学的及びウイルス学的検査のために検体を採取すること。

イ 検査定点で採取された検体は、別紙様式4の検査依頼票を添えて原則として管轄の保健所を経由して地方衛生研究所等（検査機関）へ搬送すること。

#### (3) 地方衛生研究所

ア 地方衛生研究所は、前記(2)のイにより搬送された検体を検査し、その結果を保健所を経由して検査定点に通知するとともに、これを検査情報として地方感染症情報センターへ適宜通報すること。

イ 検査のうち、実施不可能なものについては必要に応じ国立予防衛生研究所へ検査依頼すること。

ウ 地方衛生研究所は、前記アの検査情報を月報として翌月の15日までに国立予防衛生研究所へ通報すること。ただし、ウイルス分離結果については、別紙様式5のマークシートによりその都度通報すること。

#### (4) 国立予防衛生研究所

ア 国立予防衛生研究所は、地方衛生研究所から検査依頼を受けた検体について検査を実施し、その結果を地方衛生研究所へ通知すること。

イ 前記(3)のウにより地方衛生研究所から通報された検査情報を月報として集計し、当月20日までに中央感染症情報センターへ通報すること。ただし、ウイルス分離結果等で必要なものはその都度連絡すること。

#### (5) 地方感染症情報センター

ア 地方感染症情報センターは、患者定点から通報された患者発生情報（感染症サーベイランス調査票）を速やかに集計し、地方衛生研究所から適宜通報される検査情報と中央情報センターから送付される全国情報を含めて速やかに週報として、定点医療機関、医師会、保健所、教育委員会、市町村等の関係機関へ還元すること。この場合必要に応じ（月1回以上）解析評価を加えて行うものとすること。

イ 地方感染症情報センターで集計された患者発生情報は、別紙様式6によるOCRカードに疾病別、年齢階級別の患者発生件数等を記載するとともに、対象疾患についての集団発生、地域的流行及び特記すべき検査結果にかかる情報並びに対象となっていない疾患についての特記すべき情報があれば別紙に記載し、併せて調査単位の翌週の金曜日までに中央感染症情報センターへ到着するよう通報すること。

なお、様式3による調査票のうち、「検査結果」欄に記載あるものについては、その写を同時に送付すること。

#### (6) 中央感染症情報センター

ア 中央感染症情報センターは、地方感染症情報センターから通報された全国の患者発生情報を速やかに集計し、当該通報指定日((5)のイ)の翌週の火曜日までに地方感染症情報センターへ還元する。

イ 国立予防衛生研究所から通報された検査情報は患者発生情報とともに、速やかに地方感染症情報センターへ還元する。

ウ 患者発生情報及び検査情報を還元する場合は、必要に応じ(月1回以上)解析評価を行ふものとする。

#### 第6 実施時期

この実施要綱は、昭和56年7月1日から施行する。

別表1

#### 保健所の人口規模別による患者定点の算出方法

保健所	1型(所管人口125万以上)	患者定点数	5
	2型(〃17万5千 以上25万未満)	"	4
	3型(〃12万5千 以上17万5千未満)	"	3
	4型(〃7万5千 以上12万5千未満)	"	2
	5型(〃3万以上 7万5千未満)	"	1
	S型(〃3万未満)	"	1

## 様式 1.

感染症サーベイランス調査票(小児 内科用)							
第 週		定点 No. _____					
調査期間	年 月 日(日) ~ 月 日(土)						
病名	年齢	1歳未満	1~4歳	5~9歳	10~14歳	15歳以上	計
麻しん様疾患							
風しん							
水痘							
流行性耳下腺炎							
白目せき様疾患							
溶連菌感染症							
異型肺炎							
乳児呕吐下痢症							
その他の感染性下痢症							
手足口病							
伝染性紅斑							
突発性発しん							
ヘルパンギーナ							
咽頭結膜熱							

その他特記事項

## 様式 2.

感染症サーベイランス調査票(眼科用)							
第 週		定点 No. _____					
調査期間	年 月 日(日) ~ 月 日(土)						
病名	年齢	1歳未満	1~4歳	5~9歳	10~14歳	15歳以上	計
咽頭結膜熱							
流行性角結膜炎							
急性出血性結膜炎							

その他特記事項

(参考) 様式 1 から 3 までについては、官製はがきを用いるものであること。

## 様式 3. (記入例)

感染症サーベイランス調査票(病院用) _____ 都道府県。市							
新 報 告 例	カルテ 番号	発症 年月日	年齢 (歳)	臨床診断名	検査結果(陽性所見のみ記載)		
		56.8.9	4	無菌性髄膜炎(ムンプス)	材 料	採取病日	内 容
		56.8.10	3	細菌性髄膜炎	髄 液	<sup>1</sup> (病日)	グラム陽性球菌
		56.8.13	6	脳 炎(麻しん)			
報告 済 で明 確 検査		56.7.21	5	無菌性髄膜炎	血 清	<sup>4</sup> 17	ムンプス CF 4 X ムンプス CF 32 X
		56.7.7	4	脳・脊髄炎	髄 液	3	エンテロウイルス (71) 分離

(注) 1. 発症原因が臨床的に推定できた場合は、( ) でその旨記載のこと。  
 2. 例数が多数の場合、2枚以上使用してもさしつかえない。

## 様式 4.

## 感染症サーベイランス事業検査依頼票

材料採取定点 定点No. \_\_\_\_\_

機関名 \_\_\_\_\_

衛研受付番号

担当者(主治医) \_\_\_\_\_

No. \_\_\_\_\_

材料送付日	年 月 日	検体番号 No.
-------	-------	----------

患者	氏名	男, 女*	年 月 日生 (才)
	住 所		

検査材料	採取日	年 月 日
	材料の種類*	ふん便, 咽頭うがい液, 鼻咽頭ぬぐい液, 結膜ぬぐい液, 水疱内容, 髄液, その他 ( )

臨床報告	発病日	年 月 日
	疫学的事項*	散発 流行(幼稚園, 保育所, 育児所, 学校, 宿舎, 家族内, 地域) その他 ( )
	臨床診断名*	麻しん様疾患, 風しん, 水痘, 流行性耳下腺炎, 百日せき様疾患, 溶連菌感染症, 異型肺炎, 乳児呕吐下痢症, その他の感染性下痢症, 手足口病, 伝染性紅斑, 突発性発しん, ヘルパンギーナ, 咽頭結膜熱, 流行性角結膜炎, 急性出血性結膜炎, 髄膜炎(細菌性, 無菌性), 脳・脊髄炎 その他 ( )
	臨床症状。徴候等*	無症状, 発熱, 発疹, 水泡, 口内炎, ヘルパンギーナ, 手足口病症状, 耳下腺腫脹, 関節痛, 筋肉痛, 上気道炎, 下気道炎(肺炎を含む), 胃腸炎, 肝炎, 腎炎, 循環器障害, 角膜炎, 結膜炎, 髄膜炎, 脳炎, 麻痺, 泌尿生殖器疾患, 淋巴節炎, 出血傾向, 先天性疾患, その他 ( )

連絡事項等
-------

検査結果 報告日 年 月 日 検出病原体
-------------------------

\* の欄は、該当事項に○印をする。

病原微生物検出報告書(書式1)個票

1982.9改正7.1

検出病原体	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9	報告内容	検討範囲	追加	変更	その他
報告機関名	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9	臨床診断名				
検体番号	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9	臨				
採取機関名	都道府県 機関名 研究所 新潟県立 保健所 市区町村立 病院 大学 検査機関その他	床				
検体提供者(場所)	現住所	症				
都道府県	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9	状				
市町村	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9					
集団発生の場合施設名						
採取理由	散發 流行 監視または厚生省サーベイ 実験室 輸入 その他	発熱最高	。 °C	3 7 8 9 0 1 2 4 0 2 3 4 5 6 7 8 9		
採取年月日	19 年 月 日					
検体源	ヒト ウマ ブタ ウシ トリ その他の動物 サル 猿 カ その他	検査記入欄	本人のポリオワクチン接種歴	なし 不明 1回以上 2回以上 有り回数不詳	記入有	
性別	男 女 性別不明		最近の接種	年 月 日	記入有	
年齢	歳 (0歳の場合は必ず記入) か月		当該地区における最近の 生ポリオワクチン接種	年 月 日	記入有	
検体の由来	便 尿 糞 血液 唾液 尿 下水 食品 その他	イ 検 査 記 入 欄	本人の今期のインフル エンザワクチン接種歴	なし 不明 有	記入有	
検出方法	培養 動物 光鏡 発育 菌類 人工 培養 培養 培養 ELISA R-PPHAその他		報告機関における株名 ( 提出ウイルスHA値 ( 使用細胞名・継代数 ( 抗 原	患者 H I 値 急性期 回復期	記入有	
記入しないこと	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9	備 考	(マークした上で本欄に記入すること→) 特別記載欄			

報告 年 月 日

感染症サーベイランス調査票

標準文字

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

都道府県名  
指定都市

調査期間			
自	昭和	年	月 日
至	昭和	年	月 日

I D 県・市コード 昭和 年 第 週  
01 □□ □□ □□ □□

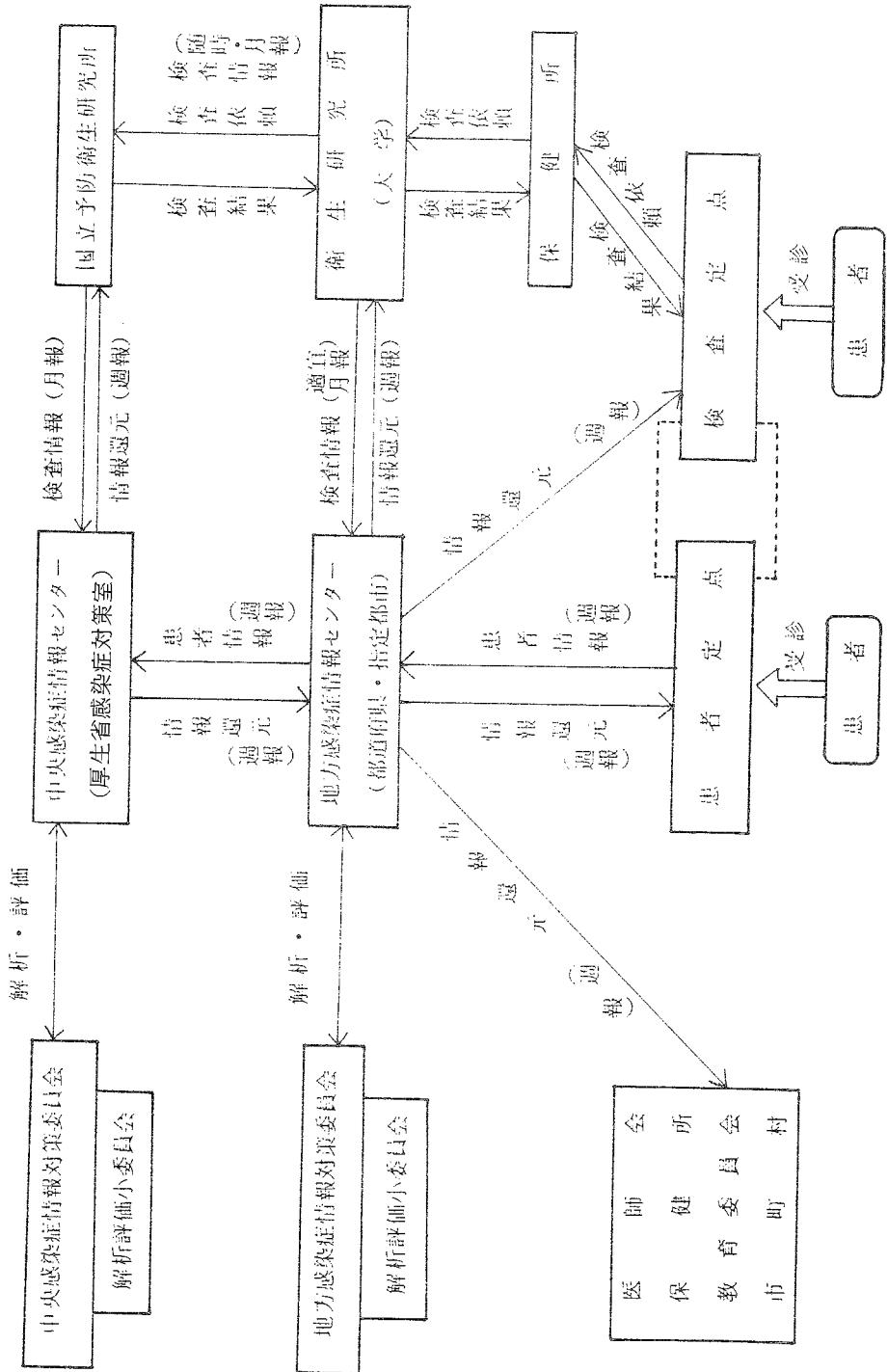
00

記入上の注意  
1 標準文字で枠内に大きく記入のこと  
2 H B の鉛筆を使用のこと  
3 刪正は消しゴムできれいに消すこと

取扱上の注意  
よごしたり折り曲げたりしないこと

病 名	1歳未満	1~4歳	5~9歳	10~14歳	15歳以上	計
1 麻しん様疾患	□□□□	□□□□	□□□□	□□□□	□□□□	□□□□
2 風しん	□□□□	□□□□	□□□□	□□□□	□□□□	□□□□
3 水痘	□□□□	□□□□	□□□□	□□□□	□□□□	□□□□
4 流行性耳下腺炎	□□□□	□□□□	□□□□	□□□□	□□□□	□□□□
5 百日せき様疾患	□□□□	□□□□	□□□□	□□□□	□□□□	□□□□
6 溶連菌感染症	□□□□	□□□□	□□□□	□□□□	□□□□	□□□□
7 異型肺炎	□□□□	□□□□	□□□□	□□□□	□□□□	□□□□
8 乳児嘔吐下痢症	□□□□	□□□□	□□□□	□□□□	□□□□	□□□□
9 その他の感染性下痢症	□□□□	□□□□	□□□□	□□□□	□□□□	□□□□
10 手足口病	□□□□	□□□□	□□□□	□□□□	□□□□	□□□□
11 伝染性紅斑	□□□□	□□□□	□□□□	□□□□	□□□□	□□□□
12 突発性発しん	□□□□	□□□□	□□□□	□□□□	□□□□	□□□□
13 ヘルパンギーナ	□□□□	□□□□	□□□□	□□□□	□□□□	□□□□
14 咽頭結膜熱	□□□□	□□□□	□□□□	□□□□	□□□□	□□□□
15 流行性角結膜炎	□□□□	□□□□	□□□□	□□□□	□□□□	□□□□
16 急性出血性結膜炎	□□□□	□□□□	□□□□	□□□□	□□□□	□□□□
17(a) 細菌性髄膜炎	□□□□	□□□□	□□□□	□□□□	□□□□	□□□□
17(b) 無菌性髄膜炎	□□□□	□□□□	□□□□	□□□□	□□□□	□□□□
18 脳・脊髄炎	□□□□	□□□□	□□□□	□□□□	□□□□	□□□□
19 インフルエンザ様感冒	□□□□	□□□□	□□□□	□□□□	□□□□	□□□□
20 ウィルス性肝炎	□□□□	□□□□	□□□□	□□□□	□□□□	□□□□

参考資料 1. 感染症サバейランス事業フロー チャート



## 様式 6. コーナーカット

厚 1 - 4 - 13 - 1  
昭和56年 5月20日 登録厚生省  
保健医療局

## 感染症サーベイランス調査票

標準文字

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

調査期間  
自 昭和 年 月 日  
至 昭和 年 月 日

都道府県名  
指定都市ID 県・市コード 認定年 第 過  
0 1

## 記入上の注意

- 1 標準文字で枠内に大きく記入のこと
- 2 HBの鉛筆を使用のこと
- 3 訂正は消しゴムできれいに消すこと

## 取扱上の注意

よごしたり折り曲げたりしないこと

病名	1歳未満	1~4歳	5~9歳	10~14歳	15歳以上	計
1 麻疹	<input type="checkbox"/>					
2 風疹	<input type="checkbox"/>					
3 水痘	<input type="checkbox"/>					
4 流行性耳下腺炎	<input type="checkbox"/>					
5 百日咳	<input type="checkbox"/>					
6 流行性感冒	<input type="checkbox"/>					
7 猩紅熱	<input type="checkbox"/>					
8 乳児歯科疾患	<input type="checkbox"/>					
9 乳児肥大性頭蓋症	<input type="checkbox"/>					
10 手足口病	<input type="checkbox"/>					
11 痢疾	<input type="checkbox"/>					
12 丙型肝炎	<input type="checkbox"/>					
13 乙型肝炎	<input type="checkbox"/>					
14 類似風疹	<input type="checkbox"/>					
15 流行性角膜炎	<input type="checkbox"/>					
16 急性出血性結膜炎	<input type="checkbox"/>					
17(a) 腹泻性菌膜炎	<input type="checkbox"/>					
17(b) 無菌性菌膜炎	<input type="checkbox"/>					
18 脳・脊髓炎	<input type="checkbox"/>					
	<input type="checkbox"/>					
	<input type="checkbox"/>					
	<input type="checkbox"/>					

00  
01  
02  
03  
04  
05  
06  
07  
08  
09  
10  
11  
12  
13  
14  
15  
16  
17  
18  
19  
20  
21  
22

参考資料2. 患者情報の収集・還元方法

曜日		第1週	第2週	第3週
日	午前			
	午後			
月	午前			
	午後			
火	午前			
	午後			
水	午前			
	午後			
木	午前			
	午後			
金	午前			
	午後			
土	午前			
	午後			
		患者定点医療機関で患者調査		
			地方情報センターへ到着 集計(解析評価)	地方情報センターへ到着
			中央情報センターへ投函	第2週の地方情報と第1週の全国情報をまとめる
			関係機関へ還元	関係機関へ還元
			中央情報センターへ到着 集計(解析評価)	
			地方情報センターへ投函	
		第1週分を地方情報センターへ投函		

## 第7 感染症サーベイランス事業検査指針

## 第7 感染症サーベイランス事業検査指針

### 1. 病原体検索の対象疾病

感染症サーベイランス事業において、病原体検索の対象となる疾病は、(5)百日せき様疾患 (6)溶連菌感染症 (7)異型肺炎 (8)乳児嘔吐下痢症 (9)その他の感染症下痢症 (10)手足口病 (11)ヘルパンギーナ (14)咽頭結膜熱 (15)流行性角結膜炎 (16)急性出血性結膜炎 (17)髄膜炎 ((a)細菌性(b)無菌性) (18)脳・脊髄炎であり、検査定点医療機関では、これらの疾病的患者から必要に応じて細菌学的及びウイルス学的検査のために検体を採取すること。

なお、(1)麻しん様疾患 (2)風しん (3)水痘 (4)流行性耳下腺炎 (11)伝染性紅斑 (12)突発性発しんについては、主として臨床診断によること。

## 2. 検査材料及び病原体

病原体検索のために採取すべき検査材料及び対象となる病原体を以下表に示す。

対象疾病名	病原体検出	検査材料	対象となる病原体
(1) 麻しん様疾患	×	咽頭ぬぐい液	麻しんウイルス
(2) 風しん	×	咽頭ぬぐい液	風しんウイルス
(3) 水痘	×	咽頭ぬぐい液、水疱内容	水痘・帯状疱疹ウイルス
(4) 流行性耳下腺炎	×	唾液	ムンブスウイルス
(5) 百日せき様疾患	○	鼻咽頭ぬぐい液、喀痰	百日せき菌、パラ百日せき菌
(6) 溶連菌感染症	○	扁桃部、鼻腔ぬぐい液	レンサ球菌(A, C, G群)
(7) 異型肺炎	○	喀痰。うがい液	マイコプラスマ・ニューモニエ
(8) 乳児嘔吐下痢症	○	糞便	ロタウイルス
(9) その他の感染症下痢症	○	糞便	ウイルス(アデノ、エンテロ、ノオオーク) サルモネラ、カンピロバクター、エルシニア大腸菌 NAGビブリオ、腸炎ビブリオ
(10) 手足口病	○	咽頭ぬぐい液、糞便、水疱内容	コクサッキーA 16ウイルス エンテロウイルス71型
(11) 伝染性紅斑	×	—	—
(12) 突発性発しん	×	—	—
(13) ヘルパンギーナ	○	咽頭ぬぐい液、糞便	コクサッキーウイルス
(14) 咽頭結膜熱	○	咽頭ぬぐい液、糞便、結膜ぬぐい液	アデノウイルス(3.7型)
(15) 流行性角結膜炎	○	結膜ぬぐい液	アデノウイルス(4.7.8.11.19.型)
(16) 急性出血性結膜炎	○	結膜ぬぐい液	エンテロウイルス70型
(17) 隹膜炎(細菌性、無菌性)	○	髓液、糞便、脳脊髄組織(剖検時)	エンテロ、ムンブス、ヘルペス、麻しん、日本脳炎、ポリオ等のウイルス、結核菌、真菌、レプトスピラ等
(18) 脳・脊髄炎	○		

○ 病原体検索の対象となる疾病

× 主として臨床的診断となる疾病

### 3. 検体採取法

検査定点医療機関において患者から検体を採取する場合は、次の方法によること。

#### (1) 粪便

ア 排泄直後の糞便を採取すること。

イ 細菌学的検査用には、抗生素質投与前の糞便を採取するよう心懸けること。

ウ ウィルス検査用には約 2 g (2 ml)、電子顕微鏡法による検査のためには 5 ~ 10 g 採取することが望ましい。

エ 細菌学的検査のためには、材料をキャリー・ブレーカー培地又は 1 % 食塩加グリセリン保存液に採取すること。

#### (2) 咽頭うがい液

5 ~ 10 % 脱脂乳又は生理食塩水などで咽頭の奥でよくうがいさせる。生理食塩水を用いた時は、吐き出させた後に等量の普通ブイヨンか 0.5 % ウシアルブミン加 Veal infusion broth 又は、0.5 % ゼラチン加 Honks 液を加える。

#### (3) 鼻咽頭ぬぐい液

滅菌綿棒で鼻腔あるいは咽頭をよくぬぐい、滅菌容器に分注した保存液 (0.5 % ウシアルブミン加 Veal infusion broth 約 2 ml 又は 0.5 % ゼラチン加 Honks 液) にその綿棒を浸し器壁でよくしぼった後、棒を取り除いて密栓すること。

#### (4) 結膜ぬぐい液

眼瞼結膜を綿棒で強くこすり、前記の鼻咽頭ぬぐい液と同様に処理すること。

#### (5) 水泡内容液

水泡又は膿泡の表面をアルコール綿等で消毒し、毛細管又はツベリクリン注射器などで局所を突き穿し内容物を吸引するか、又は局所を綿棒でこすり、前記ぬぐい液と同様に処理すること。

#### (6) 隆液

無菌的に 1 ~ 5 ml 隆液を採取して、滅菌容器に入れ密栓すること。

### 4. 検体の保存法

(1) 短時間 (2 ~ 3 時間) の保存であれば、氷冷 (冷蔵庫) して保存すること。

(2) 長時間の保存であれば、-25°C 以下で凍結保存すること。

(3) キャリー・ブレーカー培地又は 1 % 食塩加グリセリン保存液に採取された糞便は、凍結してはならない。採取当日検査に供するのが望ましいが、止むを得ず検査が遅れる場合は氷冷 (冷蔵庫) 保存すること。

(4) ウィルス材料については、ドライアイスアセトン又はドライアイスアルコールで急速に凍結した後、ドライアイス又は超低温庫 (-70°C 以下) で保存することが望ましい。ドライアイス使用の場合は、CO<sub>2</sub> ガスが容器内部に浸入するのを防ぐため密栓し、ビニールテープでシールすること。

### 5. 検体の搬送法

(1) 検体はできるだけ速やかに検査機関に搬送すること。

(2) 密封及び凍結可能な容器を用い、搬送用コンティナーに入れ、前記の保存温度条件にしたがつ

て、冷却又は凍結して搬送すること。

(3) 凍結の場合は、ドライアイス又は寒剤（例えば氷75%+食塩25%）を使用すること。

注1 凍結検査材料は、保存、搬送の間に融解しないようにすること。

注2 ウィルス材料取扱の詳細については、下記を参照すること。

厚生省監修 微生物検査必携 ウィルス・リケッチャ検査第2版 1978年日本公衆衛生協会

## 6. 検査情報報告書の記入要領

微生物検査情報システム化に関する研究班編著

「病原微生物検査情報報告書記入の手引き」を参考のこと。

## 第8 感染症サーベイランス事業の実施について

## 第8 感染症サーベイランス事業の実施について

（昭和56年6月24日 衛情第29号  
各都道府県、各指定都市衛生主管部（局）長あて  
厚生省公衆衛生局保健情報課長通知）

標記については、昭和56年5月28日衛発第422号で厚生省公衆衛生局長から通知されたところであるが、さらに次のことを留意の上、本事業の円滑な推進を期されるよう願いたい。

### 第1 総括的な事項について

1. 本事業は、現行の伝染病予防法に基づく法定・指定伝染病及び届出伝染病の予防対策並びに伝染病流行予測調査事業による集団免疫の現況把握等長期的視野にたった流行予測に基づく予防対策に加え、今回上記対策の対象とされていなかった疾病についての監視体制を新たに整備することとしたものであり、この事業の実施により総合的な感染症（伝染病）予防対策の充実を図ることであること。
2. 本事業の実施については、患者定点及び検査定点医療機関の協力を得ることが前提となるものであるので、貴都道府県・指定都市の医師会と十分協議のうえ協力が得られるようご配意を願いたい。なお、本事業の主旨については（社）日本医師会と協議済であるので申し添える。
3. 感染症に対する早期かつ適切な対策を樹立するためには、感染症の発生とまん延及びそれに関する諸要因が迅速かつ的確に當時把握されていることが重要であり、本事業においても迅速な情報の収集・還元という観点から、日常の生活サイクルに合う実用的な最小の単位である週を調査単位としたものであること。

なお、本事業における情報還元に際しては、対象疾病以外の感染症に関する特記的な情報についても併せて還元することにしており、より適切な予防対策に資するものと考えられる。

4. 本年度の事業実施は、第27週（昭和56年7月5日（日）～7月11日（土））より開始することとする。

### 第2 実施上の事項について

1. (1) 対象疾病は、原則として法定・指定伝染病及び届出伝染病以外の感染症で、おおむね次の条件を満たすものを選定したものであること。
  - ア 伝染力が強い
  - イ 重篤な症状となる場合がある
  - ウ まれに重篤な後遺症を残す
  - エ ニュータイプである
  - オ 特に小児に多い

なお、対象疾病は今後必要に応じて追加あるいは削除を検討していくこととしている。

- (2) 対象疾病的定義・診断方法等については、別添「感染症サーベイランス事業対象疾病解説書」によられたいこと。
- (3) インフルエンザ様疾患及びウイルス性肝炎の情報を把握している都道府県・指定都市においては、本事業による患者発生情報にあわせて通報されたいこと。

- 2 対象疾病の(1)～(4)までの疾病にかかる患者定点は、その地域における患者発生状況を的確に把握できるように、人口及び医療機関の分布を勘案しながら一般の小児科及び内科（主に小児科）の診療所から選定することが望ましいこと。
- 3 感染症サーベイランス事業実施要綱（以下「実施要綱」という。）に示した様式1及び様式2の「その他特記事項」欄には、対象疾病について実施された検査のうち、特に注目すべき検査結果（例えば風しんの抗体検査結果）等があった場合、あるいは対象疾病以外の感染症で伝染性単核症、川崎病等の発生または流行があった場合にはその旨記載されたいこと。
- 4 実施要綱様式3について、地方感染症情報センターは、新報告例のみを集計し、中央感染症情報センターへ通報すること。
- また、「検査結果」の記載があるものについては、地方衛生研究所から報告される検査結果との重複を点検し、集計解析を加えて年報として中央感染症情報センターへ報告すること。
- 5 実施要綱様式1及び様式2の年齢区分は、WHO方式により5歳年齢階級区分したこと。ただし、1歳未満については特に情報把握の必要性から1区分設けたものであること。
- 6 各年の週の決定方法は、1月1日が日曜日から水曜日の間の曜日である場合、この日の属する週を第1週とし、1月1日が木曜日から土曜日の間の曜日である場合、次の日曜日から始まる週を第1週とする三拾四入方式としたこと。
- 7 検査定点における検体の採取は、全例について実施するものではなく、あくまでも患者の診療上必要な場合に限るものであること。
- 8 地方衛生研究所は、本事業における検査の業務を実施するとともに、地方における検査情報の拠点となるものであること。
- 9 実施要綱様式6（OCRカード）は別途送付する調査票記入要領により作成すること。
- 10 中央感染症情報センターへの患者発生情報（様式6のOCRカード）は、少なくとも80%以上の情報を確保したうえで、毎週金曜日までに必着するように送付すること。
- なお、未通報の情報分については翌週別葉のOCRカードに記入し、当該週のものと併せて送付すること。中央感染症情報センターではこの未通報分については累計として集計するものであること。
- 11 各都道府県、指定都市は、隣接する地域の患者発生状況を早期に把握するため、近隣都道府県、指定都市と積極的な情報交換を行われたいこと。
- 12 中央感染症情報センターからの情報還元については、週報としての還元のほか常時報道機関等に情報を提供することとしている。
- 13 その他
- (1) 本事業による患者定点からの通報は、伝染病予防法に基く医師の届出とは別個のものであること。
- (2) 本事業の統計法第8条に係る行政管理庁への届出は、厚生省より一括して処理されており、各都道府県、指定都市における届出は不要であること。

## 感染症サーベイランス事業対象疾病解説書

感染症サーベイランス事業の対象疾患としては、最近幼児や学童を中心に行方が目立ってきて、稀れではあるが合併症を引き起こし、後遺症を残したり死に致らしめる感染症、あるいはニュータイプの感染症の中で、伝染病予防法による届出の義務等がなく、発生状況の把握や対策が不充分な疾患有選定してある。

以下18の対象疾患について、定義、診断方法、特徴等について簡単な解説を行う。患者定点医療機関における対象疾患についての患者発生件数の把握に際しては、本事業の使命が迅速な情報の収集還元にあるという観点から、診療時における主として臨床的診断の結果をもって行うこと。

### (1) 麻しん様疾患

麻しん類似の発しん性疾患もしばしばみられるが、本事業の対象とするのは麻しんが目標である。麻しんの疫学的状況は、予防接種の普及により大きく変りつつあり、その推移を監視する必要がある。

診断は、臨床症状から通常は容易である。

合併症としての脳炎は、①脳・脊髄炎としても報告することとし、様式1の調査票を使用する小児科・内科の患者定点医療機関では、麻しん（様疾患）として報告し、「特記事項」欄に麻しん脳炎と記載すること。

### (2) 風しん

わが国の風しんは、6～10年の間隔で流行しているが、これまで発生状況を充分に把握することができなかった。

診断は、流行期には臨床症状から容易であるが、非流行期では、抗体検査等により確実な診断を行うことが望ましい。

合併症としての脳炎は、②脳・脊髄炎としても報告することとし、様式1の調査票を使用する小児科・内科の患者定点医療機関では、風しんとして報告し、「特記事項」欄に風しん脳炎と記載すること。

### (3) 水痘

水痘は、幼児学童を中心とする普遍的な感染症であり、診断は臨床症状から容易である。水痘は学校伝染病としても重要であり、また、免疫不全状態にある者が罹患すると重篤となることから、その予防、院内感染の防止が重視され、サーベイランスの意義が大きい。

帯状疱疹は、同じウイルスによるものであるが、当面对象疾患とはしない。

### (4) 流行性耳下腺炎

耳下腺腫脹を主症状とするが、ムンプスウイルスの全身感染症であり、各種臓器に多様な病変をみる。水痘と並んで幼児学童の主要伝染病である。

不顕性感染が多いことが特徴である。生ワクチンによる予防接種が行われるようになったので、今後の疫学状況の変化に注目する必要がある。

診断は、臨床症状から容易である。

合併症としての髄膜炎、脳炎等は、それぞれ①7髄膜炎 ⑧脳・脊髄炎としても報告することとし、様式1の調査票を使用する小児科。内科の患者定点医療機関では、流行性耳下腺炎として報告し、「特記事項」欄にムンプス髄膜炎、ムンプス脳炎と記載すること。

#### (5) 百日せき様疾患

百日せき菌のはか、パラ百日せき菌、アデノウイルス等によっても類似の症状を示すが、百日せき様疾患のほとんどは百日せき菌によるものである。百日せきの痙咳期には治療が困難であり、また、母親からの移行免疫が有効に働くため、乳児早期から罹患することがあり、乳児は重篤になりやすく、しばしば肺炎、脳症などを併発するので、早期診断、予防が重要であり、発生状況の把握が望まれる。

診断は、特徴的な症状及び血液像などの一般検査により容易であるが、菌分離により菌型決定などの検索を進めることも重要であり、検査定点よりの検体採取が勧められる。

#### (6) 溶連菌感染症

溶連菌感染症のほとんどはA群溶連菌によるもので多様な病像を示すが、サーベイランスの対象は、咽頭炎、アンギーナに発しんを伴うもの、あるいは伴わないものを主体とする。臨床的に溶連菌感染か否かを診定することは困難な場合が多いので、なるべく菌の培養検査により確実な診断をつけることが望ましい。

#### (7) 異型肺炎

異型肺炎の病原としては、肺炎マイコプラスマのはか、ウイルス、クラミジア（オーム病）なども挙げられるが、現在のわが国的一般診療においては、異型肺炎の大部分はマイコプラスマ肺炎と考えられ、サーベイランスの対象もマイコプラスマ肺炎を目標とするものである。

診断としてマイコプラスマ肺炎と決定するには、検査所見がそろわなければできないので、早期の情報収集の目的から異型肺炎という病名をとりあげているものである。

#### (8) 乳児呕吐下痢症

乳幼児、特に6カ月から18カ月くらいの年齢に好発する急性の胃腸炎で、従来、仮性小児コレラ、白色便性下痢症、白痢あるいは晩秋呕吐下痢症などと呼ばれていたものがこれに当たる。病原は口内ウイルスによるものが大部分とみられ、特に11月から3月にかけて流行することが多い。

#### (9) その他の感染症下痢症

前記の乳児呕吐下痢症以外の感染症下痢症を一括したものである。ウイルスによるものとしては、従来、流行性呕吐症、流行性下痢症あるいは伝染性下痢症などと呼ばれていた急性胃腸炎があり、病原ウイルスの研究も急速な進歩をみているところである。細菌性のものとしては、サルモネラ、カンピロバクター、エルシニア、病原大腸菌（組織侵入型、毒素原性、血清型）いわゆるNAGビブリオ、腸炎ビブリオによるものなどがある。本症については、特に病原体分離による検索が望まれる。

#### (10) 手足口病

1958年に世界で初めて報告された新しい感染症である。わが国では1963年に初めての報告があり、1967～68年頃から注目されるようになり、1969～70年の全国的な流行から、次第に一般に知

られるようになった。最近のわが国では、コクサッキーA群16型もしくはエンテロウイルス71型によるものが、1～2年おきに交互に流行をくり返している。新しい感染症として、今後の流行の推移については十分に監視する必要がある。

診断は特徴的な臨床所見から容易であるが、病原ウイルスの分離、型別などの検査も望まれる。

#### (11) 伝染性紅斑

最近数年間にわたって全国的に流行がみられ、関心を呼んでいる。このために、本症は軽症の疾病であり合併症もないが、対象疾患としてとりあげられたものである。診断は、特徴的な病像から容易であるが、病原は未だ不明である。

#### (12) 突発性発しん

2歳未満の小児にみられる予後良好の急性発しん性疾患である。病原は不明であり、流行性に発しんすることも少ないが、小児の代表的な発しん性疾患ということから対象疾患にあげられたものである。診断は臨床的に行う。

#### (13) ヘルパンギーナ

コクサッキーA群による夏期の急性熱性疾患であり、特徴的な口腔内所見をみると。エンテロウイルス感染症は数多くあるが、その代表的な疾患として対象疾患にとりあげられたものである。

#### (14) 咽頭結膜熱

主としてアデノウイルス3型、ときに7、11型などの感染により、発熱、咽頭炎、結膜炎を三主徴とする疾患である。しばしばプールを介して流行し、プール熱の別名がある。

#### (15) 流行性角結膜炎

アデノウイルス8型感染による急性結膜炎で、さらに角膜炎を起こす。欧米では19型も病原に入れている。アデノウイルスのその他の型でも、よく似た症状を示すことがある。

#### (16) 急性出血性結膜炎

エンテロウイルス70型感染による急性結膜炎で、結膜下出血が高頻度に起こる。アポロ11病の別名がある。数週後稀に麻痺を起こすことがある。

本症は新しい感染症であり、1969年ガーナに初発し、わが国では1971年の流行以来発生がみられる。東南アジアでは同様の結膜炎をきたす別の病原としてコクサッキーA24変異株の存在が知られているが、わが国では未だ発生していない。

(14)(15)(16)の疾患は眼科定点の対象疾患である。それぞれの病原体の分離に努めることが望ましい。

#### (17) 隹膜炎（細菌性、無菌性）

臨床所見及び隹液所見によって、先ずいわゆる無菌性隹膜炎（漿液性隹膜炎）と、細菌性隹膜炎に区分して報告し、その後病原体が判明したものは追加報告するものとする。原発生のものを対象とし、術後感染あるいは免疫不全状態中に併発したものは除外する。

#### (18) 脳・脊髄炎

脳症・脳炎・脊髄炎・脳脊髄炎を含み、病原体として日本脳炎、ポリオ、単純ヘルペスなどのウイルスによるものが多い。麻しん、風しん、ムンプスなど、特徴のある臨床症状にひき続いで起きた脳炎も報告の対象とする。ウイルス学的検査により確定診断の得られたものは、追加報

告するものとする。(17)(18)の疾病は、病院定点の対象疾病であり、これらについては積極的に病原体分離、抗体検査を行ない、病原を明らかにすることが望ましい。